

ほ場整備事業標準設計図

制 定 昭和57年 4 月 1 日

最終改訂 平成21年 4 月 1 日

岩手県農林水産部

ほ場整備事業標準設計図について

〔 制 定 昭和57年 4 月 1 日
最終改訂 平成21年 4 月 1 日 〕

1 目 的

ほ場整備事業標準設計図（以下、「標準図集」という。）は、本県の経営体育成基盤整備事業や中山間地域総合整備事業などにおけるほ場整備工事の汎用的な構造物の標準化と統一化を図り、それら事業の計画・設計・施工・施工管理の合理化並びに効率化を目的とする。

2 適 用

- (1) 標準図集は、県営及び団体営事業に係るほ場整備工事に適用すること。
- (2) 標準図集は一般的な条件において設計しているため、条件が異なる場合には別途検討が必要であること。
- (3) 標準図集の寸法は特に表示する以外は、mmを単位とすること。
- (4) 解説及び注意事項に十分留意すること。

3 標準図集の改訂要旨

(1) 改訂の目的

標準図集は、平成9年8月の全面改訂以降、平成13年度に管水路工が一部改訂されて以降見直しされていないため、最新の土地改良事業計画設計基準や本県独自の整備手法見直しなどに対応していない図面がある等、その適用に支障が生じていた。

また、図面及び数量計算書は紙ベースで配布されていたため、発注時や変更時の図面の汎用性を阻害し、事務の効率化が図られていなかった。このため、設計基準等に適合した図面に改訂し、あわせて電子化（図面のCAD化及び数量計算書のExcel化）を行ったものである。

(2) 今回の改訂は下記資料を基に行った。

- ・ 岩手県農林水産部 ほ場整備事業標準設計図・様式集（H13. 7. 12最終改訂）
- ・ 同 ほ場整備事業設計積算の手引（H20. 3. 25最終改訂）
- ・ 土地改良事業計画設計基準 設計「水路工」基準書・技術書（H13. 2）
- ・ 土地改良事業計画設計基準 設計「パイプライン」基準書・技術書（H10. 3）
- ・ 土地改良事業標準設計図面集「鉄筋コンクリート二次製品」〔業務参考資料〕（H15. 12. 25）
- ・ 農業農村整備事業の整備手法見直しについて（H18. 4. 13付け農建第32号）

- (3) 改訂の主な要旨は下記のとおりである。
- ・ 土地改良事業計画設計基準に基づいた図面の修正、追加及び削除
 - ・ 本県独自の整備手法見直しに対応した図面の追加
 - ・ 図面の電子化 (CAD)
 - ・ 数量計算書の電子化 (Excel)

4 標準図集の改訂内容

(1) 改訂内容は、別紙1『ほ場整備事業標準設計図 新旧対照表 [平成21年4月改訂]』を参照のこと。

(2) 鉄筋径・ピッチの変更 (D10@200→D13@250) ・ ・ ・ 暗渠吞吐工、水槽工

配力鉄筋量及び最小鉄筋量は、土地改良事業計画設計基準 設計『水路工』基準書・技術書P. 70～73及びP. 309 に基づき、下記のとおりとした。

- ・ 配力鉄筋量：500mm²/m 以上。よって、D13@250 (507mm²/m) とする。
- ・ 最小鉄筋量：500mm²/m 以上。よって、D13@250 (507mm²/m) とする。

土地改良事業計画設計基準 設計「水路工」(H13.2)P70～73

運用 10-6-1(1)では、最小又は温度鉄筋量について規定している。
非常に小さな水路構造物を除き、構造物に必要な最小又は温度鉄筋量を決める。ただし、詳細な検討を行わない場合は、1 m 当たり 500 mm²以上としてよい。

土地改良事業計画設計基準 設計「水路工」(H13.2) P309

表-7.8 参-1 異形鉄筋の断面積、周長表

呼び名	公称直径 (mm)	公称断面積 (mm ²)	公称周長 (mm)	単位質量 (kg/m)	鉄筋の中心間隔 (mm)							
					100	125	150	200	250	300	400	
D 10	9.53	71.33	30	0.560	713 300.0	571 240.0	476 200.0	357 150.0	285 120.0	238 100.0	178 75.0	
D 13	12.7	126.7	40	0.995	1267 400.0	1014 320.0	845 266.7	634 200.0	507 160.0	422 133.3	317 100.0	
D 16	15.9	198.6	50	1.56	1986 500.0	1589 400.0	1324 333.4	993 250.0	794 200.0	662 166.7	497 125.0	
D 19	19.1	286.5	60	2.25	2865 600.0	2292 480.0	1910 400.0	1433 300.0	1146 240.0	955 200.0	716 150.0	
D 22	22.2	387.1	70	3.04	3871 700.0	3097 560.0	2581 466.7	1936 350.0	1548 280.0	1290 233.3	968 175.0	
D 25	25.4	506.7	80	3.98	5067 800.0	4054 640.0	3378 533.4	2534 400.0	2027 320.0	1689 266.6	1267 200.0	
D 29	28.6	642.4	90	5.04	6424 900.0	5139 720.0	4283 600.0	3212 450.0	2570 360.0	2141 300.0	1606 225.0	
D 32	31.8	794.2	100	6.23	7942 1000.0	6354 800.0	5295 666.7	3971 500.0	3177 400.0	2647 333.3	1986 250.0	

注) 上段：断面積 (mm²) 下段：周長 (mm)

(4) 配力鉄筋及び最小又は温度鉄筋量

① 配力鉄筋の役割

配力鉄筋は、集中荷重や部分的な分布荷重による曲げモーメントやせん断力を版全体に分散させる目的で、正鉄筋又は負鉄筋と直角方向に配置した鉄筋をいう。配力鉄筋は、版状構造物 (スラブ、水路、擁壁、ボックスカルバート等) の主鉄筋と直角方向に配置する。

② 配力鉄筋量

擁壁及び水路のたて壁や底版の配力鉄筋は、主鉄筋と直角方向に一方スラブに準じて主鉄筋量の 1/6 以上、かつ 500 mm²/m 以上を配置する。

③ 最小又は温度鉄筋量

主鉄筋の最小鉄筋量又は温度鉄筋量は 500 mm²/m としてよい。

(3) 空気弁口径選定表の変更・・・図面番号E-21

空気弁口径選定表について、土地改良事業計画設計基準 設計『パイプライン工』基準書・技術書P. 397 に基づき、以下のとおり変更した。

土地改良事業計画設計基準 設計「パイプライン工」(H10.3) P397

表-10. 6. 2 空気弁口径の選択範囲

管 径 (mm)	空 気 弁 の 呼 び 径 (mm)			管 径 (mm)
	急 速	双 口	単 口	
75	25			75
100			13	100
150				150
200			20	200
250				250
300	75		25	300
350				350
400		75		400
450				450
500				500
600			100	600
700				700
800				800

現行図面 (E-11空気弁保護工)

本管径	T字管	空気弁タイプ		空気腐蝕	空気弁径	底板孔	最 小	H1	H2	H3		L	本管径
D1		急排型	農水用	D2	D3	D4	B		(最小)	急排型	農水用		D1
100	塩ビ用	A	—	50	25	250	1400	190	156	510	—	400	100
125		A	—	50	25	250	1400	205	156	510	—	420	125
150		A	—	50	25	250	1400	215	156	510	—	450	150
200		A	—	150	75	300	1400	260	187	610	—	500	200
250	IF	A	—	150	75	300	1400	280	187	610	—	540	250
300		A	A	150	75	300	1400	335	230	610	560	640	300
350		A	A	150	75	300	1400	360	230	610	560	680	350
400		A	A	150	75	300	1400	385	230	610	560	710	400
450		A	A	150	75	300	1400	410	230	610	560	750	450
500	FPPM製	A	A	150	75	300	1400	430	230	610	560	790	500

改訂図面 (E-21空気弁保護工)

本管径	T字管	空気弁タイプ		空気腐蝕	空気弁径	底板孔	最 小	H1	H2	H3		L	本管径
D1		急排型	農水用	D2	D3	D4	B		(最小)	急排型	農水用		D1
100	塩ビ用	A	—	50	25	250	1400	190	156	510	—	400	100
125		A	—	50	25	250	1400	205	156	510	—	420	125
150		A	—	50	25	250	1400	215	156	510	—	450	150
200		A	—	50	25	300	1400	260	156	610	—	500	200
250	IF	A	—	50	25	300	1400	280	156	610	—	540	250
300		A	A	50	25	300	1400	335	156	610	560	640	300
350		A	A	150	75	300	1400	360	230	610	560	680	350
400		A	A	150	75	300	1400	385	230	610	560	710	400
450		A	A	150	75	300	1400	410	230	610	560	750	450
500	FPPM製	A	A	150	75	300	1400	430	230	610	560	790	500

(4) コンクリートの呼び名の変更 (ex:18N-8-40→18-8-40)

コンクリート標準示方書〔規準編〕P.358に基づき、呼び名を変更した。

(5) 整備手法の見直し（平成18年度）に応じた図面の追加

- ・管水路工に浅埋設用の空気弁保護工・制水弁筐の図面を追加した。
- ・暗渠排水工にドレンレイヤー工法（標準図、補助暗渠、水閘部、管理孔）の図面を追加した。

(6) 最近の改訂履歴（平成9年度以降）

日 付	工 種	改 定 内 容
H9. 8. 5	全工種	全面改訂・製本版発刊
H11. 5. 31	管水路工	設計基準（パイプライン）の改訂に伴う変更。 <ul style="list-style-type: none">・パイプライン基礎の施工支持角の変更。・現場発生の良質な土砂（最大粒径20mm以内の砂質土・礫質土）は基礎材料として使用可能。・現場発生材は原則として概ね10haに1ヶ所の割合で土質試験を行い、標準設計図のタイプを決定する。
H13. 7. 12	管水路工	・給水栓の引込管をVP→VUに変更。（ただし、用水本管がVPの場合、引込管もVP）

【別紙1】

ほ場整備事業標準設計図 新旧対照表〔平成21年4月改訂〕

	工種	図面名	備考	図面番号	旧図面番号	改定	改定内容 又は 削除理由
1	整地工	畦畔工、進入路工		A-01	←		
2	道路工	道路工(箱抜型・上置型)		B-01	←	○	文字の修正〔ほ場整備の手引きに合わせ、標準型→箱抜型、敷厚を0.15→0.10m、盲暗渠工→路肩排水工に変更。〕
3	"	取付道路工	参考図	B-02	←		
4	"	道路工(安定処理)			B-03	削除	ほ場整備工事において使用少のため削除。
5	用水路工	素掘小用水路標準断面図		C-01	←	○	文字の修正〔監督員→監督職員に変更。不足した場合は…寄土してはいけないを削除。〕
6	"	用水路ベンチフリューム舗装工(新設用)標準断面図		C-02	←	○	文字の修正〔監督員→監督職員、承認→承諾に変更。不足した場合は…寄土してはいけないを削除。〕
7	"	用水路ベンチフリューム蓋かけ進入路工標準据付構造図		C-03	←	○	文字の追加〔均しコン材料(18-8-40)〕。文字の修正〔2. 面工事と併せて…施行とするを削除。〕
8	"	掛口用ベンチフリューム工標準据付構造図		C-04	←	○	文字の修正〔3. 取水栓…参照を削除。〕
9	"	横断用ベンチフリューム工標準据付構造図		C-05	←	○	文字の修正〔監督員→監督職員に変更。荷重表示(T-14,20)を削除。〕
10	"	BF落差工(H= 500)300～450		C-10	←	○	文字の修正〔基礎処理工→RC-80〕
11	"	BF落差工(H= 500)500～700		C-11	←	○	文字の修正〔基礎処理工を削除。〕
12	"	BF落差工(H=1000)300～450		C-12	←	○	文字の修正〔基礎処理工を削除。〕
13	"	BF落差工(H=1000)500～700		C-13	←	○	文字の修正〔基礎処理工を削除。〕
14	"	ベンチボックス構造図		C-20		新規	図面の新規追加。
15	排水路工	素掘小排水路標準断面図		D-01	←		
16	"	排水路舗装工(排水フリューム)		D-02	←	○	文字の修正〔(注)E寸法は置換厚である、を削除。〕
17	"	F・F型床版工、P・F型床版工			←	○	文字の修正〔監督員→監督職員に変更。〕
18	"	集水樹		D-12	←		
19	"	屈折工($\theta=90^\circ$ $\theta=45^\circ$)		D-20	←		
20	"	排水フリューム用組立落差工構造図(3×3～5×5、H=0.5)	参考図	D-30	←	○	使用少のため参考図とする。
21	"	排水フリューム用組立落差工構造図(6×6、H=0.5)	参考図	D-31	←	○	使用少のため参考図とする。
22	"	排水フリューム用組立落差工構造図(7×7～9×9、H=0.5)	参考図	D-32	←	○	使用少のため参考図とする。
23	"	排水フリューム用組立落差工構造図(3×3～5×5、H=1.0)	参考図	D-33	←	○	使用少のため参考図とする。
24	"	排水フリューム用組立落差工構造図(6×6～9×9、H=1.0)	参考図	D-34	←	○	使用少のため参考図とする。
25	"	田区排水工(A型)		D-40	←	○	図の修正〔排水管出口を側溝くりぬき型に変更〕
26	"	田区排水工(地下排水型)		D-41	←	○	図の修正〔取付管断面図の基礎位置を管側から管底に変更〕
27	"	板及び粗朶柵工		D-50	←	○	文字の修正〔積算基準書に合わせ、板柵工:松板→杉板、2等→t=2.4cmに変更、注意書きの削除。〕
28	"	地下排水工マンホール標準型	参考図	D-60	←	○	文字の修正〔基礎処理工→RC-80、 σ 28-18N/mm ² →18-8-40に変更〕
29	"	蓋掛進入路工構造図		D-62		新規	図面の新規追加。
30	"	暗渠取付工(R46型)		D-R46	←	○	図の修正〔基礎コンクリート(t=10cm)を追加〕。文字の修正〔モルタルに規格1:3を追加、注意書きを削除。〕
31	"	暗渠取付工(R69型)		D-R69	←	○	図の修正〔基礎コンクリート(t=10cm)を追加。〕
32	管水路工	管水路工(塩ビ管)標準断面図		E-01	E-00	○	図面名の修正〔標準断面図を追加〕、図面番号の変更。
33	"	管水路工(塩ビ管)土被りH=0.6m ϕ 50～ ϕ 450粘性土		E-04	E-04A	○	文字の追加・修正〔掘削勾配を全断面に追記、注意書きに基礎材の現地発生材使用について追記、粘質土→粘性土に変更。〕
34	"	管水路工(塩ビ管)土被りH=1.0m ϕ 50～ ϕ 450粘性土		E-05	E-05A	○	文字の追加・修正〔掘削勾配を全断面に追記、注意書きに基礎材の現地発生材使用について追記、粘質土→粘性土に変更。〕
35	"	管水路工(塩ビ管)土被りH=1.2m ϕ 50～ ϕ 450粘性土		E-06	E-06A	○	文字の追加・修正〔掘削勾配を全断面に追記、注意書きに基礎材の現地発生材使用について追記、粘質土→粘性土に変更。〕
36	"	管水路工(塩ビ管)土被りH=0.6m ϕ 50～ ϕ 450砂質土・礫質土		E-07A	E-07B	○	文字の追加・修正〔掘削勾配を全断面に追記、注意書きに基礎材の現地発生材使用について追記〕
37	"	管水路工(塩ビ管)土被りH=0.6m ϕ 50～ ϕ 450砂質土・礫質土		E-07B	E-07C	○	文字の追加・修正〔掘削勾配を全断面に追記、注意書きに基礎材の現地発生材使用について追記〕
38	"	管水路工(塩ビ管)土被りH=1.0m ϕ 50～ ϕ 450砂質土・礫質土		E-08A	E-08B	○	文字の追加・修正〔掘削勾配を全断面に追記、注意書きに基礎材の現地発生材使用について追記〕
39	"	管水路工(塩ビ管)土被りH=1.0m ϕ 50～ ϕ 450砂質土・礫質土		E-08B	E-08C	○	文字の追加・修正〔掘削勾配を全断面に追記、注意書きに基礎材の現地発生材使用について追記〕
40	"	管水路工(塩ビ管)土被りH=1.2m ϕ 50～ ϕ 450砂質土・礫質土		E-09A	E-09B	○	文字の追加・修正〔掘削勾配を全断面に追記、注意書きに基礎材の現地発生材使用について追記〕
41	"	管水路工(塩ビ管)土被りH=1.2m ϕ 50～ ϕ 450砂質土・礫質土		E-09B	E-09C	○	文字の追加・修正〔掘削勾配を全断面に追記、注意書きに基礎材の現地発生材使用について追記〕
42	"	管水路工(塩ビ管)給水栓引込構造図		E-10	E-60	○	図面番号の変更。
43	"	管水路工(塩ビ管)W配管標準図	参考図	E-11	E-70	○	文字の修正〔寸法30cm→300に変更〕、図面番号の変更。

【別紙1】

ほ場整備事業標準設計図 新旧対照表〔平成21年4月改訂〕

	工種	図面名	備考	図面番号	旧図面番号	改定	改定内容 又は 削除理由
44	"	給水栓保護管構造図(A型コンクリート製)		E-15	E-01	○	図の修正〔給水栓の位置を法尻→法中に変更〕、図面番号の変更。
45	"	給水栓保護管構造図(B型ポリ製)		E-16	E-02	○	文字の追加〔注意書き:給水栓の規格について追記〕、図面番号の変更。
46	"	給水栓保護管構造図(C型コンクリート製)		E-17	E-03b	○	図面名の修正〔自動給水栓→C型コンクリート、監督員→監督職員に変更。〕、図面番号の変更。
47	"	給水栓保護管構造図(全自動給水栓型)	参考図	E-18	E-03a	○	図面番号の変更。
48	管水路工	空気弁保護工(集水樹工)		E-20	E-10	○	図の修正〔補修弁コックの位置を変更〕、文字の追加〔基礎工寸法を追加〕、図面番号の変更。
49	"	空気弁保護工(マンホール型)		E-21	E-11	○	図の修正〔補修弁コックの位置を変更〕、表中文字の修正〔管径別空気弁径を修正〕、図面番号の変更。
50	"	空気弁保護工(浅埋設用・集水樹工)		E-22		新規	図面の新規追加。
51	"	空気弁保護工(浅埋設用・マンホール型)		E-23		新規	図面の新規追加。
52	"	制水弁篋A型		E-25	E-15	○	文字の修正〔ヒューム管カラー→制水弁保護リング、旗上げ寸法の変更〕、表の追加〔制水弁台座BF蓋選定表〕、図面番号の変更。
53	"	制水弁篋B型		E-26	E-16	○	文字の修正〔ヒューム管カラー→制水弁保護リング、旗上げ寸法の変更〕、表の追加〔制水弁台座BF蓋選定表〕、図面番号の変更。
54	"	制水弁篋(耕地用)		E-27		新規	図面の新規追加。
55	"	制水弁篋(浅埋設用)		E-28		新規	図面の新規追加。
56	"	水路横断管路工		E-30	E-20	○	図面名の修正〔旧:水管橋構造図〕
57	"	階段工(H<3.00用)		E-50	←		
58	"	階段工(H=3.50~6.00用)		E-51	←		
59	暗渠排水工	集、吸水渠布設標準図		F-01	←	○	文字の修正〔監督員→監督職員に変更〕、図面名の修正〔伏設→布設に変更〕
60	"	暗渠排水工標準図(水平水閘型)		F-02	←		
61	"	暗渠排水工標準図(ネジ式水閘型)		F-03	←	○	図の追加〔断面図にネジ式水閘を追加。〕
62	"	暗渠排水工標準図(集水渠型)		F-04	←		
63	"	補助暗渠(重粘土土層改良工)標準図		F-05	←		
64	"	暗渠排水工(地下排水型)	参考図	F-06	←		
65	"	ドレンレイヤー工法標準図		F-10		新規	図面の新規追加。
66	"	チップドレンレイヤー工法標準図		F-11		新規	図面の新規追加。
67	"	補助暗渠工標準図(b=200)		F-12		新規	図面の新規追加。
68	"	補助暗渠工標準図(b=300)		F-13		新規	図面の新規追加。
69	"	水閘部(水平水閘)標準図(φ65mm)		F-14		新規	図面の新規追加。
70	"	水閘部(ネジ式水閘)標準図(φ65mm)		F-15		新規	図面の新規追加。
71	"	管理孔標準図(φ50mm、φ60mm)		F-16		新規	図面の新規追加。
72	附帯工	コンクリート巻立(道路横断暗渠工標準断面図(1))90° φ300~600		G-01	←	○	文字の修正〔基礎碎石、巻立Co寸法を変更(国の図集と整合)〕、使用少のφ150~250を削除。
73	"	コンクリート巻立(道路横断暗渠工標準断面図(2))90° φ700~1200		G-02	←	○	文字の修正〔基礎碎石、巻立Co寸法を変更(国の図集と整合)〕
74	"	コンクリート巻立(道路横断暗渠工標準断面図(3))180° φ300~600		G-03	←	○	文字の修正〔基礎碎石、巻立Co寸法を変更(国の図集と整合)〕、使用少のφ150~250を削除。
75	"	コンクリート巻立(道路横断暗渠工標準断面図(4))180° φ700~1200		G-04	←	○	文字の修正〔基礎碎石、巻立Co寸法を変更(国の図集と整合)〕
76	"	コンクリート巻立(道路横断暗渠工標準断面図(5))360° φ150~600			G-05	削除	ほ場整備工事において使用少のため削除。
77	"	コンクリート巻立(道路横断暗渠工標準断面図(6))360° φ700~1200			G-06	削除	ほ場整備工事において使用少のため削除。
78	吞吐工	A型暗渠吞吐工構造図(壁タイプ)φ300~φ350用		G-10	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
79	"	B型暗渠吞吐工構造図(壁タイプ)φ400~φ450用		G-11	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
80	"	C型暗渠吞吐工構造図(壁タイプ)φ500~φ600用		G-12	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
81	"	D型暗渠吞吐工構造図(壁タイプ)φ700~φ800用		G-13	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
82	"	E型暗渠吞吐工構造図(壁タイプ)φ900~φ1000用		G-14	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
83	"	F型暗渠吞吐工構造図(壁タイプ)φ1100~φ1200用		G-15	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
84	"	G型暗渠吞吐工構造図(控え壁タイプ)φ300~φ350用		G-16	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
85	"	H型暗渠吞吐工構造図(控え壁タイプ)φ400~φ450用		G-17	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
86	"	I型暗渠吞吐工構造図(控え壁タイプ)φ500~φ600用		G-18	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕

【別紙1】

ほ場整備事業標準設計図 新旧対照表〔平成21年4月改訂〕

	工種	図面名	備考	図面番号	旧図面番号	改定	改定内容 又は 削除理由
87	水槽工	6－6型水槽構造図		G-30	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
88	"	6－8型水槽構造図		G-31	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
89	"	6－10型水槽構造図		G-32	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
90	"	8－6型水槽構造図		G-33	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
91	"	8－8型水槽構造図		G-34	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
92	"	8－10型水槽構造図		G-35	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
93	"	8－12型水槽構造図		G-36	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
94	"	10－6型水槽構造図		G-37	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
95	水槽工	10－8型水槽構造図		G-38	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
96	"	10－10型水槽構造図		G-39	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
97	"	10－12型水槽構造図		G-40	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
98	"	10－15型水槽構造図		G-41	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
99	"	12－8型水槽構造図		G-42	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
100	"	12－10型水槽構造図		G-43	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
101	"	12－12型水槽構造図		G-44	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
102	"	12－15型水槽構造図		G-45	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
103	"	15－8型水槽構造図		G-46	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
104	"	15－10型水槽構造図		G-47	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
105	"	15－12型水槽構造図		G-48	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
106	"	15－15型水槽構造図		G-49	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
107	"	15－20型水槽構造図		G-50	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
108	"	20－10型水槽構造図		G-51	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
109	"	20－15型水槽構造図		G-52	←	○	図・文字の修正〔鉄筋をD10@200→D13@250に変更(水路工基準書と整合)〕
110	その他	旧堰処理工		H-03	←	○	文字の追加・修正〔筵→遮光シート、粗朶→碎石、監督員→監督職員に変更、注意書きに流末の水閘設置について追記。〕
111	"	湧水処理工		H-04	←	○	文字の追加・修正〔筵→遮光シート、監督員→監督職員に変更、注意書きに流末の水閘設置について追記。〕
112	"	鋼小構造物設置標準図		H-50	←		
113	"	ネットフェンス標準図		H-51	←		
114	"	除雪用標示板		H-52	←		
115	"	フトン竈工標準図		H-60		新規	図面の新規追加。
116	簡易ゲート	分水栓(φ75～φ250)		H-70	←		
117	"	簡易鋼製スルースゲート(φ100～φ1000S-G)		H-71	H-71a	○	図面番号の変更。
118	"	鋳鉄製円形スルースゲート(φ100～φ800FS-SU)		H-72	H-71b	○	図面番号の変更。
119	"	鋼製スルースゲート(φ200～φ1000SU-4)		H-73	H-72	○	図面番号の変更。
120	"	簡易鋼製スルースゲート(φ200～φ650SU-5)		H-74	H-73	○	図面番号の変更。
121	"	簡易鋼製スルースゲート(φ200～φ1000SU-5-1)		H-75	H-74	○	図面番号の変更。
		合計	10	118	107	106	

ほ 場 整 備 事 業 標 準 設 計 図

標 準 設 計 図

ほ場整備事業標準設計図目次

工 種	図 面 番 号	コード番号	図 面 名 称	規 格、寸 法	備 考
整 地 工	A－0 1		畦畔工、進入路工		
道 路 工	B－0 1		道路工	箱拔型・上置型	
	B－0 2	(参考図)	取付道路工		
用 水 路 工	C－0 1		素掘小用水路標準断面図		
	C－0 2		用水路ベンチフリューム舗装工 (新設用) 標準断面図	BF 250～BF1,000型	
	C－0 3		用水路ベンチフリューム蓋かけ 進入路工標準据付構造図	BF 250～BF1,000型	
	C－0 4		掛口用ベンチフリューム工 標準据付構造図	BF 250～BF1,000型	
	C－0 5		横断用ベンチフリューム工 標準据付構造図	BF 250～BF1,000型	
	C－1 0		BF落差工 (H=500)	300～450	
	C－1 1		BF落差工 (H=500)	500～700	
	C－1 2		BF落差工 (H=1000)	300～450	
	C－1 3		BF落差工 (H=1000)	500～700	
	C－2 0		ベンチボックス構造図		
排 水 路 工	D－0 1		素掘小排水路標準断面図	0 型～2 型	
	D－0 2		排水路舗装工 (排水フリューム)	HF 300×300～HF1,000×1,000	
	D－1 1		F・F型床版工、P・F型床版工		
	D－1 2		集水樹		
	D－2 0		屈折工	形式 $\theta=90^\circ$ $\theta=45^\circ$	
	D－3 0	(参考図)	排水フリューム用組立落差工構造図	3×3 ～ 5×5 H=0.50	
	D－3 1	(参考図)	排水フリューム用組立落差工構造図	6×6 H=0.50	

ほ場整備事業標準設計図目次

工 種	図 面 番 号	コード番号	図 面 名 称	規 格、寸 法	備 考
排 水 路 工	D－3 2	(参考図)	排水フリーム用組立落差工構造図	7×7 ～ 9×9 H=0.50	
	D－3 3	(参考図)	排水フリーム用組立落差工構造図	3×3 ～ 5×5 H=1.00	
	D－3 4	(参考図)	排水フリーム用組立落差工構造図	6×6 ～ 9×9 H=1.00	
	D－4 0		田区排水工（A型）		
	D－4 1		田区排水工（地下排水型）		
	D－5 0		板及び粗朶柵工		
	D－6 0	(参考図)	地下排水工	マンホール標準型	
	D－6 2		蓋掛進入路工構造図		
	D－R 4 6		暗渠取付工	R46型	
	D－R 6 9		暗渠取付工	R69型 HP φ 900以下	
管 水 路 工	E－0 1		管水路工（塩ビ管）標準断面図		
	E－0 4		管水路工（塩ビ管）土被り H=0.60m	φ 50 ～ φ 450 粘性土	
	E－0 5		管水路工（塩ビ管）土被り H=1.00m	φ 50 ～ φ 450 粘性土	
	E－0 6		管水路工（塩ビ管）土被り H=1.20m	φ 50 ～ φ 450 粘性土	
	E－0 7	A	管水路工（塩ビ管）土被り H=0.60m	φ 50 ～ φ 450 砂質土・礫質土	基礎材：良質土
	E－0 7	B	管水路工（塩ビ管）土被り H=0.60m	φ 50 ～ φ 450 砂質土・礫質土	基礎材：現地発生土
	E－0 8	A	管水路工（塩ビ管）土被り H=1.00m	φ 50 ～ φ 450 砂質土・礫質土	基礎材：良質土
	E－0 8	B	管水路工（塩ビ管）土被り H=1.00m	φ 50 ～ φ 450 砂質土・礫質土	基礎材：現地発生土
	E－0 9	A	管水路工（塩ビ管）土被り H=1.20m	φ 50 ～ φ 450 砂質土・礫質土	基礎材：良質土
	E－0 9	B	管水路工（塩ビ管）土被り H=1.20m	φ 50 ～ φ 450 砂質土・礫質土	基礎材：現地発生土

ほ場整備事業標準設計図目次

工 種	図 面 番 号	コード番号	図 面 名 称	規 格、寸 法	備 考
管 水 路 工	E－１０		管水路工（塩ビ管）給水栓引込構造図		
	E－１１	（参考図）	管水路工（塩ビ管）W配管標準図		
	E－１５		給水栓保護管構造図	A型（コンクリート製）	
	E－１６		給水栓保護管構造図	B型（ポリ管製）	
	E－１７		給水栓保護管構造図	C型（コンクリート製）	
	E－１８	（参考図）	給水栓保護管構造図	全自動給水栓型	
	E－２０		空気弁保護工（集水柵型）	固定型・固定無型	
	E－２１		空気弁保護工（マンホール型）		
	E－２２		空気弁保護工（浅埋設用）（集水柵型）		
	E－２３		空気弁保護工（浅埋設用）（マンホール型）		
	E－２５		制水弁筐A型		
	E－２６		制水弁筐B型		
	E－２７		制水弁筐（耕地用）		
	E－２８		制水弁筐（浅埋設用）		
	E－３０		水路横断管路工		
	E－５０		階段工	H<3.00用	
	E－５１		階段工	H=3.50 ～ 6.00用	
暗 渠 排 水 工	F－０１		集、吸水渠布設標準図		
	F－０２		暗渠排水工標準図	水平水閘型	
	F－０３		暗渠排水工標準図	ネジ式水閘型	

ほ場整備事業標準設計図目次

工 種	図 面 番 号	コード番号	図 面 名 称	規 格、寸 法	備 考
暗 渠 排 水 工	F－04		暗渠排水工標準図	集水渠型	
	F－05		補助暗渠（重粘土層改良工）標準図		
	F－06	（参考図）	暗渠排水工（地下排水型）		
	F－10		ドレインヤー工法標準図		
	F－11		チップドレインヤー工法標準図		
	F－12		補助暗渠工標準図	b=200	
	F－13		補助暗渠工標準図	b=300	
	F－14		水閘部標準図	水平水閘 ϕ 65mm	
	F－15		水閘部標準図	ネジ式水閘 ϕ 65mm	
	F－16		管理孔標準図	ϕ 50mm、 ϕ 60mm	
附 帯 工	G－01		コンクリート巻立 道路横断暗渠工標準断面図（1）	支承角 90° ϕ 300 ～ ϕ 600	
	G－02		コンクリート巻立 道路横断暗渠工標準断面図（2）	支承角 90° ϕ 700 ～ ϕ 1200	
	G－03		コンクリート巻立 道路横断暗渠工標準断面図（3）	支承角 180° ϕ 300 ～ ϕ 600	
	G－04		コンクリート巻立 道路横断暗渠工標準断面図（4）	支承角 180° ϕ 700 ～ ϕ 1200	
吞 吐 工	G－10		A型暗渠吞吐工構造図（壁タイプ）	ϕ 300 ～ ϕ 350用	
	G－11		B型暗渠吞吐工構造図（壁タイプ）	ϕ 400 ～ ϕ 450用	
	G－12		C型暗渠吞吐工構造図（壁タイプ）	ϕ 500 ～ ϕ 600用	
	G－13		D型暗渠吞吐工構造図（壁タイプ）	ϕ 700 ～ ϕ 800用	
	G－14		E型暗渠吞吐工構造図（壁タイプ）	ϕ 900 ～ ϕ 1000用	
	G－15		F型暗渠吞吐工構造図（壁タイプ）	ϕ 1100 ～ ϕ 1200用	

ほ場整備事業標準設計図目次

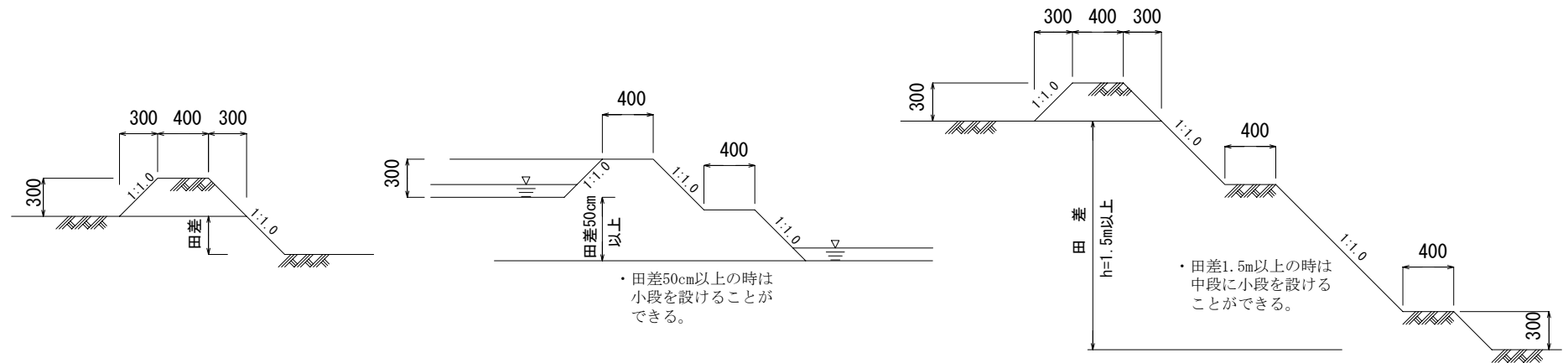
工 種	図 面 番 号	コード番号	図 面 名 称	規 格、寸 法	備 考
吞 吐 工	G－16		G型暗渠吞吐工構造図（控え壁タイプ）	φ 300 ～ φ 350用	
	G－17		H型暗渠吞吐工構造図（控え壁タイプ）	φ 400 ～ φ 450用	
	G－18		I 型暗渠吞吐工構造図（控え壁タイプ）	φ 500 ～ φ 600用	
水 槽 工	G－30		6－6型水槽構造図	0.60×0.60×0.60	
	G－31		6－8型水槽構造図	0.60×0.60×0.80	
	G－32		6－10型水槽構造図	0.60×0.60×1.00	
	G－33		8－6型水槽構造図	0.80×0.80×0.60	
	G－34		8－8型水槽構造図	0.80×0.80×0.80	
	G－35		8－10型水槽構造図	0.80×0.80×1.00	
	G－36		8－12型水槽構造図	0.80×0.80×1.20	
	G－37		10－6型水槽構造図	1.00×1.00×0.60	
	G－38		10－8型水槽構造図	1.00×1.00×0.80	
	G－39		10－10型水槽構造図	1.00×1.00×1.00	
	G－40		10－12型水槽構造図	1.00×1.00×1.20	
	G－41		10－15型水槽構造図	1.00×1.00×1.50	
	G－42		12－8型水槽構造図	1.20×1.20×0.80	
	G－43		12－10型水槽構造図	1.20×1.20×1.00	
	G－44		12－12型水槽構造図	1.20×1.20×1.20	
	G－45		12－15型水槽構造図	1.20×1.20×1.50	
	G－46		15－8型水槽構造図	1.50×1.50×0.80	

ほ場整備事業標準設計図目次

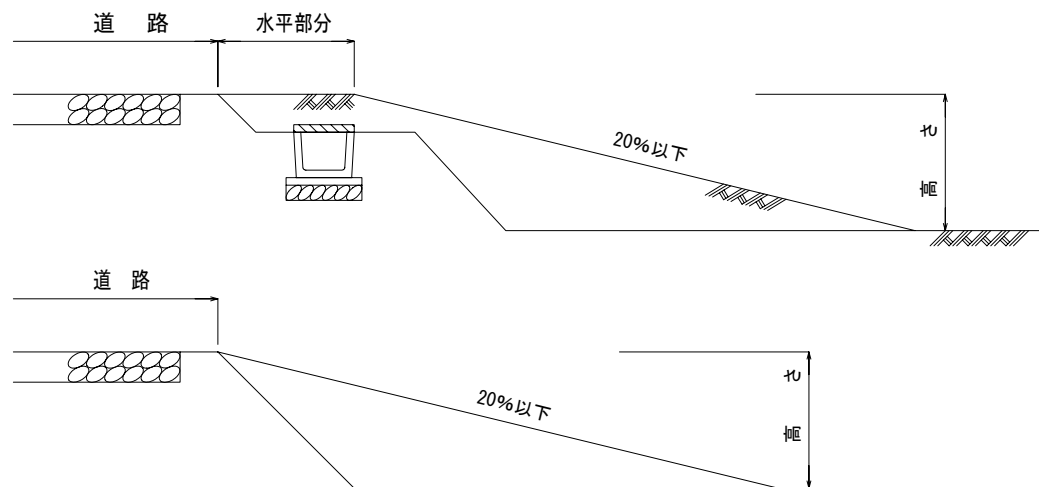
工 種	図 面 番 号	コード番号	図 面 名 称	規 格、寸 法	備 考
水 槽 工	G-47		15-10型水槽構造図	1.50×1.50×1.00	
	G-48		15-12型水槽構造図	1.50×1.50×1.20	
	G-49		15-15型水槽構造図	1.50×1.50×1.50	
	G-50		15-20型水槽構造図	1.50×1.50×2.00	
	G-51		20-10型水槽構造図	2.00×2.00×1.00	
	G-52		20-15型水槽構造図	2.00×2.00×1.50	
そ の 他	H-03		旧堰処理工		
	H-04		湧水処理工		
	H-50		鋼小構造物設置標準図	軽荷重グレーチング工、縞鋼板工 戸当り工、グレーチング枠、防護柵	
	H-51		ネットフェンス標準図		
	H-52		除雪用標示板		
	H-60		フトン竈工標準図		
簡易ゲート	H-70		分水栓	φ75 ～ φ250	
	H-71		簡易鋼製スルースゲート	φ100 ～ φ1000 S-G	
	H-72		鋳鉄製円形スルースゲート	φ100 ～ φ800 FS-SU	
	H-73		鋼製スルースゲート	φ200 ～ φ1000 SU-4	
	H-74		簡易鋼製スルースゲート	φ200 ～ φ650 ベンチフリューム用ゲート SU-5	
	H-75		簡易鋼製スルースゲート	φ200 ～ φ1000 ベンチフリューム用ゲート SU-5-1	

整 地 工

畦 畔 工



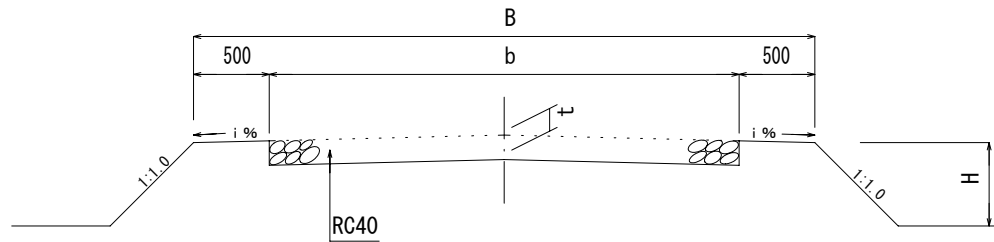
進 入 路 工



1. 進入路は、各耕区に1ヶ所を標準とし、幅員B=4.0mとする。
2. 2耕区に1ヶ所とする場合は、幅員B=8.0mとする。

道 路 工

箱 抜 型



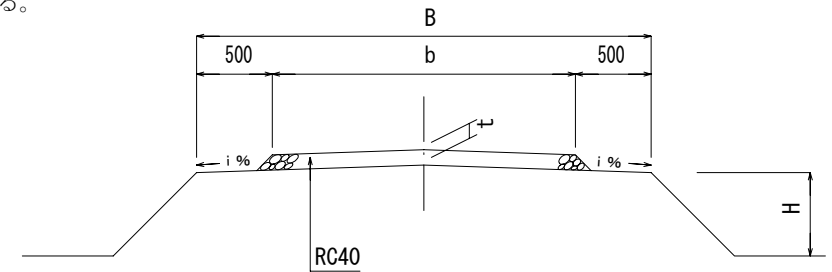
道路工標準型(箱抜き)寸法表

型	幅員(B)	高さ(H)	敷厚(t)	摘 要
02	7.00	0.30～1.00	0.10	
06	6.00	0.30～1.00	0.10	
09	5.50	0.30～1.00	0.10	
10	5.00	0.30～1.00	0.10	
12	4.00	0.30～1.00	0.10	

※ 砂利道に適用

上 置 型

※ 横断勾配は路床排水を考慮し最大3～5%の構造とする。



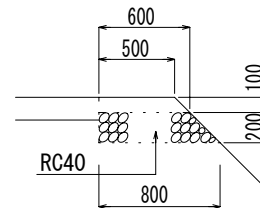
上置型寸法表

型	幅員(B)	高さ(H)	敷厚(t)	摘 要
01	3.00	0.50	0.10	
03	4.00	0.50	0.10	

路肩排水工

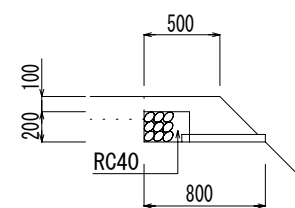
1 型

側面図

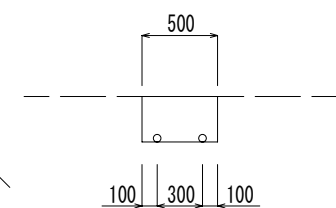


2 型

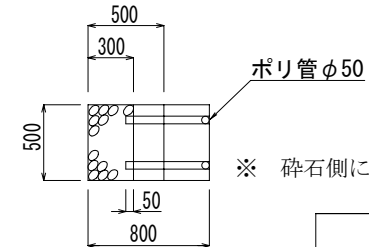
側面図



正面図



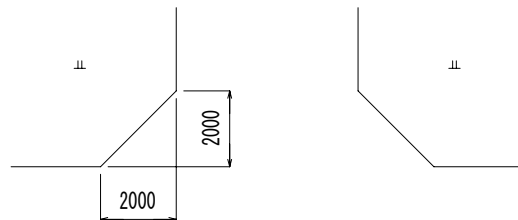
平面図



ポリ管φ50

※ 砕石側にフィルタを設置

道路隅切



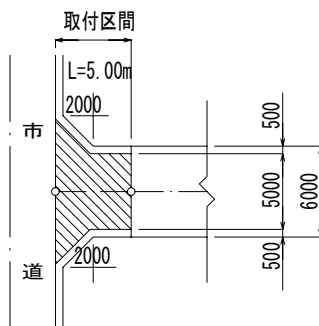
※ 幅50cmを10mちどりで設置

※ 土のう袋10枚／100m当り

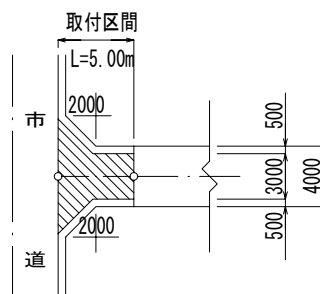
道 路 工
(箱抜型・上置型)

B-01

B 型 (B=6.00)



D 型 (B=4.00)

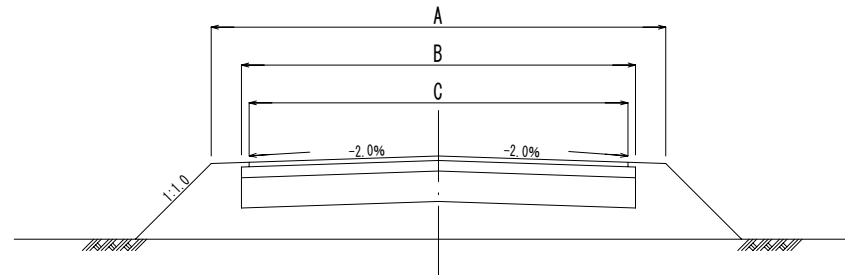


寸 法 表

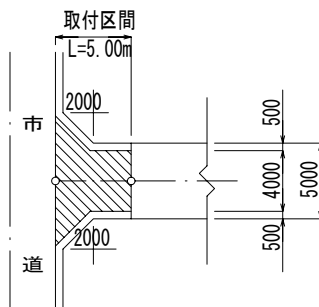
型	A	B	C
B	6000	5200	5000
C	5000	4200	4000
D	4000	3200	3000

断 面 図

S=1:100

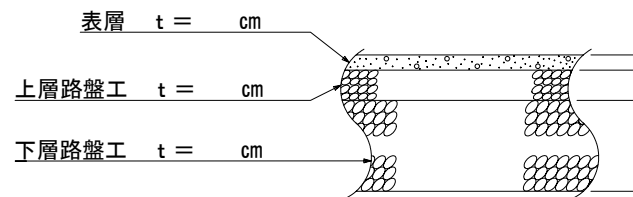


C 型 (B=5.00)



詳 細 図

S=1:20



S=1:300

取 付 道 路 工

B-02

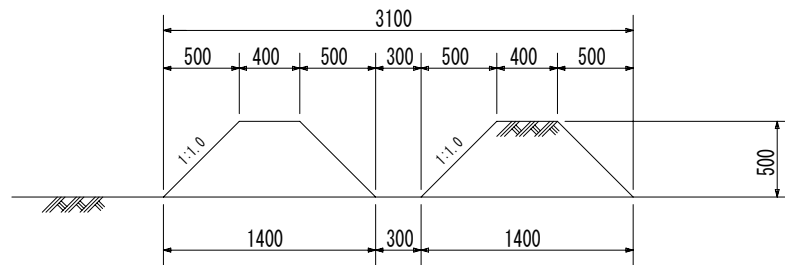
(参考図)

工 路 水 用

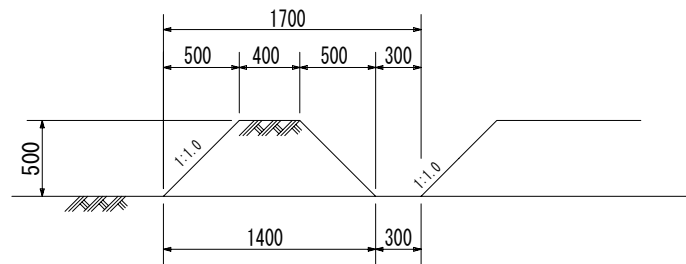
素堀小用水路標準断面図

S=1:40

小用水路（両）



小用水路（片）

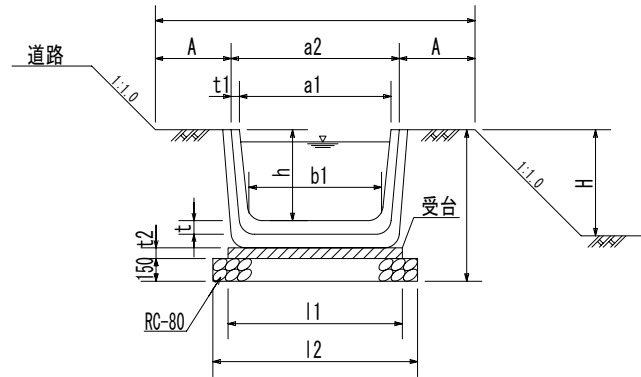


工事施工上の注意

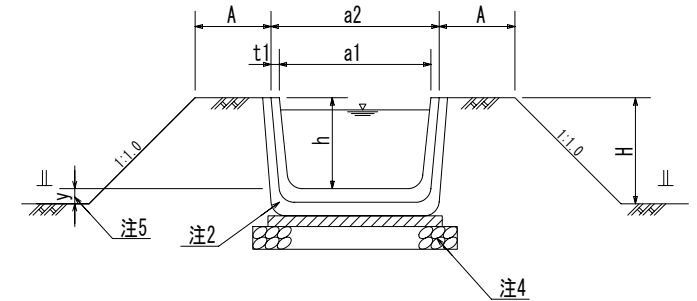
1. 溝畔用土の集積転圧は整地工に含み道路用土の集積と併せて行う。
2. 溝畔転圧は基盤切盛に使用する機種、規格のブルドーザーを用い、2回以上の履帯転圧をする。
3. 水路底は水口（分水口位置）で田面高より10cm上りを標準とする。
4. 計画縦断勾配は事前に監督職員の承諾を得た後施工するものとする。

用水路ベンチフリューム舗装工（新設用）標準断面図

A型 片溝畔



B型 両溝畔



水路底は当該耕区の間において、田面より

ソケット付ベンチフリューム寸法表 (L=2.0m)

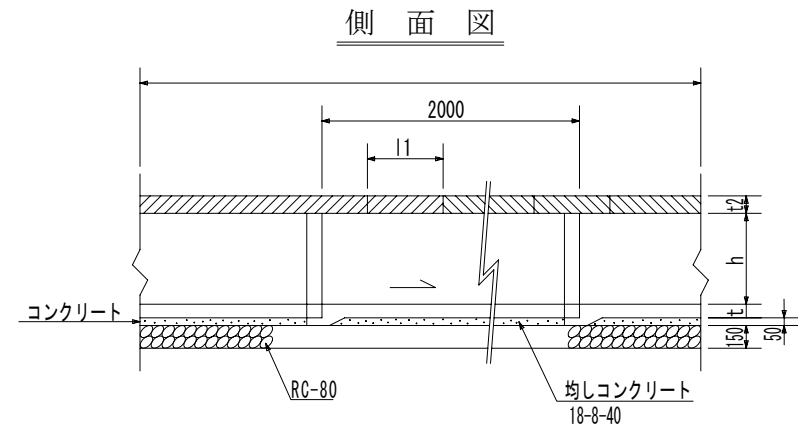
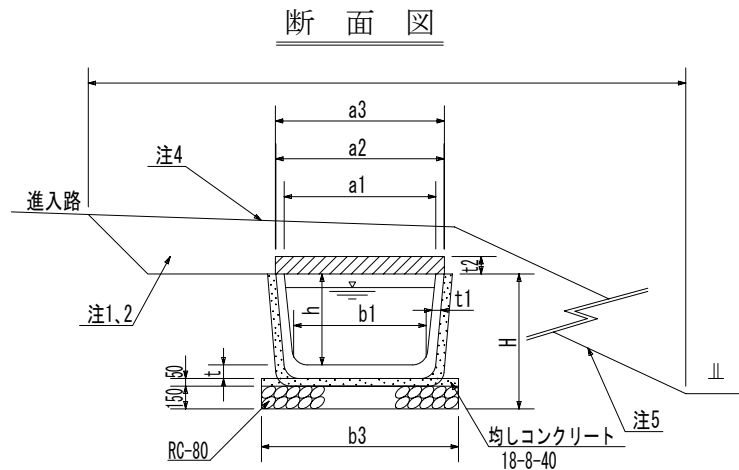
単位:mm

名称	A	H	h	a1	a2	b1	l1	l2	t1	t2	d1	d2	t
BF250	300	300	175	250	310	215	340	650	30	50	130	400	35
300	400	300	200	300	360	260	450	650	30	50	130	400	40
350	400	300	235	350	420	300	450	650	35	50	130	400	45
400	400	350	260	400	480	345	560	760	40	50	130	400	50
450	400	400	295	450	530	390	560	760	40	50	130	400	50
500	400	400	320	500	590	435	680	880	45	60	160	400	55
550	400	450	355	550	640	475	680	880	45	60	160	400	60
600	500	500	380	600	690	520	780	980	45	60	160	400	60
650	500	500	415	650	740	565	780	980	45	60	160	400	65
700	500	550	440	700	800	610	940	1140	50	70	160	400	70
800	500	600	490	800	900	695	940	1140	50	70	160	400	75
900	500	650	550	900	1010	785	1150	1350	55	70	160	400	85
1000	500	700	600	1000	1110	875	1150	1350	55	70	160	400	90

工事施工上の注意

- 道路用土の集積の際、用水路分も含めて行う。
- ソケット部は内外面共円形状の製品とする。
- タイトの種類については、監督職員の承諾事項とする。
- 受台基礎はコンパクター等により十分に突固めを行うものとする。
- 水路底は当該耕区の間において、田面より10cm以上上げる事を原則とする。
- 計画縦断勾配は監督職員の承諾を得た後施行するものとする。
- 曲線部の施行はソケット部からの漏水の無いよう十分注意を払い必要に応じてコンクリート等による巻き立保護を行う。
- 溝畔土工は素堀小用“注意”1、2に準ずる。

用水路ベンチフリューム蓋かけ進入路工標準据付構造図



工事施工上の注意

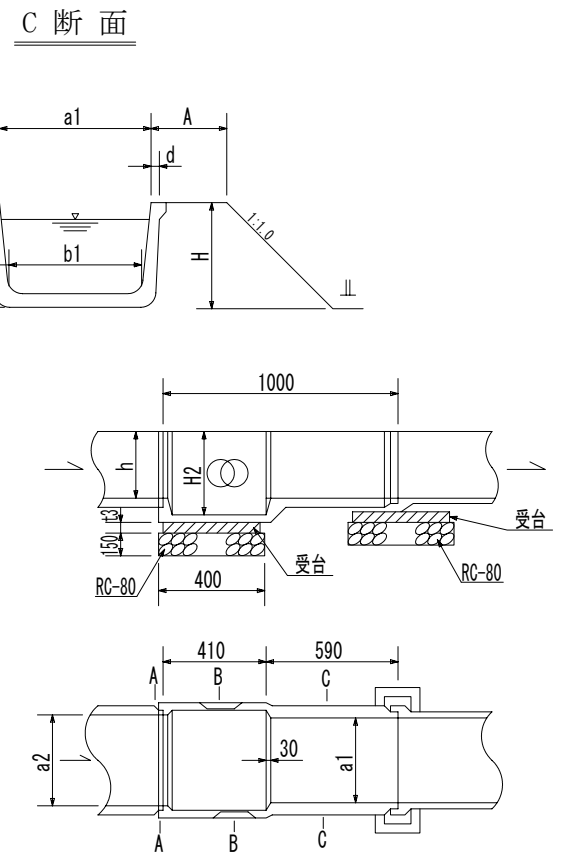
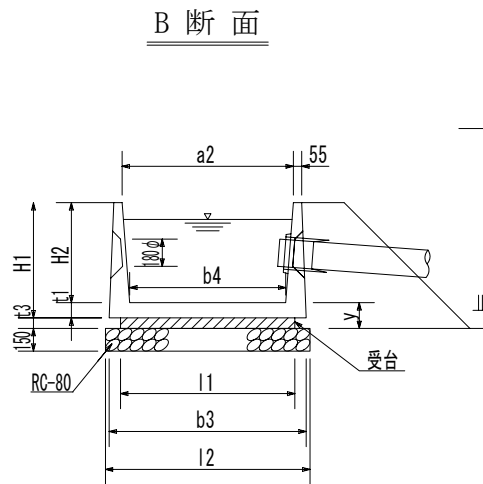
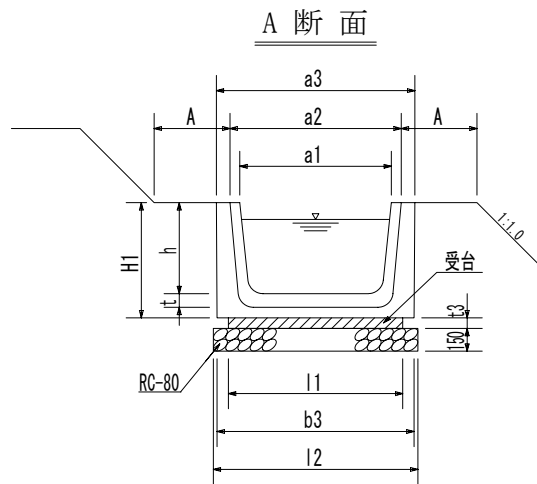
渡り施設（進入路）工寸法表

単位：mm

名称	a1	a2	a3	t1	t2	h	l1	b1	t	b3	H
BF250	250	310	330	30	60	175	500	215	35	550	410
300	300	360	380	30	60	200	500	260	40	600	440
350	350	420	440	35	60	235	500	300	45	650	480
400	400	480	510	40	75	260	500	345	50	700	510
450	450	530	560	40	75	295	500	390	50	750	545
500	500	590	620	45	75	320	500	435	55	800	575
550	550	640	640	45	90	355	500	475	60	850	615
600	600	690	690	45	90	380	500	520	60	900	640
650	650	740	740	45	90	415	500	565	65	950	680
700	700	800	800	50	90	440	500	610	70	1000	710
800	800	900	900	50	95	490	500	695	75	1100	765
900	900	1010	1010	55	115	550	500	785	85	1200	835
1000	1000	1110	1115	55	115	600	500	875	90	1300	890

1. 進入路用土は、ほ場内流用とし基礎切盛の際、道路用土と併せて盛土を行い、隣接する耕区からバックホウ等で寄土してはいけない。
2. 路床用土は基盤切盛（面工事のある場合）に使用する機種規格のブルドーザーを用い、2回以上の履帯転圧をする。
3. 道路肩より用水路溝畔部までの縦断勾配は規則として道路の横断勾配に準じ、路肩より高く盛土する場合は監督職員の承諾を得た後に施行するものとする。
4. 進入路は各耕区1ヵ所を標準とし、原則としてB=4.0m、I=20%（11.3°）以下とする。
5. 計画縦断勾配は監督職員の承諾を得た後に施行するものとする。
6. ツキ合せ型B、Fを使用する場合は承諾事項とし、目地材は原則として伸縮用材とする。
7. 基礎はコンパクター等により十分突固めを行う。

掛口用ベンチフリューム工標準据付構造図



掛口用ベンチフリューム寸法表 (L=1.0m)

単位:mm

名称	a1	a2	a3	b1	b3	b4	h	H1	H2	t	t1	d	l1	l2
BF250	250	330	400	215	390	275	175	300	265	35	45	30	340	540
300	300	380	460	260	450	320	200	320	280	40	50	30	450	650
350	350	440	530	300	520	375	235	350	305	45	55	35	450	650
400	400	500	600	345	590	435	260	370	320	50	60	40	560	760
450	450	550	650	390	640	475	295	405	355	50	65	40	560	760
500	500	610	720	435	710	530	320	440	385	55	65	45	680	880
550	550	660	780	475	770	575	355	485	425	60	70	45	680	880
600	600	710	830	520	820	620	380	510	450	60	70	45	780	980
650	650	760	890	565	880	665	415	550	485	65	75	45	780	980
700	700	820	960	610	950	720	440	580	510	70	80	50	940	1140
800	800	920	1070	695	1060	820	490	635	560	75	85	50	940	1140
900	900	1030	1200	785	1190	930	550	705	620	85	95	55	1150	1350
1000	1000	1130	1310	875	1300	1030	600	760	670	90	100	55	1150	1350

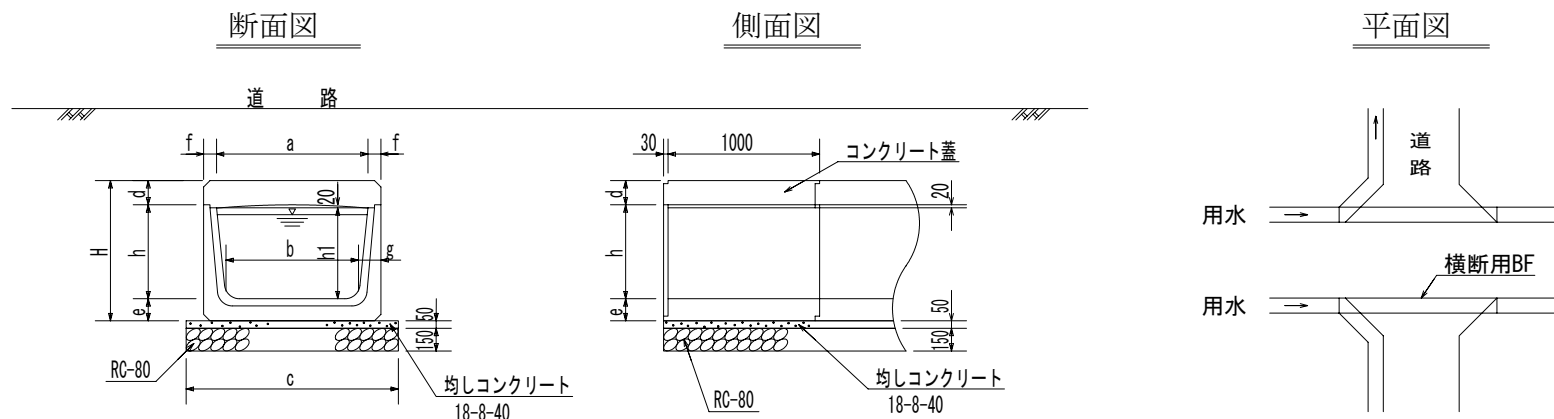
工事施工上の注意

1. A及びH寸法は用水路舗装工、新設、手当工事用寸法表に準ずる。
2. X及びY寸法は用水路舗装工、新設寸法表に準ずる。
3. その他工事施工上の取扱については用水路舗装工新設用及び手当工事用施工上の注意によるものとする。
4. B断面水路底部は当該工区の田面高より下がってはいけない。
5. 吞吐ロジョイント部は、Ⅱ型ベンチフリューム寸法と合致する事。
6. t1、a3、b3、b4、H1、H2寸法は県統一指導寸法。

掛口用ベンチフリューム工
標準据付構造図

C-04

横断用ベンチフリューム工標準据付構造図



横断用BF寸法表

単位:mm

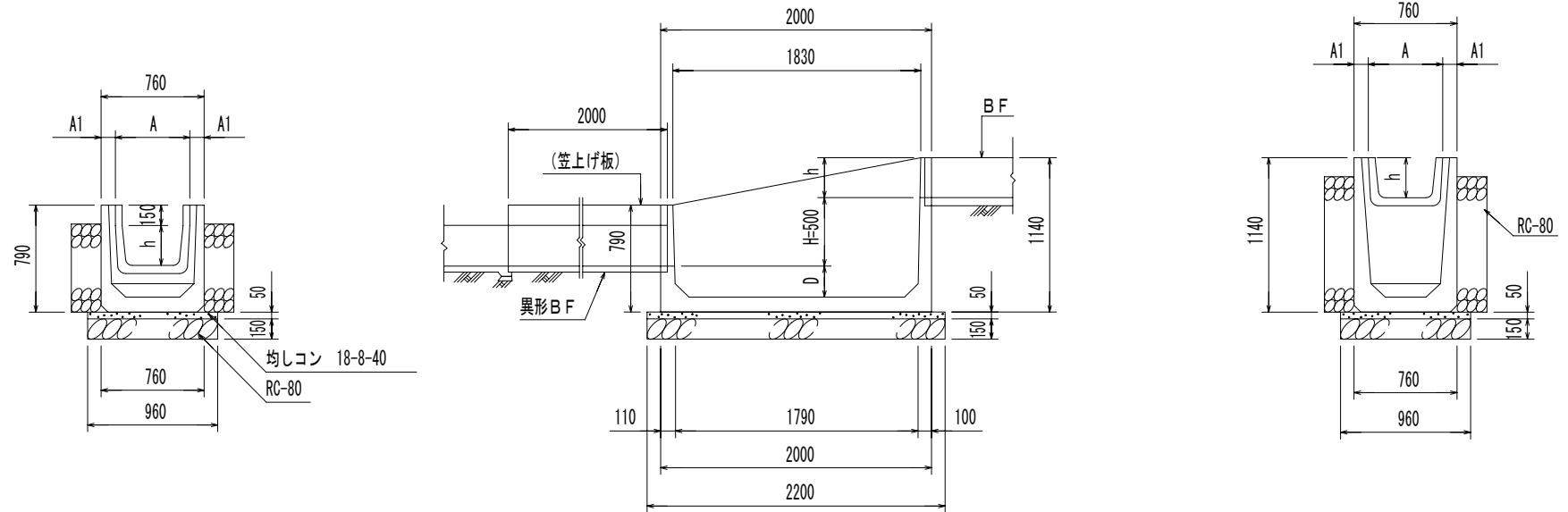
名称	a	b	c	d	e	f	g	h	h1	H
BF250	250	215	550	95	65	50	65	195	175	355
300	300	260	650	105	70	60	70	220	200	395
350	350	300	700	110	80	60	80	255	235	445
400	400	345	750	115	90	65	90	280	260	485
450	450	390	800	120	90	65	90	315	295	525
500	500	435	850	125	100	70	100	340	320	565
550	550	475	900	125	110	75	110	375	355	610
600	600	520	950	130	110	75	110	400	380	640
650	650	565	1000	135	115	75	115	435	415	685
700	700	610	1050	140	120	75	120	460	440	720
800	800	695	1200	145	125	80	125	510	490	780
900	900	785	1300	150	135	80	135	570	550	855
1000	1000	875	1400	160	145	85	145	620	600	925

工事施工上の注意

- 掘削残土は監督職員の指示に基づき指定された場所に捨土するものとする。
- 計画縦断勾配は監督職員の承諾を得た後に施行するものとする。
- 吞吐ロジョイント部はⅡ型ベンチフリューム寸法と合致する事。
- e、f、d、g 寸法は県統一指導寸法である。
- 基礎はコンパクター等により十分突固めを行う。

ベンチフリューム用落差工(300~450)

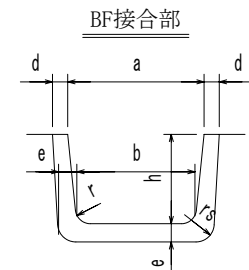
H=0.50



呼び名	寸 法 (mm)									
	D	h	a	b	d	e	r	rs	A	A1
300	340	200	300	260	40	50	40	50	380	190
350	305	235	350	300	45	55	50	60	440	160
400	280	260	400	345	50	60	50	60	500	130
450	245	295	450	390	50	60	50	60	550	105

工事施工上の注意

吞吐壁とベンチフリュームの取付部は必要に応じコンクリートコーキング施工とする。

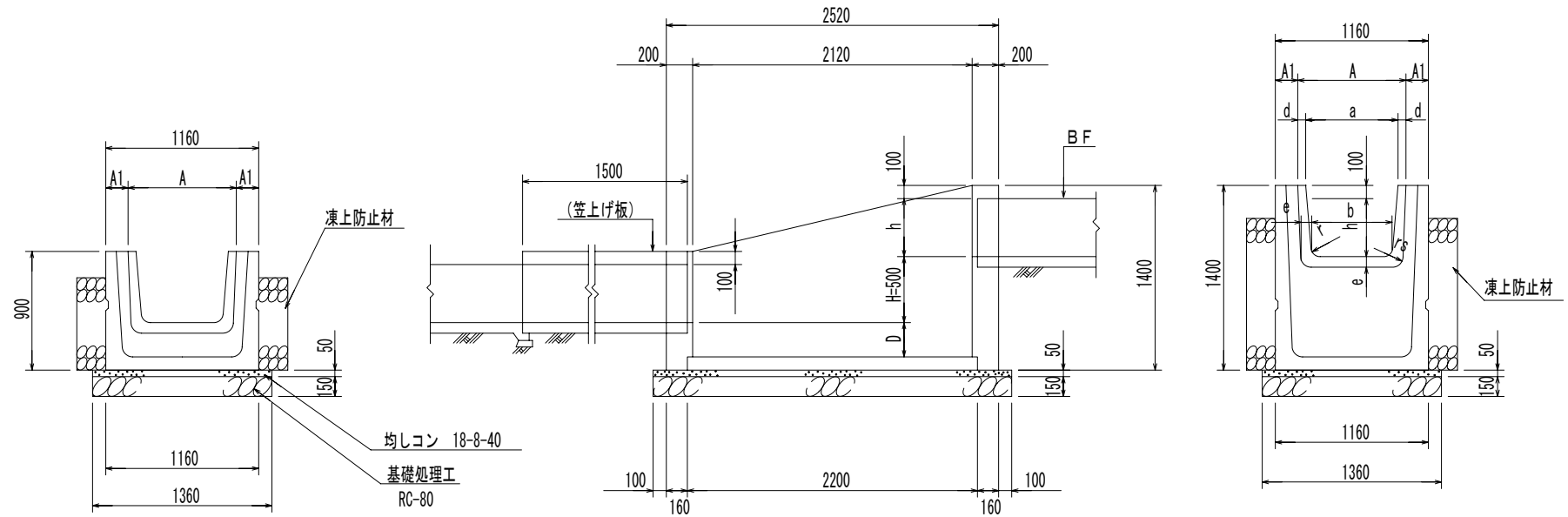


BF落差工 (H=500)
300~450

C-10

ベンチフリューム用落差工(500～700)

H=0.50



工事施工上の注意

吞吐壁とベンチフリュームの取付部は必要に応じコンクリートコーキング施工とする。

呼び名	寸 法 (mm)									
	D	h	a	b	d	e	r	rs	A	A1
500	380	320	500	435	55	65	60	70	610	275
550	345	355	550	475	55	70	60	70	660	250
600	320	380	600	520	55	70	60	70	710	225
650	285	415	650	565	55	75	70	80	760	200
700	260	440	700	610	60	80	70	80	820	170

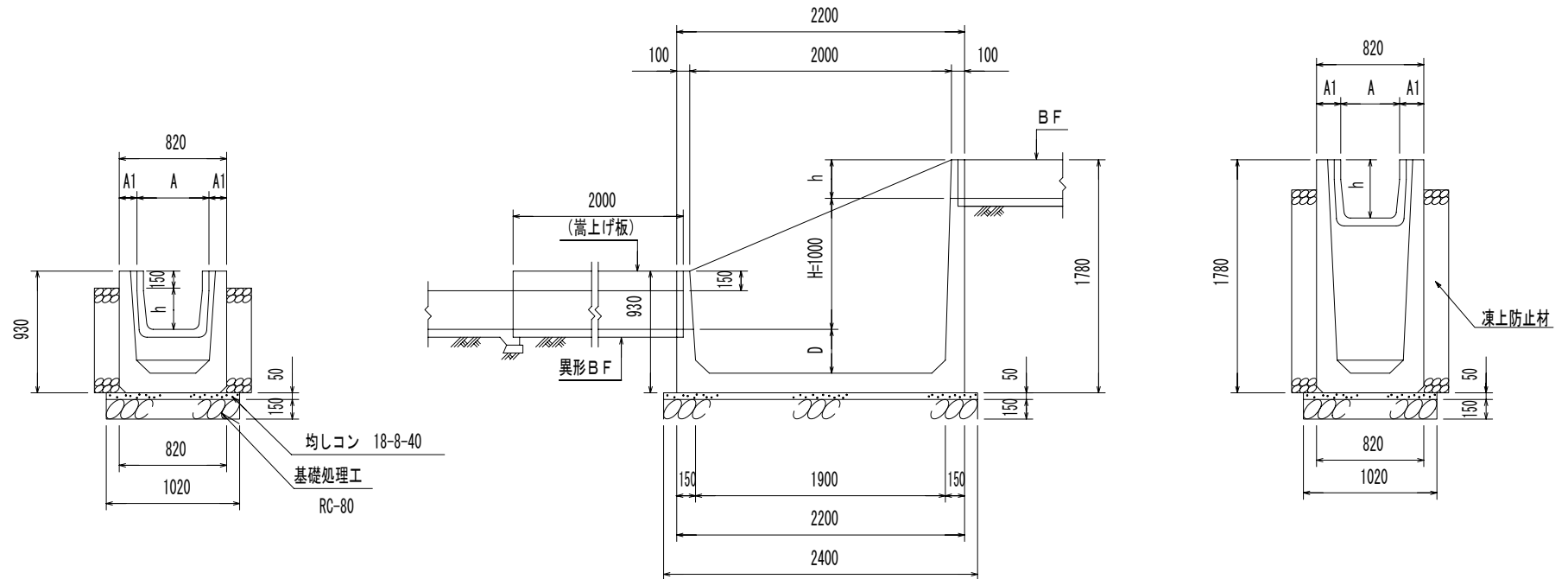
BF落差工 (H=500)

500～700

C-11

ベンチフリューム用落差工(300～450)

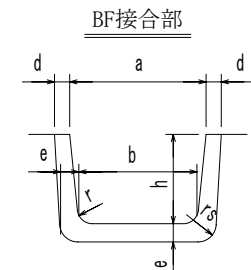
H=1.00



呼び名	寸 法 (mm)									
	D	h	a	b	d	e	r	rs	A	A1
300	430	200	300	260	40	50	40	50	380	220
350	395	235	350	300	45	55	50	60	440	190
400	370	260	400	345	50	60	50	60	500	160
450	335	295	450	390	50	60	50	60	550	135

工事施工上の注意

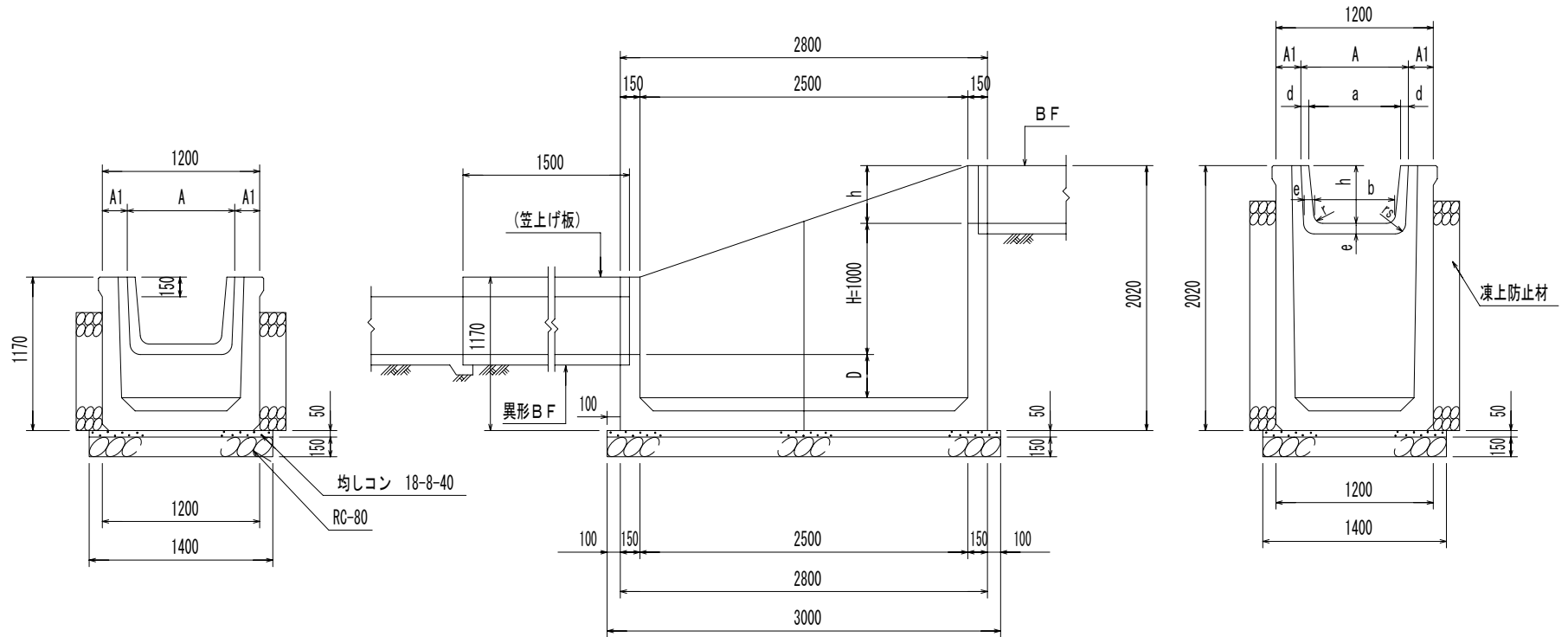
吞吐壁とベンチフリュームの取付部は必要に応じコンクリートコーキング施工とする。



BF落差工 (H=1000)
300～450

C-12

ベンチフリューム用落差工(500~700)



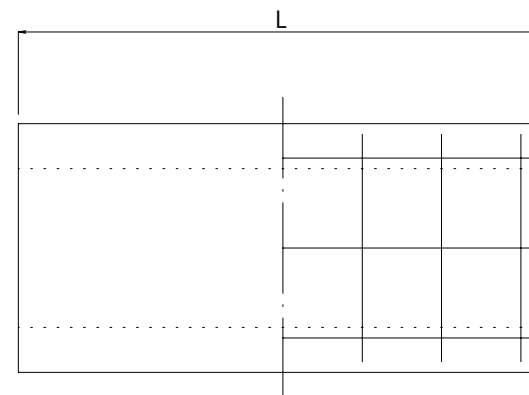
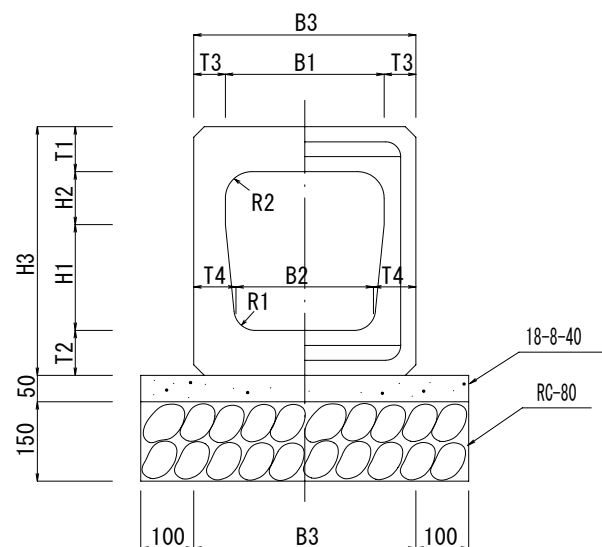
呼び名	寸 法 (mm)									
	D	h	a	b	d	e	r	rs	A	A1
500	550	320	500	435	55	65	60	70	610	295
550	515	355	550	475	55	70	60	70	660	270
600	490	380	600	520	55	70	60	70	710	245
650	455	415	650	565	55	75	70	80	760	220
700	430	440	700	610	60	80	70	80	820	190

工事施工上の注意

吞吐壁とベンチフリュームの取付部は必要に応じコンクリートコーキング施工とする。

ベンチボックス

断面図



規格表

呼び名	形状寸法 (mm)												参考質量 (kg)		
	B1	B2	B3	H1	H2	H3	T1	T2	T3	T4	R1	R2	目地長	L=1.000	L=2.000
300	300	260	420	200	100	470	85	85	60	80.0	40	50	1.490	274	547
350	350	300	480	235		515	90	90	65	90.0	50		1.680	334	668
400	400	345	530	260		540	90	90	65	92.5	50		1.830	367	724
450	450	390	580	295		585	95	95	65	95.0	50		2.010	420	840
500	500	435	640	320		620	100	100	70	102.5	60		2.180	484	968
550	550	475	690	355		665	105	105	70	107.5	60		2.360	544	1.090
600	600	520	740	380		690	105	105	70	110.0	60		2.510	583	1.170
650	650	565	800	415		735	110	110	75	117.5	70		2.700	665	1.330
700	700	610	850	440		770	115	115	75	120.0	70		2.860	726	1.450
800	800	695	960	490		830	120	120	80	132.5	70		3.180	858	1.720
900	900	785	1.060	550		900	125	125	80	137.5	80		3.510	982	1.960
1000	1000	875	1.170	600		970	135	135	85	147.5	80		3.840	1.160	2.310

工事施工上の注意

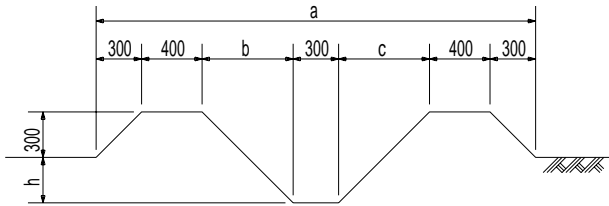
1. 目地材の種類については、監督職員の承諾事項とする。
2. 計画縦断勾配は監督職員の承諾を得た後施工するものとする。

排水路工

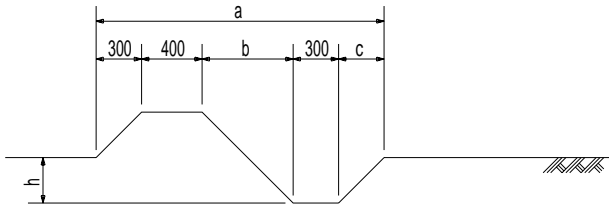
素堀小排水路標準断面図

S=1:60

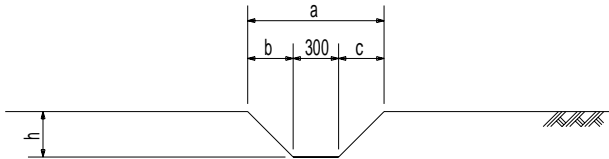
2型 両溝畔



1型 片溝畔



0型 無溝畔



素堀小排水路寸法表 (mm)

名称	h	a	b	c
A-2	300	2900	600	600
A-1	300	1900	600	300
A-0	300	900	300	300
B-2	700	3700	1000	1000
B-1	700	2700	1000	700
B-0	700	1700	700	700
C-2	1000	4300	1300	1300
C-1	1000	3300	1300	1000
C-0	1000	2300	1000	1000
D-2	1200	4700	1500	1500
D-1	1200	3700	1500	1200
D-0	1200	2700	1200	1200

工事施工上の注意

名称について

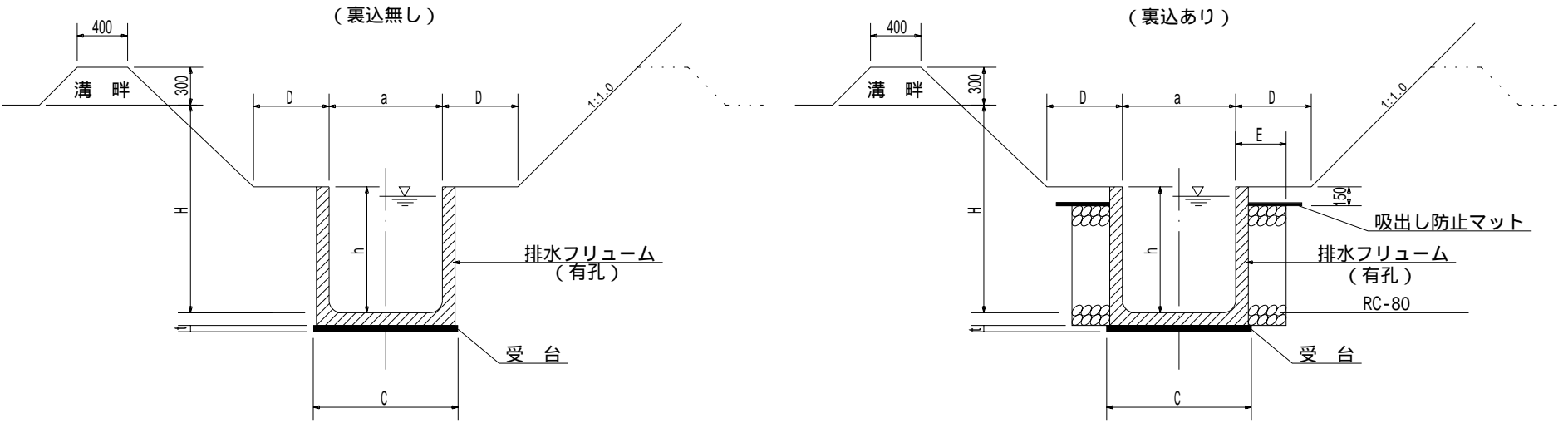
1. アルファベット A、B、C、D は水路深さ 0.30、0.70、1.00、1.20m を各々示す。
2. 数字 2、1、0 は溝畔のタイプ両溝畔、片溝畔、無溝畔を各々示す。

例) 名称 B-2 は、深さ 0.70m の両溝畔

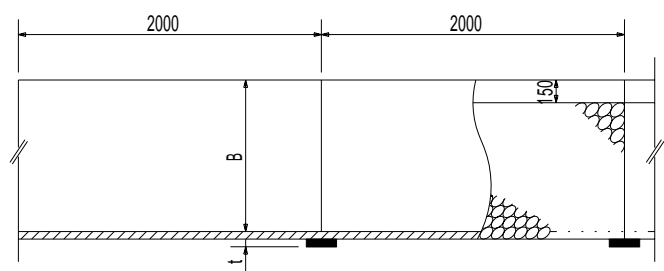
3. 排水路の計画は、C 型を標準とする。



排水フリーム舗装標準断面図

断面図

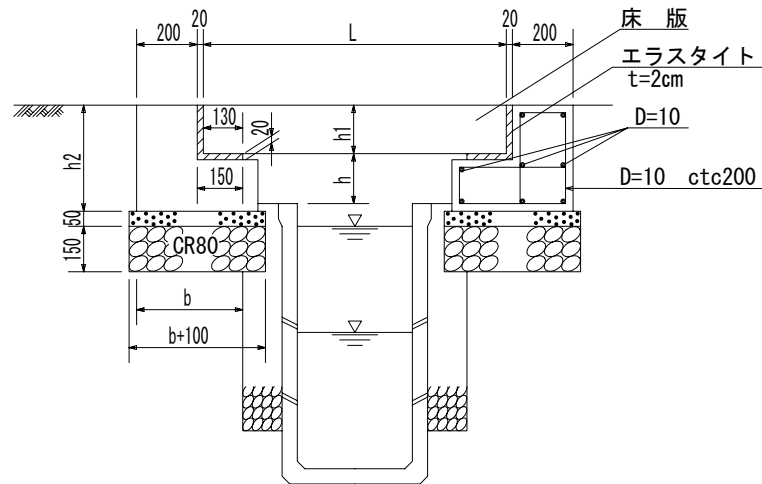


側面図

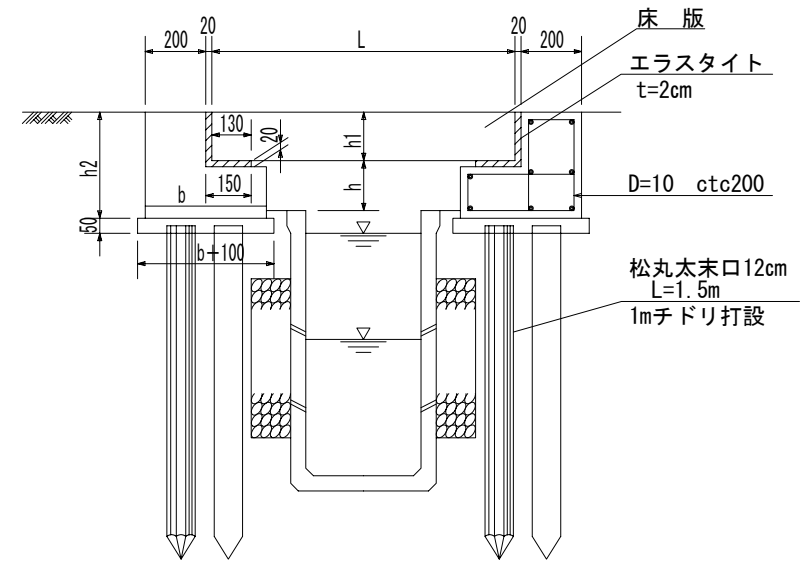


型 \ 寸法	a	h	C	t	D	E
300 × 300	300	300	450	50	400	
400 × 400	400	400	560	50	400	
400 × 500	400	500	560	50	400	
500 × 500	500	500	680	60	400	
500 × 600	500	600	680	60	500	
600 × 600	600	600	780	60	500	
600 × 700	600	700	780	60	500	
700 × 700	700	700	940	70	500	
700 × 800	700	800	940	70	500	
800 × 800	800	800	940	70	500	
800 × 900	800	900	940	70	500	
900 × 900	900	900	1,150	70	500	
900 × 1,000	900	1,000	1,150	70	500	
1,000 × 1,000	1,000	1,000	1,150	70	500	

F・F型床版工



P・F型床版工



型	L	h1	h2	b	m当り 鉄筋 kg	m当り タイト m ²	T L	床 版
-13	1,320	160	350	400	16	0.6	6.10 ton	BF1000 型蓋
-13		160 (150)	350	400	16	0.6	〃	R C 橋板
-10	1,000	180 (200)	400	450	17	0.7	〃	R C 橋板
-15	1,500	220 (250)	500	500	19	0.8	〃	〃
-20	2,000	220 (300)	600	600	21	0.9	〃	〃
-25	2,500	240 (300)	600	600	21	0.9	〃	〃
-30	3,000	240 (350)	650	650	23	1.0	〃	〃
-35	3,500	260 (350)	650	650	23	1.0	〃	〃
-40	4,000							

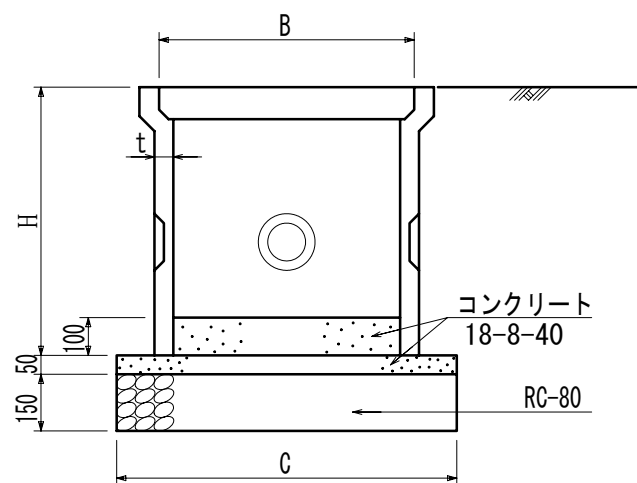
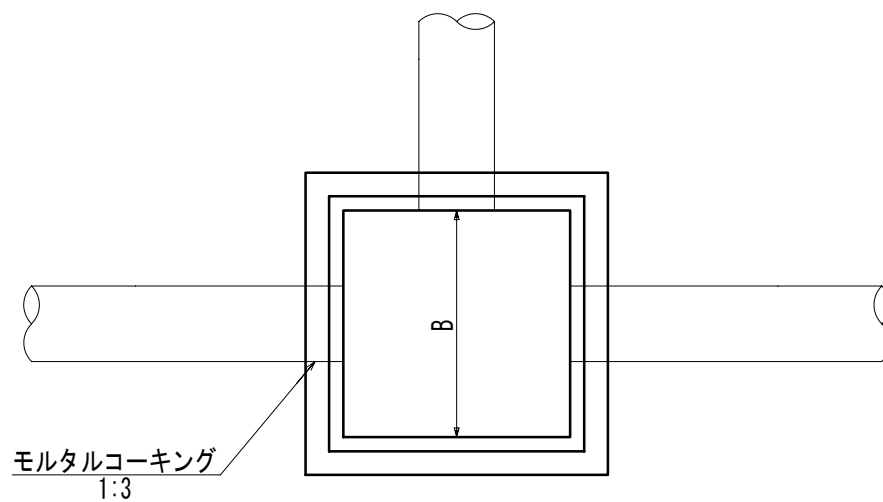
施工上の注意

1. h 寸法は200mm以上とし、監督職員の指示による。
2. 土質により P・F 型に変更することがある。
3. 縁切りタイト寸法はh1に同じとする。
4. RC床版を使用する場合の施工幅は500mm単位とし、橋版の場合は750mm単位とする。
5. () 内数字は750mm橋版使用による施工寸法を示す。

F・F型床版工
P・F型床版工

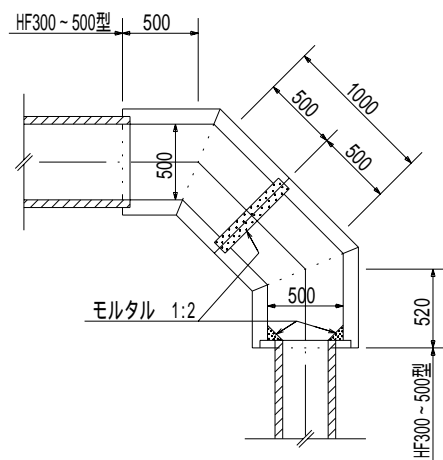
D-11

集水桝

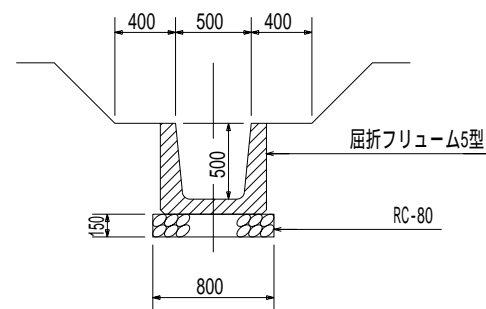


型	B	H	t	C
30	300	430	30	550
36	360	490	35	600
45	450	600	40	700
60	600	650	50	900

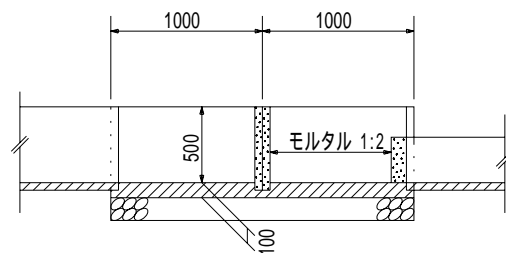
平面図



断面図



展開図



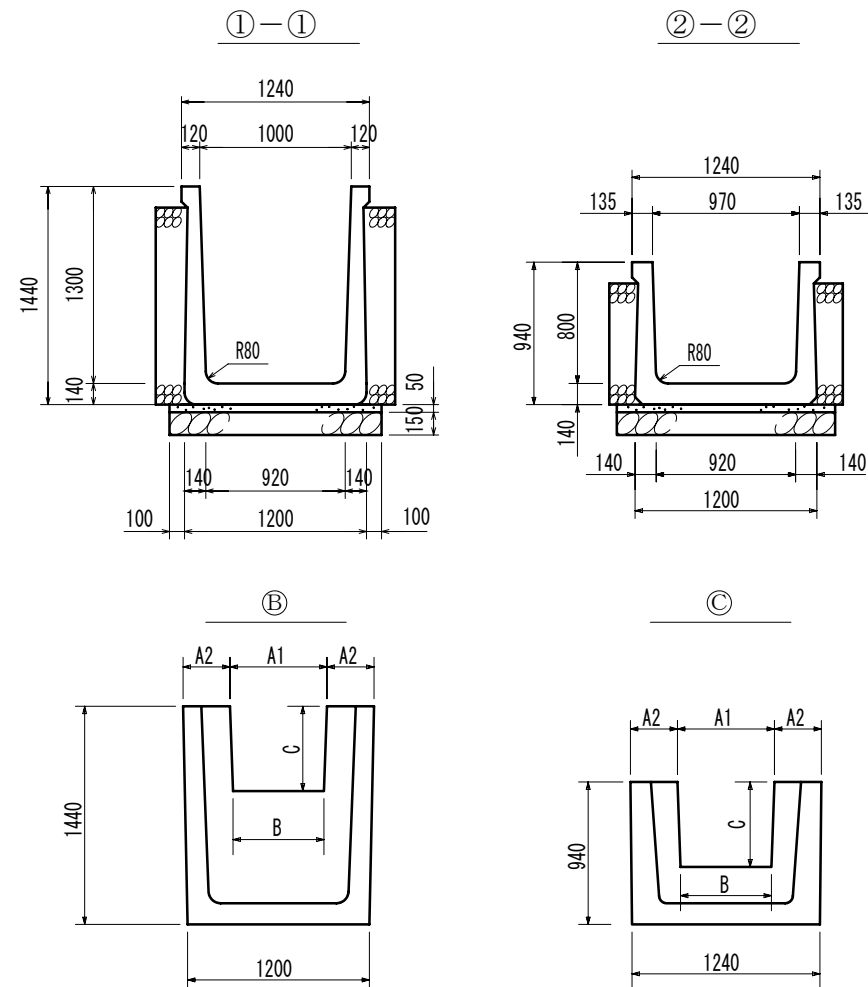
注記 $\neq 45^\circ$ の場合は、屈折フリューム 1 個を使用する。
 屈折角 の調整はジョイント部で行い、間げき部は
 モルタルを充填する。

S=1:20

屈 折 工			D - 2 0
形式	$\neq 90^\circ$	$\neq 45^\circ$	

$H=0.50$ 

呼び名 (巾×高)	寸 法 (mm)					
	H	D	A1	A2	B	C
300×300	300	500	440	400	400	355
400×400	400	400	540	350	500	455
400×500	500	300	540	350	500	555
500×500	500	300	640	310	600	560



S=1:50

排水フリーム用組立落差工
構 造 図
3×3～5×5 H=0.50

D-30
(参考図)

H=0.50

[illegible]

Technical drawing of a mechanical part (Fig. 1.10) showing front and side views with dimensions.

Front View (Top):

- Overall width: 3860
- Distance from left edge to start of main body: 200
- Distance from start of main body to end of tapered section: 3660

Side View (Left):

- Overall height: 1000
- Distance from top edge to centerline: 600
- Distance from left edge to start of main body: 160
- Distance from start of main body to end of tapered section: 2200
- Distance from end of tapered section to right edge: 1500
- Overall width: 3860

Sectional View (Right):

- Distance from right edge to start of main body: 600

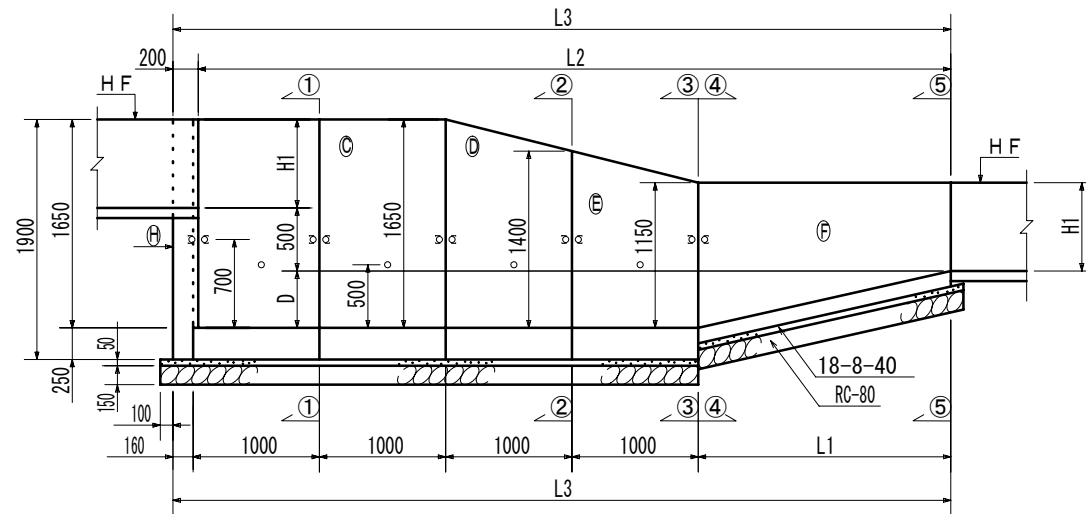
排水フリーム用組立落差工
構造図
6×6 H=0.50

(参考図)

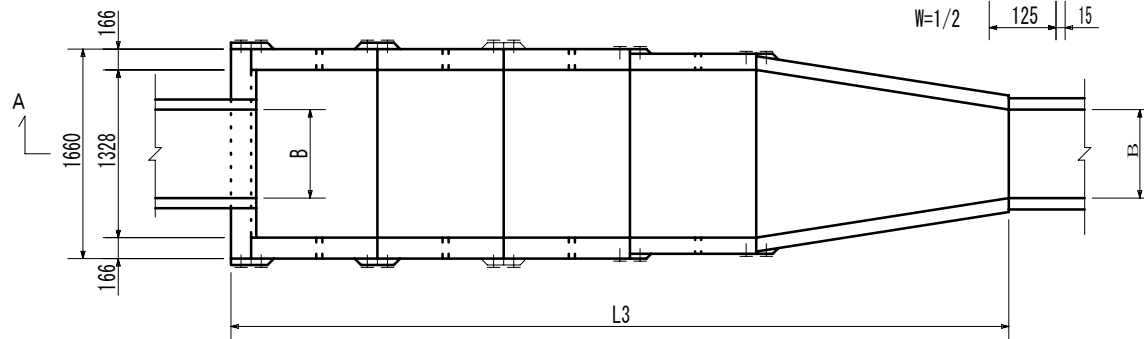
排水フリーム用組立落差工

H=0.50

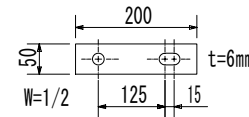
A-A断面図



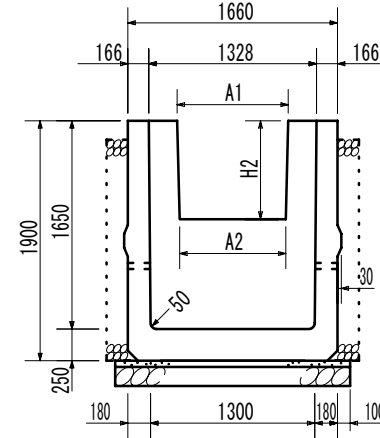
平面図



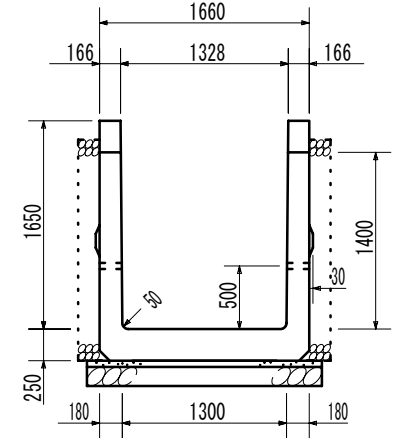
プレート



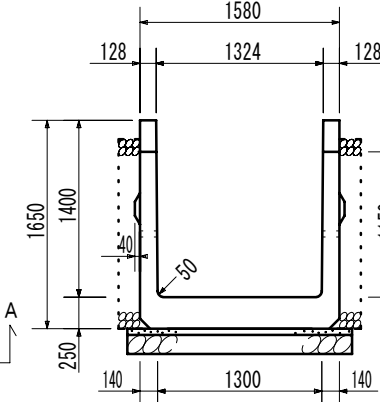
①-①



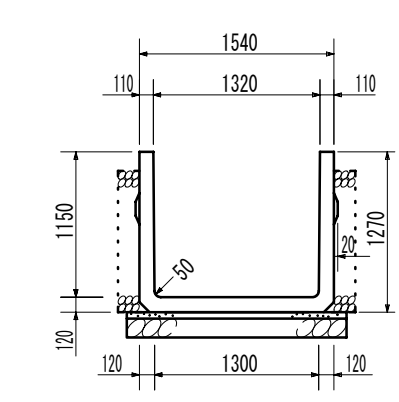
②-②



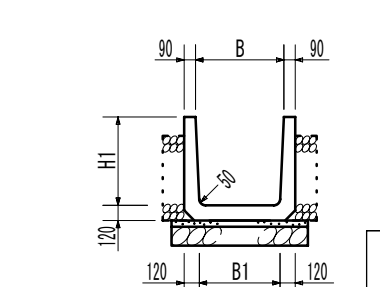
③-③



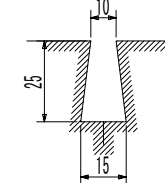
④-④



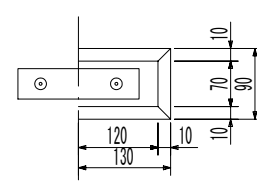
⑤-⑤



目地



継手



S=1:60

H=700

呼び名 (巾×高)	寸 法 (mm)									
	B	H1	L1	L2	L3	D	B1	A1	A2	H2
700×700	700	700	2000	5960	6160	450	640	880	840	780
800×800	800	800	1750	5710	5910	350	740	980	940	885
900×900	900	900	1500	5460	5660	250	840	1080	1040	995

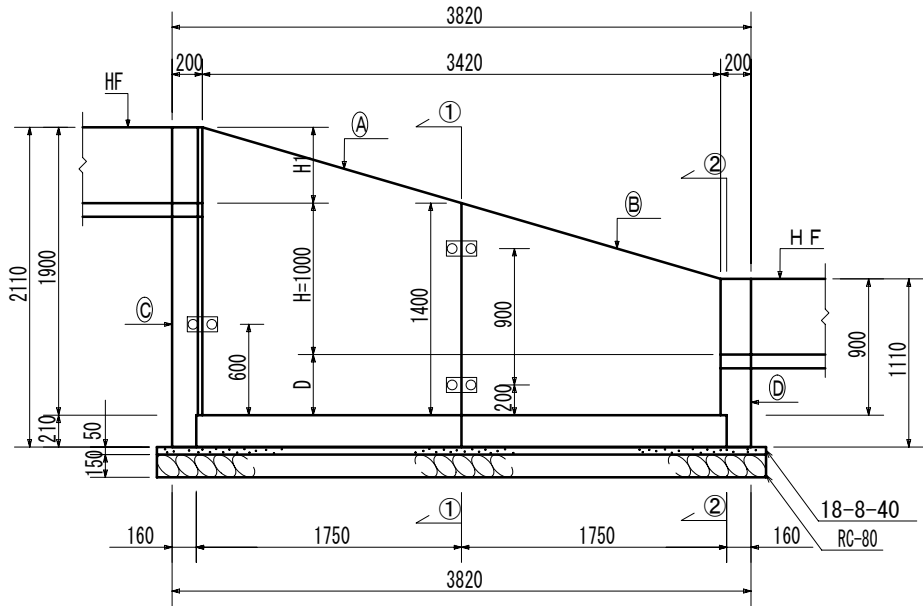
排水フリーム用組立落差工
構 造 図
7×7~9×9 H=0.50

D-32
(参考図)

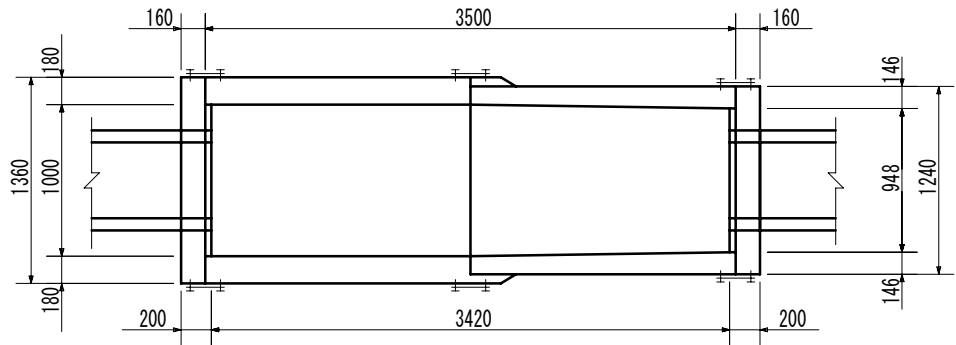
排水フリーム用組立落差工

H=1.00

A-A 断面図

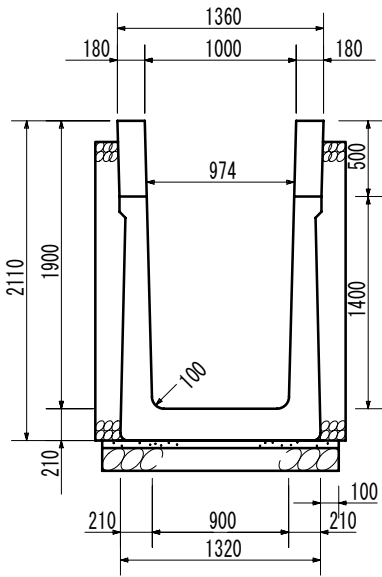


平面図

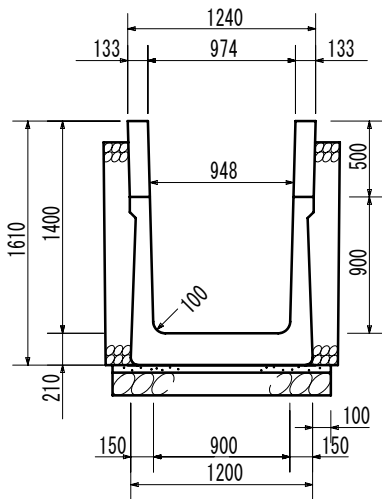


呼び名 (巾×高)	寸 法 (mm)				
	D	H1	A	B	C
300×300	600	300	440	400	355
400×400	500	400	540	500	455
400×500	400	500	540	500	555
500×500	400	500	640	600	560

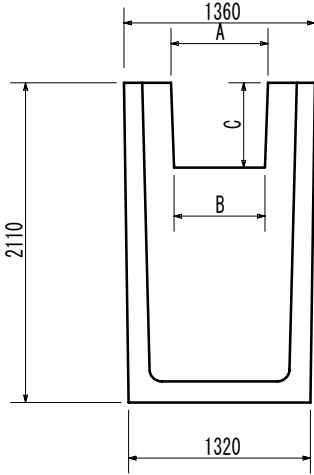
①-①



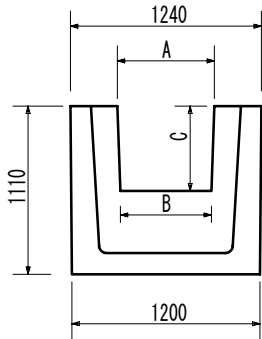
②-②



③



④



S=1:50

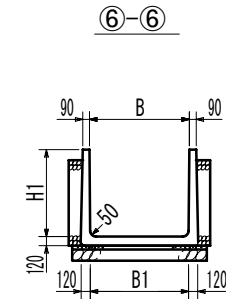
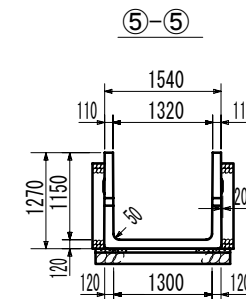
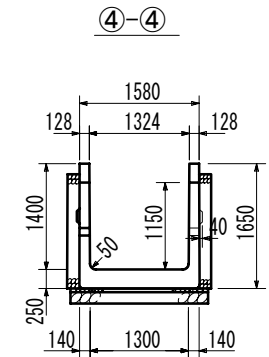
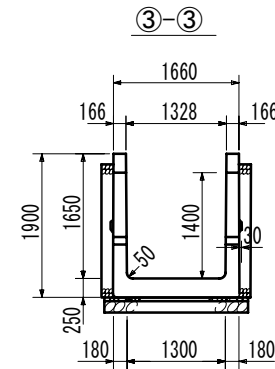
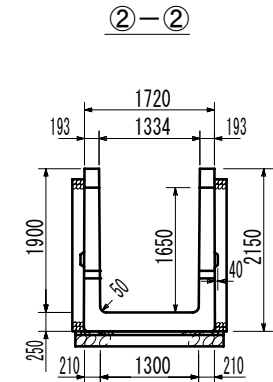
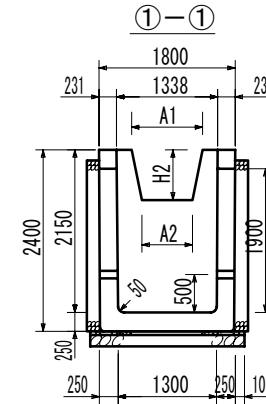
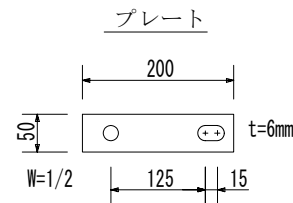
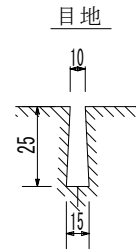
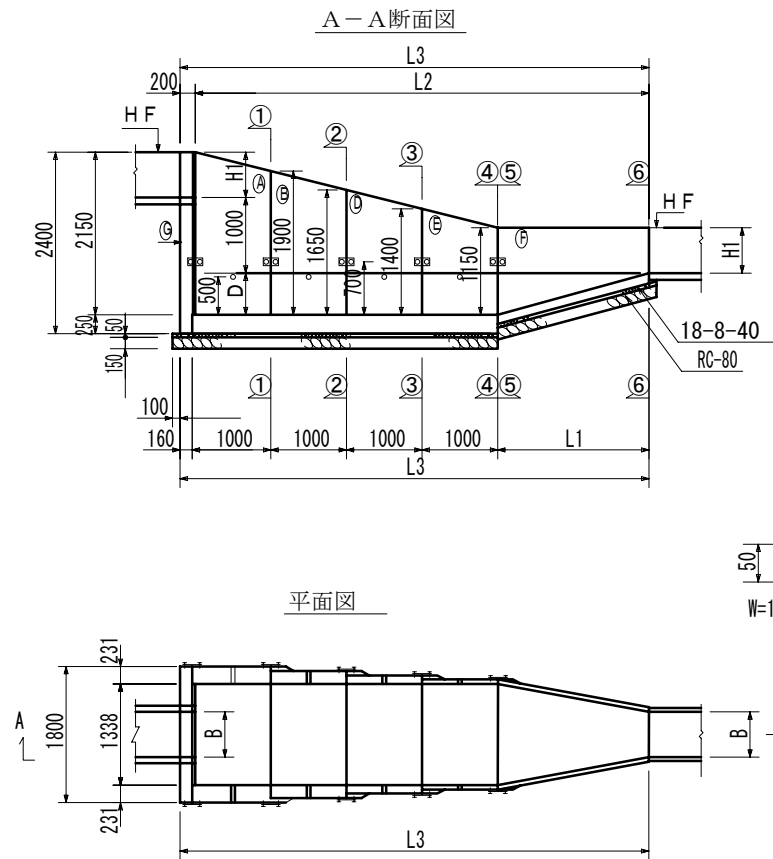
排水フリーム用組立落差工
構 造 図
3×3~5×5 H=1.00

D-33

(参考図)

排水フリーム用組立落差工

H=1.00



S=1:100

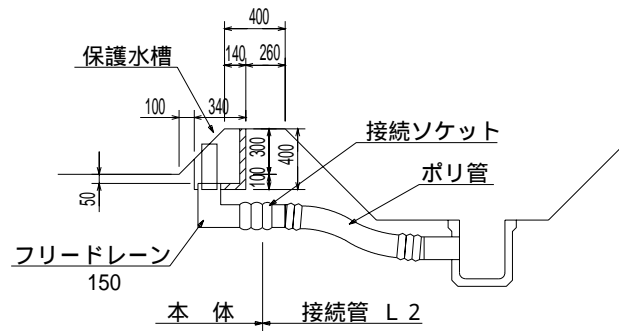
呼び名 (巾×高)	寸 法 (mm)									
	B	H1	L1	L2	L3	D	B1	A1	A2	H2
600×600	600	600	2000	5960	6160	550	540	750	680	665
700×700	700	700	2000	5960	6160	450	640	880	840	780
800×800	800	800	1750	5710	5910	350	740	980	940	885
900×900	900	900	1500	5460	5660	250	840	1080	1040	995

排水フリーム用組立落差工
構造図
6×6～9×9 H=1.00

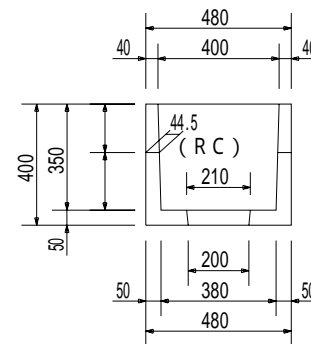
D-34
(参考図)

保護水槽

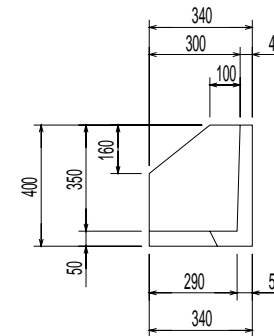
側断面図



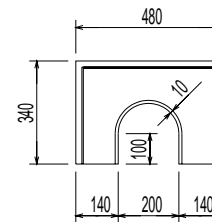
正面図



側面図



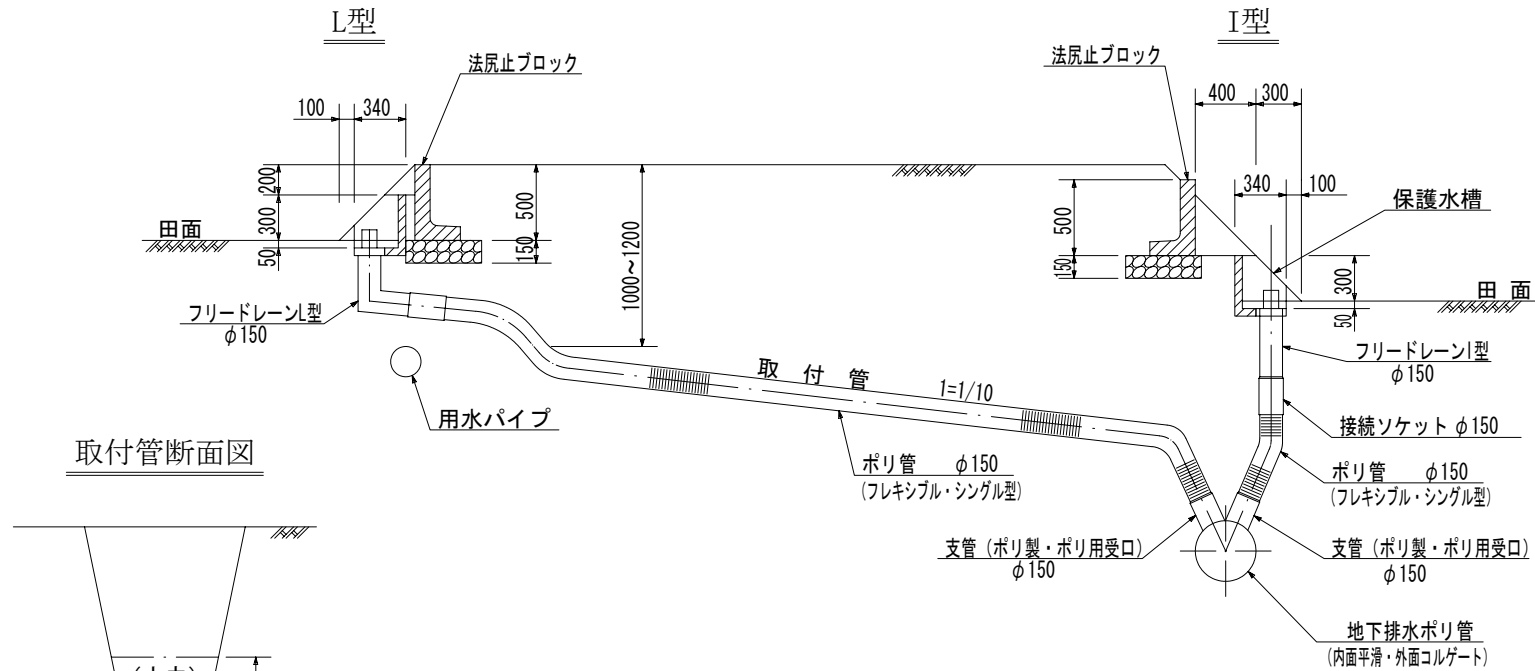
平面図



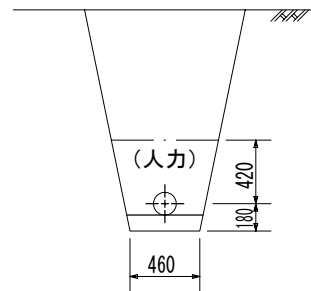
工事施工上の注意

1. L2は法長に合わせて施工する。
2. 道路等を横断する場合は、横断部の構造を適宜検討する。
3. 素堀水路に施工する場合は、水底より50cm程度上までとする。
4. 接続管末端部は、必要に応じ法内に埋設するものとする。

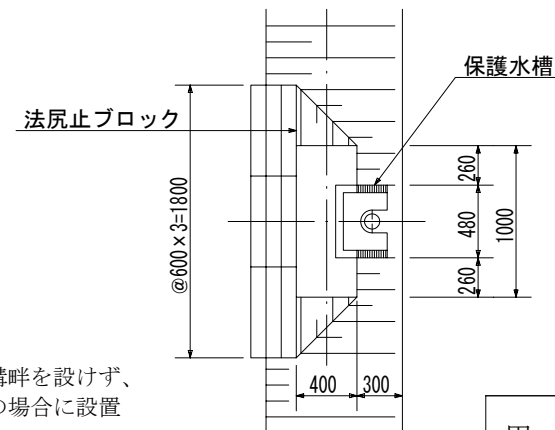
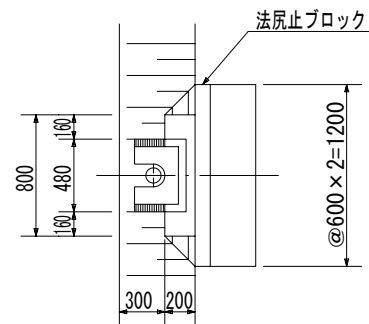
断面図



取付管断面図



平面図

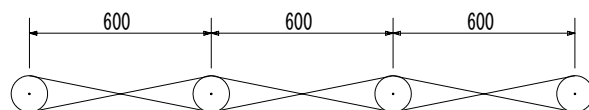
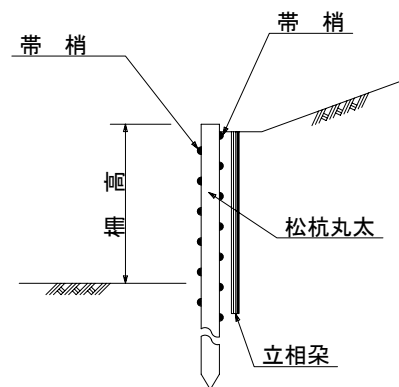


注) 法尻止ブロックは管理溝畔を設けず、
田面～路面が0.3m以上の場合に設置
する。

田 区 排 水 工
(地下排水型)

D-41

粗 朶 柵 工

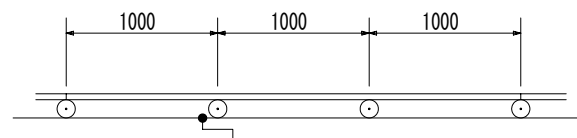
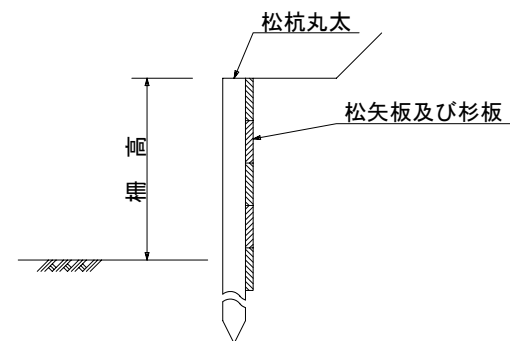


注) 帯梢は、 $\phi 2.4\text{cm}^2$ 、長さ 3m、1束25本を標準とする。
立粗朶は、周長0.9mを1束として、10m当り 3束を標準とする。

10m当り

柵 高	帯 梢	立粗朶	松杭丸太	備 考
1.0m	10 束	1.2m	末口 $\phi 12\text{cm} \times 3\text{m}$	
0.5m	5.8束	0.7m	末口 $\phi 6\text{cm} \times 2\text{m}$	

板 柵 工



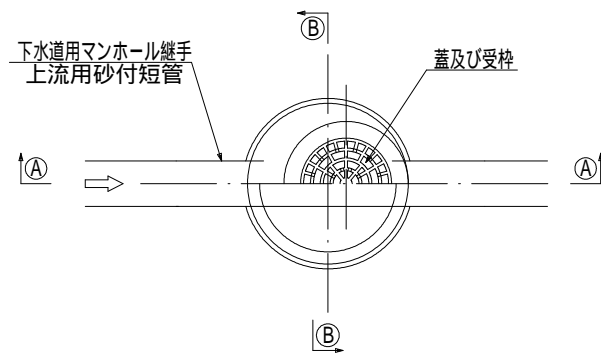
柵 高	松杭丸太	松矢板・杉板	松矢板・杉板の高さ	備 考
1.2m	$\phi 15\text{cm}$ 、 $L=3.7\text{m}$	$t=3\text{cm}$ 、 $L=2\text{m}$	1.4m	
1.0m	$\phi 12\text{cm}$ 、 $L=3.3\text{m}$	$t=2.4\text{cm}$ 、 $L=2\text{m}$	1.2m	
0.8m	$\phi 12\text{cm}$ 、 $L=2.6\text{m}$	〃	1.0m	

注) 応急的な場合は、別途（軽便策）を考慮すること。

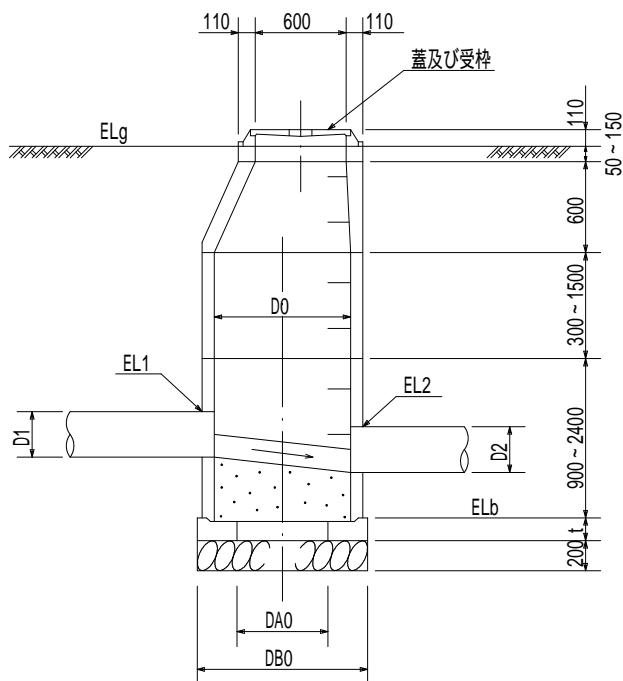
板及び粗朶柵工

D-50

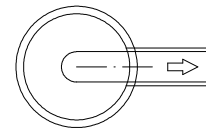
平面図



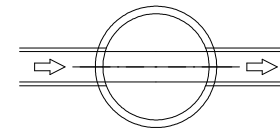
A-A 断面図



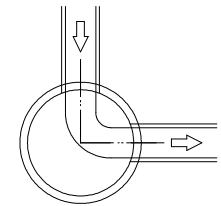
Aタイプ



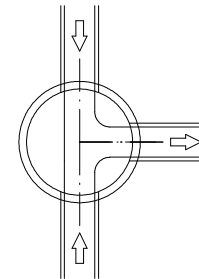
Bタイプ



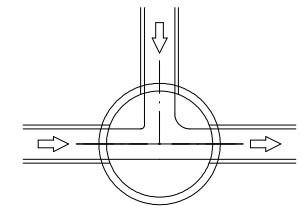
Cタイプ



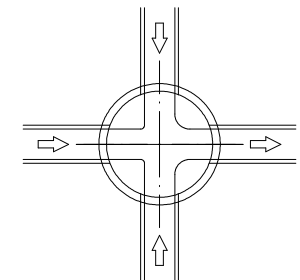
Dタイプ



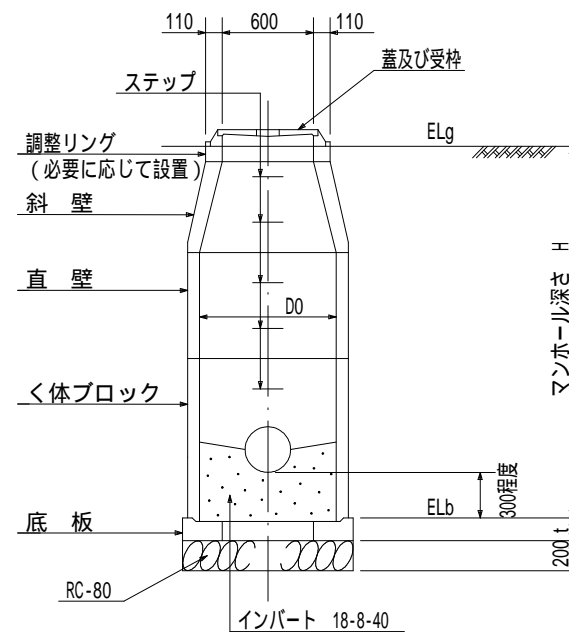
Eタイプ



Fタイプ



B-B 断面図



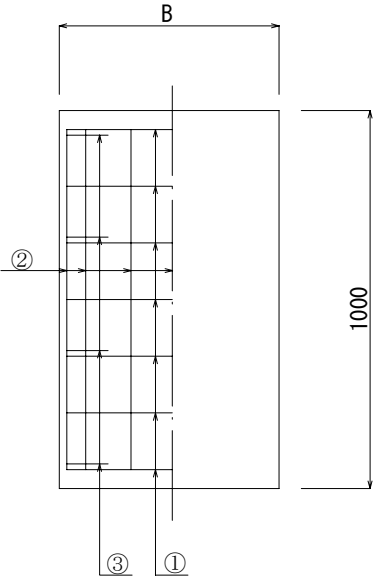
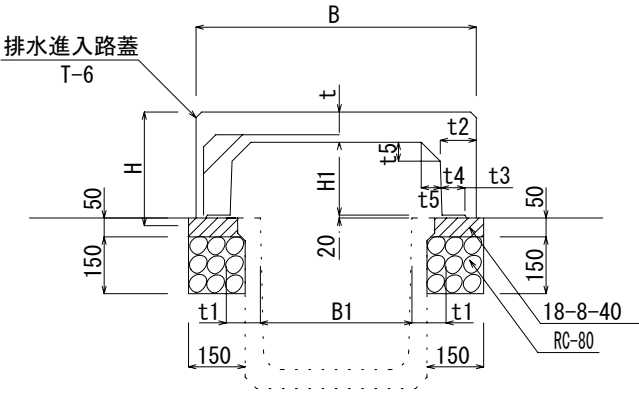
型 排水管口径600mm以下
型 排水管口径700mm以下

注) 地下排水管が塩ビ管以外の場合は、1mの短管を用いてマンホールに取り付ける事。
計画高は推定であるので現場確認の上、製品を注文の事。

地下排水工	D-60
マンホール標準型	(参考)

蓋掛進入路工

断面図

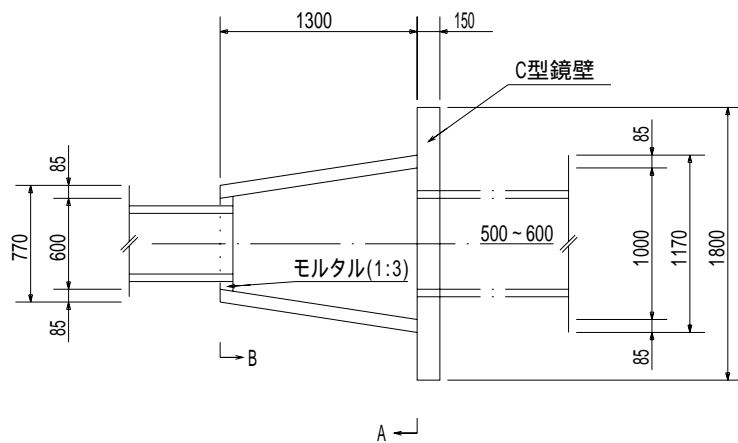


規格表

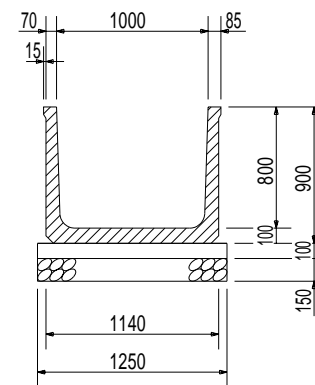
呼び径	寸 法 (mm)										鉄 筋			参考質量 (kg)
	B	B1	H	H1	t	t1	t2	t3	t4	t5	①	②	③片側	
300	680	300	270	200	50	120	125	52	65	50	D6-6	φ 5-7	D6-4	190
400	790	400	275	200	55	115	120	45	67	55	D6-9	φ 5-7	D6-5	204
500	910	500	280	200	60	120	125	38	79	60	D6-10	φ 5-7	D6-6	233
600	1020	600	290	200	70	125	130	45	76	70	D6-11	φ 5-7	D6-6	276
700	1130	700	300	200	80	130	135	50	77	80	D10-6	φ 6-8	D10-4	325
800	1240	800	310	200	90	135	140	55	77	90	D10-6	φ 6-8	D10-4	380
900	1340	900	320	200	100	135	140	50	80	100	D10-6	φ 6-8	D10-4	433
1000	1570	1000	440	300	120	170	175	60	110	100	D10-6	φ 6-11	D10-6	696

注) 1 / 2 確率通水断面及び 1 / 1 0 確率通水断面が複断面となる場合は適用できない。

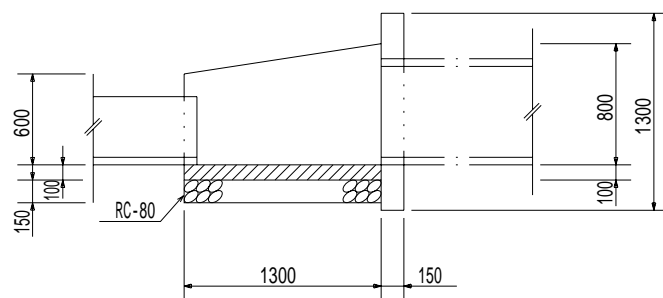
平面图



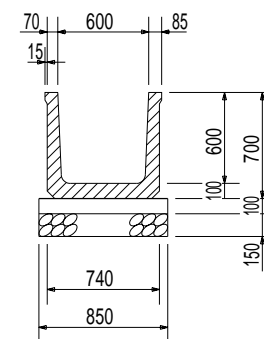
A ~ A SEC



側 面 図



B ~ B SEC

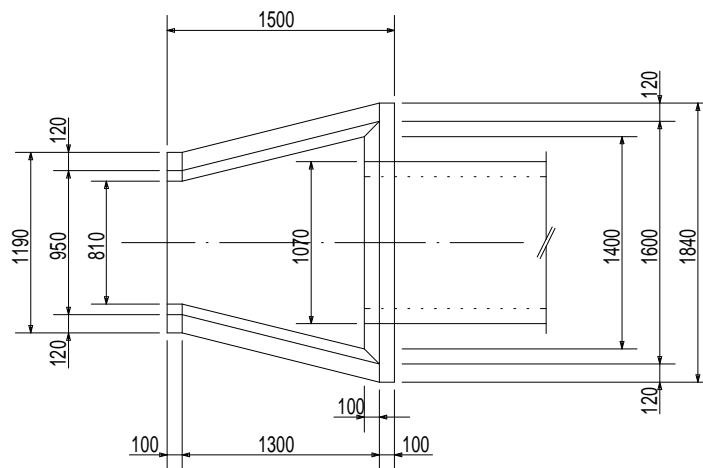


暗渠取付工

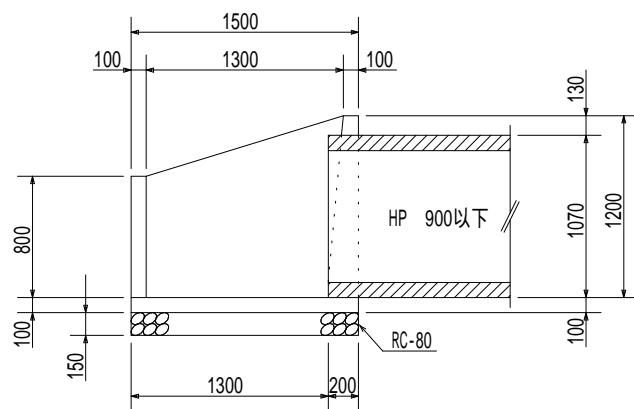
形式 R46型

D - R 4 6

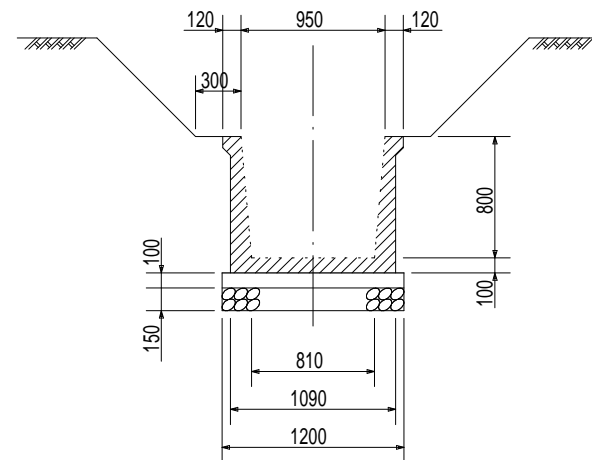
平面図



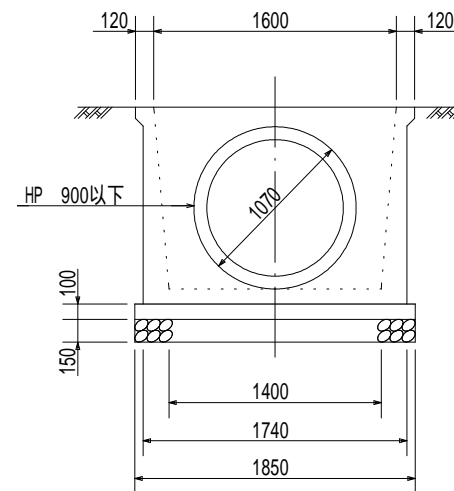
側面図



A ~ A SEC



B ~ B SEC

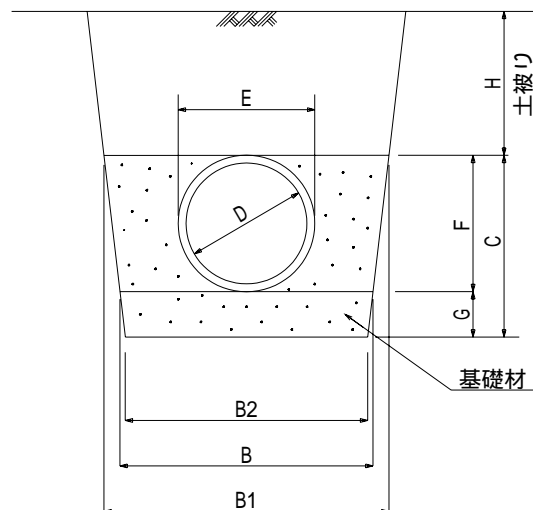


S=1:40

暗渠取付工
形式 R69型

D - R 6 9

管 水 路 工



注意事項

- ・掘削勾配は、安全な勾配とすること。
- ・側方に埋戻土等が予測される場合は、土留工を施す必要がある。
- ・500mm以上は、かん排の手引きによるため別途指示する。

単位:mm

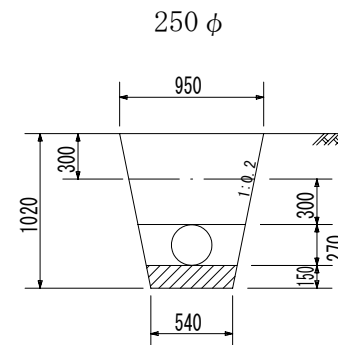
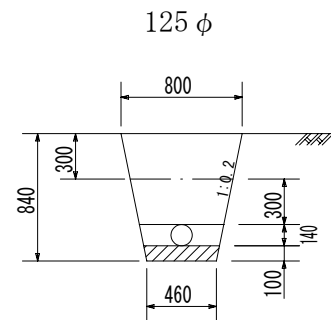
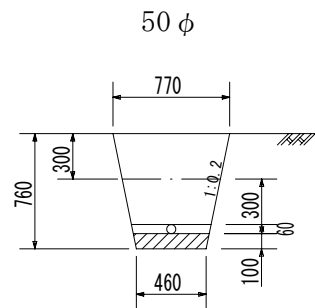
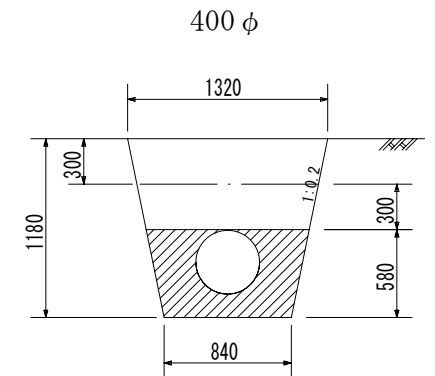
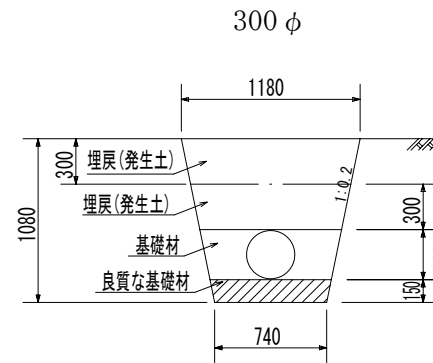
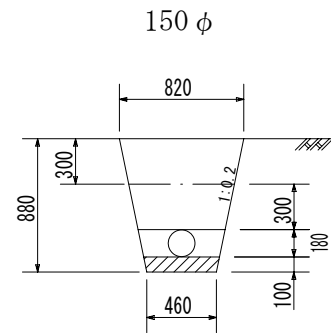
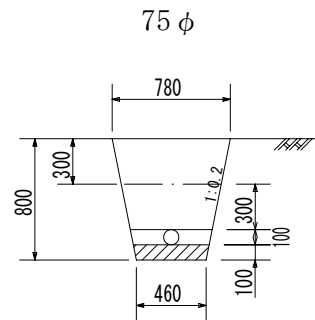
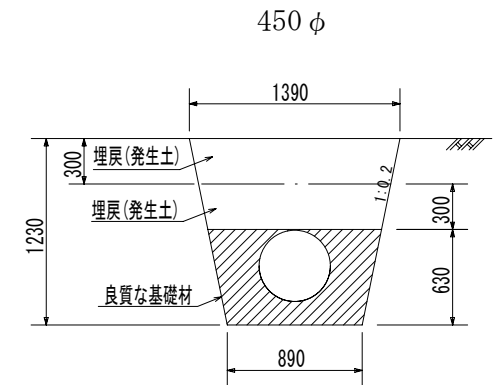
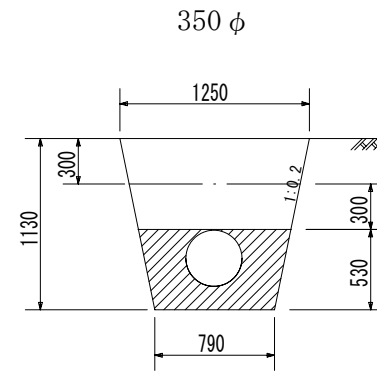
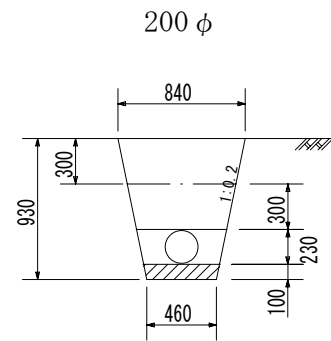
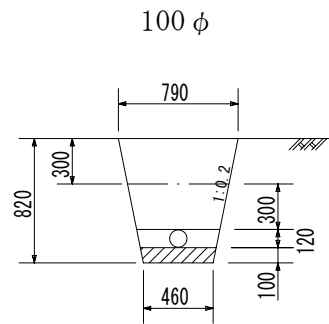
						礫質土 砂質土		粘質土	
呼び径	外径	B	F	G	C	B1	B2	B1	B2
50	60	500	60	100	160	560	400	530	460
75	89	500	100	100	200	600	400	530	460
100	114	500	120	100	220	620	400	550	460
125	140	500	140	100	240	640	400	560	460
150	165	500	180	100	280	680	400	580	460
200	216	500	230	100	330	730	400	600	460
250	267	600	270	150	420	870	450	710	540
300	318	800	330	150	480	1130	650	940	740
350	370	850	380	150	530	1230	700	1010	790
400	420	900	430	150	580	1330	750	1080	840
450	470	950	480	150	630	1430	800	1150	890

施工上の注意

1. 管床部は振動コンパクター等により、入念に締固めなくてはならない。
2. 管側部は、タコで入念に突固める。
3. 埋戻は管頂から30cmまで、人力で入念に突固めなくてはならない。

管水路工

S=1:50



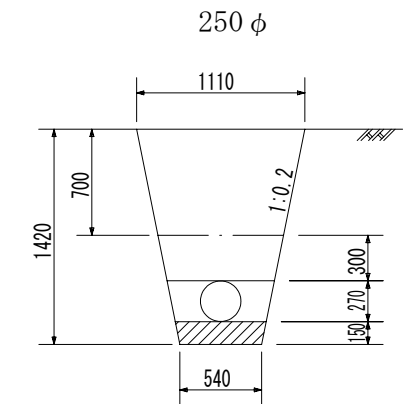
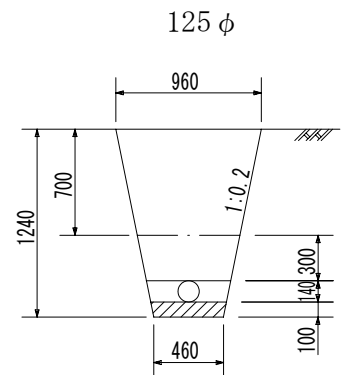
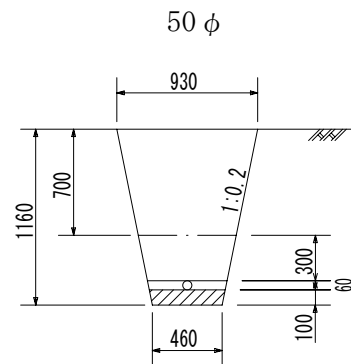
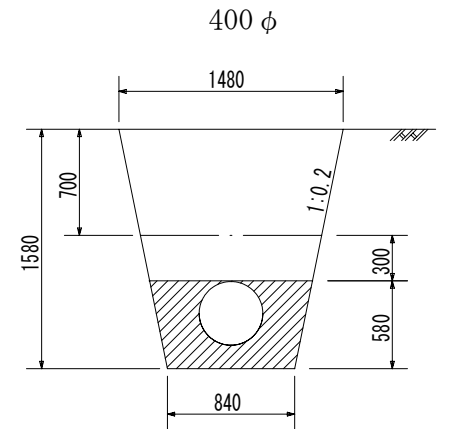
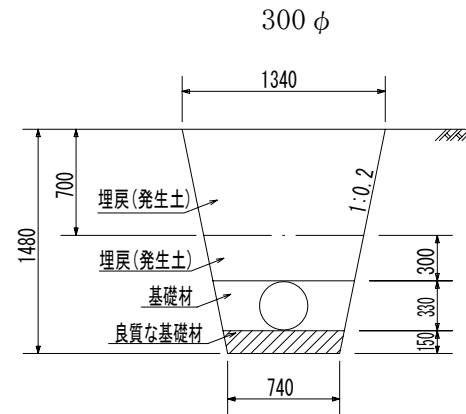
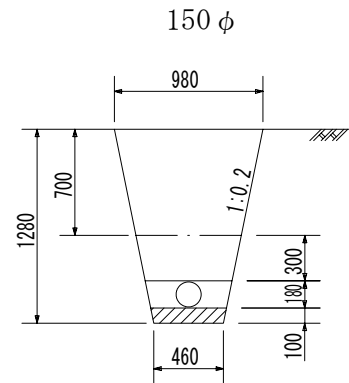
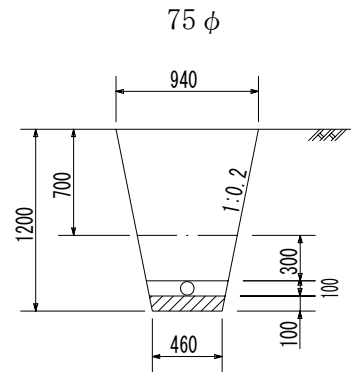
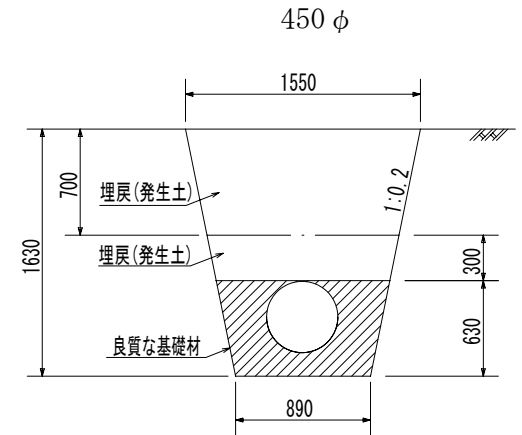
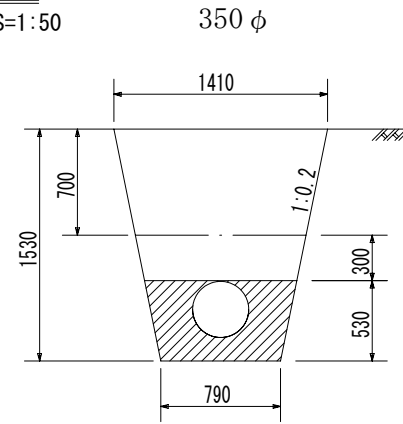
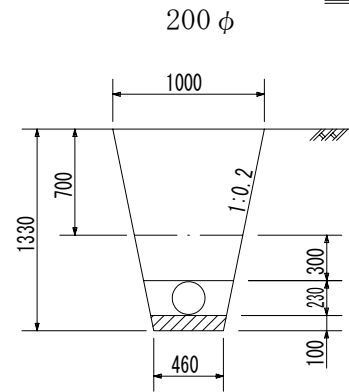
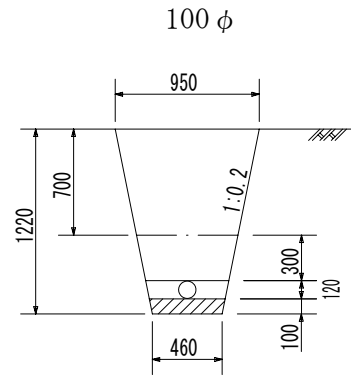
- 注) 基礎材への現地発生土の使用については、土質試験を実施し、その結果良好な土質且つ、最大粒径が基準以下である場合に使用できるものとする。
- 注) 面工事区域内についてのみこの図による。
- 注) 管側面の発生土を埋戻す場合は、直接管体に礫が触れないように施工する。

管水路工 (塩ビ管)
粘性土
土被り H=0.60m

E-04

管水路工

S=1:50

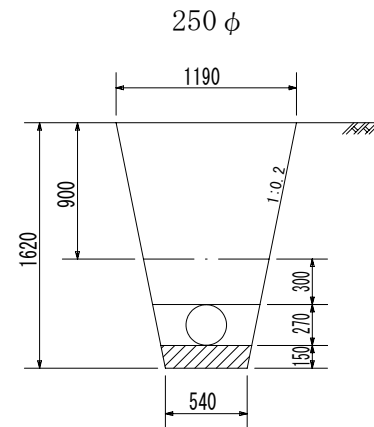
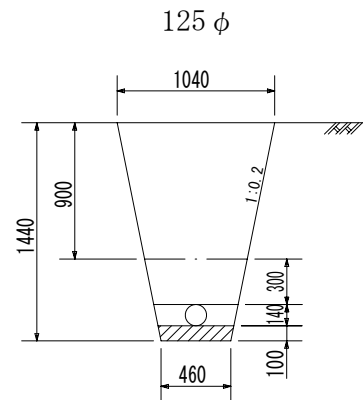
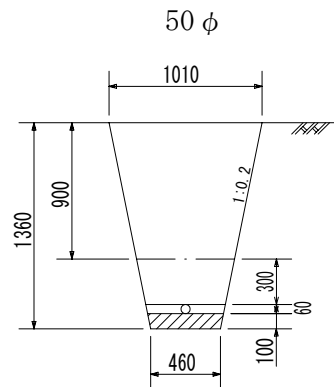
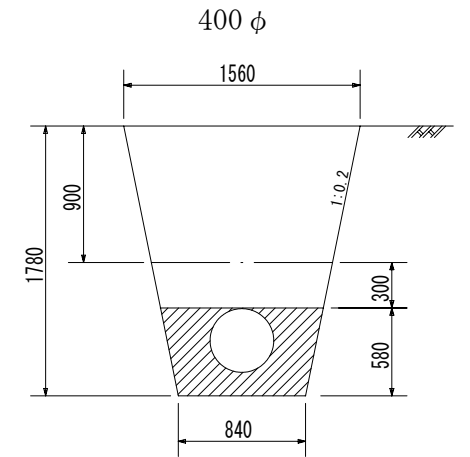
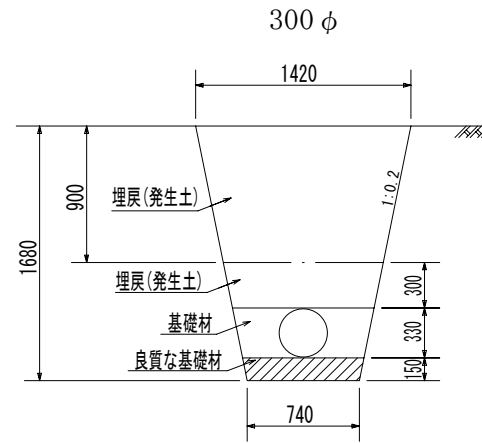
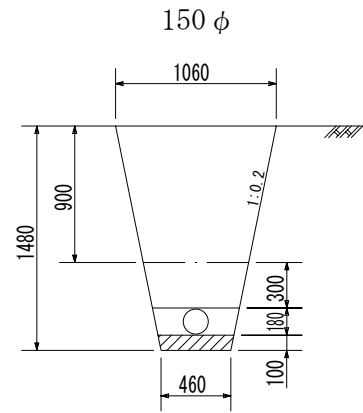
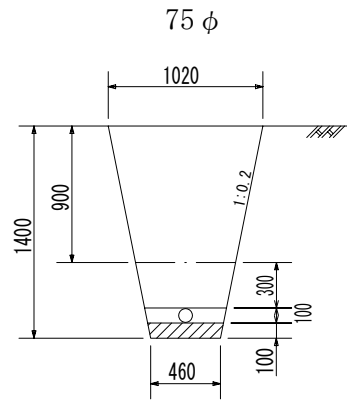
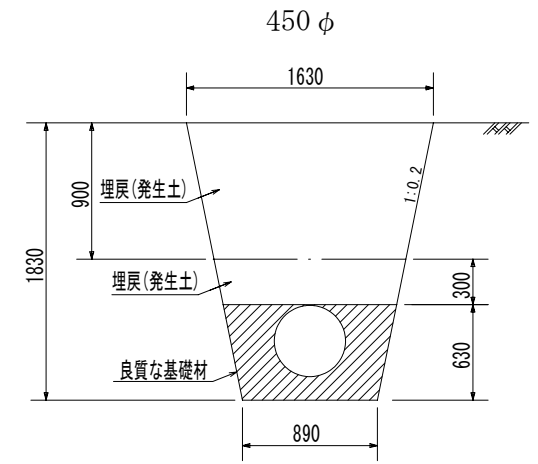
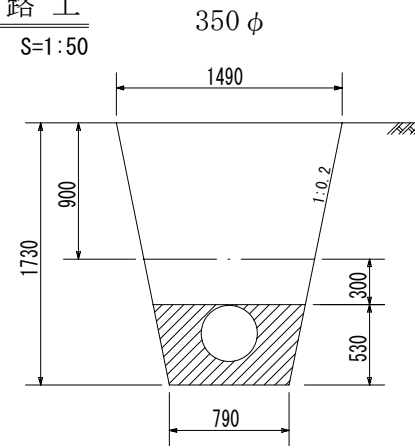
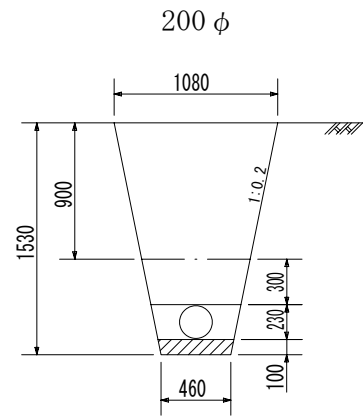
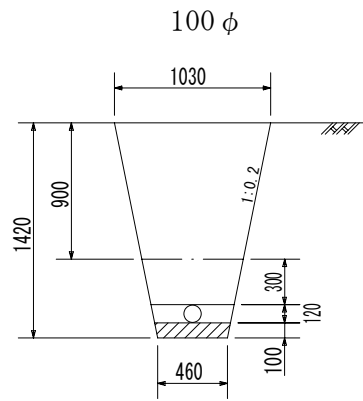


- 注) 基礎材への現地発生材の使用については、土質試験を実施し、その結果良好な土質且つ、最大粒径が基準以下である場合に使用できるものとする。
- 注) 面工事区域内についてのみこの図による。
- 注) 管側面の発生土を埋戻す場合は、直接管体に礫が触れないように施工する。

管水路工 (塩ビ管)
粘性土
土被り H=1.00m

E-05

管水路工
S=1:50



- 注) 基礎材への現地発生材の使用については、土質試験を実施し、その結果良好な土質且つ、最大粒径が基準以下である場合に使用できるものとする。
- 注) 面工事区域内についてのみこの図による。
- 注) 管側面の発生土を埋戻す場合は、直接管体に礫が触れないように施工する。

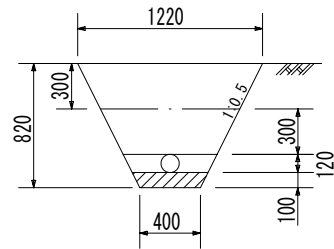
管水路工 (塩ビ管)
粘性土
土被り H=1.20m

E-06

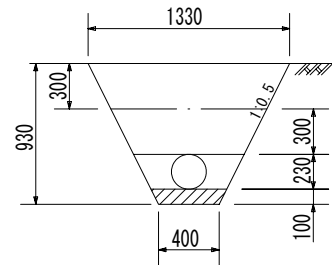
管水路工

S=1:50

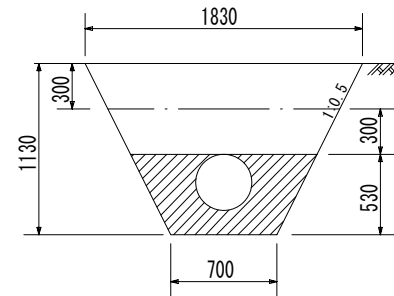
100 φ



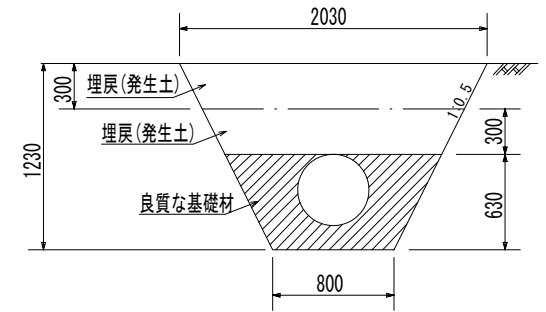
200 φ



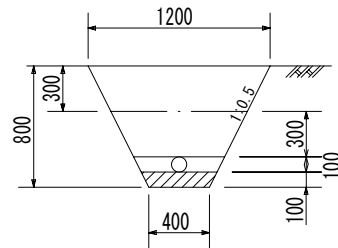
350 φ



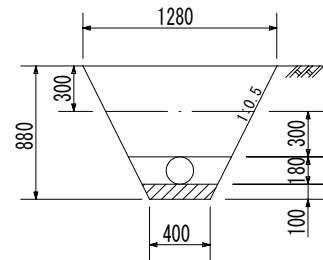
450 φ



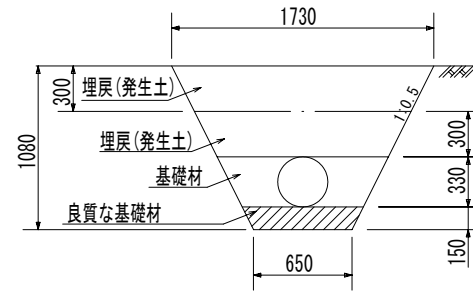
75 φ



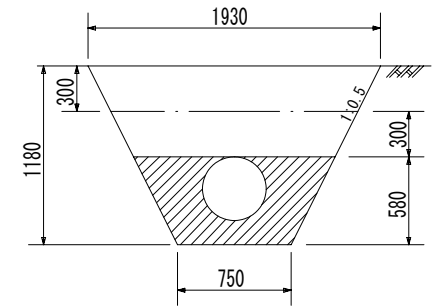
150 φ



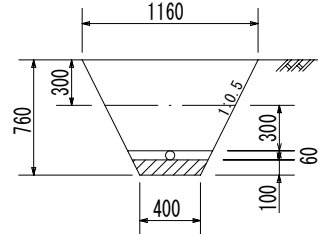
300 φ



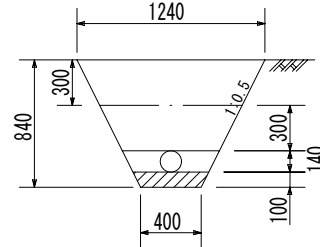
400 φ



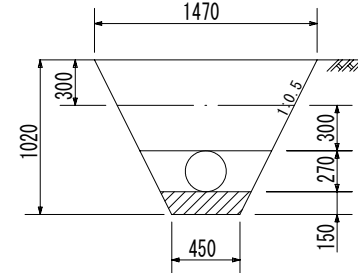
50 φ



125 φ



250 φ



注) 基礎材への現地発生材の使用については、土質試験を実施し、その結果良好な土質且つ、最大粒径が基準以下である場合に使用できるものとする。

注) 面工事区域内についてのみこの図による。

注) 管側面の発生土を埋戻す場合は、直接管体に礫が触れないように施工する。

管水路工 (塩ビ管)
砂質土・礫質土
土被り H=0.60m

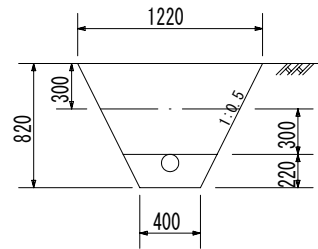
E-07

A

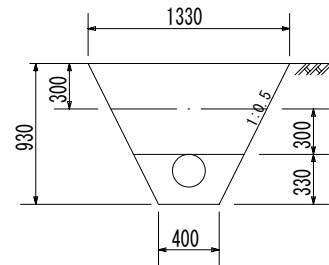
管水路工

S=1:50

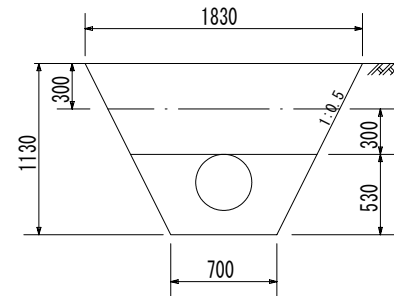
100 φ



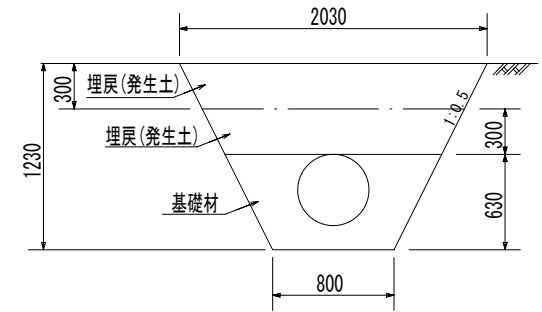
200 φ



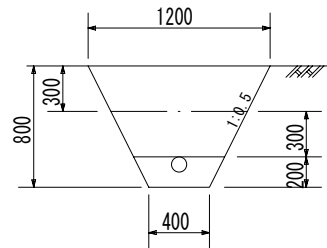
350 φ



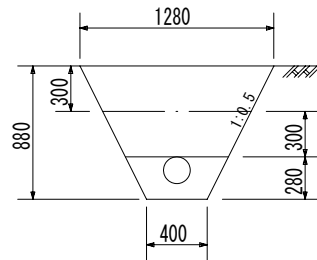
450 φ



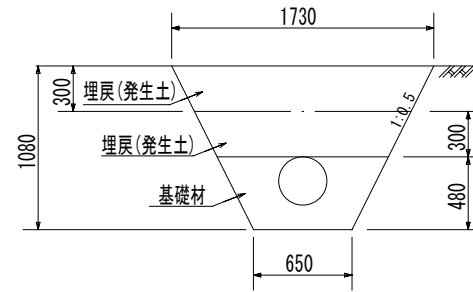
75 φ



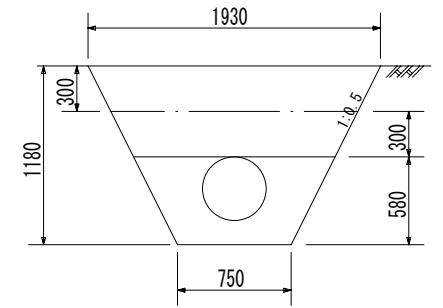
150 φ



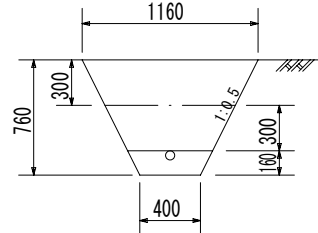
300 φ



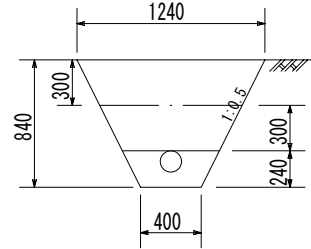
400 φ



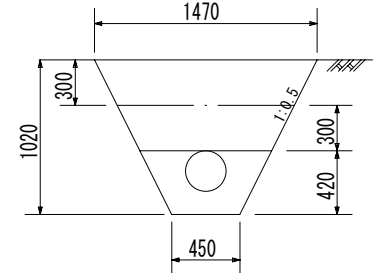
50 φ



125 φ



250 φ



注) 基礎材への現地発生材の使用については、土質試験を実施し、その結果良好な土質且つ、最大粒径が基準以下である場合に使用できるものとする。

注) 面工事区域内についてのみこの図による。

注) 管側面の発生土を埋戻す場合は、直接管体に礫が触れないように施工する。

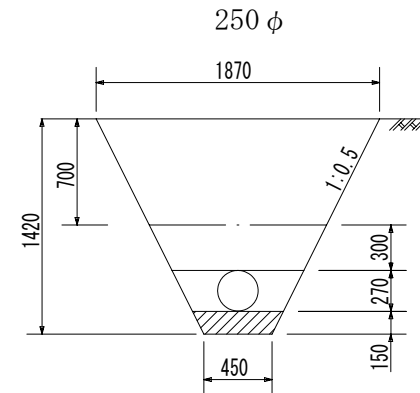
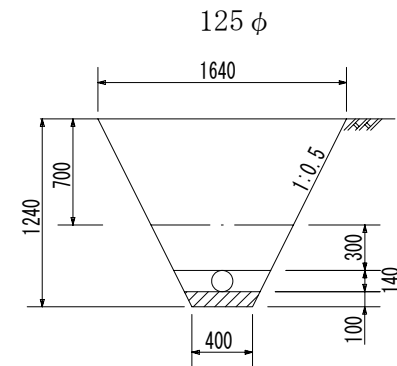
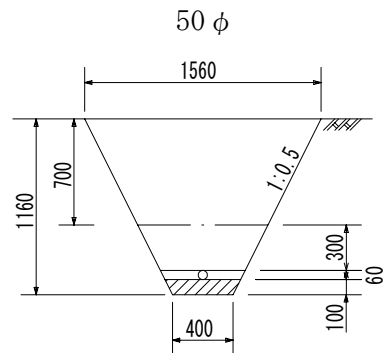
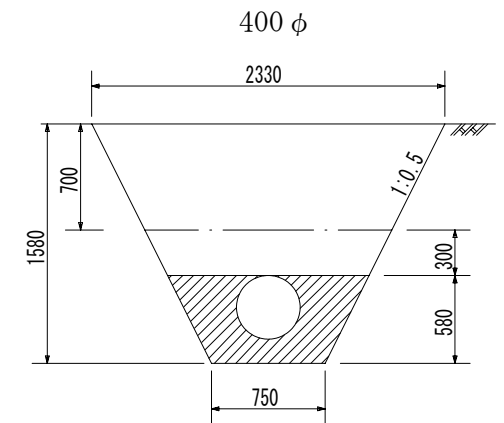
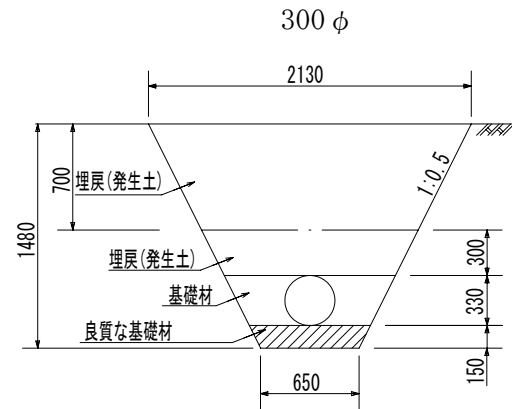
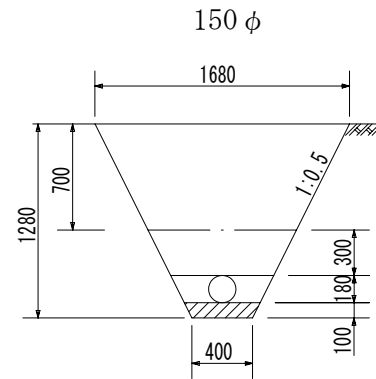
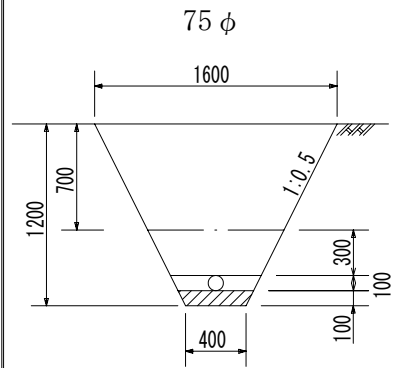
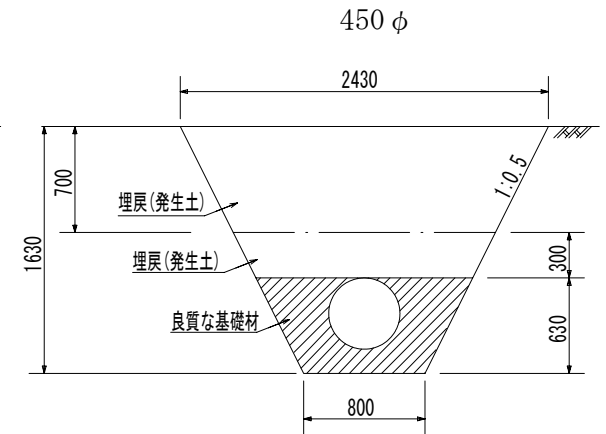
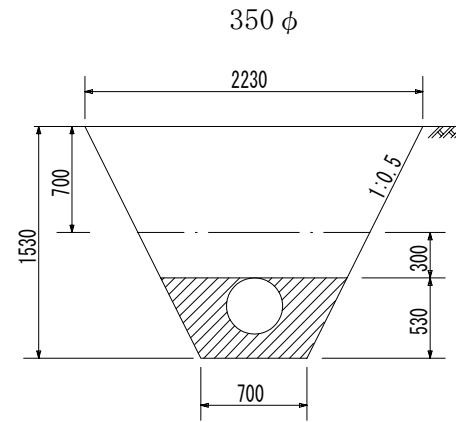
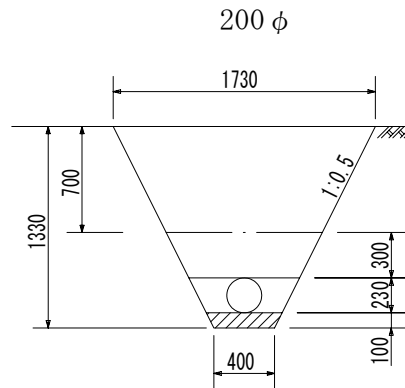
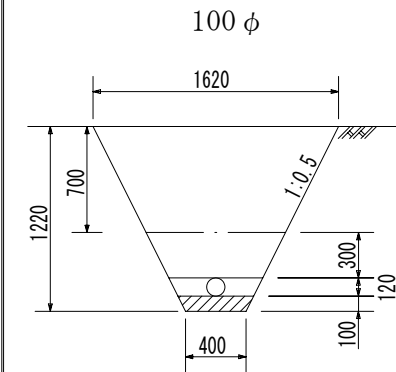
管水路工 (塩ビ管)
砂質土・礫質土
土被り H=0.60m

E-07

B

管水路工

S=1:50



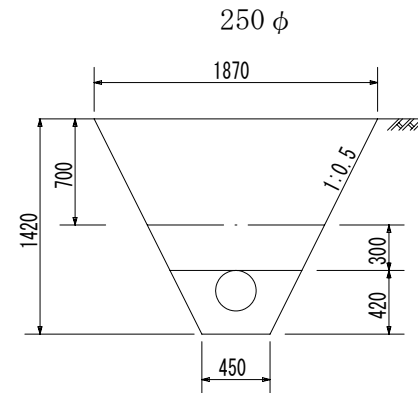
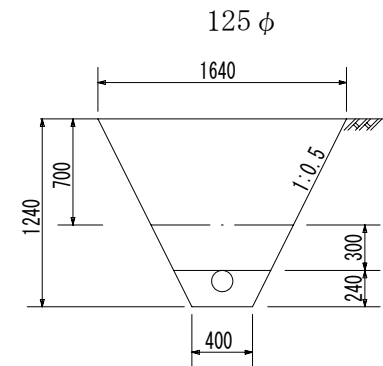
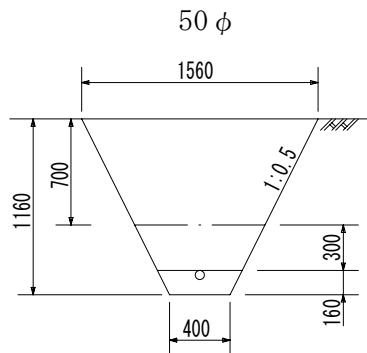
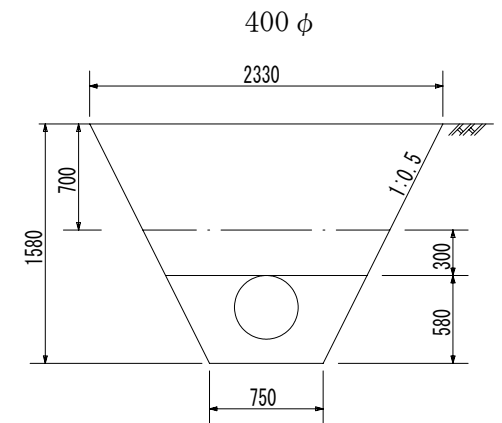
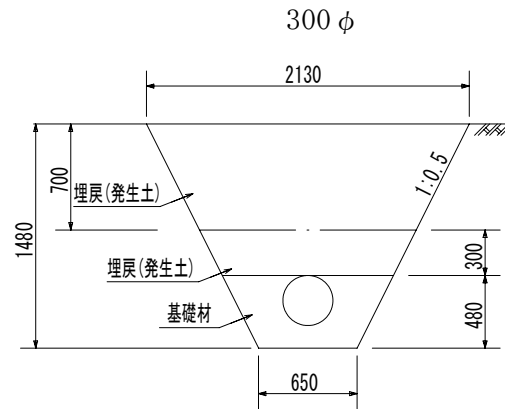
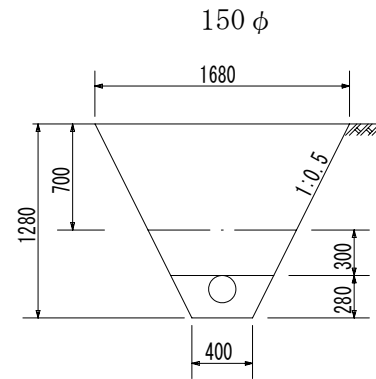
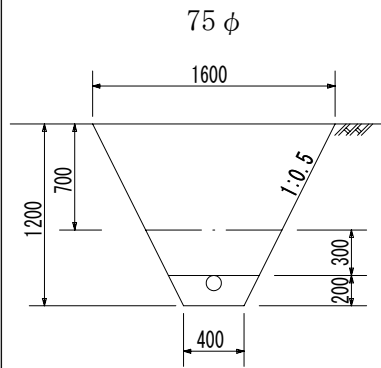
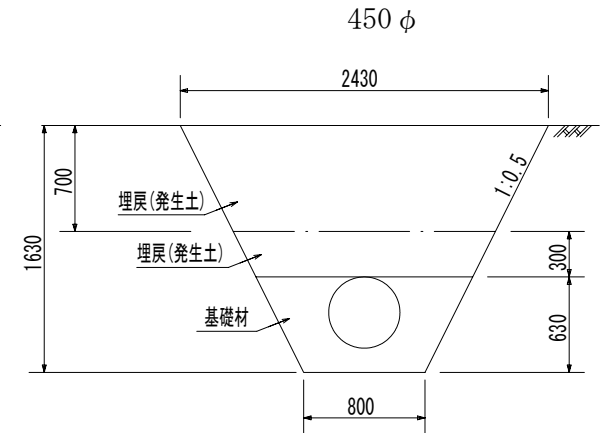
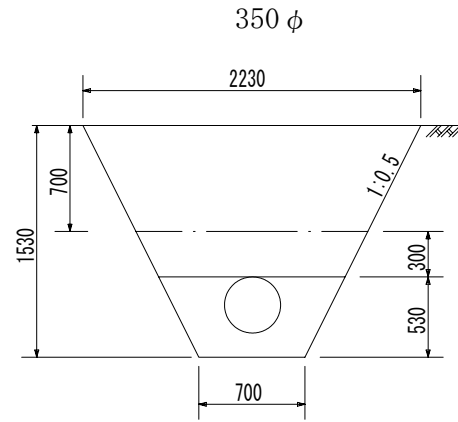
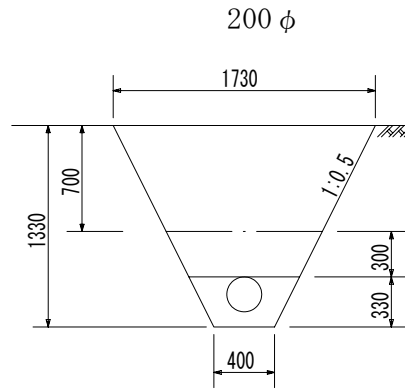
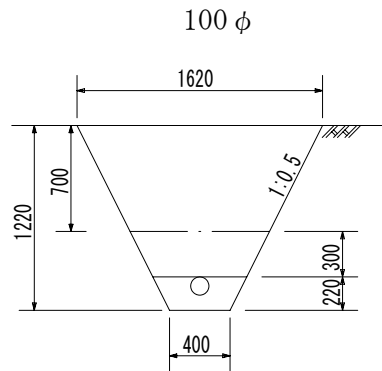
- 注) 基礎材への現地発生材の使用については、土質試験を実施し、その結果良好な土質且つ、最大粒径が基準以下である場合に使用できるものとする。
- 注) 面工事区域内についてのみこの図による。
- 注) 管側面の発生土を埋戻す場合は、直接管体に礫が触れないように施工する。

管水路工 (塩ビ管)
砂質土・礫質土
土被り H=1.00m

E-08
A

管水路工

S=1:50



- 注) 基礎材への現地発生材の使用については、土質試験を実施し、その結果良好な土質且つ、最大粒径が基準以下である場合に使用できるものとする。
- 注) 面工事区域内についてのみこの図による。
- 注) 管側面の発生土を埋戻す場合は、直接管体に礫が触れないように施工する。

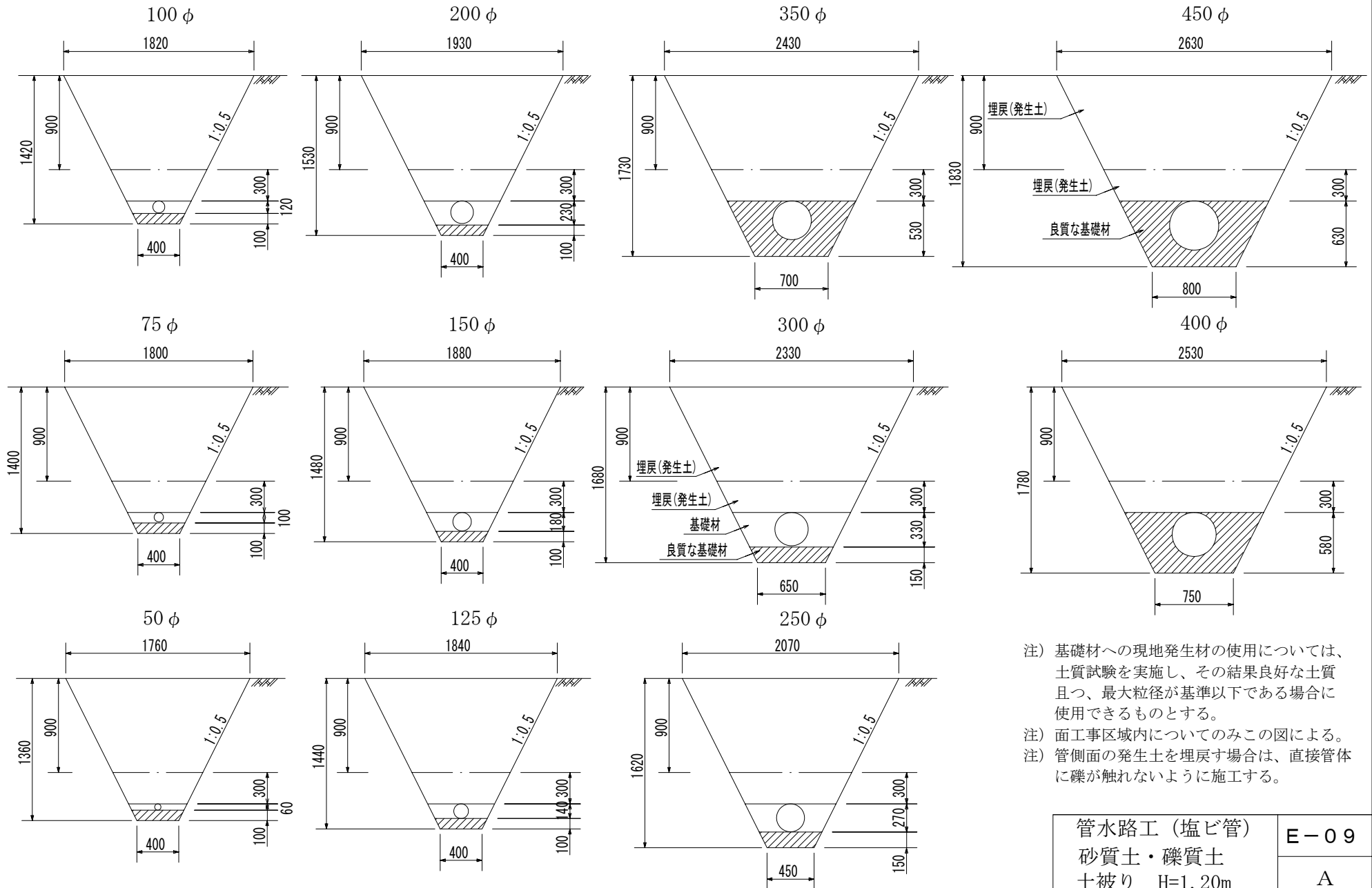
管水路工 (塩ビ管)
砂質土・礫質土
土被り H=1.00m

E-08

B

管水路工

S=1:50



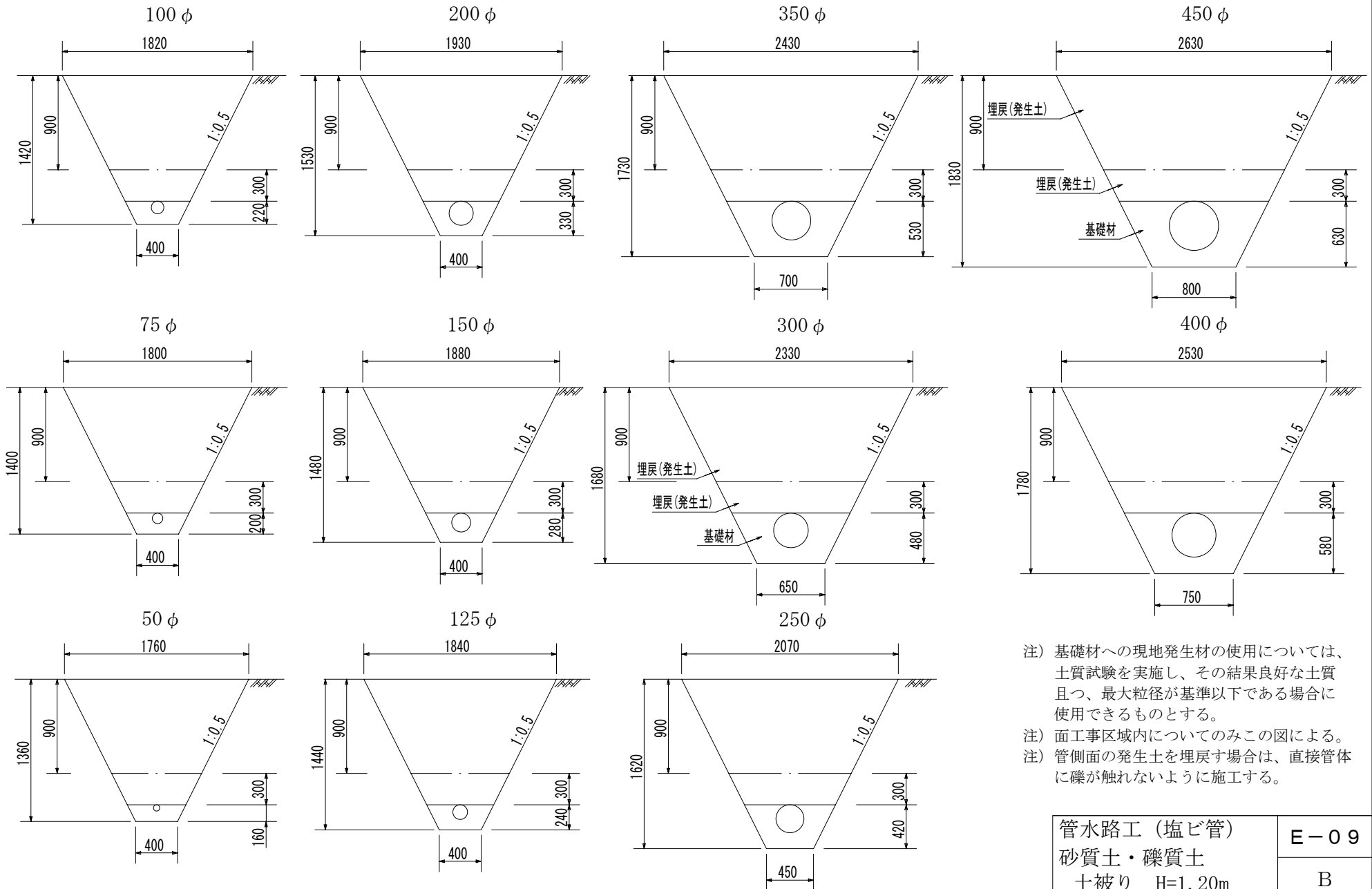
- 注) 基礎材への現地発生材の使用については、土質試験を実施し、その結果良好な土質且つ、最大粒径が基準以下である場合に使用できるものとする。
- 注) 面工事区域内についてのみこの図による。
- 注) 管側面の発生土を埋戻す場合は、直接管体に礫が触れないように施工する。

管水路工 (塩ビ管)
砂質土・礫質土
土被り H=1.20m

E-09
A

管水路工

S=1:50



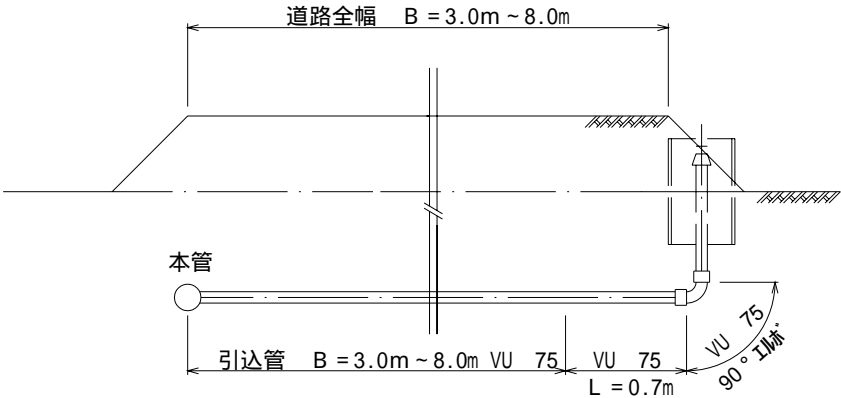
- 注) 基礎材への現地発生材の使用については、土質試験を実施し、その結果良好な土質且つ、最大粒径が基準以下である場合に使用できるものとする。
- 注) 面工事区域内についてのみこの図による。
- 注) 管側面の発生土を埋戻す場合は、直接管体に礫が触れないように施工する。

管水路工 (塩ビ管)
砂質土・礫質土
土被り H=1.20m

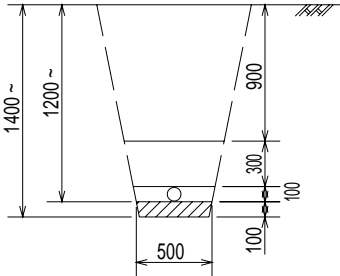
E-09
B

給水栓引込構造図

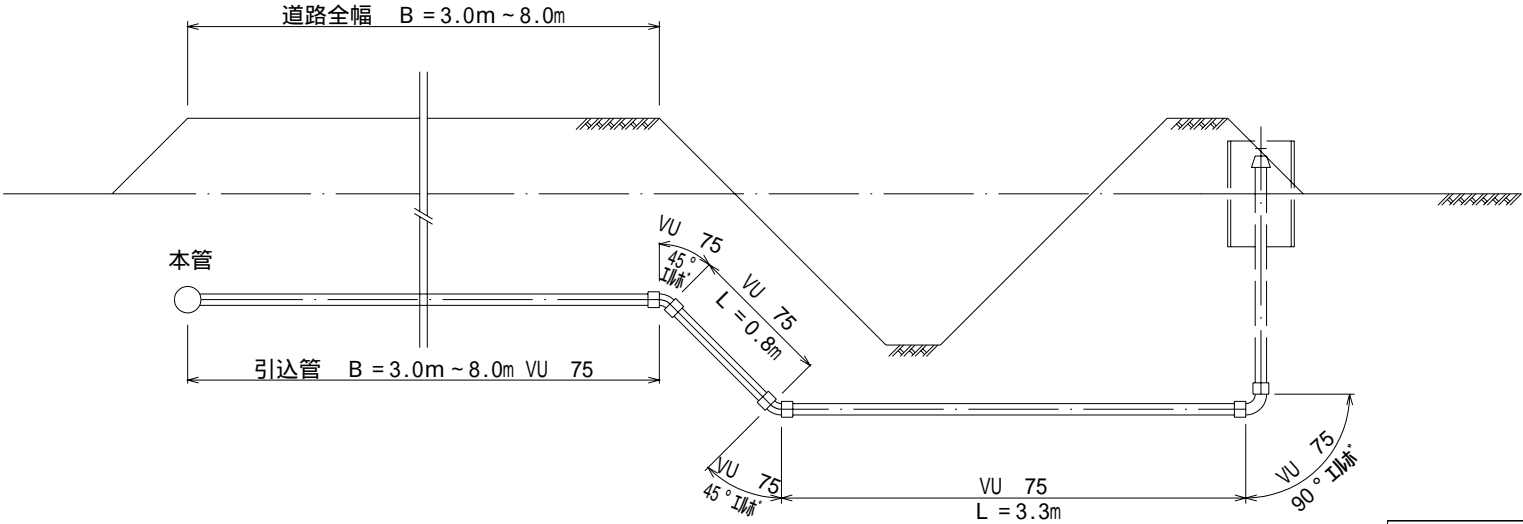
J 型



引込管伏設標準図



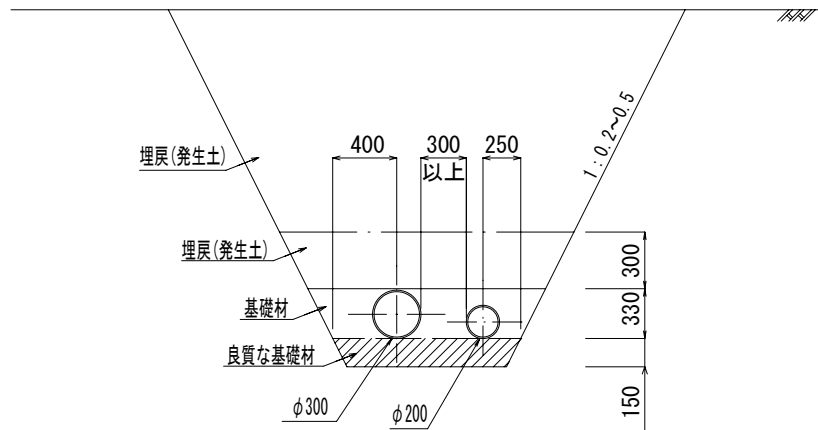
U 型



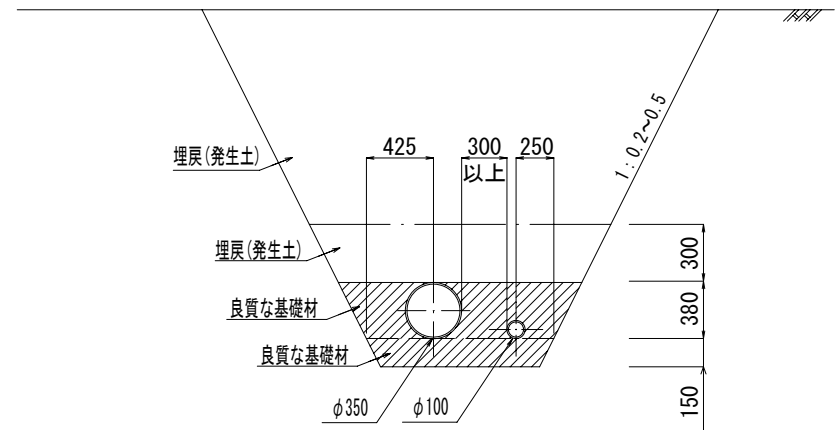
管水路工

S=1:40

管渠工
($\phi 300 - \phi 200$)

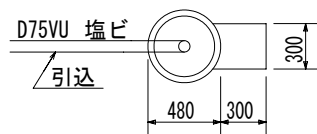


管渠工
($\phi 350 - \phi 100$)

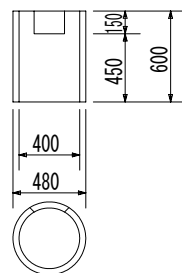


平面図

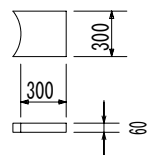
S=1:20



保護管

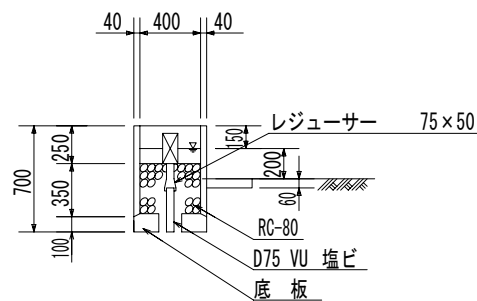


平板



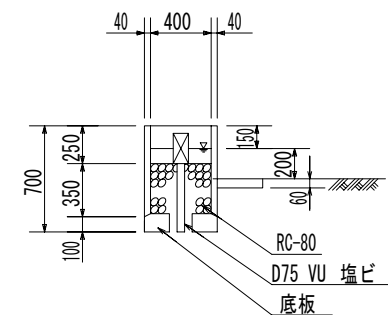
給水栓 D=50mm

S=1:40

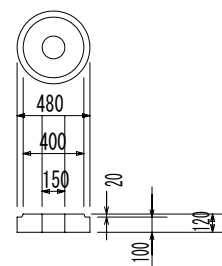


給水栓 D=75mm

S=1:40

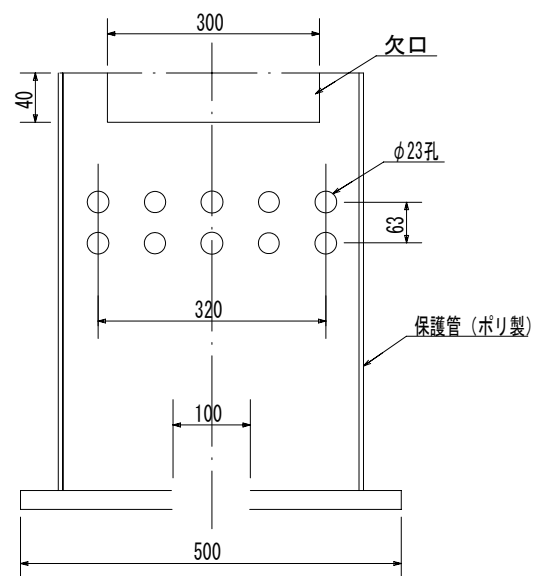
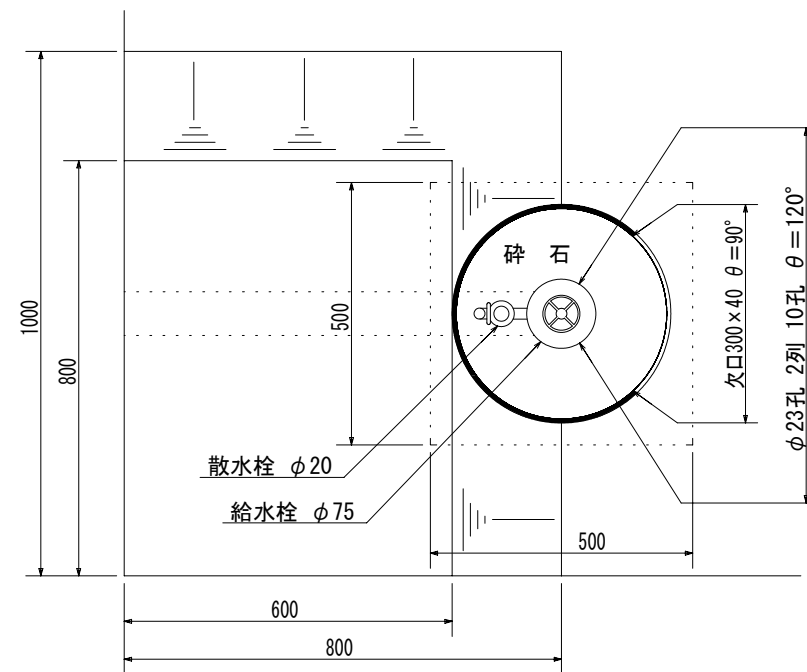
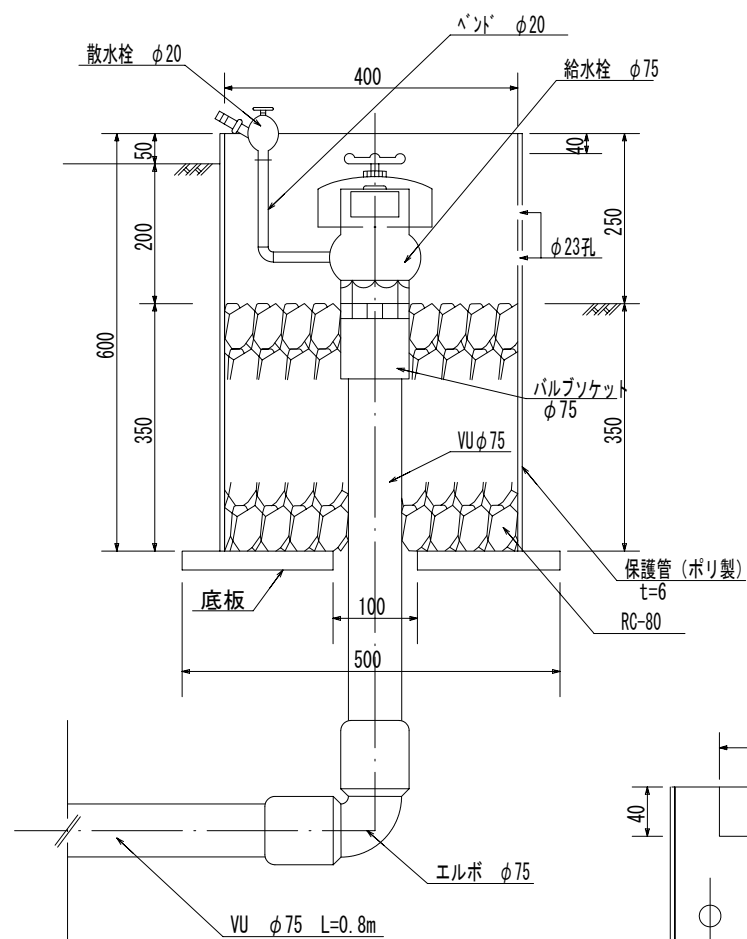


底板



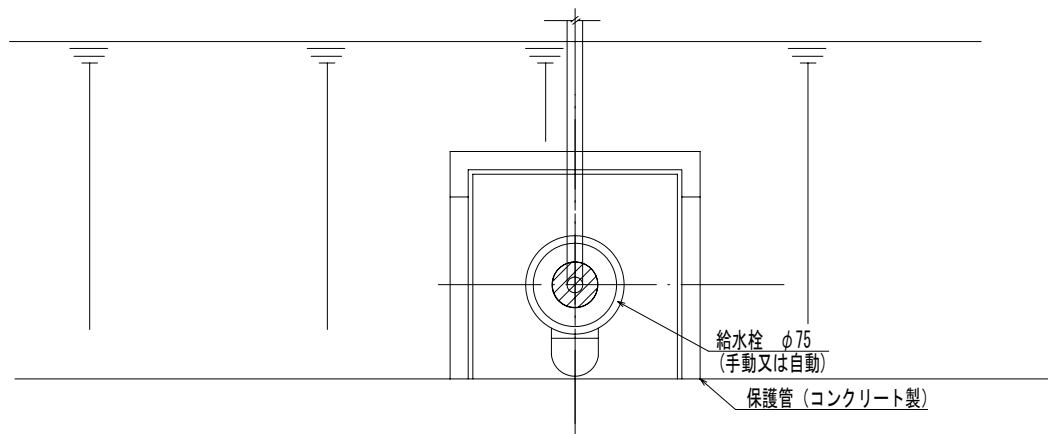
給水栓保護管構造図
A型 (コンクリート製)

E-15

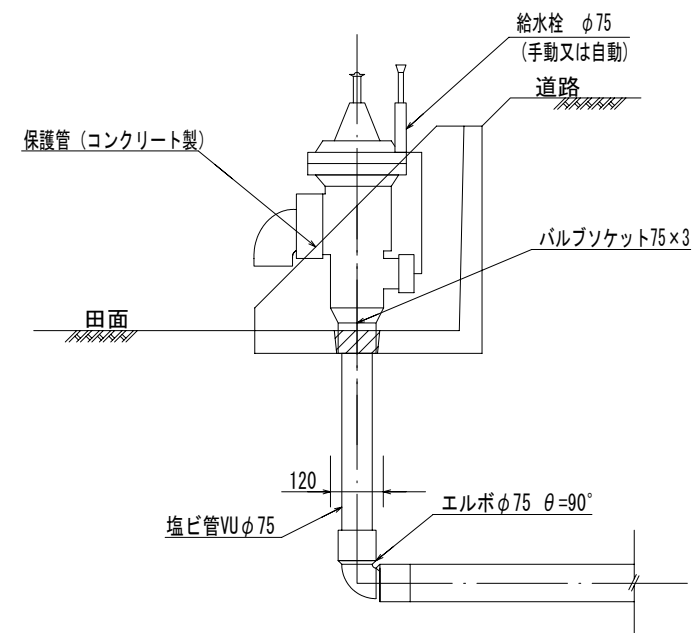


※指示により散水栓又はプラグとする。
 ※給水栓の規格は特記仕様書に定めるものとする。

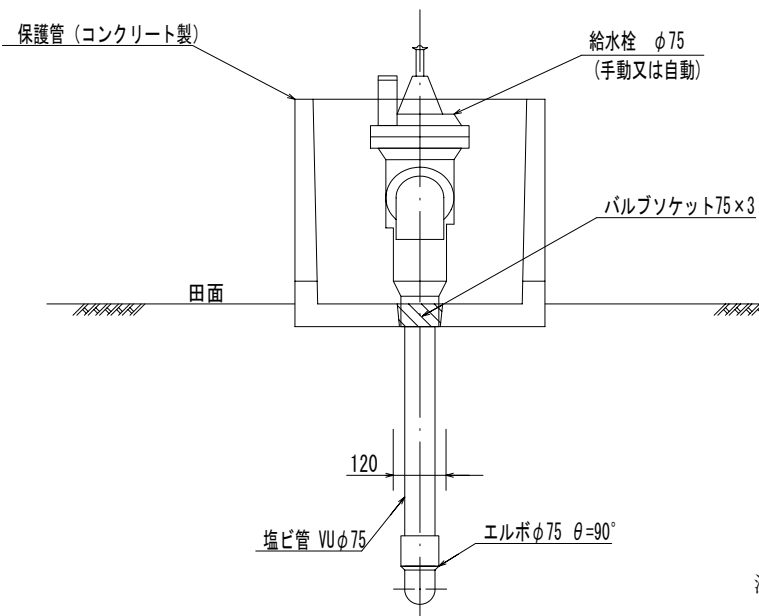
平面図



側面図



正面図

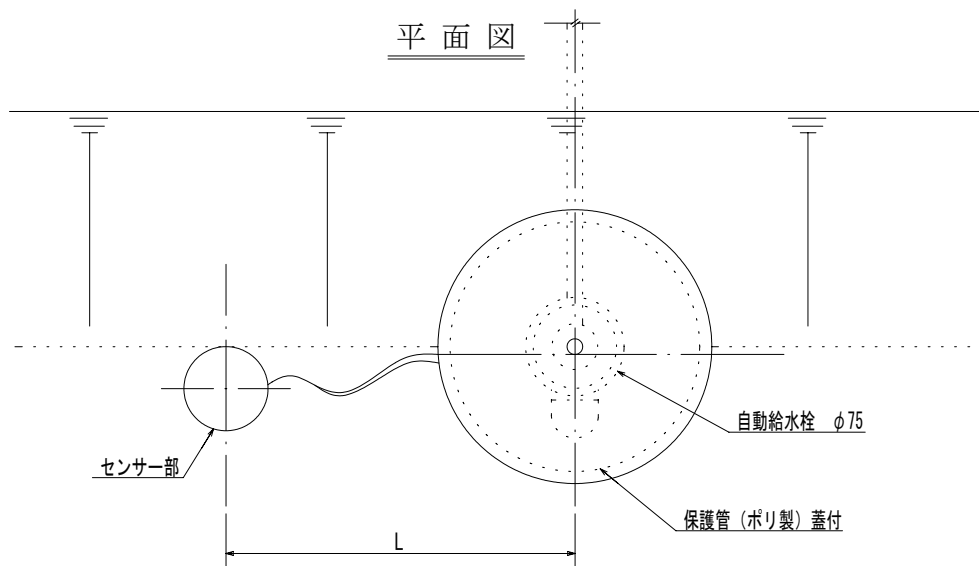


注) 基礎工については、適宜監督職員と協議すること。

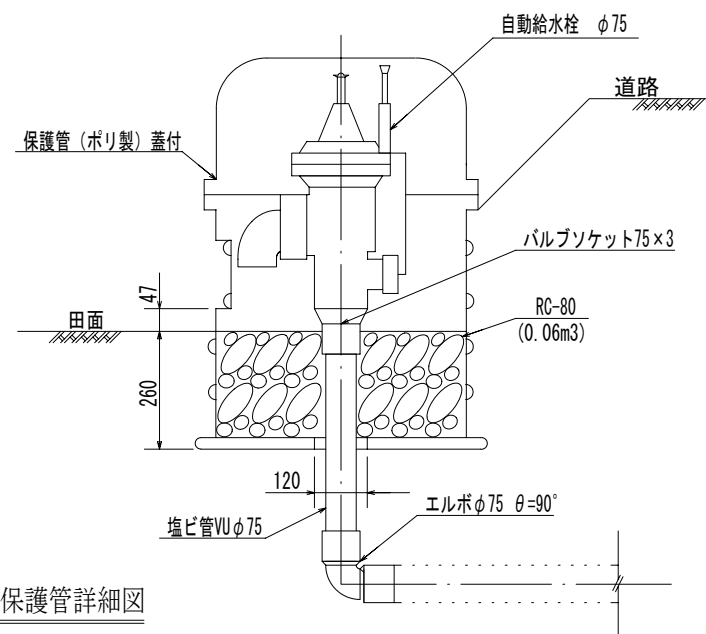
給水栓保護管構造図
C型 (コンクリート製)

E-17

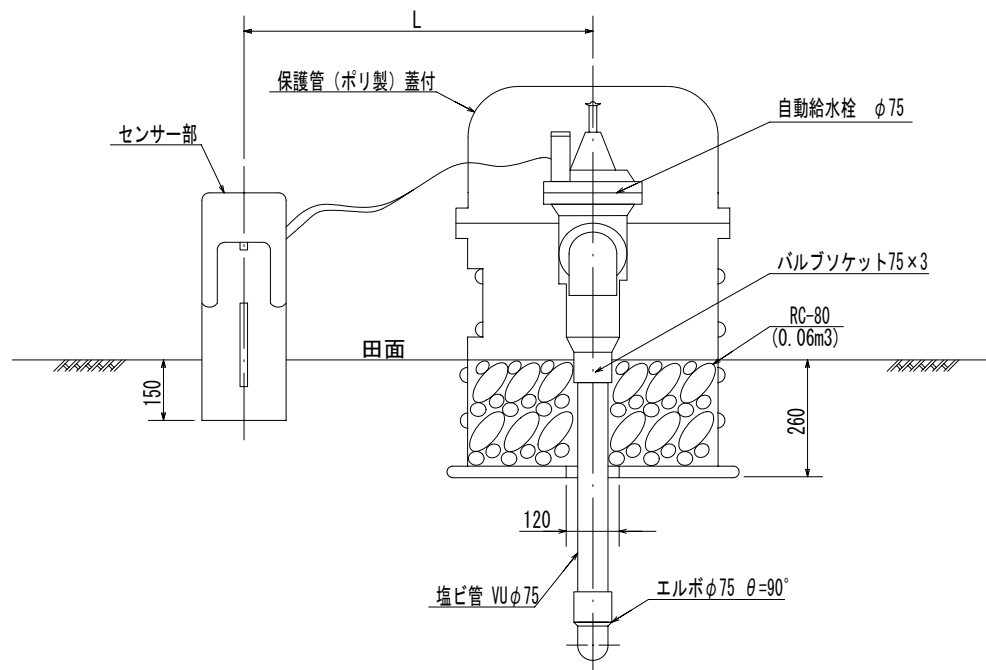
平面図



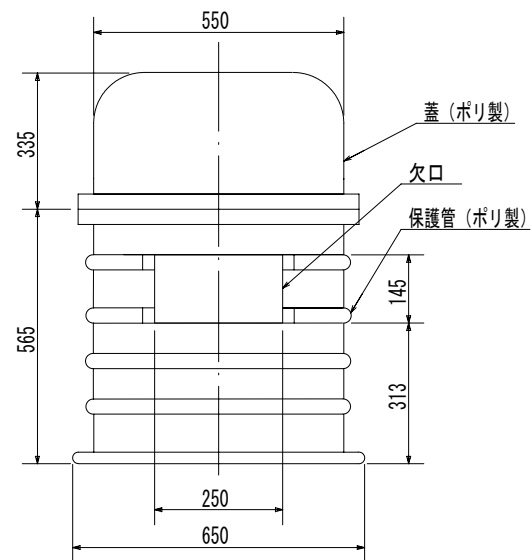
側面図



正面図



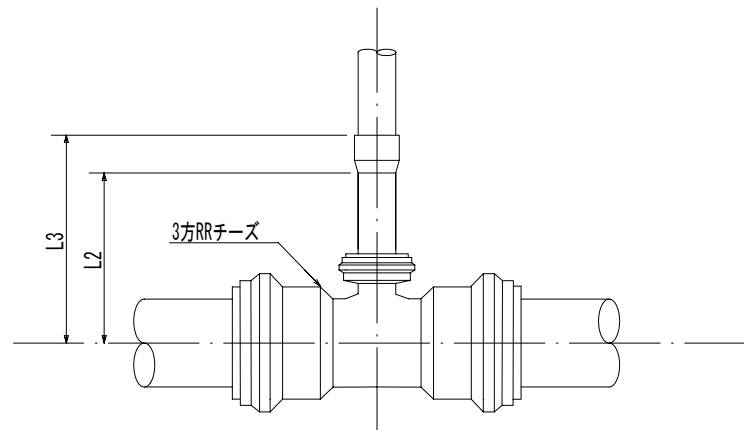
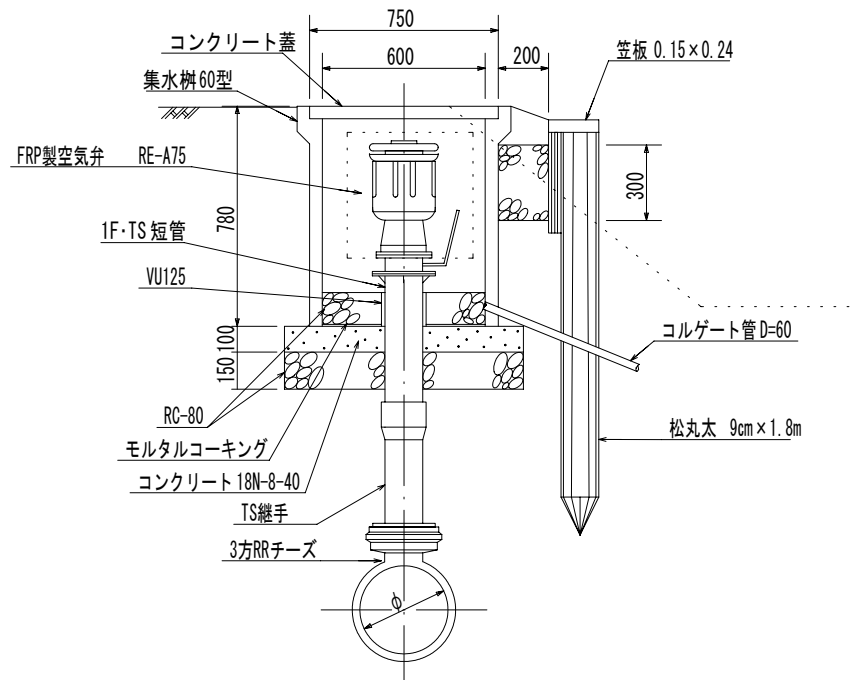
保護管詳細図



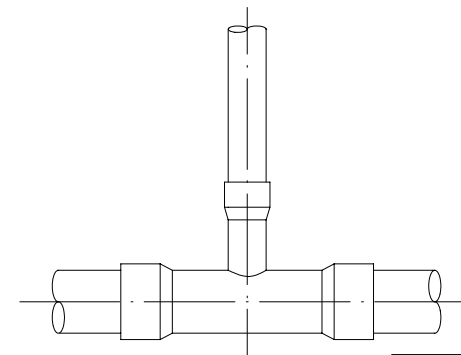
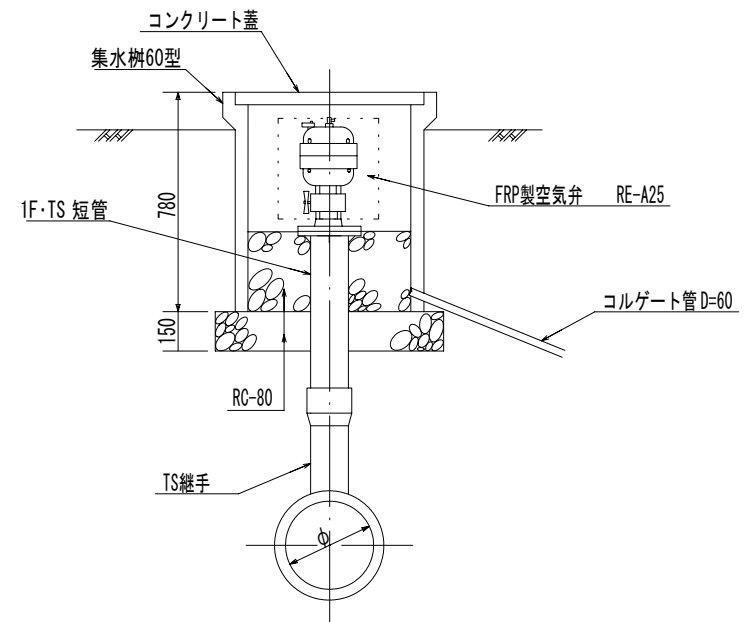
給水栓保護管構造図
(全自動給水栓型)

E-18
(参考図)

空気弁工（固定型）



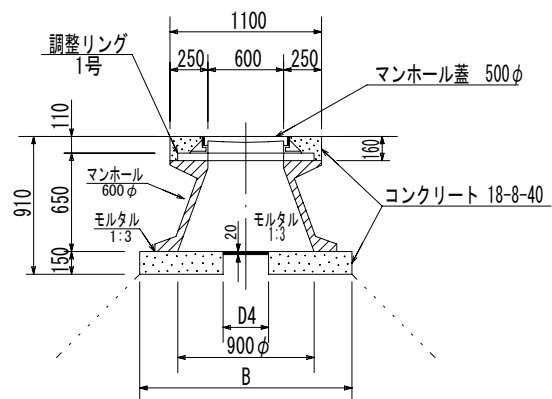
空気弁工（固定無）



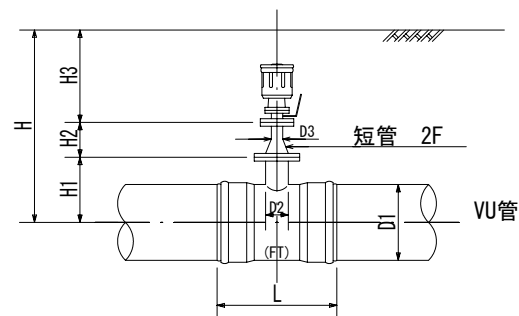
空気弁保護工
(集水桝型)

E-20

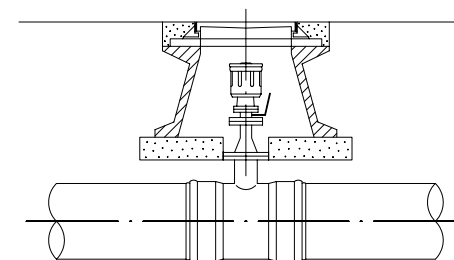
空気弁保護工側面図



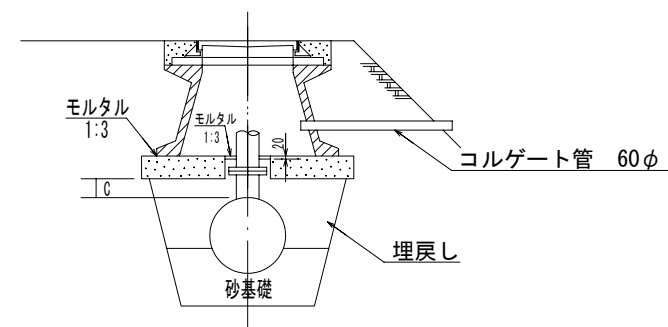
空気弁用T字管側面図



組合せ図

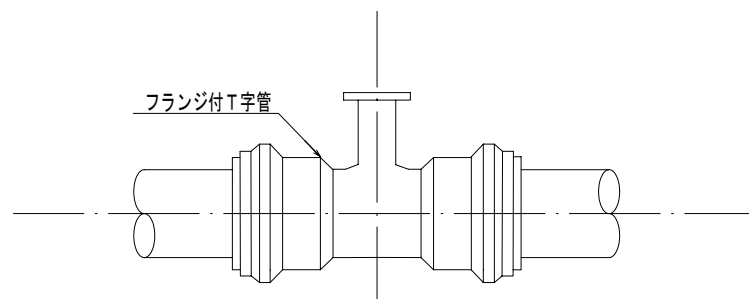
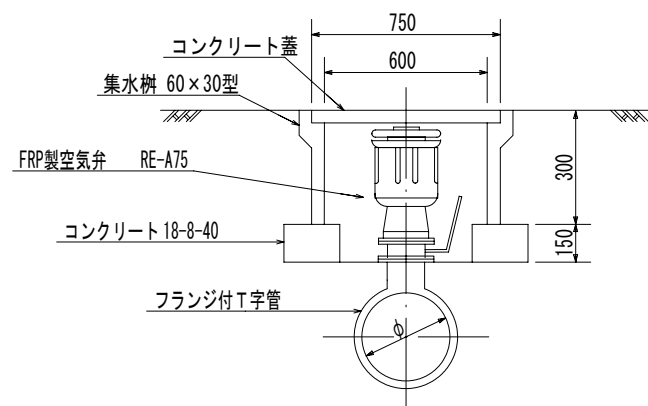


空気弁工断面図

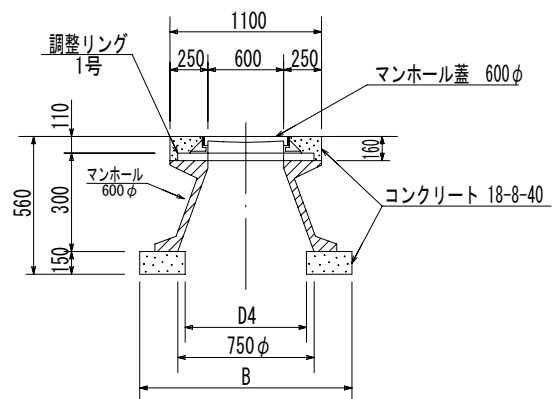


本管径	T字管	空気弁タイプ		空気溜径	空気弁径	底版孔	最 小	H1	H2	H3		L	本管径
		急排型	農水用	D2	D3	D4	B			(最小)	急排型		
100	塩ビ用	A	—	50	25	250	1400	190	156	510	—	400	100
125		A	—	50	25	250	1400	205	156	510	—	420	125
150		A	—	50	25	250	1400	215	156	510	—	450	150
200		A	—	50	25	300	1400	260	156	610	—	500	200
250		A	—	50	25	300	1400	280	156	610	—	540	250
300	FPPM製	A	A	50	25	300	1400	335	156	610	560	640	300
350		A	A	150	75	300	1400	360	230	610	560	680	350
400		A	A	150	75	300	1400	385	230	610	560	710	400
450		A	A	150	75	300	1400	410	230	610	560	750	450
500		A	A	150	75	300	1400	430	230	610	560	790	500

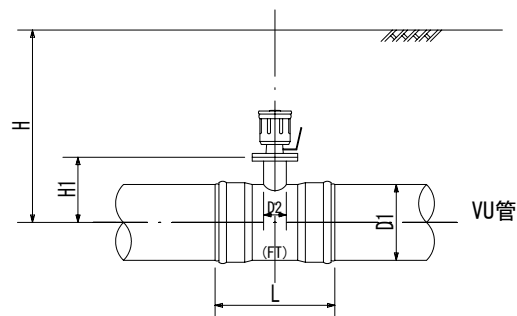
空気弁工（固定型）



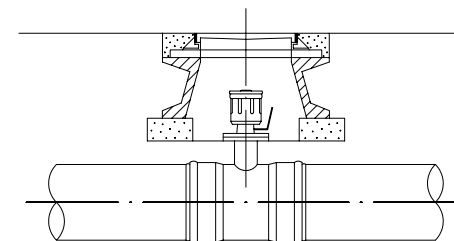
空気弁保護工側面図



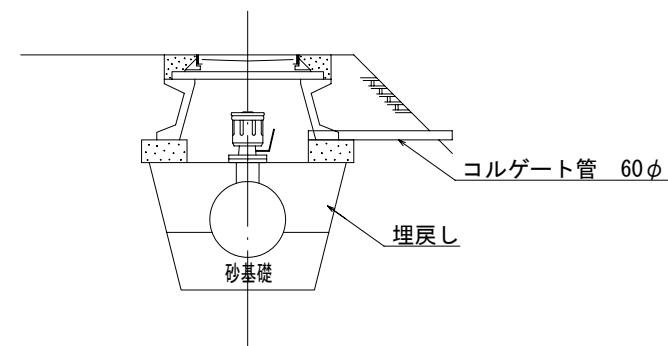
空気弁用T字管側面図



組合せ図



空気弁工断面図

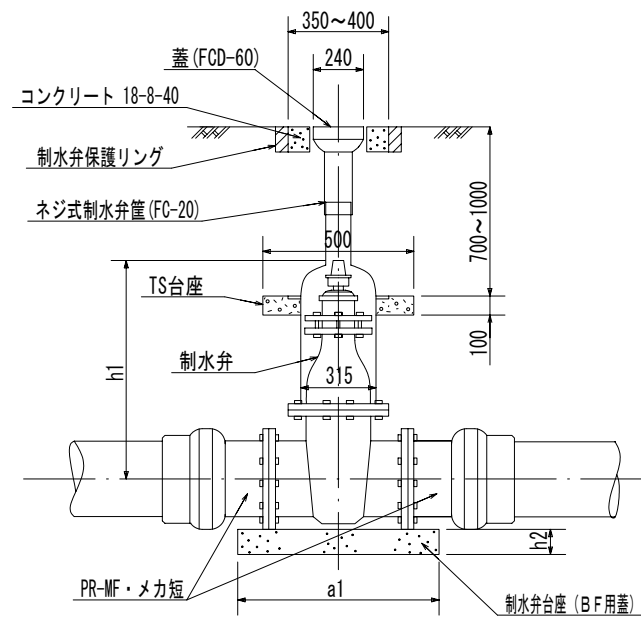


本管径	T字管	空気弁タイプ	空気溜径	空気弁径	底版孔	最 小	H1	L	本管径	
D1		急排型 農水用	D2	D3	D4	B			D1	
100	塩ビ用	A	—	75	25	500	1400	190	400	100
125		A	—	75	25	500	1400	205	420	125
150		A	—	75	25	500	1400	215	450	150
200		A	—	75	75	500	1400	260	500	200
250		1F	A	—	75	75	500	1400	280	540
300	FPPM製	A	A	75	75	500	1400	335	640	300
350		A	A	75	75	500	1400	360	680	350
400		A	A	75	75	500	1400	385	710	400
450		A	A	75	75	500	1400	410	750	450
500		A	A	75	75	500	1400	430	790	500

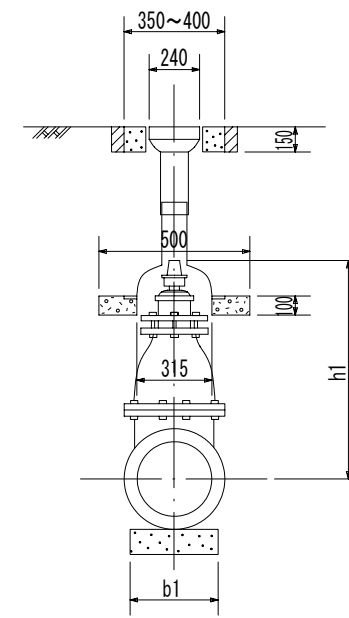
空気弁保護工（浅埋設用）
（マンホール型）

E-23

側面図



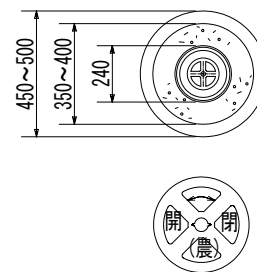
正面図



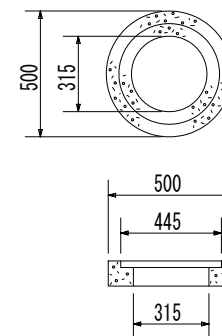
制水弁台座 選定表

本管径	BF蓋規格
50	300
75	300
100	400
125	400
150	400
200	400
250	500
300	500

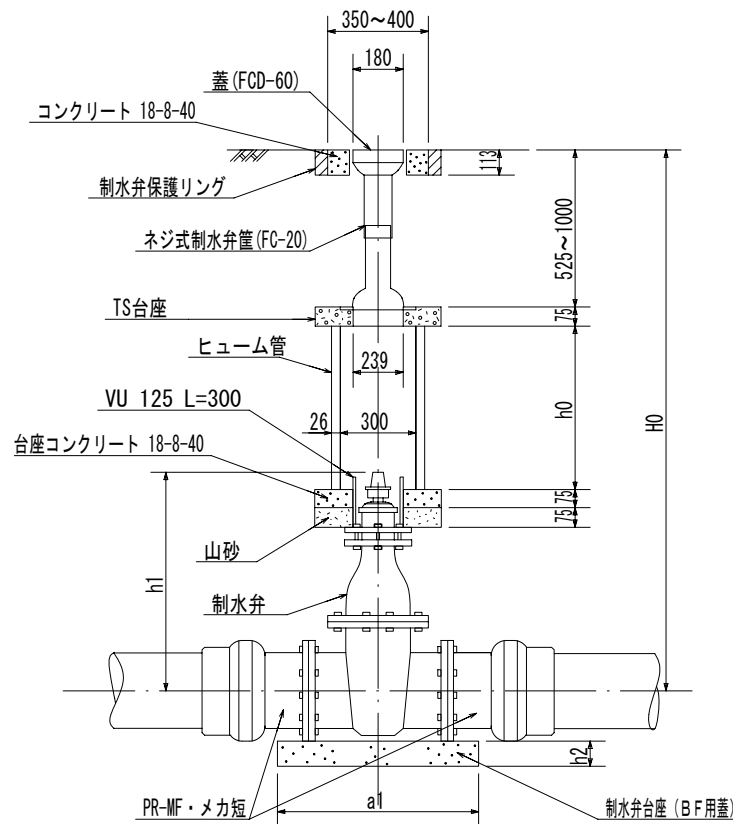
保護管平面図



TS台座平面図



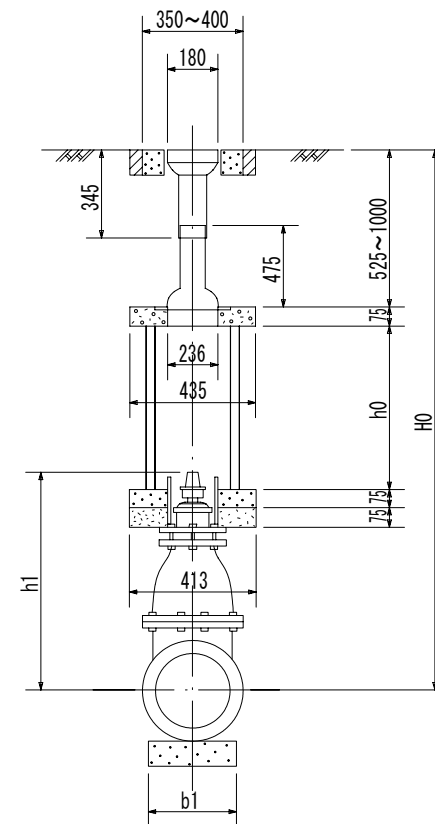
側面図



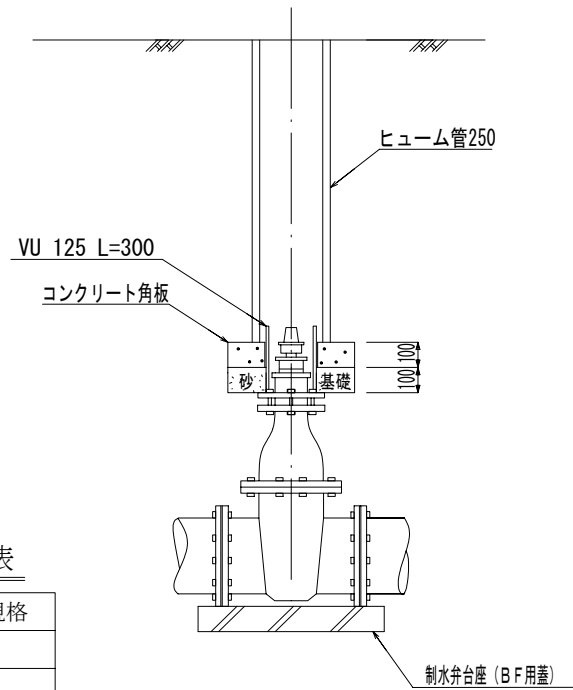
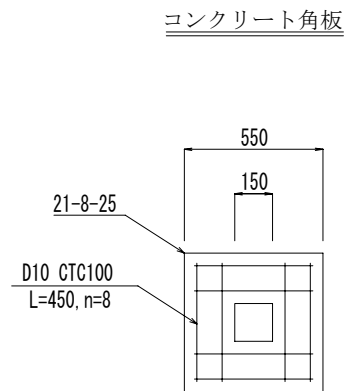
制水弁台座選定表

本管径	BF蓋
50	300
75	300
100	400
125	400
150	400
200	400
250	500
300	500

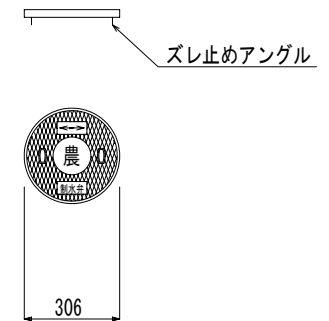
正面図



側面図



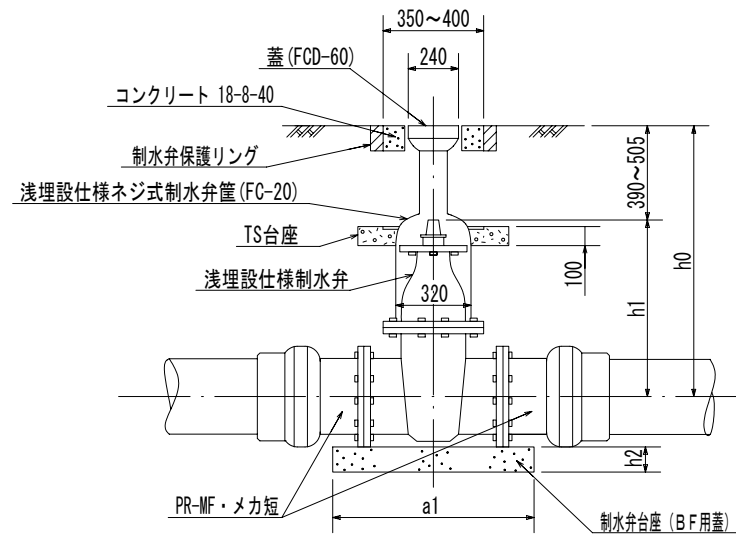
保護管平面図



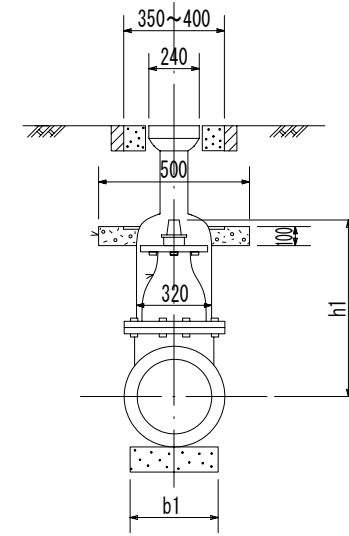
制水弁台座 選定表

本管径	BF蓋規格
50	300
75	300
100	400
125	400
150	400
200	400
250	500
300	500

側面図



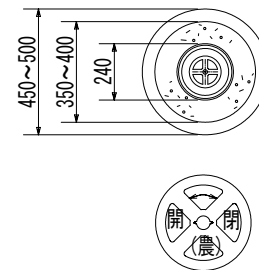
正面図



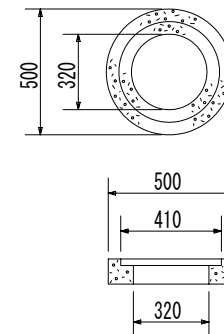
制水弁台座 選定表

本管径	BF蓋規格
50	300
75	300
100	400
125	400
150	400
200	400
250	500
300	500

保護管平面図



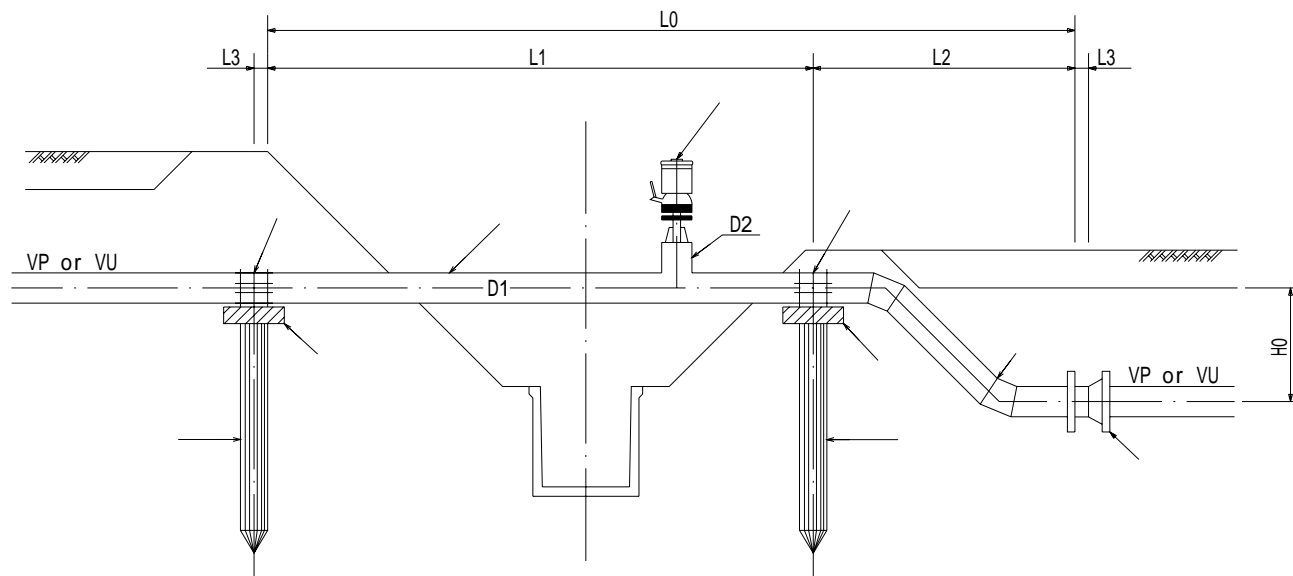
TS台座平面図



制水弁筐
(浅埋設用)

E-28

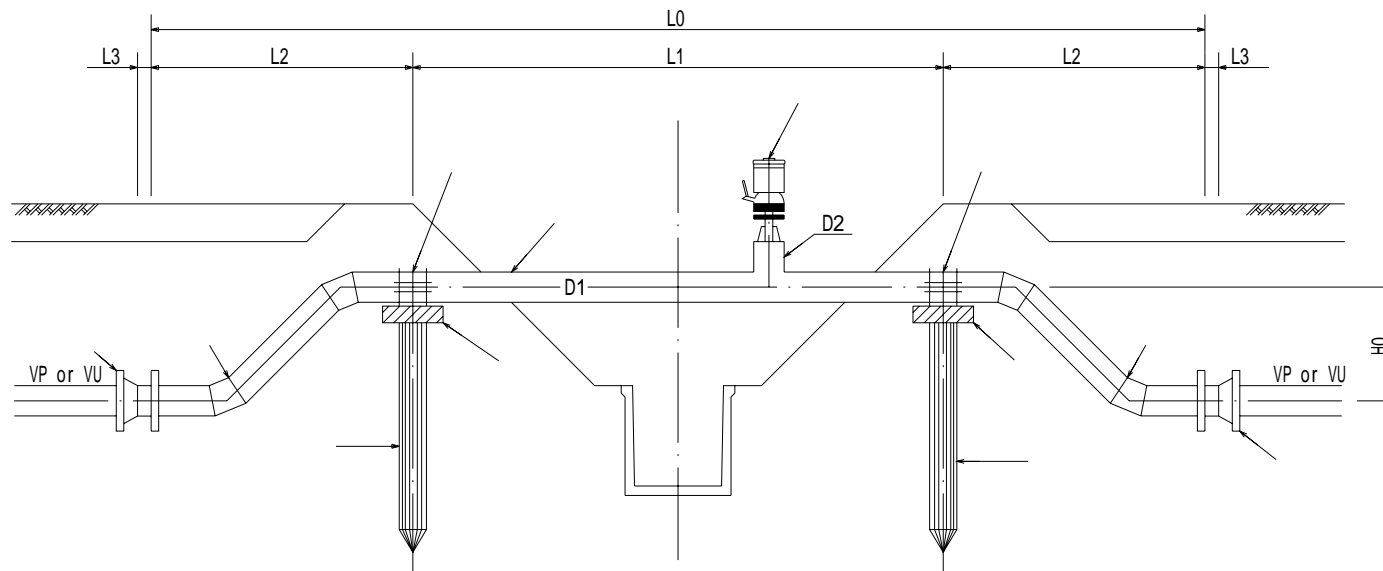
Aタイプ



Aタイプ

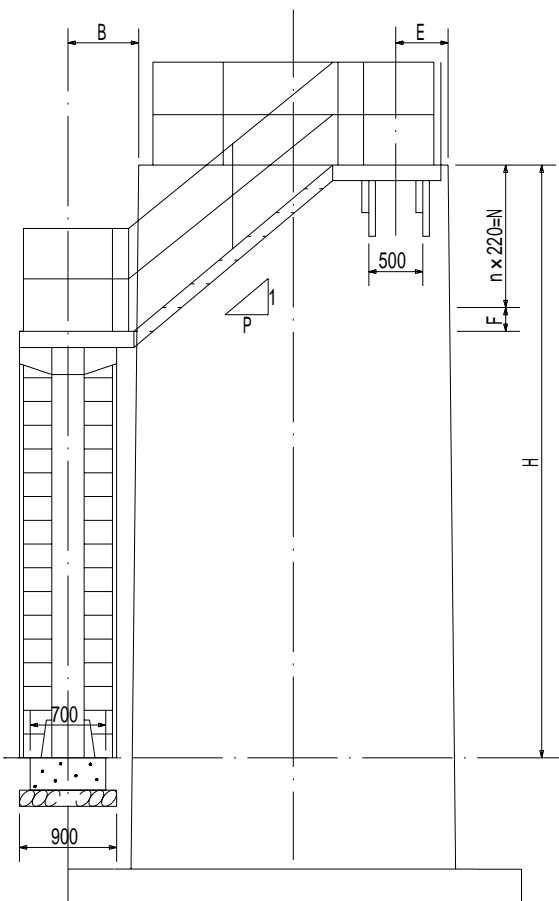
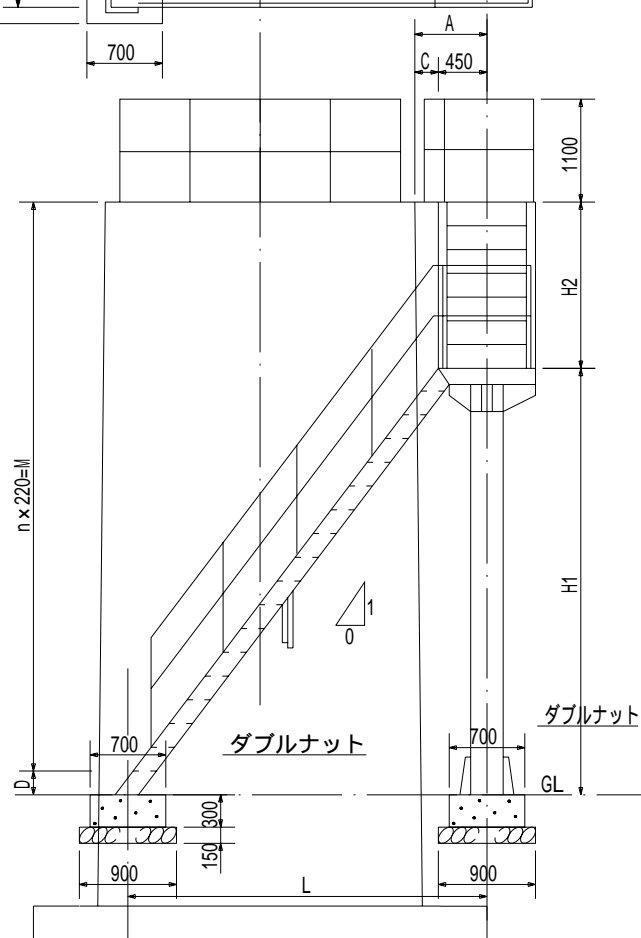
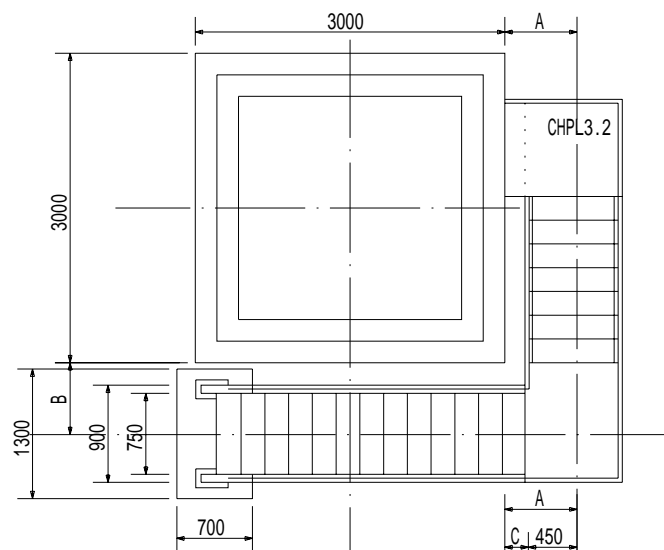
符号	名 称	規格・寸法	材質	数量	備 考
1	空気孔付短管	D1×D2	STW	1	1F
2	乙 字 管	D1 ≒45°	STW	1	
3	メカ短管	D1	FC	1	
4	伸縮継手	D1		2	
5	農水用空気弁	D=75	FRP	1	3方式補修弁付
6	受 台	500×600×110	RC	2	落蓋式側溝蓋
7	松 丸 太	≒180 L=1800		2	

Bタイプ



Bタイプ

符号	名 称	規格・寸法	材質	数量	備 考
1	空気孔付短管	D1×D2	STW	1	
2	乙 字 管	D1 ≒45°	STW	1	1F
3	乙 字 管	D1 ≒45°	STW	1	1F
4	メカ短管	D1	FC	2	
5	伸縮継手	D1		2	
6	農水用空気弁	D=75	FRP	1	3方式補修弁付
7	受 台	500×600×110	RC	2	落蓋式側溝蓋
8	松 丸 太	≒180 L=1800		2	



設計仕様

品番	材質	寸法	H	重量 kg	塗装 m
1	SSC41	[150・75・4.5	3500	641.40	31.36
	SS41	FB100・12	4000	664.44	32.83
	SS	CHPL3.2	4500	715.44	35.92
2	STK41	42.7・3.2	5000	736.0	37.15
3	SSC41	[150・75・4.5	5500	815.0	40.99
	SS41	PL6	6000	941.1	42.41
	SS	CHPL3.2	塗装仕様		
4	STK41	42.7・3.2	素地調整	ケレン	
5	STK41	216.3・5.8			
	SS41	PL12	プライマー	ウォッシュ プライマー15μ	
	"	PL 6			
	"	FB100・12	下 塗	鉛丹錆止 35μ	
	SS41	FB50・6			
6	SS41	L65・65・6	中 塗	フタル酸樹脂 30μ	
	SSC41	[150・75・4.5			
	SS	CHPL3.2	上 塗	" 25μ	
	SSC41	[150・75・4.5			
	SS	CHPL3.2	色	赤	145
1.6	SUS304	SC1610			
1.5	SUS304	BNWM12.40			

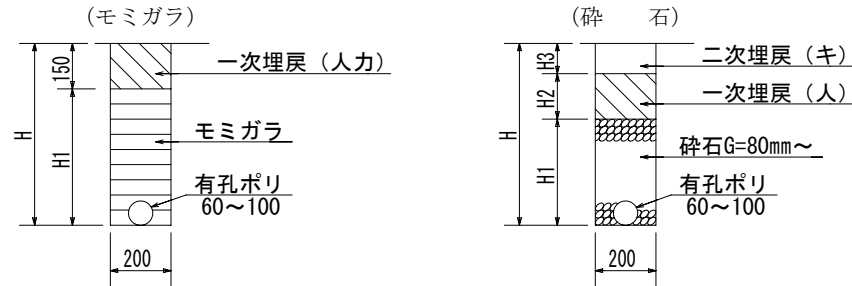
階段工

H=3.50～6.00用

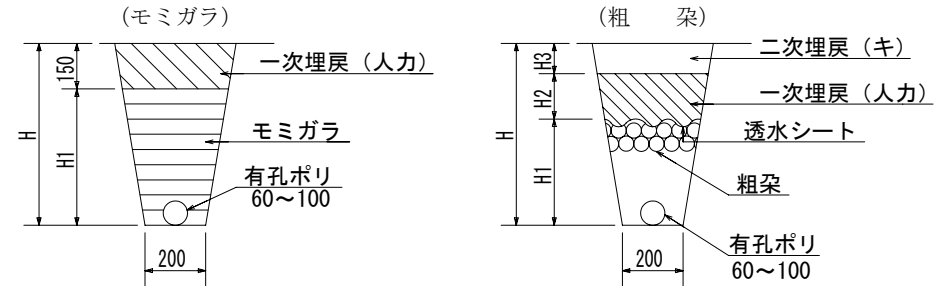
E - 5 1

暗 渠 排 水 工

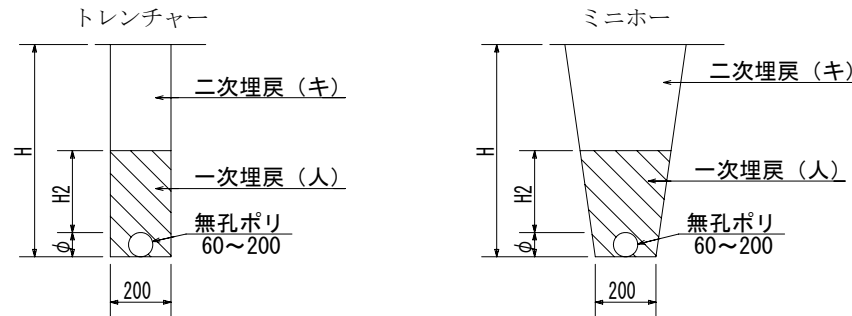
吸水渠トレンチャー



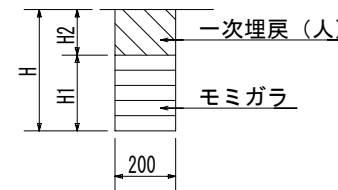
吸水渠ミニホー掘削



集水渠



モミガラ壁工



モミガラ壁工寸法表

H	H1	H2	摘要
400	250	150	
500	350	150	
600	450	150	

吸水渠寸法表

機種	H	型	モミガラ			粗朶及び砕石			摘要
			H1	H2		H1	H2	H3	
トレンチャー	600	20 T	450	150		350	150	100	砕石
	700	20 T	550	150		350	150	200	砕石
	800	20 T	650	150		350	150	300	砕石
ミニホー	600	20 M	450	150		350	150	100	粗朶
	700	20 M	550	150		350	150	200	粗朶
	800	20 M	650	150		350	150	300	粗朶

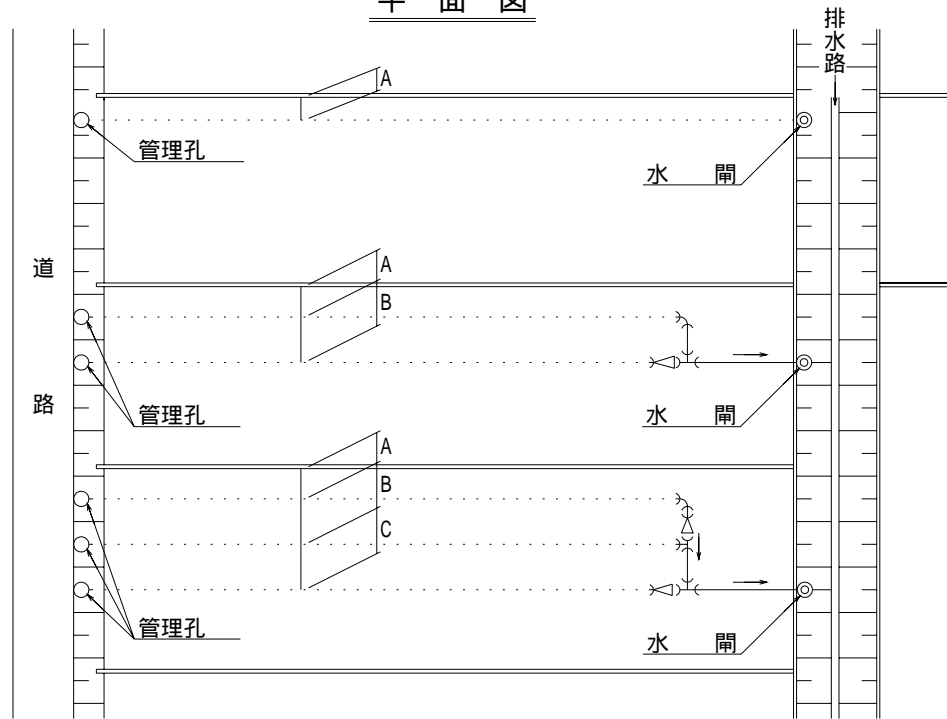
集水渠寸法表

トレンチャー (T-20)			ミニホー (M-20)		
H	φ	H2	H	φ	H2
700	60~200	300	700	60~200	300
800	"	"	800	"	"
900	"	"	900	"	"
1000	"	"	1000	"	"
1100	"	"	1100	"	"
1200	"	"	1200	"	"

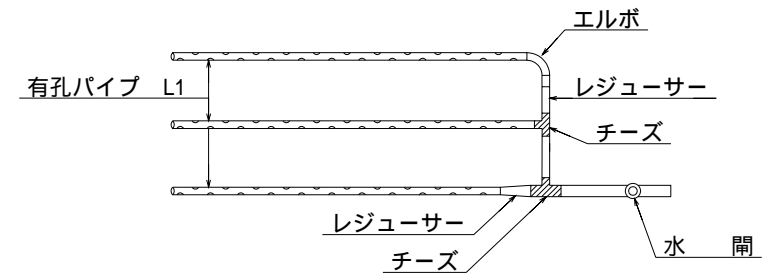
施工上の注意

1. 最緩勾配 $I = 1/400$ とする。
2. $I = 1/400$ 以上の緩勾配となる場合は、監督職員に連絡し管径の変更及び集水渠方式を採用する。
3. 吐出口は計画水路底より150mm以上に設置する。
4. トレンチャーによる掘削不能の場合は監督職員と協議の上機種を変更する。
5. 一次埋戻 (H2) は人力による。
6. 粗朶は切口を上流に向け伏設し地表面下25cm以内に埋設してはならない。
7. モミガラ壁工は吸水渠の上部を横断する様設置すること。

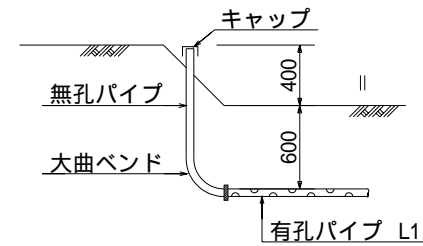
平面図



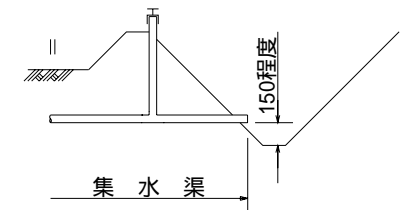
配管図



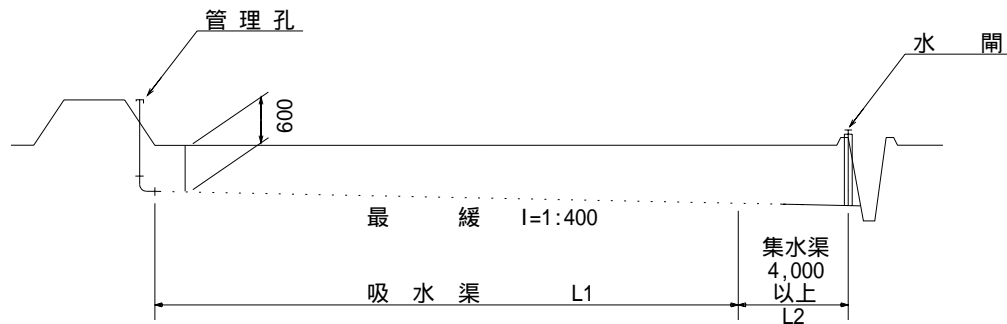
管理孔 60 -



水閘 65 - 100



縦断図



施工上の注意

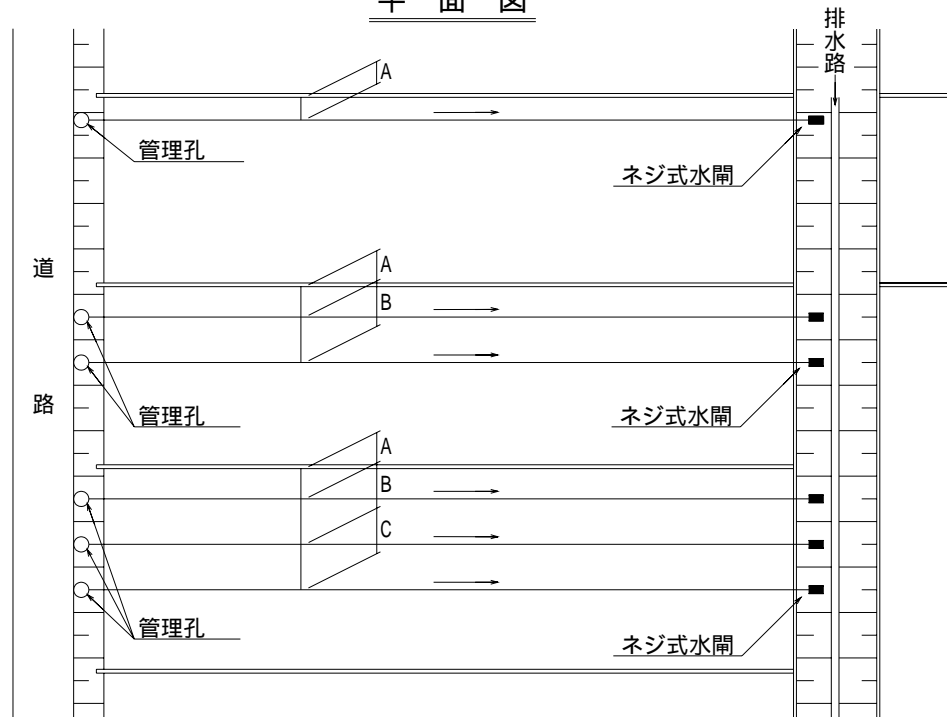
1. 管理孔及び水閘は埋設管径と同径を使用する。
2. 最緩勾配を割る場合は管径及び排水口の設置位置を変更する。
3. 渠線数及び間隔は別途指示する。

暗渠排水工標準図

水平水閘型

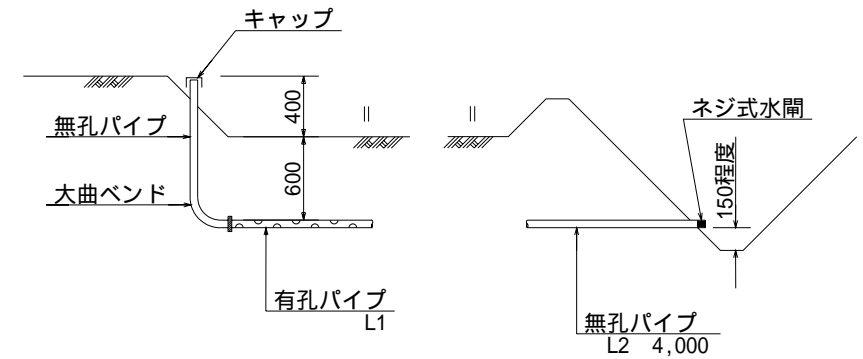
F - 0 2

平面図

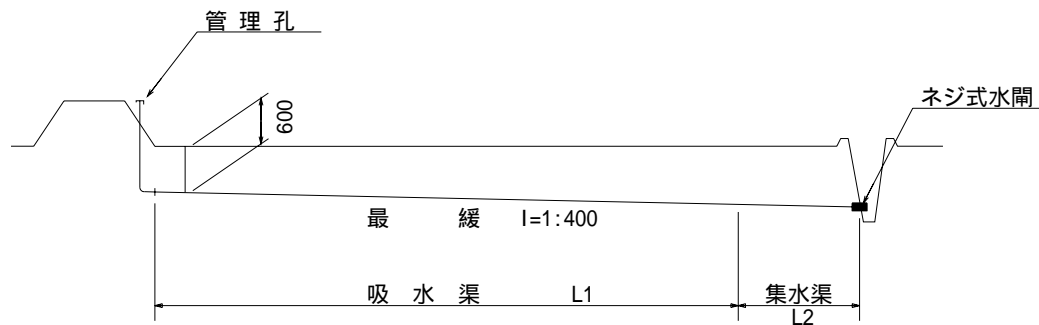


管理孔 60 -

ネジ式水閘 65 - 100



縦断図



施工上の注意

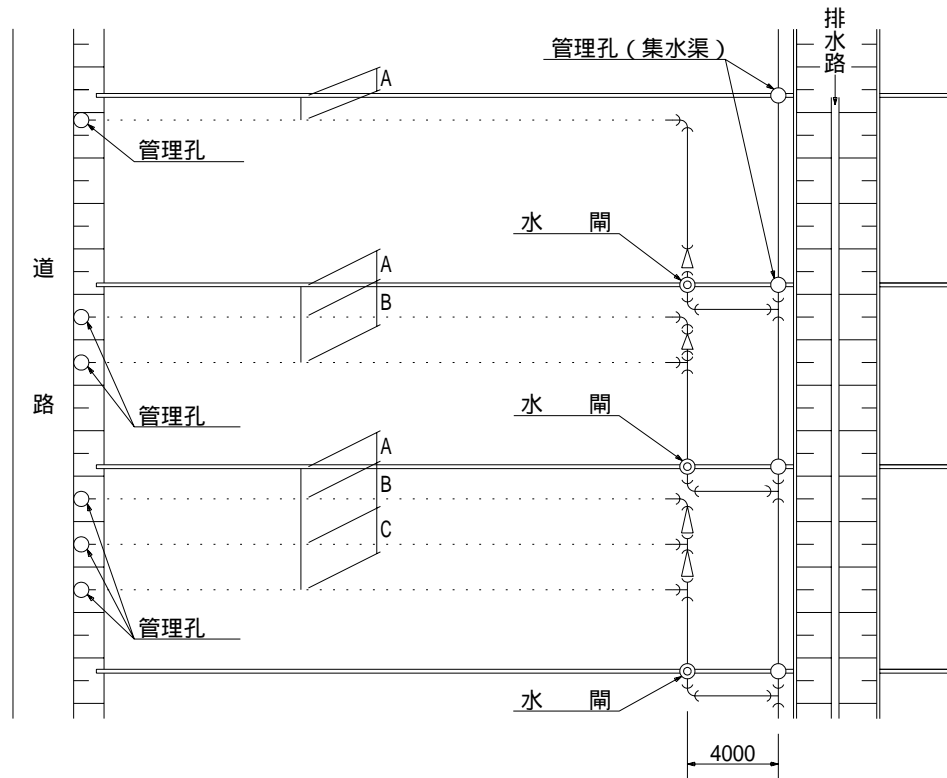
1. 管理孔及び水平水閘は埋設管径と同径を使用する。
2. 最緩勾配を割る場合は管径を変更する。
3. 渠線数及び間隔は別途指示する。

暗渠排水工標準図

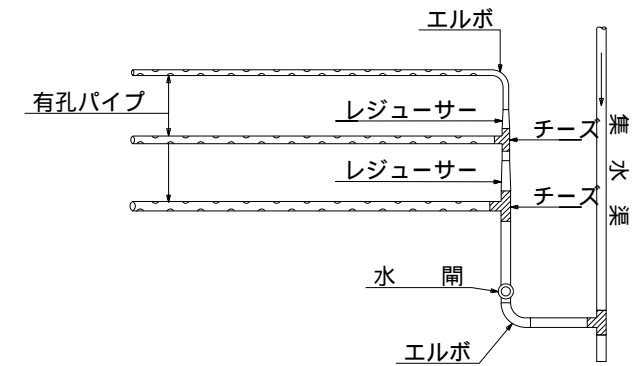
ネジ式水閘型

F - 0 3

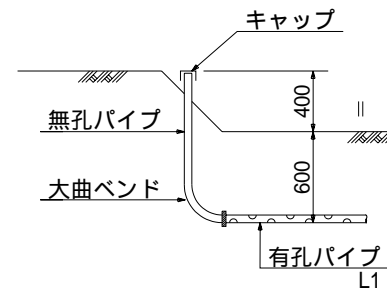
平面図



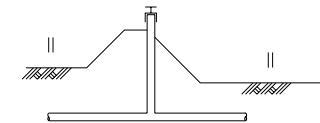
配管図



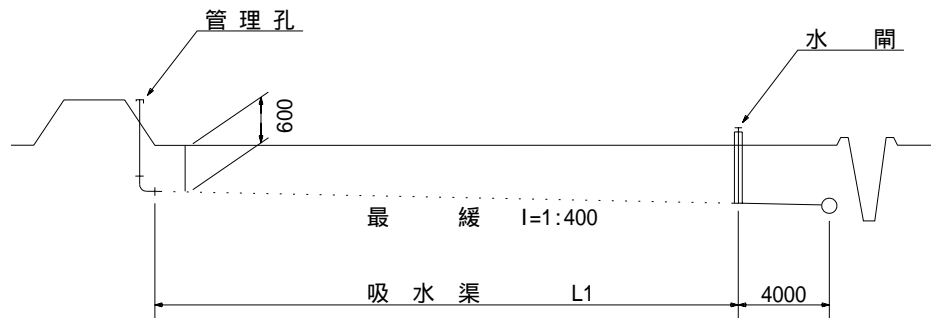
管理孔 60 -



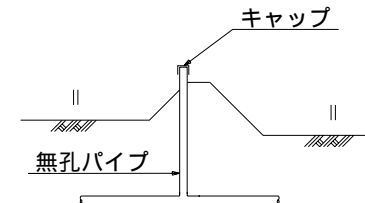
水平水閘 65 - 100



縦断図



集水渠管理孔 60 -



施工上の注意

1. 管理孔及び水閘は埋設管径と同径を使用する。
2. 最緩勾配を割る場合は管径を変更する。
3. 渠線数及び間隔は別途指示する。

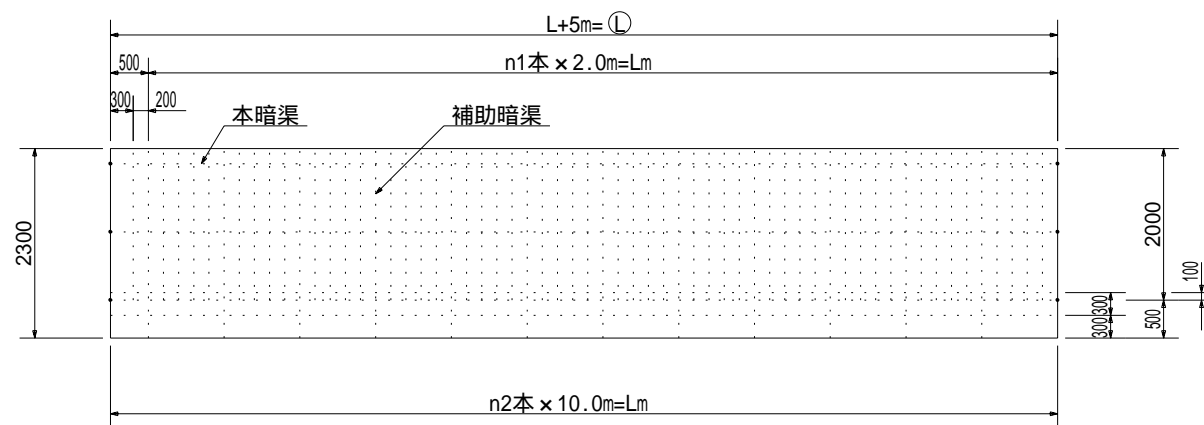
暗渠排水工標準図

集水渠型

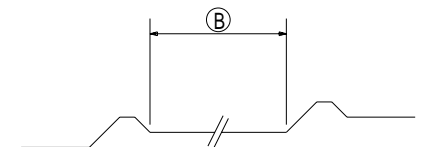
F - 0 4

補助暗渠（重粘土層改良工）標準図

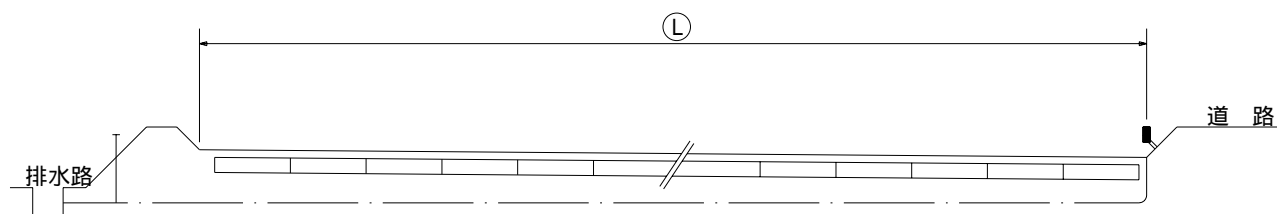
平面図



断面図

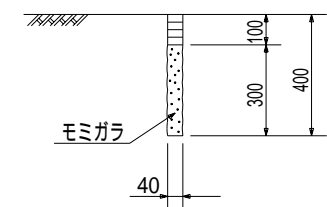


縦断面図



補助暗渠標準断面図

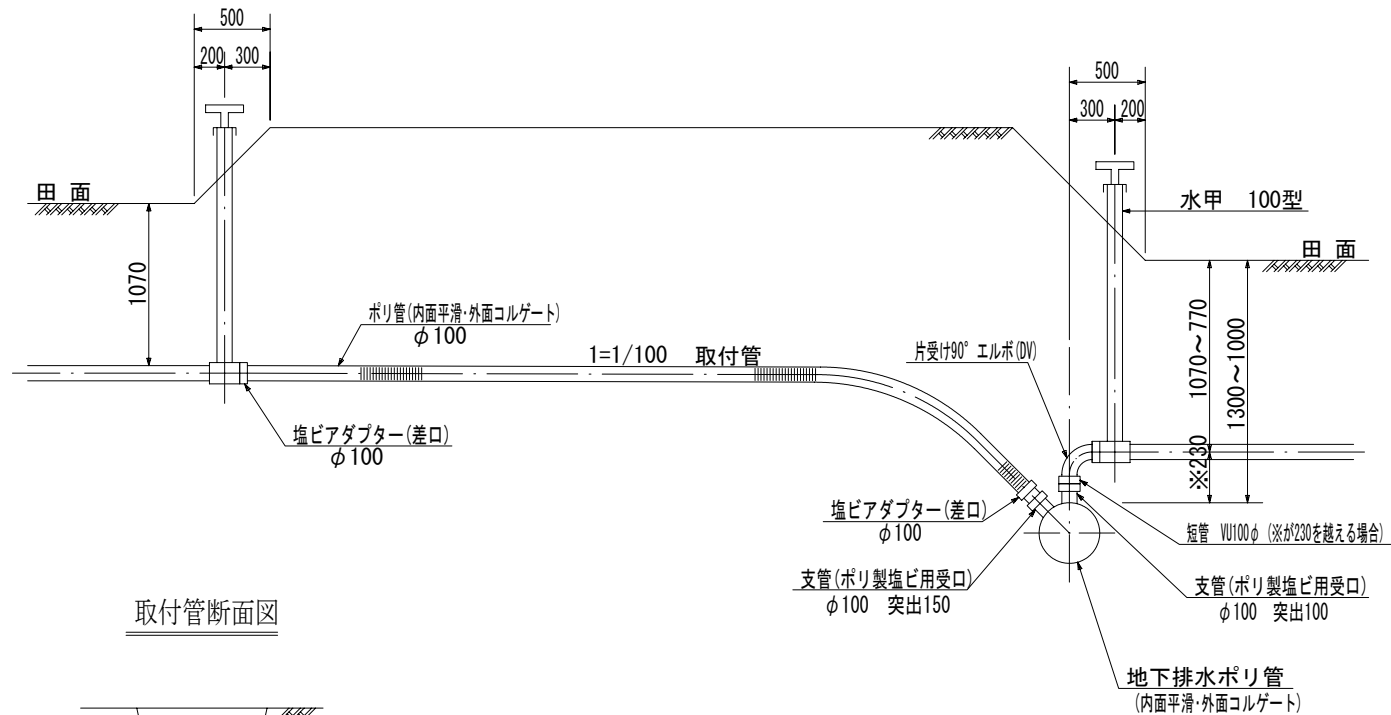
S=1:20



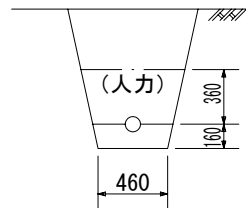
補助暗渠（重粘土層改良工） F - 0 5

標準図

断面図



取付管断面図

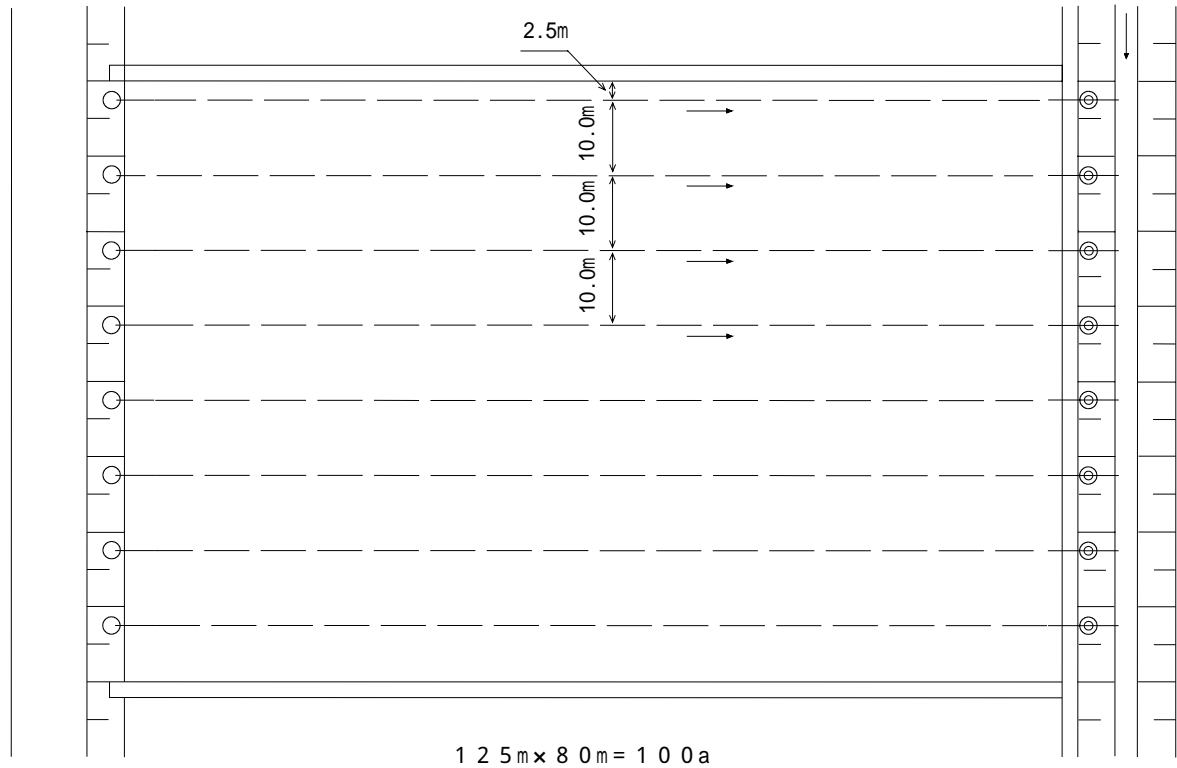


暗渠排水工
(地下排水型)

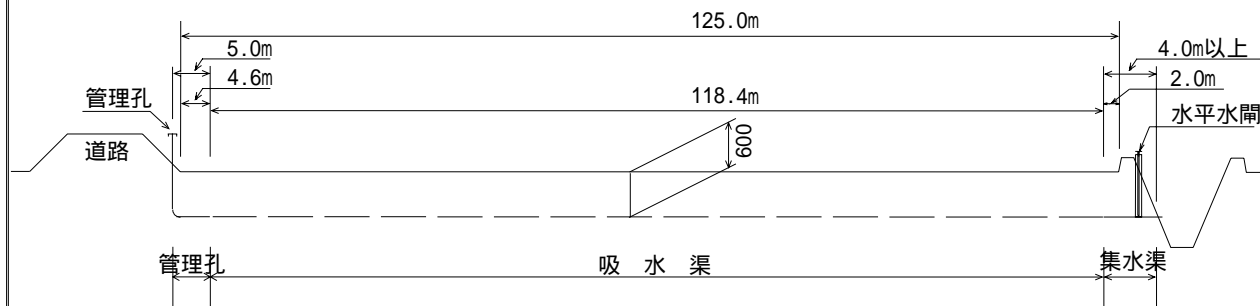
F-06

(参考図)

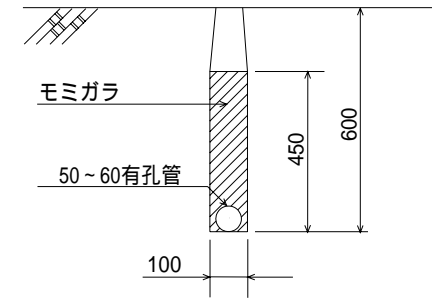
平面図



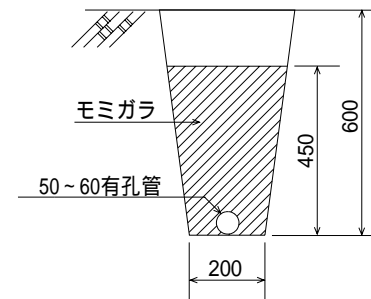
縦断図



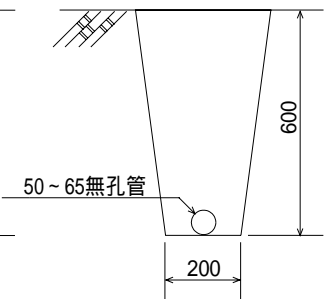
ドレンレイヤ - 標準図



管理孔断面図



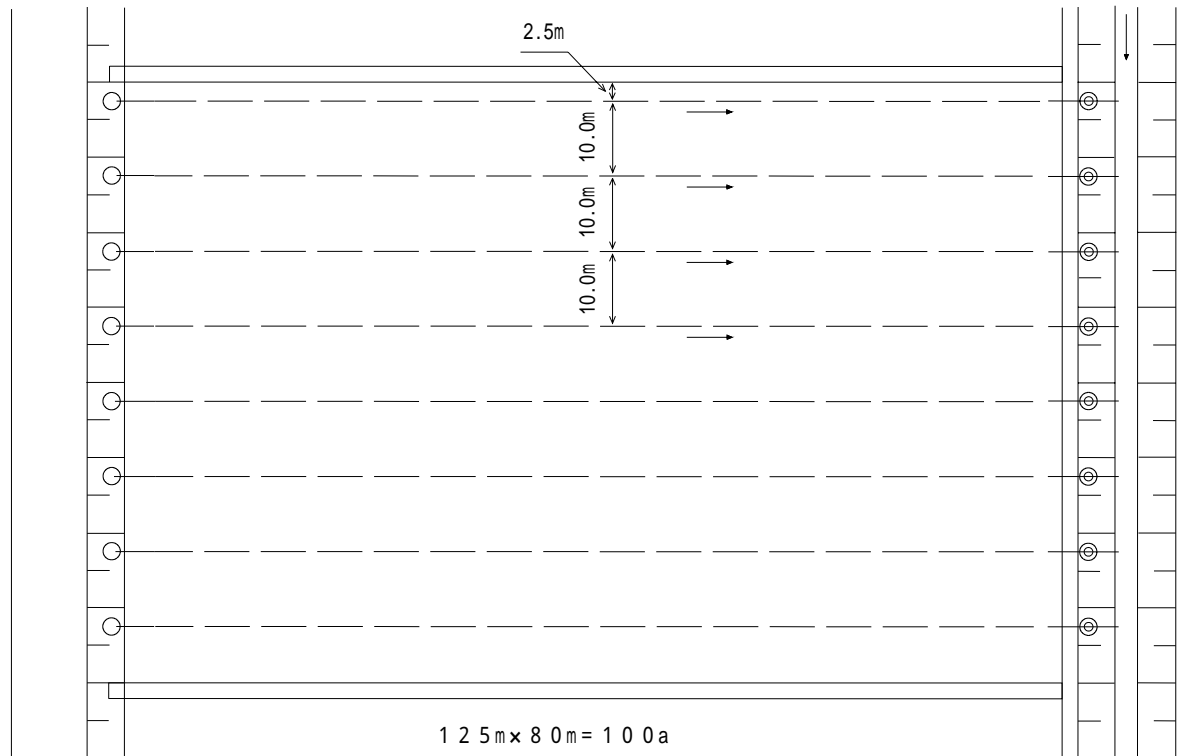
集水渠断面図



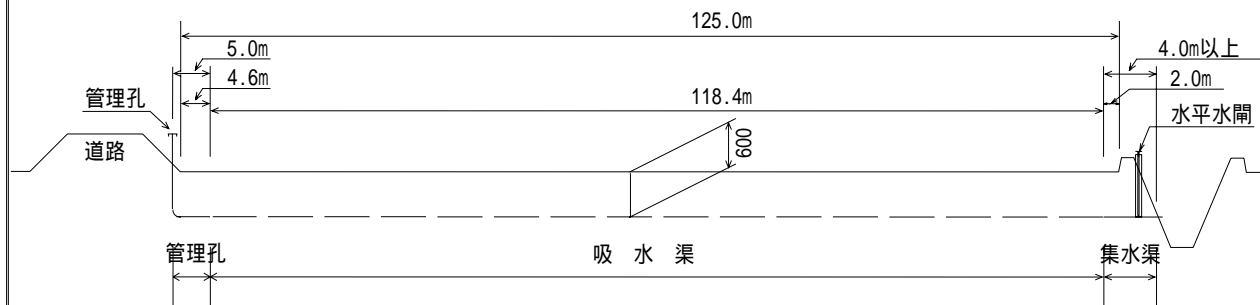
ドレンレイヤ - 工法
標準図

F - 10

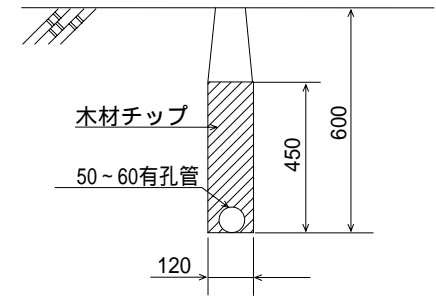
平面図



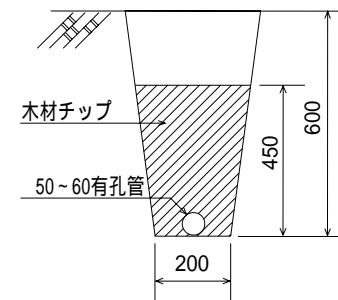
縦断図



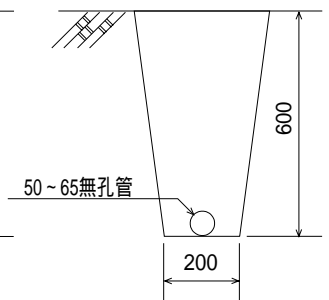
チップドレンレイヤ - 標準図



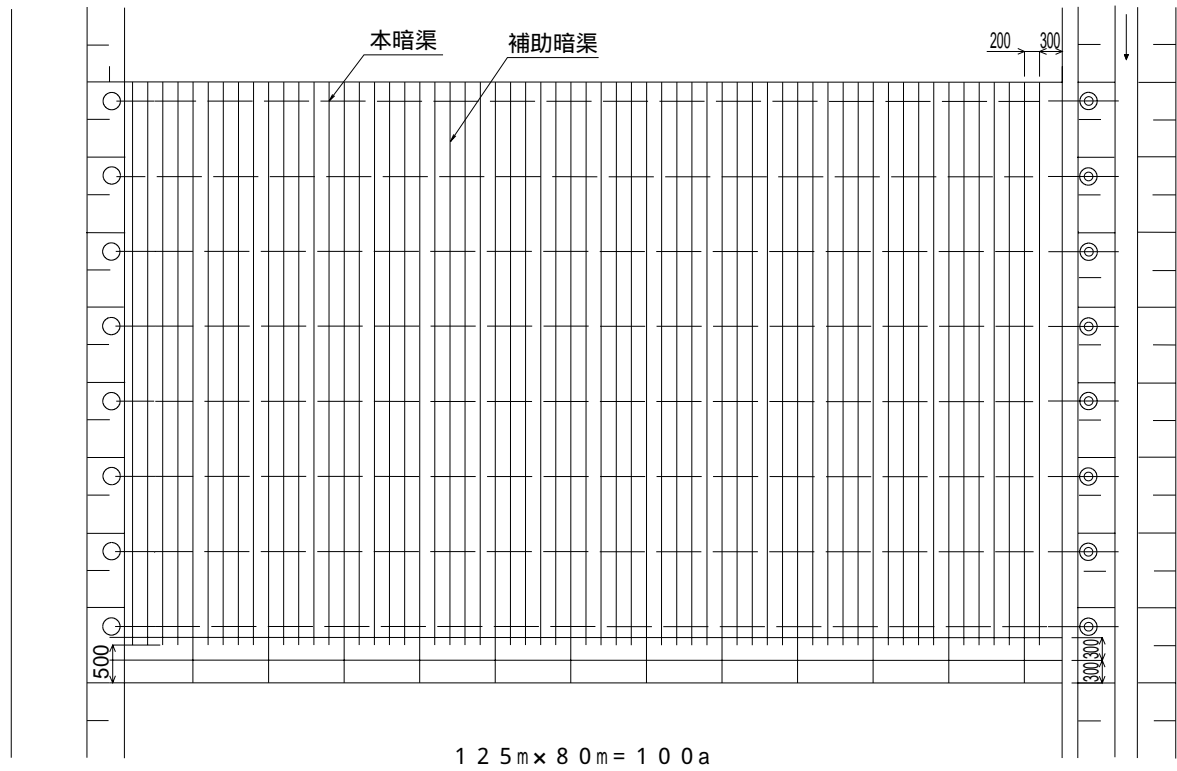
管理孔断面図



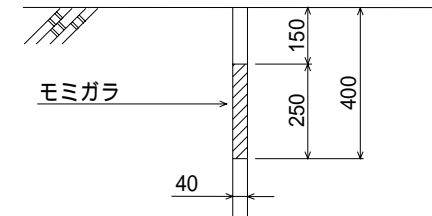
集水渠断面図



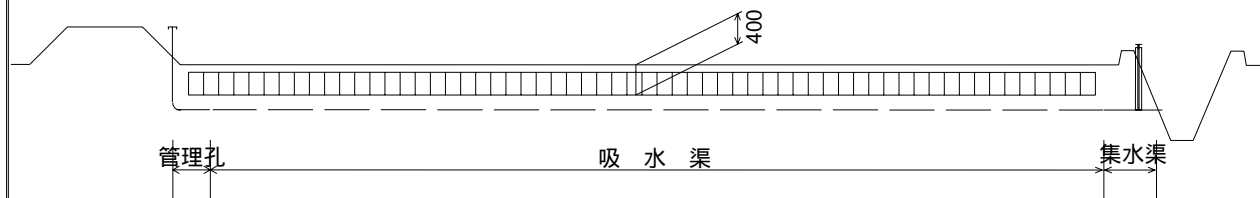
平面図



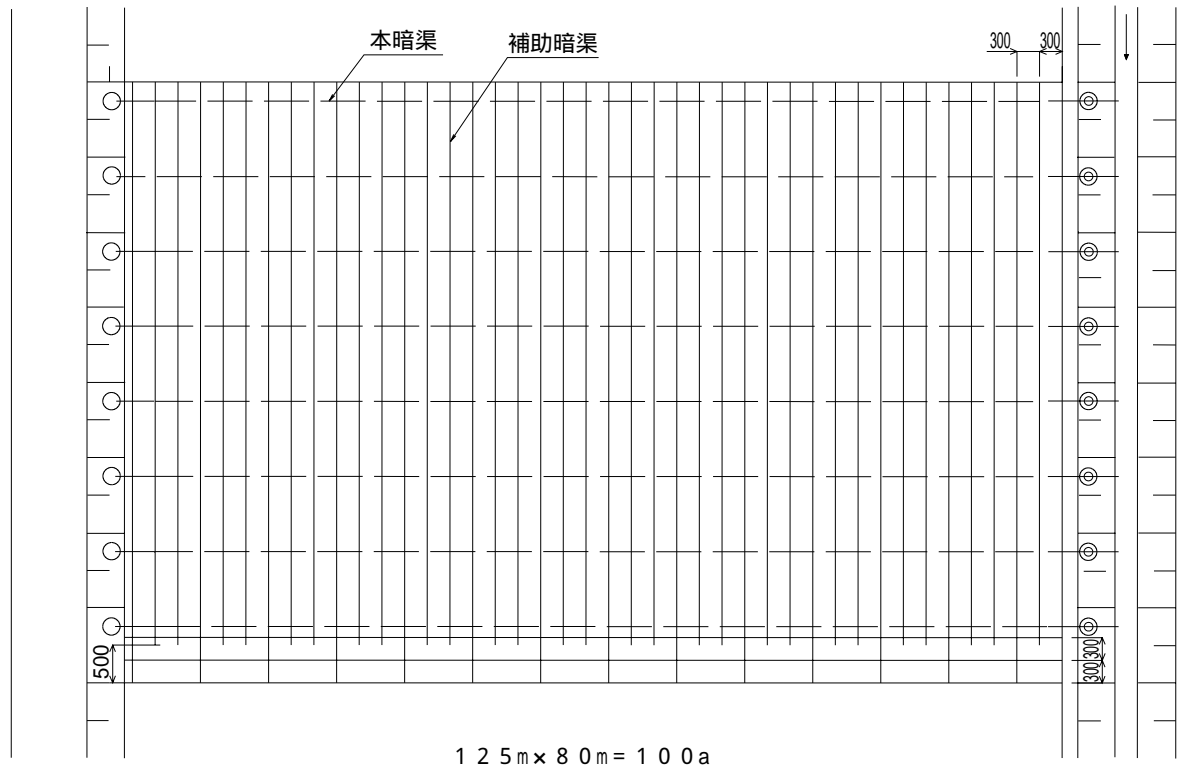
補助暗渠標準断面図



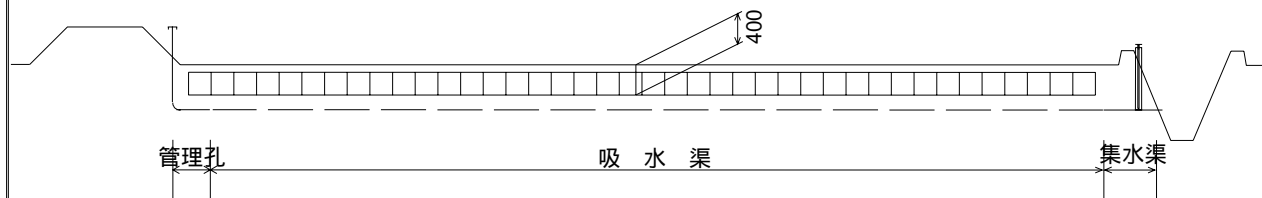
縦断面図



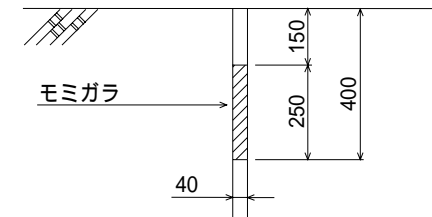
平面図



縦断図



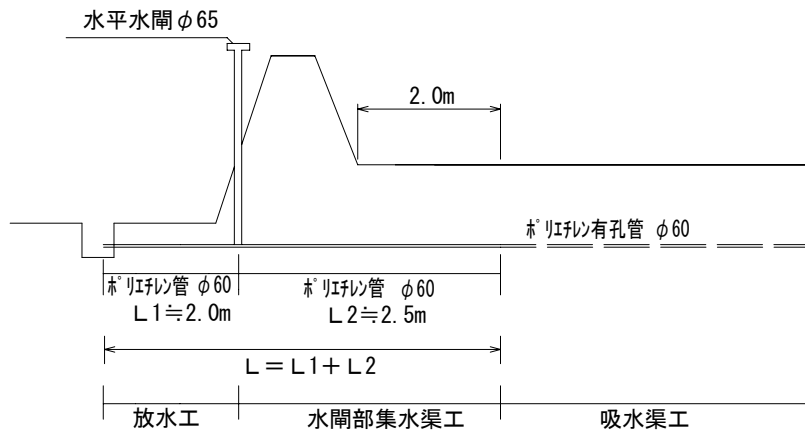
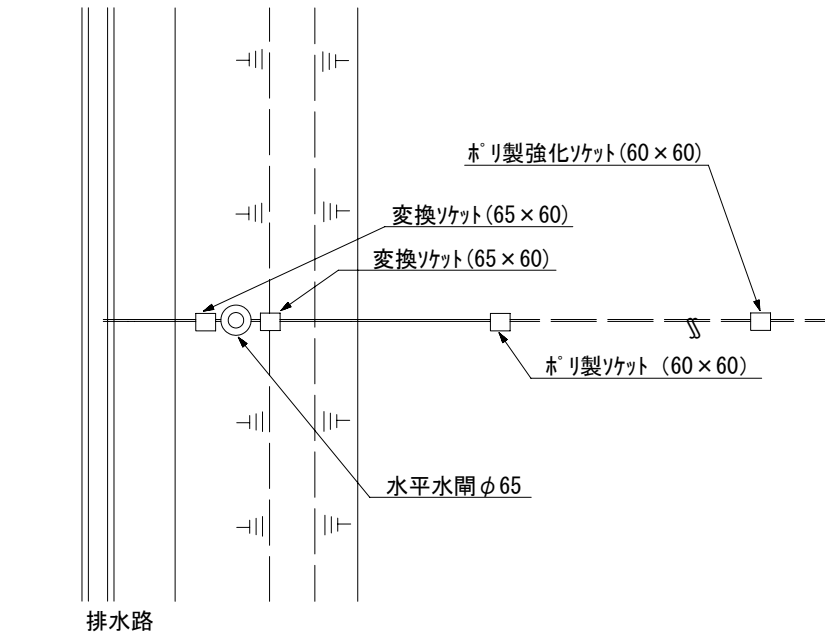
補助暗渠標準断面図



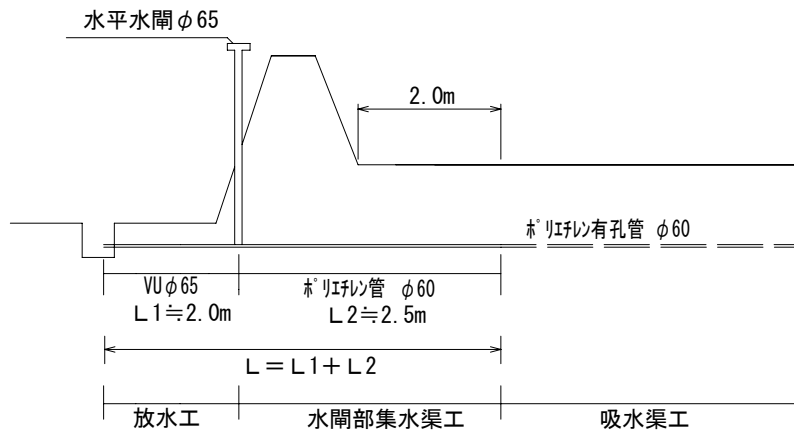
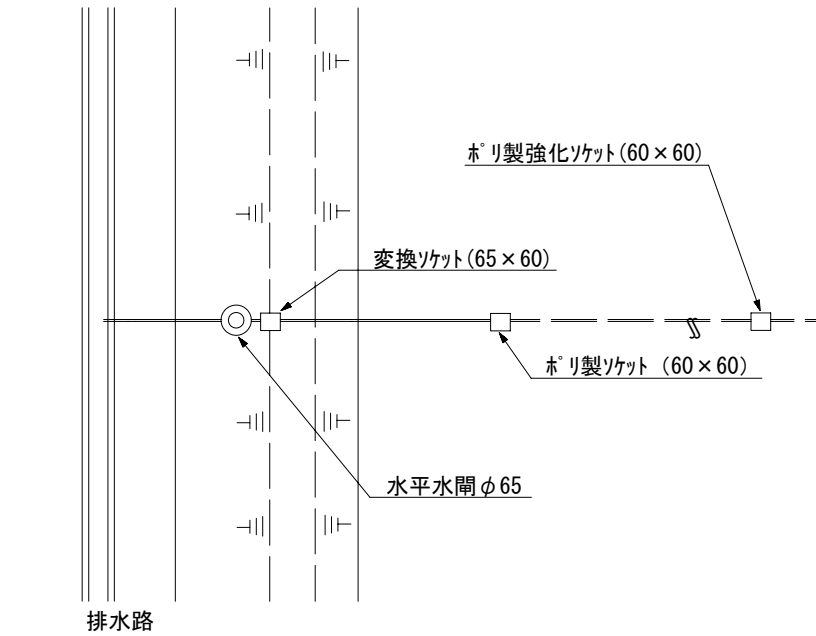
補助暗渠工
標準図 (b = 300)

F - 13

A型 (φ 65mm)



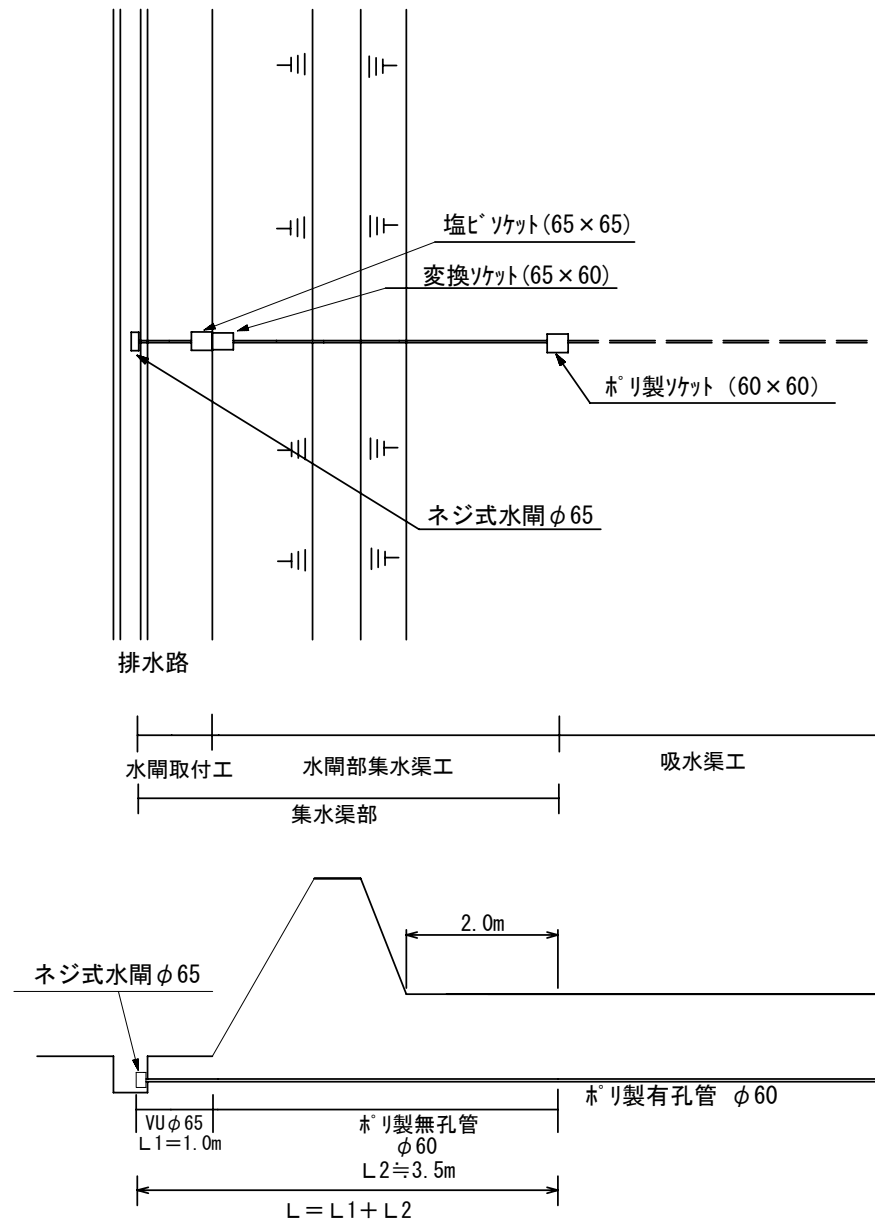
B 型 (ϕ 65mm)



水 閘 部 標 準 図
(水平水閘 φ65mm)

F-14

水閘部（ネジ式水閘）標準図（φ65mm）

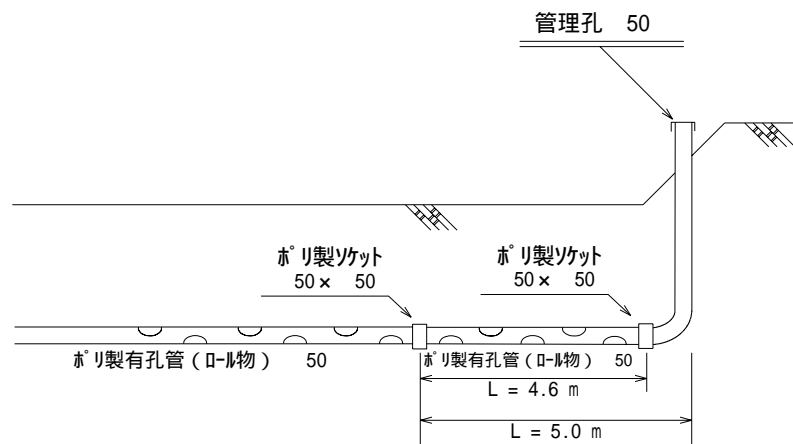


水閘部標準図

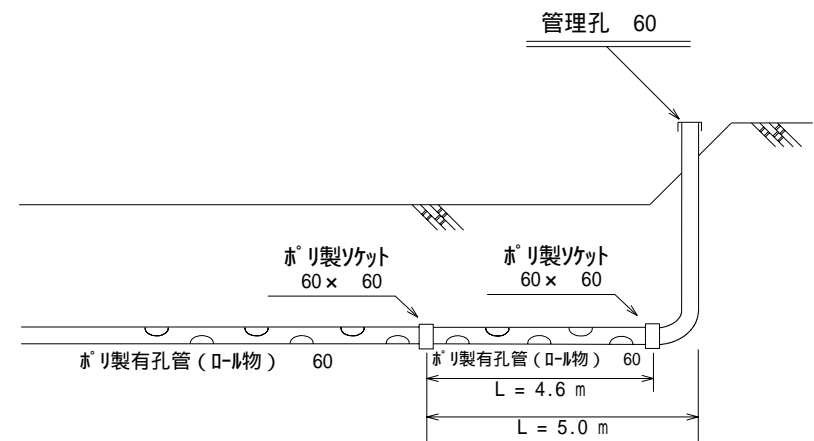
（ネジ式水閘 φ65mm）

F-15

管理孔標準図 (50mm)



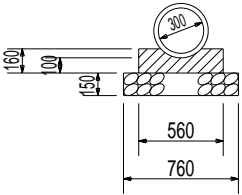
管理孔標準図 (60mm)



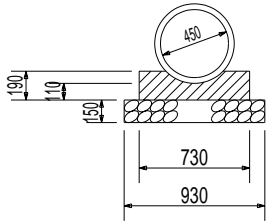
工 帶 附

コンクリート巻立
道路横断暗渠工標準断面図(1)
S=1:30

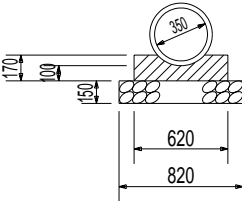
300-C



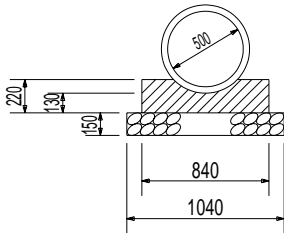
450-C



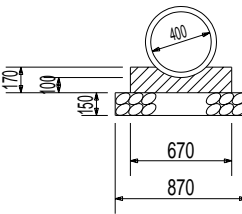
350-C



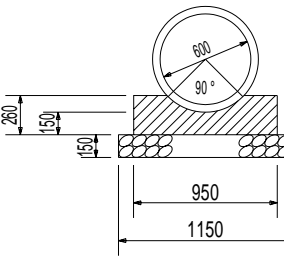
500-C



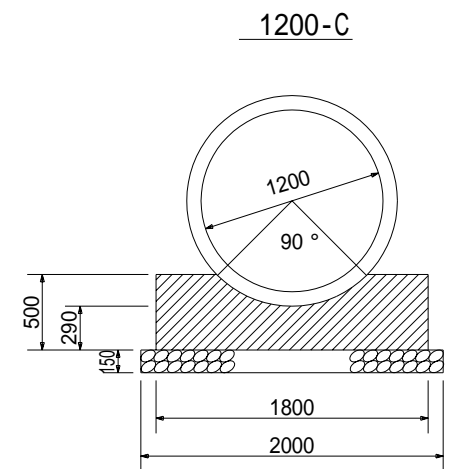
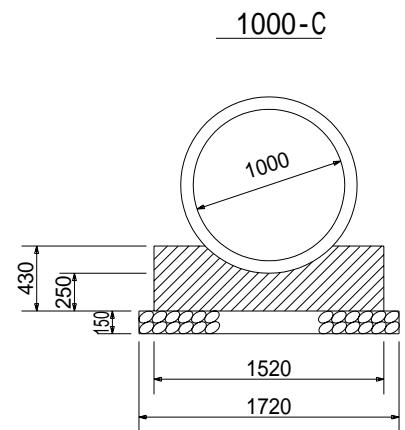
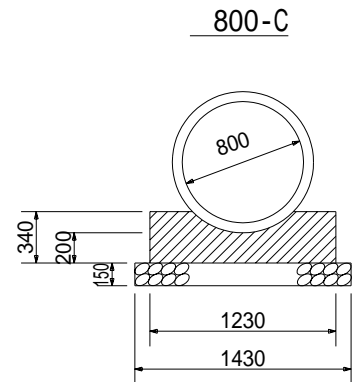
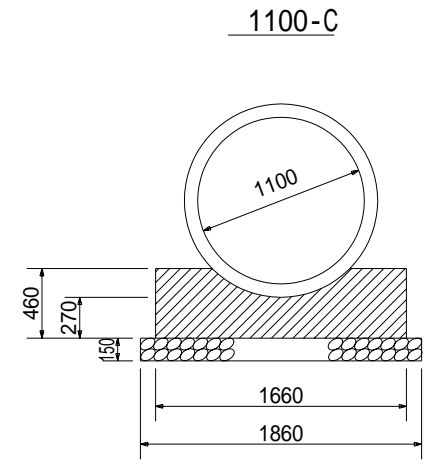
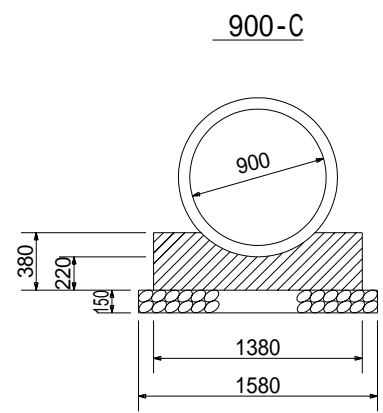
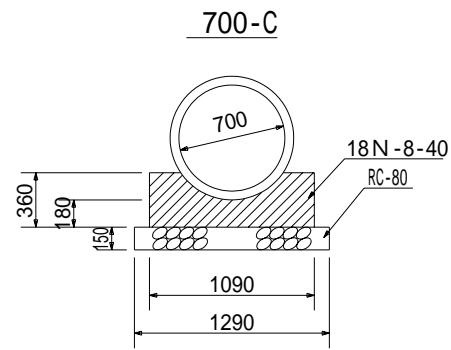
400-C



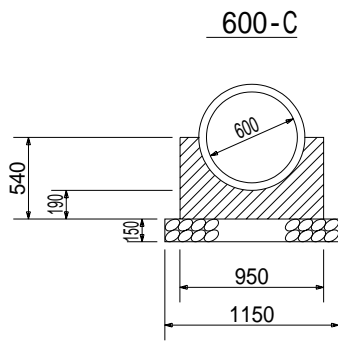
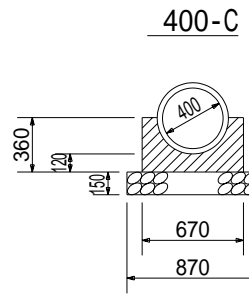
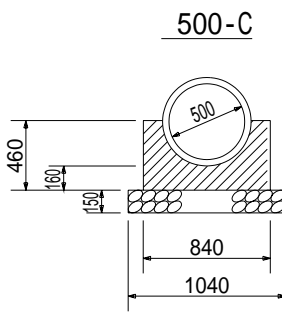
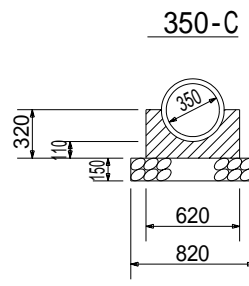
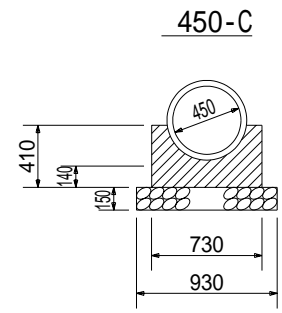
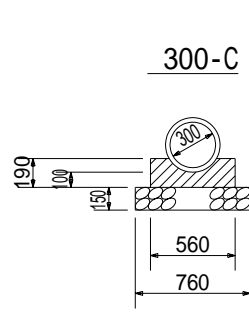
600-C



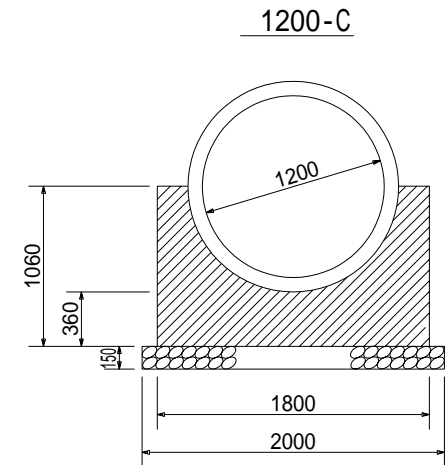
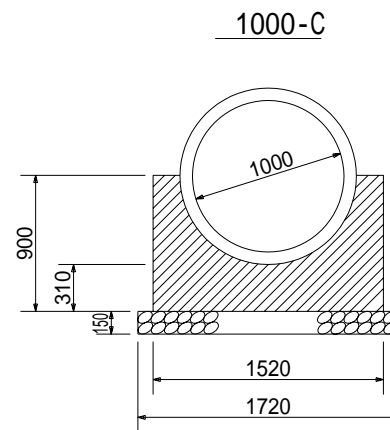
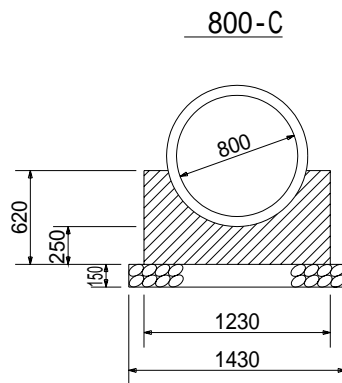
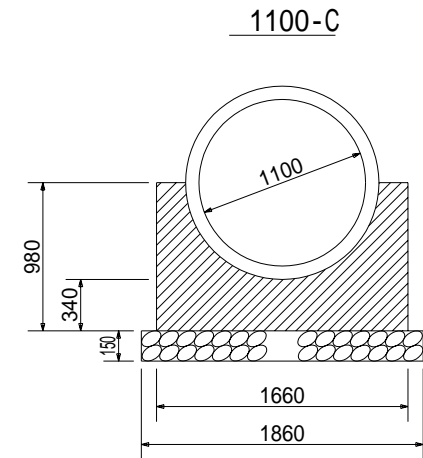
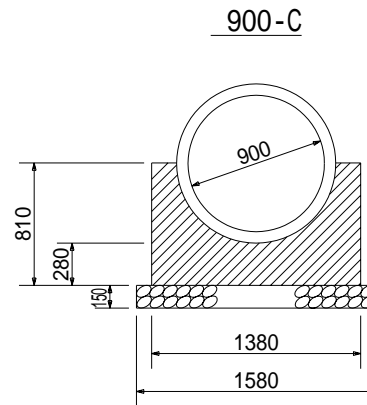
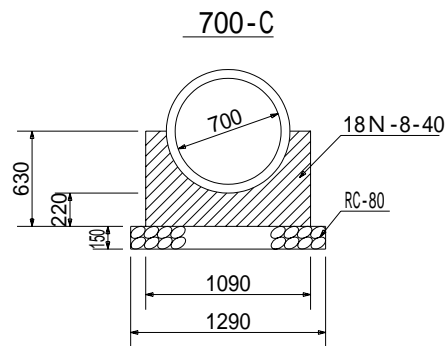
コンクリート巻立
道路横断暗渠工標準断面図(2)
S=1:30



コンクリート巻立
 道路横断暗渠工標準断面図(3)
 S=1:30



コンクリート巻立
 道路横断暗渠工標準断面図(4)
 S=1:30

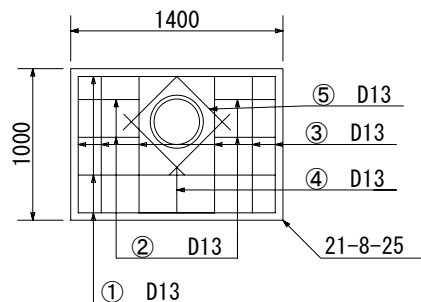


吞 吐 工

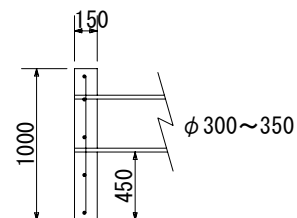
A 型暗渠呑吐工構造図

S=1:40

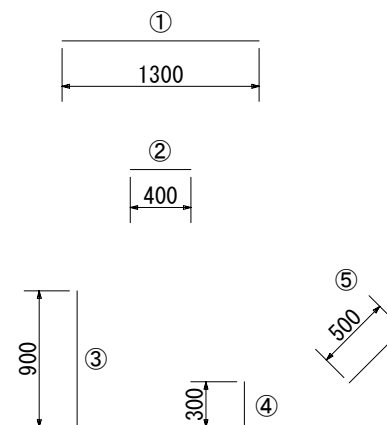
正面図



側面図



鉄筋加工図



鉄 筋 図							
記 号	径	長さ	本数	単位重量	重量(kg/本)	重量	形状
1	D 13	1.30	3	0.995	1.294	3.88	——
2	〃	0.40	4	〃	0.398	1.59	——
3	〃	0.90	6	〃	0.896	5.38	——
4	〃	0.30	1	〃	0.299	0.30	——
5	〃	0.50	4	〃	0.498	1.99	／
Σ	D 13 13.1kg						

工事施工上の注意

- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合の構造図である。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。

A型暗渠呑吐工構造図

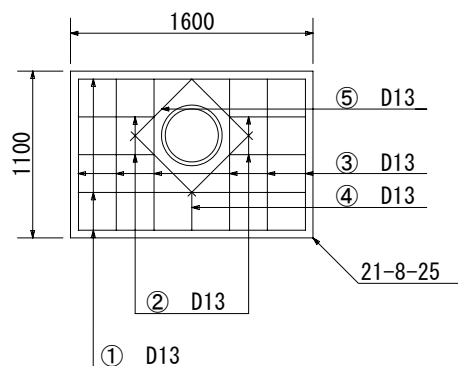
G-10

φ 300～φ 350用

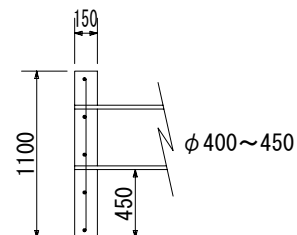
B 型 暗 渠 工 呑 吐 構 造 図

S=1:40

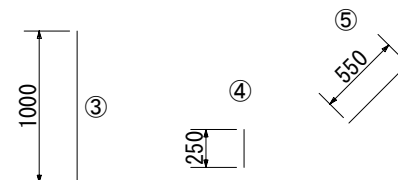
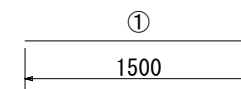
正 面 図



側 面 図



鉄筋加工図



鉄 筋 表							
記 号	径	長さ	本数	単位重量	重量(kg/本)	重量	形状
1	D 13	1.50	3	0.995	1.493	4.48	— — —
2	"	0.50	4	"	0.498	1.99	—
3	"	1.00	6	"	0.995	5.97	— — —
4	"	0.25	1	"	0.249	0.25	— —
5	"	0.55	4	"	0.547	2.19	／
Σ	D 13 14.9kg						

工事施工上の注意

- 鉄筋のカブリは5 cmとする。
- ヒューム管を接続する場合の構造図である。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。

B 型 暗 渠 工 呑 吐 構 造 図

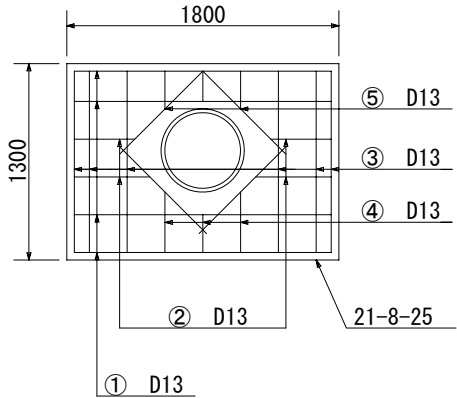
G - 1 1

φ 400 ~ φ 450 用

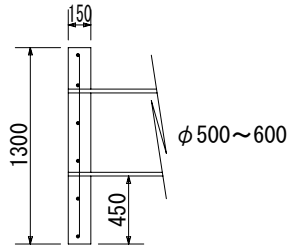
C 型 暗 渠 吞 吐 工 構 造 図

S=1:40

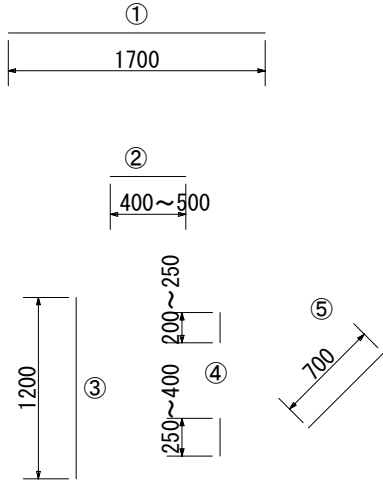
正 面 図



側 面 図



鉄筋加工図



鉄 筋 表							
記 号	径	長さ	本数	単位重量	重量(kg/本)	重量	形状
1	D 13	1.70	4	0.995	1.692	6.77	——
2	〃	0.45	4	〃	0.448	1.79	—
3	〃	1.20	6	〃	1.194	7.16	——
4	〃	0.88	3	〃	0.876	2.63	- -
5	〃	0.70	4	〃	0.697	2.79	／
Σ	D 13 21.1kg						

工事施工上の注意

- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合の構造図である。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。

C型暗渠吞吐工構造図

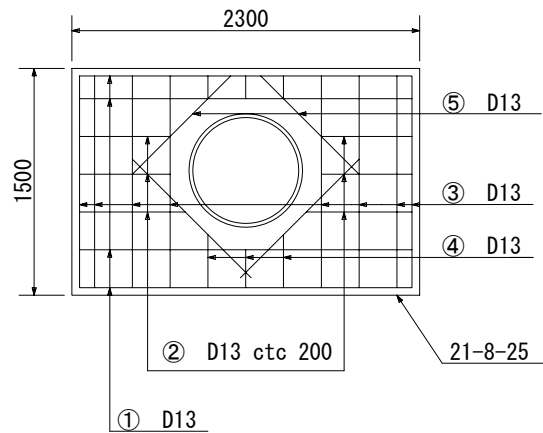
G-12

φ 500～φ 600用

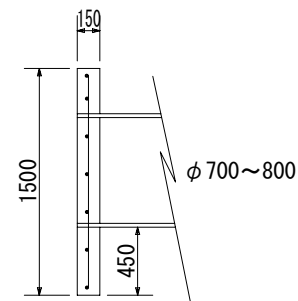
D 型 暗 渠 吞 吐 工 構 造 図

S=1:40

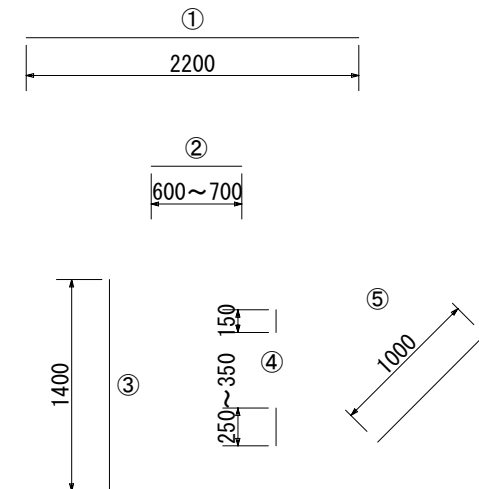
正 面 図



側 面 図



鉄筋加工図



鉄 筋 表							
記 号	径	長さ	本数	単位重量	重量(kg/本)	重量	形状
1	D 13	2.20	4	0.995	2.189	8.76	— —
2	〃	0.65	6	〃	0.647	3.88	—
3	〃	1.40	8	〃	1.393	11.14	— — —
4	〃	0.47	3	〃	0.468	1.40	— —
5	〃	1.00	4	〃	0.995	3.98	／
Σ	D 13 29.2kg						

工事施工上の注意

- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合の構造図である。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。

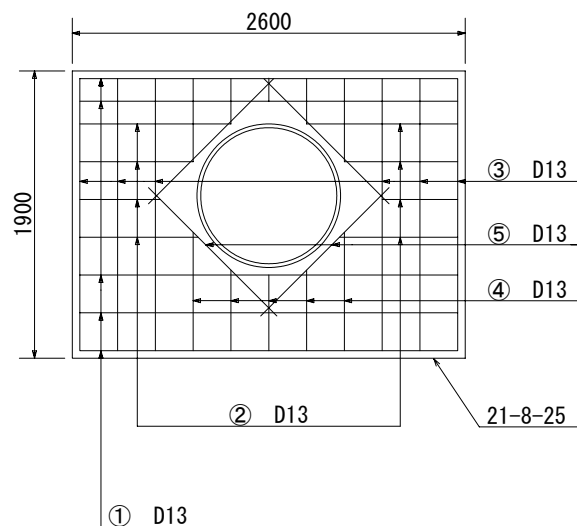
D型暗渠吞吐工構造図

D型暗渠吞吐工構造図	G-13
φ 700~ φ 800用	

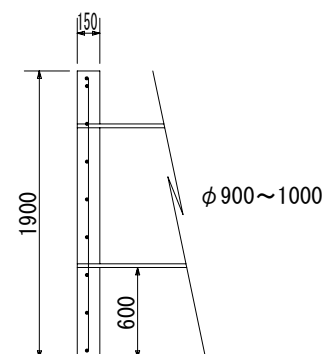
E 型 暗 渠 吞 吐 工 構 造 図

S=1:40

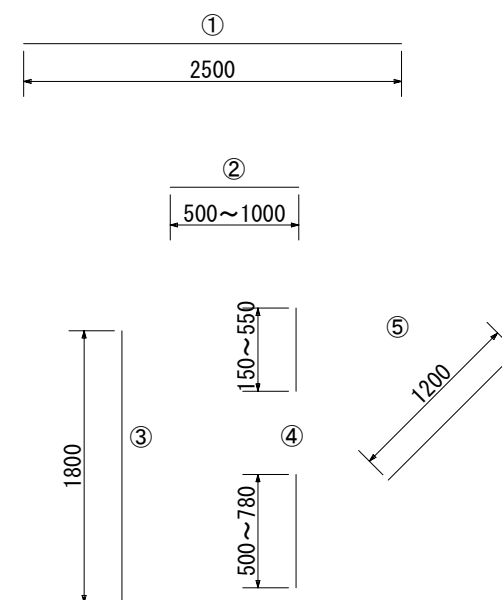
正 面 図



側 面 図



鉄筋加工図



鉄 筋 表							
記 号	径	長さ	本数	単位重量	重量(kg/本)	重量	形状
1	D 13	2.50	5	0.995	2.488	12.44	—
2	〃	0.77	8	〃	0.766	6.13	—
3	〃	1.80	6	〃	1.791	10.75	—
4	〃	0.99	5	〃	0.985	4.93	—
5	〃	1.20	4	〃	1.194	4.78	—
Σ	D 13 39.0kg						

工事施工上の注意

- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合の構造図である。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。

E 型 暗 渠 吞 吐 工 構 造 図

E 型 暗 渠 吞 吐 工 構 造 図

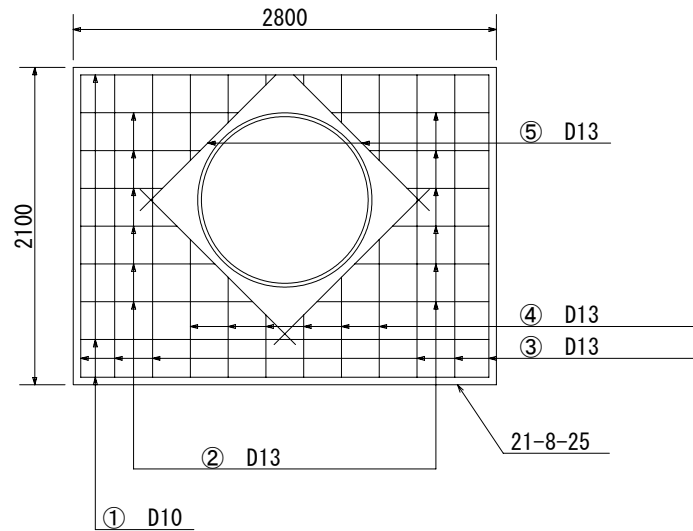
φ 900 ~ φ 1000 用

G - 1 4

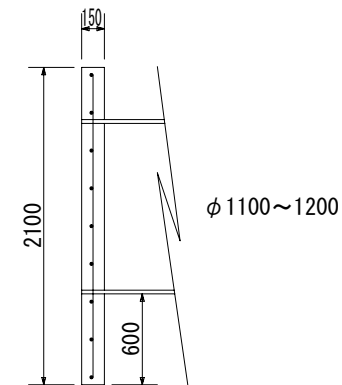
F 型 暗 渠 吞 吐 工 構 造 図

S=1:40

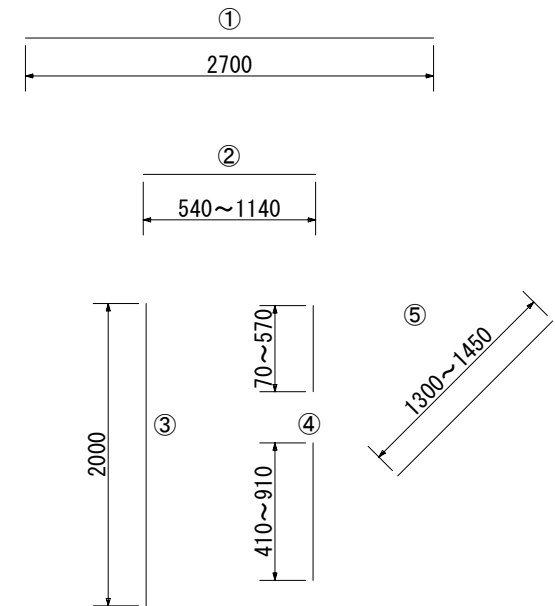
正 面 図



側 面 図



鉄筋加工図



鉄 筋 表							
記 号	径	長さ	本数	単位重量	重量(kg/本)	重量	形状
1	D 13	2.70	3	0.995	2.687	8.06	—
2	"	0.84	1 2	"	0.836	10.03	—
3	"	2.00	6	"	1.990	11.94	—
4	"	0.98	6	"	0.975	5.85	—
5	"	1.38	4	"	1.373	5.49	／
Σ	D 13 41.4kg						

工事施工上の注意

- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合の構造図である。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。

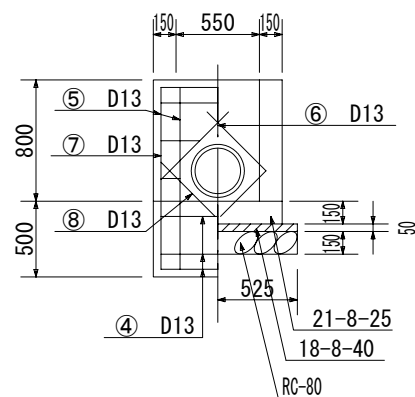
F 型暗渠吞吐工構造図
φ 1100～φ 1200用

G-15

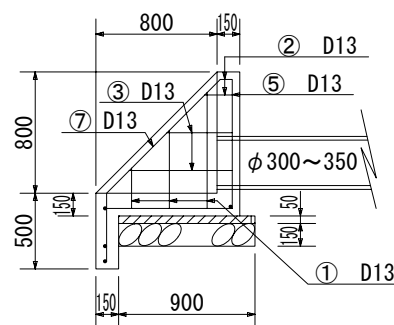
G 型 暗 渠 吞 吐 工 構 造 図

S=1:30

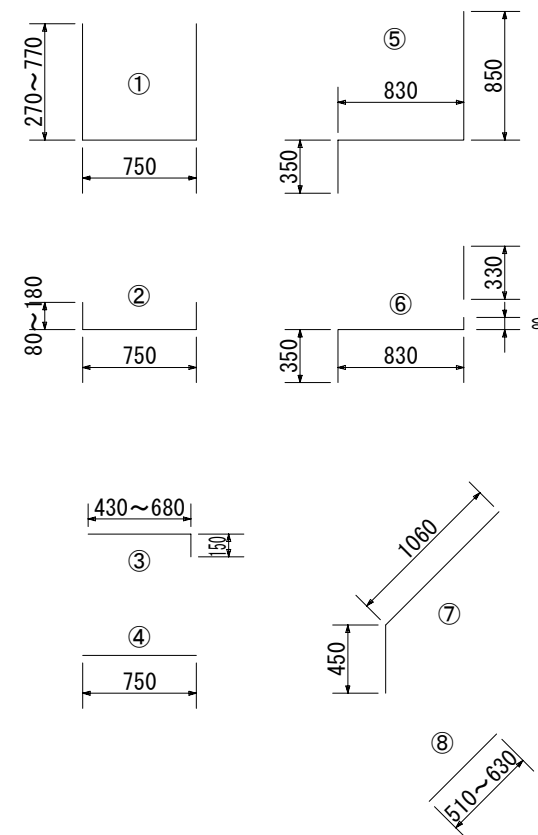
正 面 図



側 面 図



鉄筋加工図



鉄 筋 表							
記 号	径	長さ	本数	単位重量	重量(kg/本)	重量	形状
1	D 13	1.79	3	0.995	1.781	5.34	└┘
2	"	1.01	1	"	1.005	1.01	└┘
3	"	0.71	4	"	0.706	2.82	└┘
4	"	0.75	3	"	0.746	2.24	└┘
5	"	2.03	4	"	2.020	8.08	└┘
6	"	1.59	1	"	1.582	1.58	└┘
7	"	1.51	2	"	1.502	3.00	└┘
8	"	0.57	4	"	0.567	2.27	└┘
Σ	D 13 26.3kg						

工事施工上の注意

- 鉄筋のカブリは5 cmとする。
- ヒューム管を接続する場合の構造図である。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。

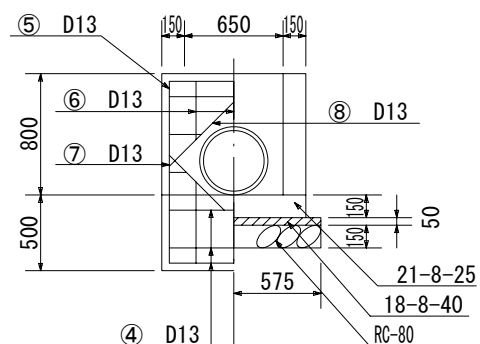
G型暗渠吞吐工構造図
φ 300～φ 350用

G - 1 6

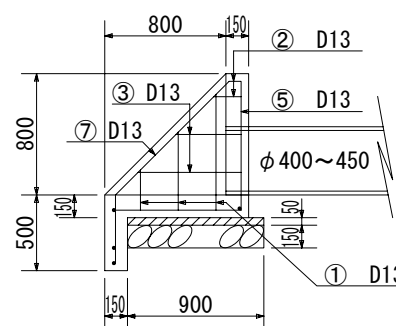
H 型 暗 渠 吞 吐 工 構 造 図

S=1:30

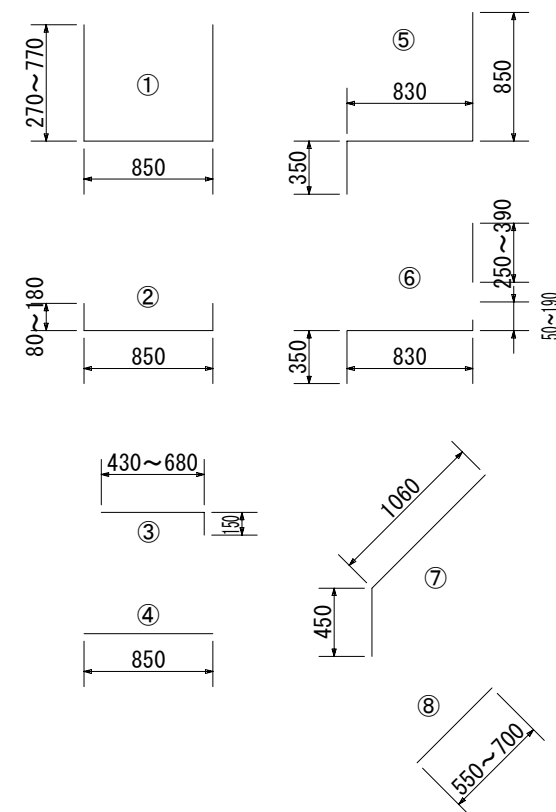
正 面 図



側 面 図



鉄筋加工図



鉄 筋 表							
記 号	径	長さ	本数	単位重量	重量(kg/本)	重量	形状
1	D 13	1.89	3	0.995	1.881	5.64	└┘
2	"	1.11	2	"	1.104	2.21	└┘
3	"	0.71	4	"	0.706	2.82	└┘
4	"	0.85	3	"	0.846	2.54	└┘
5	"	2.03	2	"	2.020	4.04	└┘
6	"	1.62	4	"	1.612	6.45	└┘
7	"	1.51	2	"	1.502	3.00	└┘
8	"	0.61	4	"	0.607	2.43	└┘
Σ	D 13 29.1kg						

工事施工上の注意

- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合の構造図である。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。

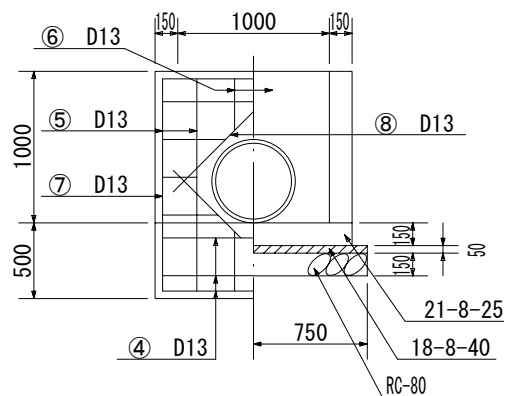
H型暗渠吞吐工構造図
φ 400～φ 450用

G-17

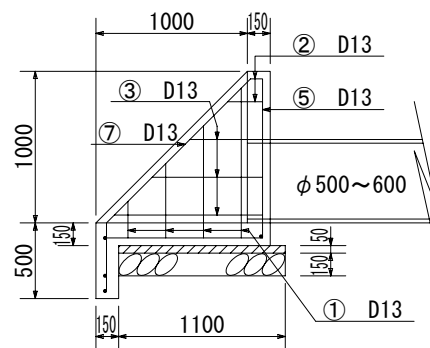
I 型暗渠吞吐工構造図

S=1:30

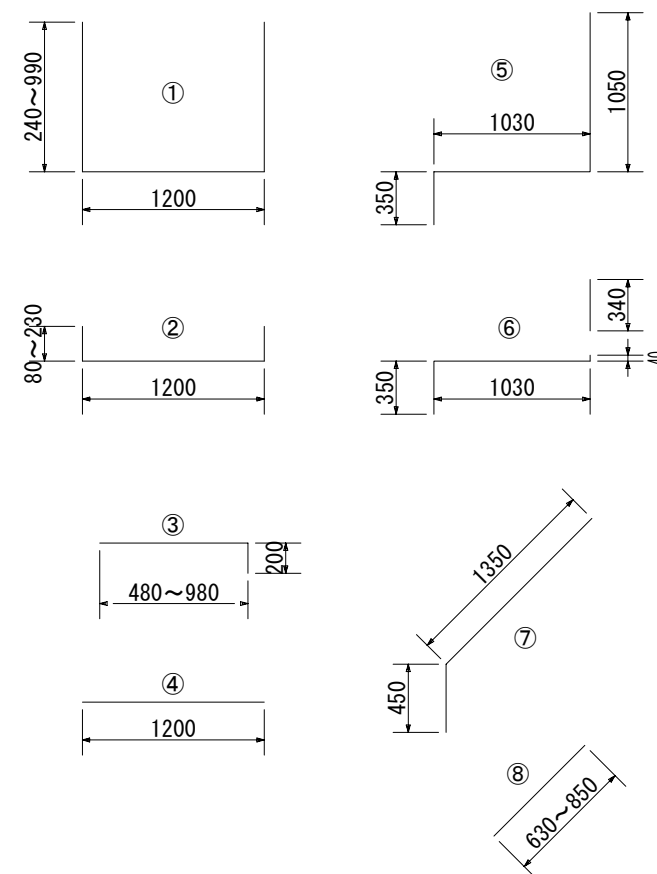
正面図



側面図



鉄筋加工図



鉄 筋 表							
記 号	径	長さ	本数	単位重量	重量(kg/本)	重量	形状
1	D 13	2.43	4	0.995	2.418	9.67	└┘
2	"	1.51	2	"	1.502	3.00	└┘
3	"	0.93	6	"	0.925	5.55	└┘
4	"	1.20	3	"	1.194	3.58	└┘
5	"	2.43	4	"	2.418	9.67	└┘
6	"	1.76	2	"	1.751	3.50	└┘
7	"	1.80	2	"	1.791	3.58	└┘
8	"	0.74	4	"	0.736	2.94	└┘
Σ	D 13 41.5kg						

工事施工上の注意

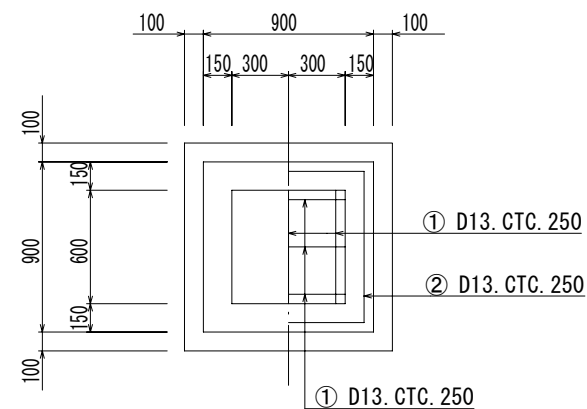
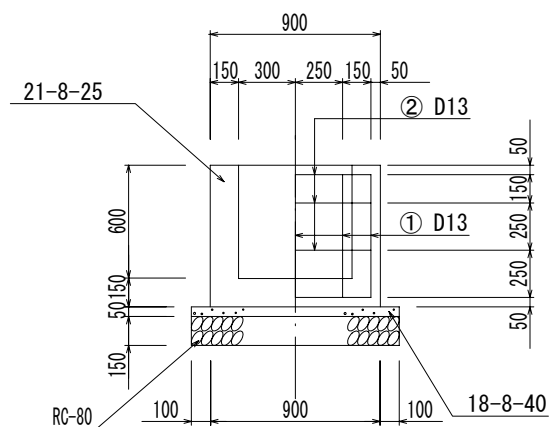
- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合の構造図である。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。

I 型暗渠吞吐工構造図
φ 500～φ 600用

G-18

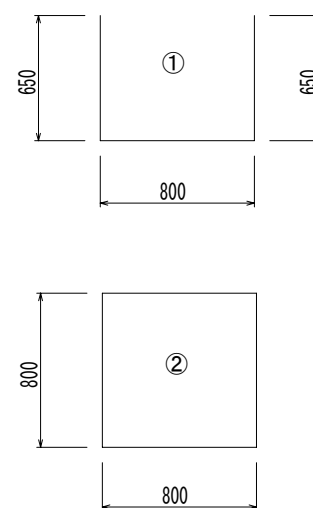
水 槽 工

6－6型 水槽構造図



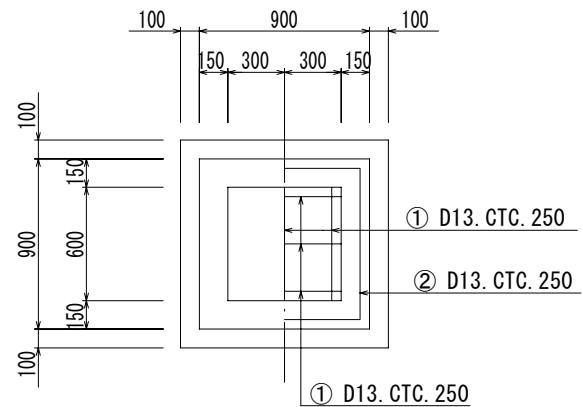
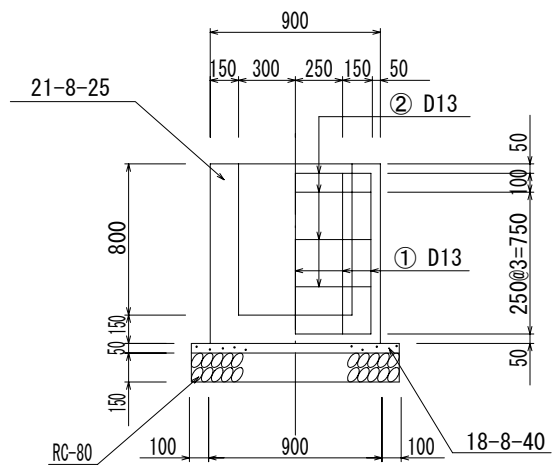
鉄筋加工図

鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本当り重量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	2,100	8	0.995	2.090	16.72		
2	D13	3,200	4	〃	3.184	12.74		
D 1 3						2 9 . 4 6 kg		





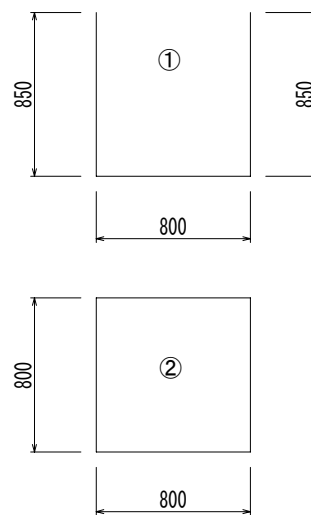
- 鉄筋のカブリは5 cmとする。
- ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を☆型に補強する。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10 cm程度下げて施工すること。

6-8型 水槽構造図



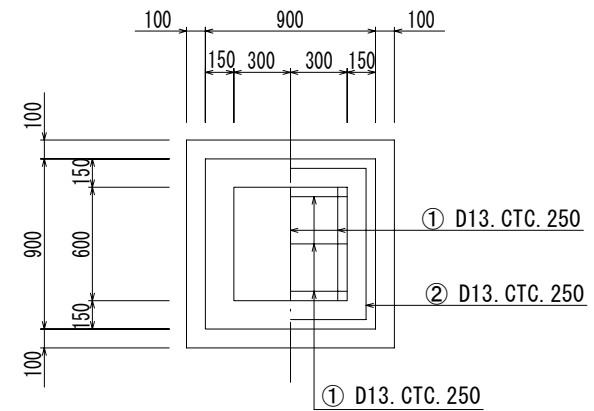
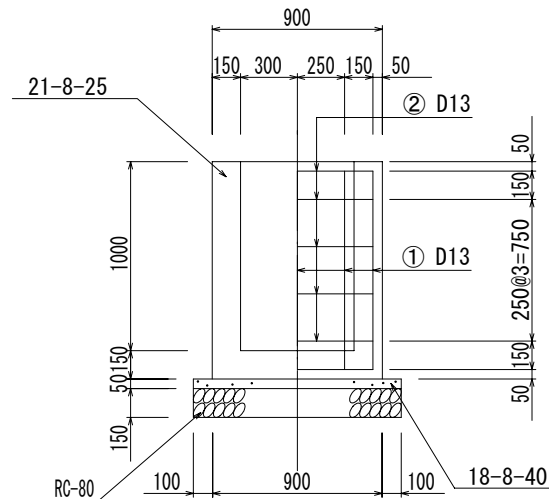
鉄筋加工図

鉄筋表								
記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	重量	形状	摘要
1	D13	2,500	8	0.995	2.488	19.90		
2	D13	3,200	4	"	3.184	12.74		
D 1 3 3 2 . 6 4 kg								



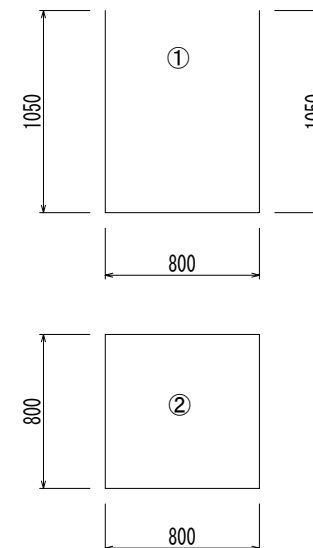
- 1 鉄筋のカブリは5 cmとする。
- 2 ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を✕型に補強する。
- 3 ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 4 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10 cm程度下げて施工すること。

6-10型 水槽構造図



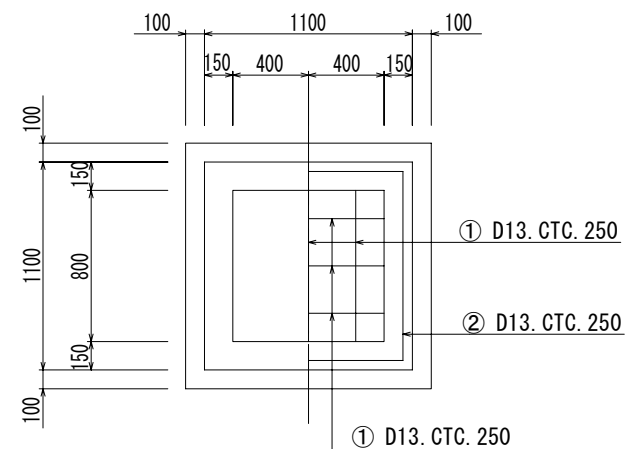
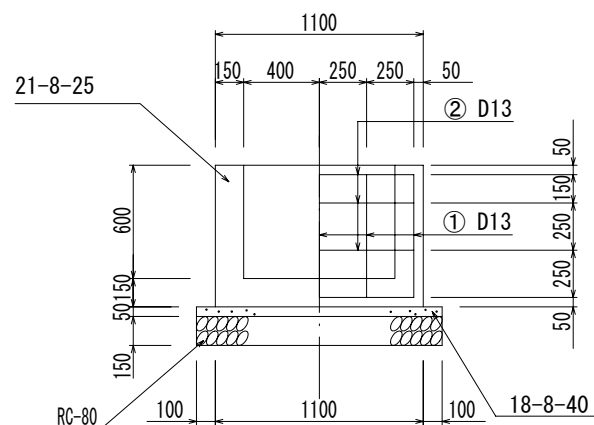
鉄筋加工図

鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本当り重量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	2,900	8	0.995	2.886	23.09		
2	D13	3,200	5	〃	3.184	15.92		
D 1 3						3 9 . 0 1 kg		



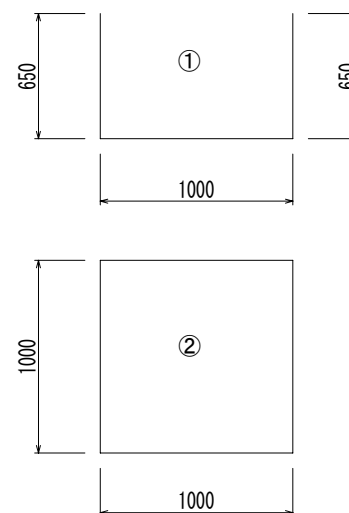
- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を✕型に補強する。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10cm程度下げて施工すること。

8－6型 水槽構造図



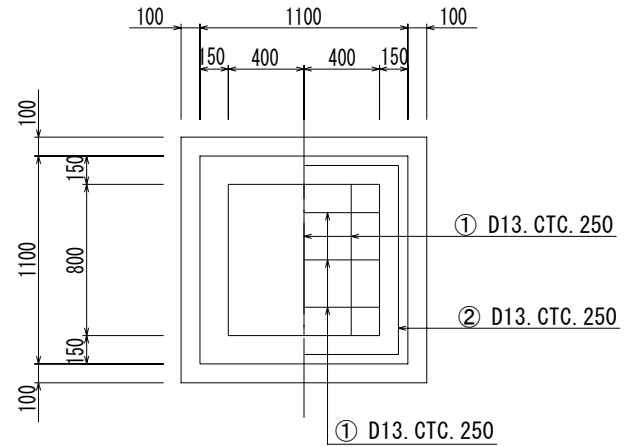
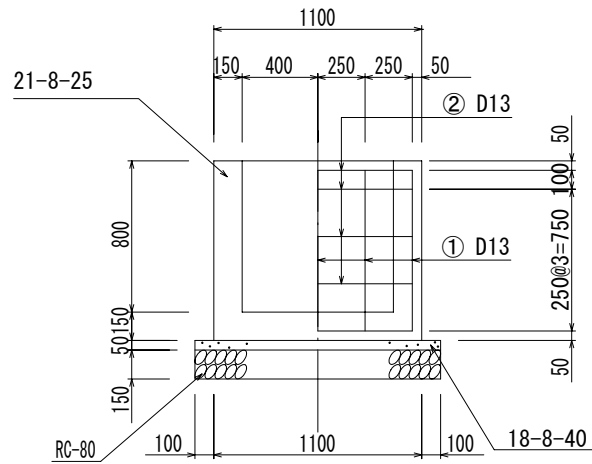
鉄筋加工図

鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本当り重量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	2,300	8	0.995	2.289	18.31		
2	D13	4,000	3	〃	3.980	11.94		
D 1 3						3 0 . 2 5 kg		

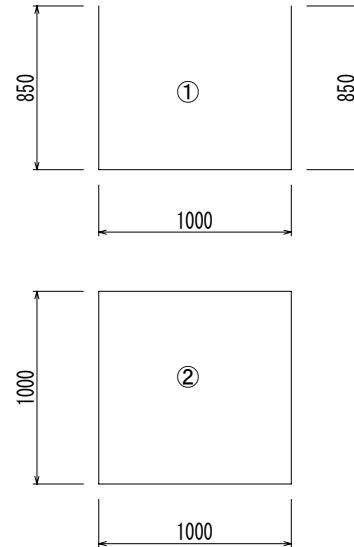


- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を✕型に補強する。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10cm程度下げて施工すること。

8－8型 水槽構造図



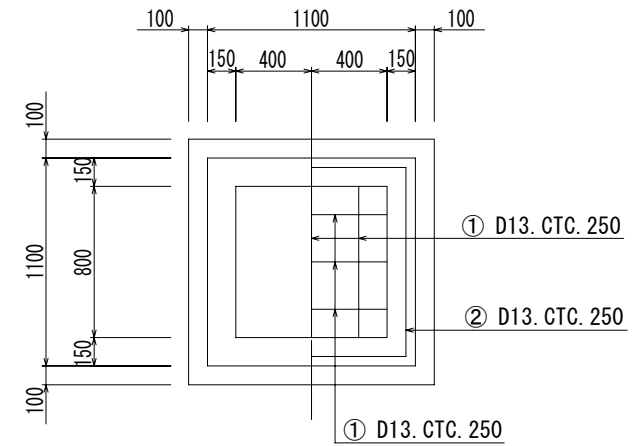
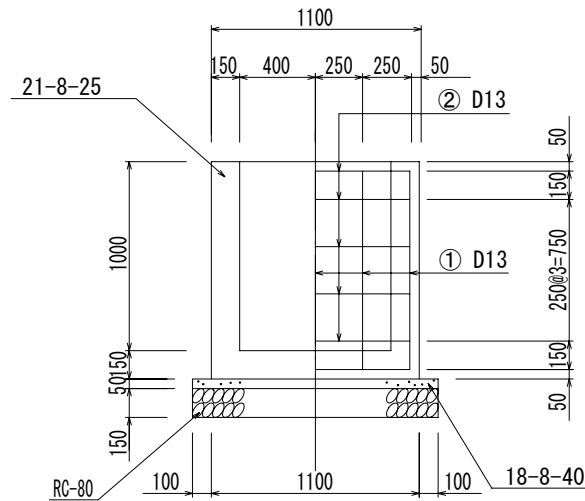
鉄筋加工図



- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を✕型に補強する。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10cm程度下げて施工すること。

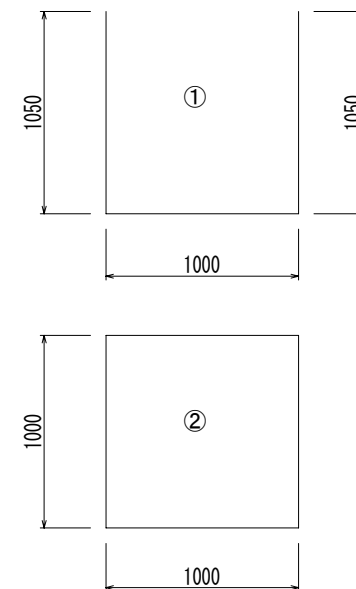
鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本当り重量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	2,700	8	0.995	2.687	21.50		
2	D13	4,000	4	〃	3.980	15.92		
D 1 3					3 7 . 4 2 kg			

8-10型 水槽構造図



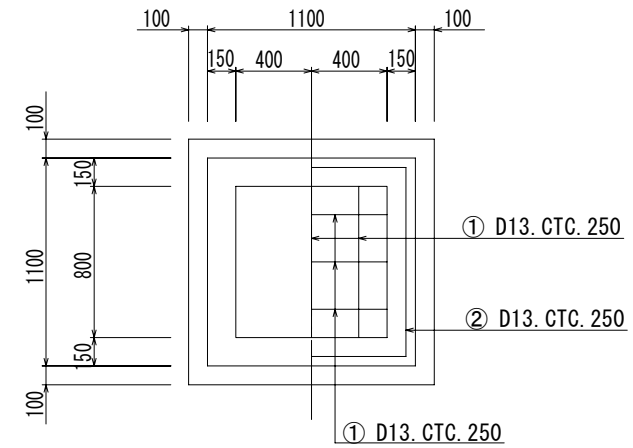
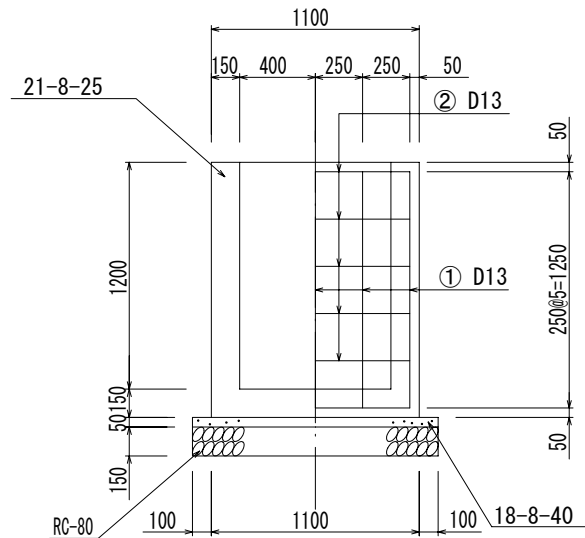
鉄筋加工図

鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本当り重量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	3,100	8	0.995	3.085	24.68		
2	D13	4,000	5	〃	3.980	19.90		
D 1 3						4 4 . 5 8 kg		

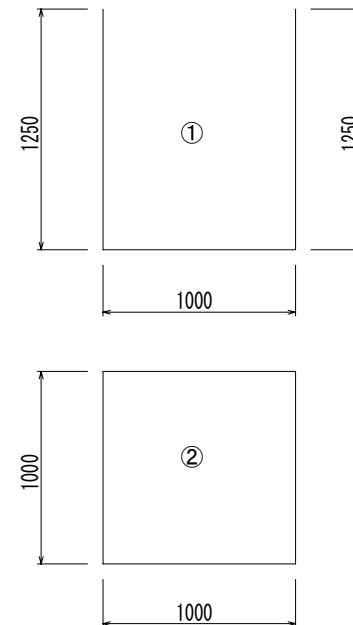


- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を◇型に補強する。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10cm程度下げて施工すること。

8-12型 水槽構造図



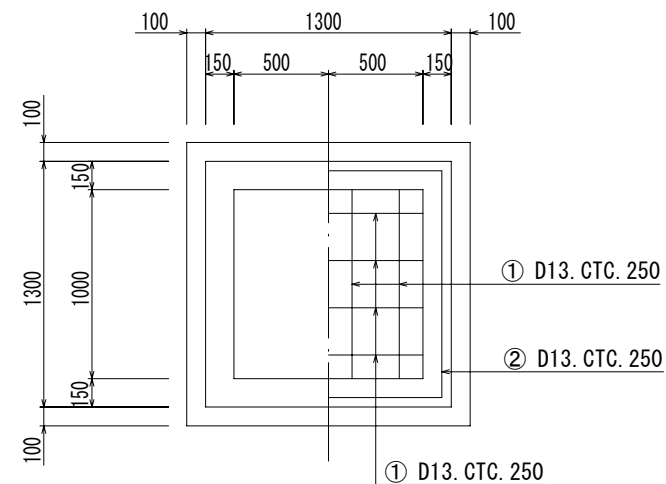
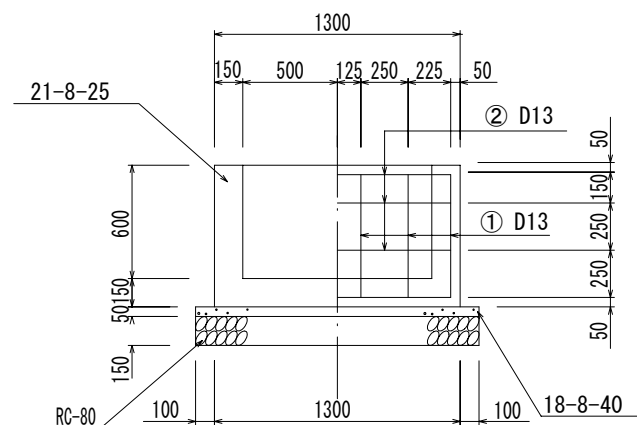
鉄筋加工図



- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を◇型に補強する。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10cm程度下げて施工すること。

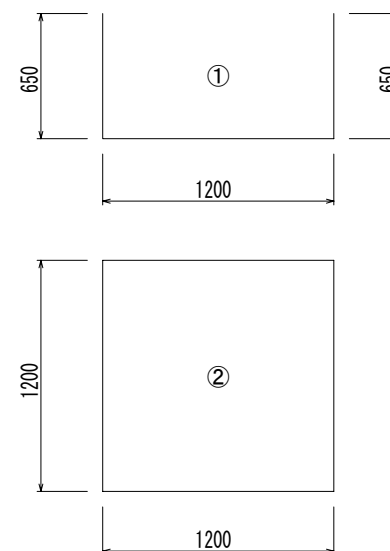
鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本当り重量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	3,500	8	0.995	3.483	27.86		
2	D13	4,000	5	〃	3.980	19.90		
D 1 3						4 7 . 7 6 kg		

10-6型 水槽構造図



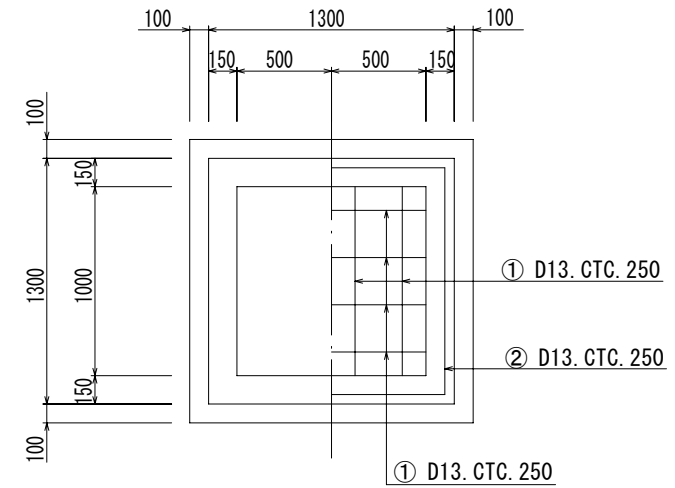
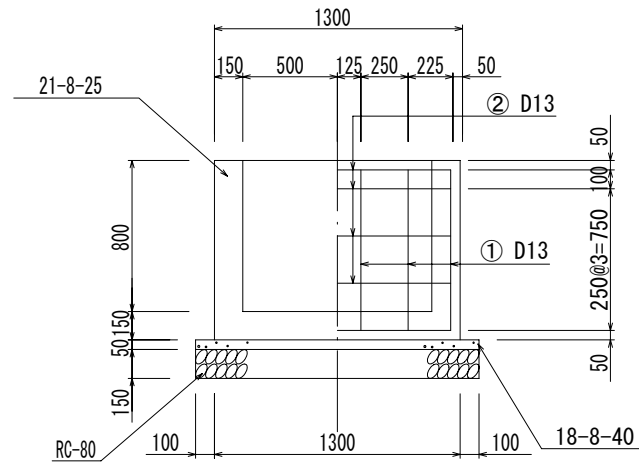
鉄筋加工図

鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本当り重量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	2,500	10	0.995	2.488	24.88		
2	D13	4,800	3	〃	4.776	14.33		
D 1 3						3 9 . 2 1 kg		



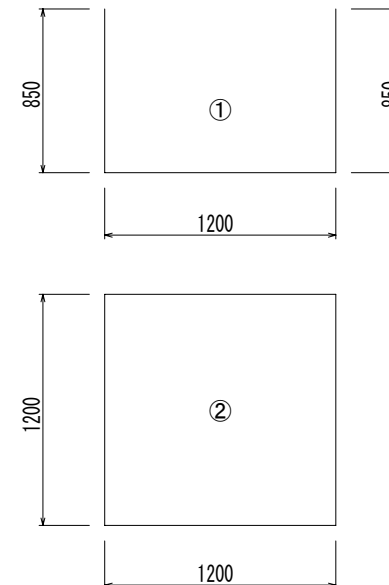
- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を✕型に補強する。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10cm程度下げて施工すること。

10-8型 水槽構造図



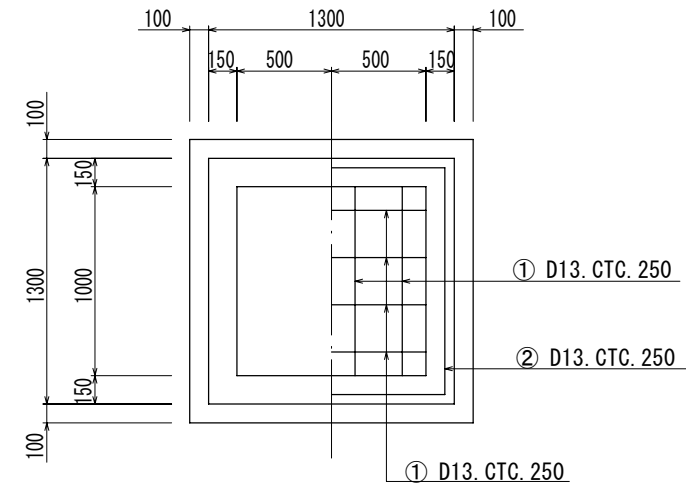
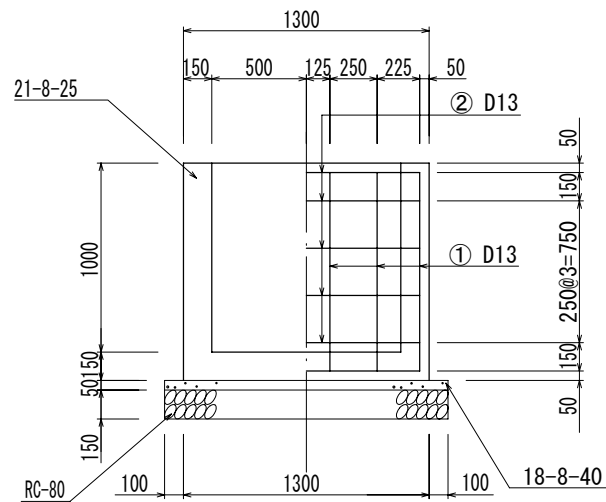
鉄筋加工図

鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本当り 重 量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	2,900	10	0.995	2.886	28.86		
2	D13	4,800	4	〃	4.776	19.10		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> D 1 3 4 7 . 9 6 kg </div>								



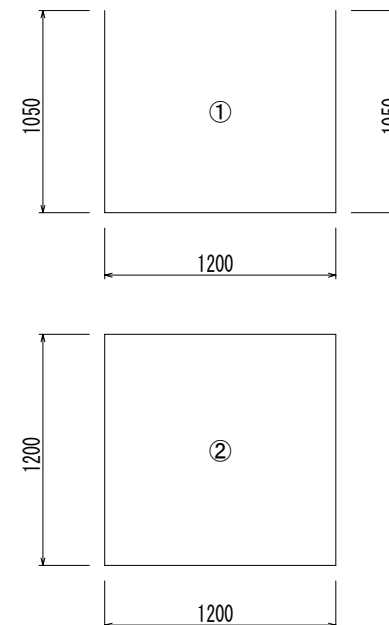
- 1 鉄筋のカブリは5 cmとする。
- 2 ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を☆型に補強する。
- 3 ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 4 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10 cm程度下げて施工すること。

10-10型 水槽構造図



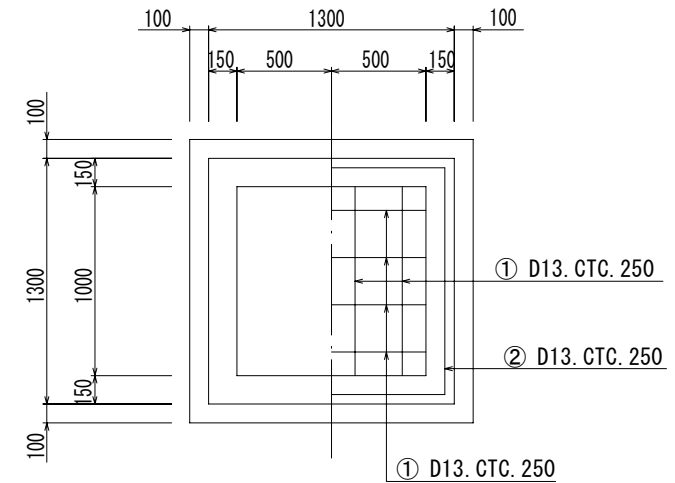
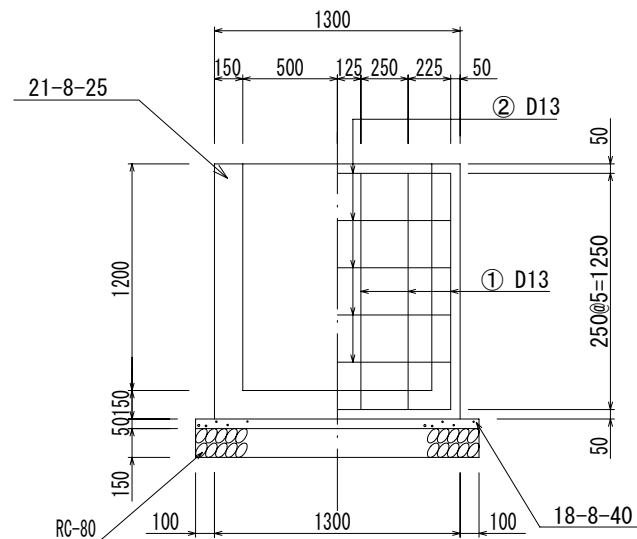
鉄筋加工図

鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本当り重量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	3,300	10	0.995	3.284	32.84		
2	D13	4,800	5	"	4.776	23.88		
D 1 3 5 6 . 7 2 kg								

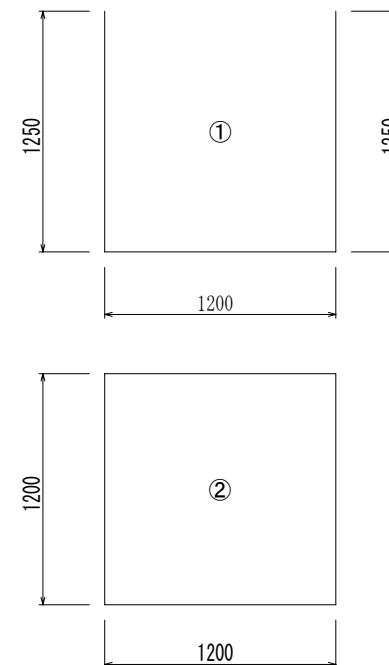


- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を✕型に補強する。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10cm程度下げて施工すること。

10-12型 水槽構造図



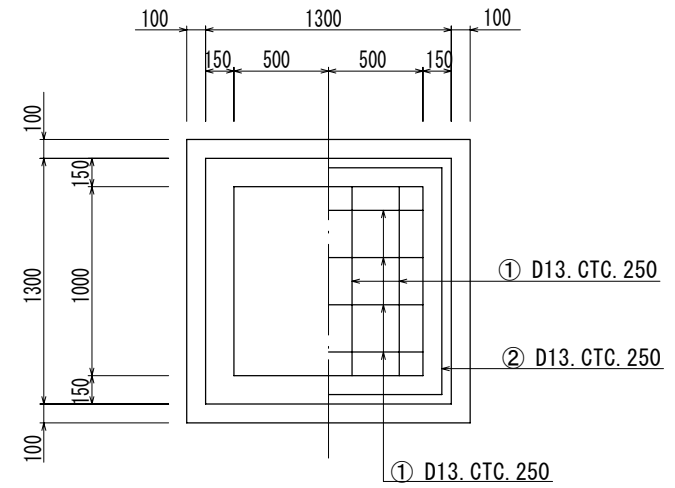
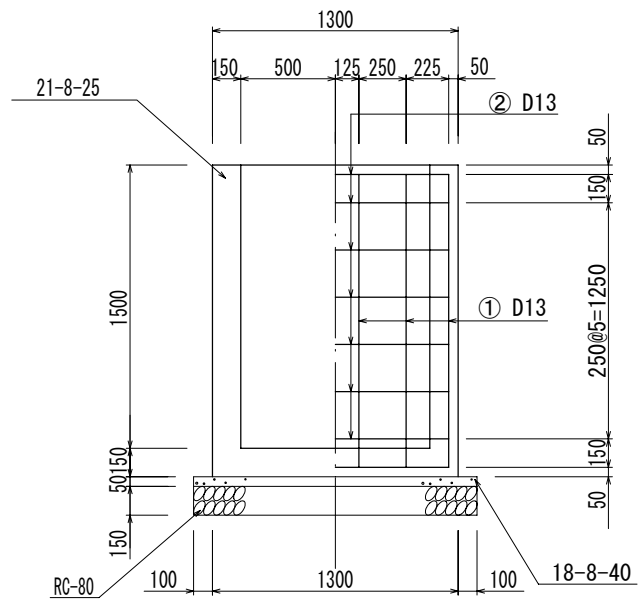
鉄筋加工図





- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を☆型に補強する。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10cm程度下げて施工すること。

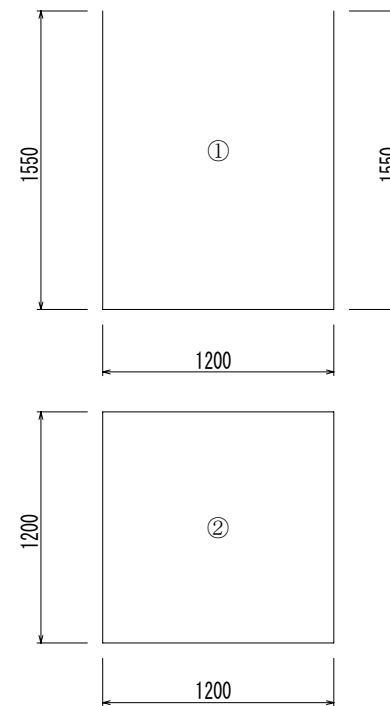
鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本当り重量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	3,700	10	0.995	3.682	36.82		
2	D13	4,800	5	"	4.776	16.13		
D 1 3 6 0 . 7 0 kg								

10-15型 水槽構造図



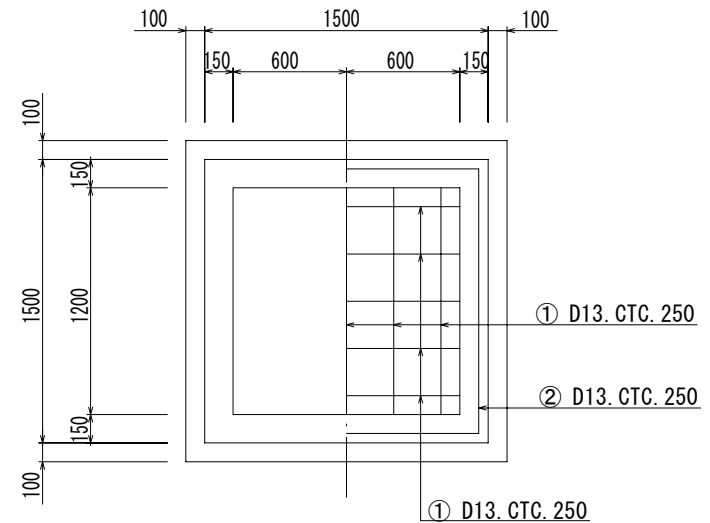
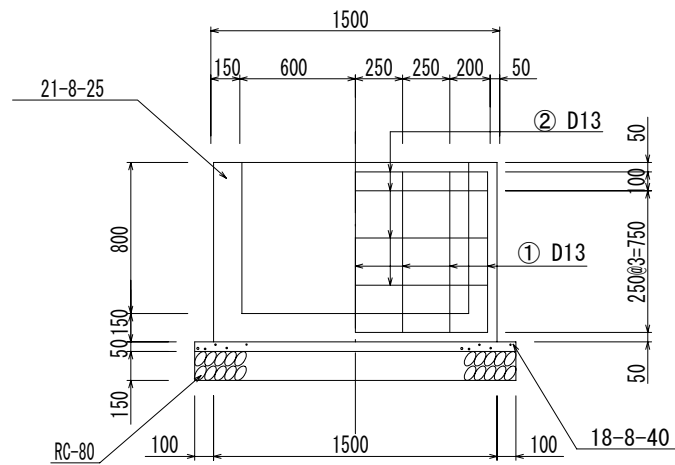
鉄筋加工図

鉄筋表								
記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り 重 量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	4,300	10	0.995	4.279	42.79		
2	D13	4,800	7	"	4.776	33.43		
D 1 3					7 6 . 2 2 kg			





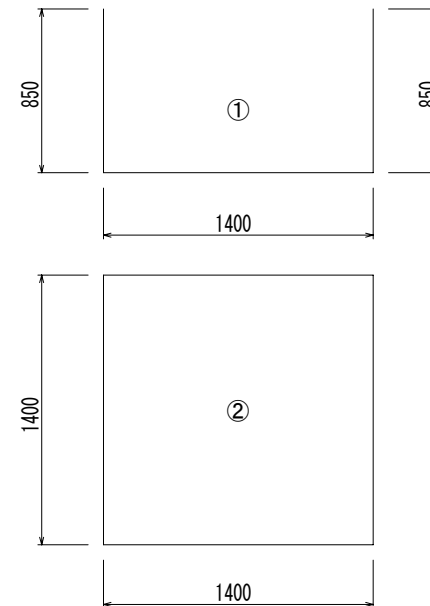
- 1 鉄筋のカブリは5 cmとする。
- 2 ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を☆型に補強する。
- 3 ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 4 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10 cm程度下げて施工すること。

12-8型 水槽構造図



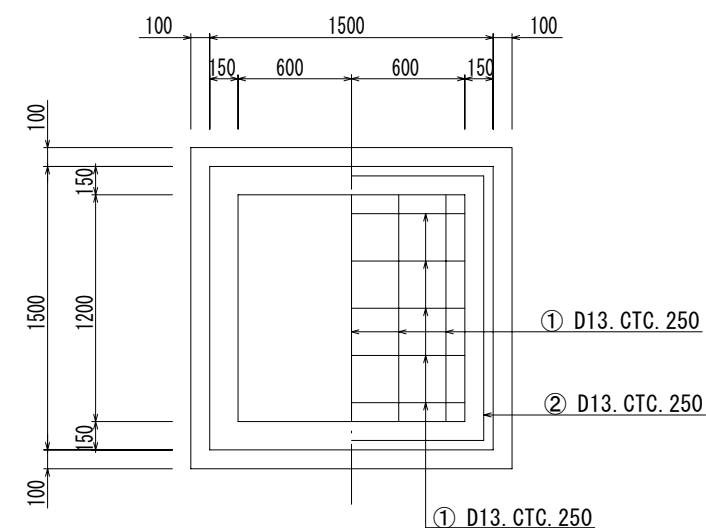
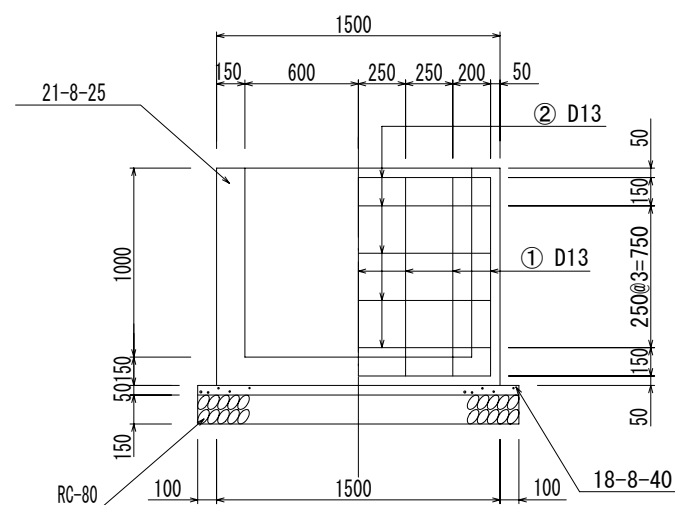
鉄筋加工図

鉄筋表								
記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り 重 量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	3,100	12	0.995	3.085	37.02		
2	D13	5,600	4	"	5.572	22.29		
D 1 3					5 9 . 3 1 kg			

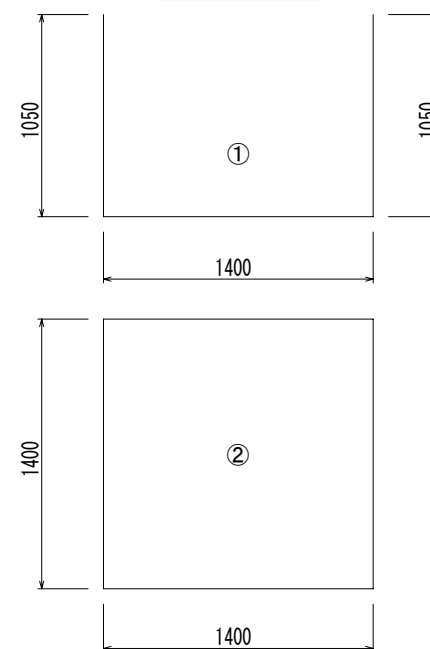


- 1 鉄筋のカブリは5 cmとする。
- 2 ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を☆型に補強する。
- 3 ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 4 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10 cm程度下げて施工すること。

12-10型 水槽構造図



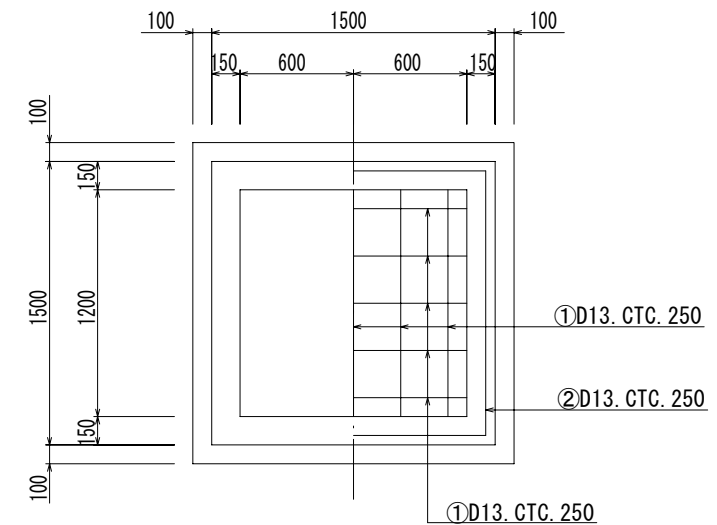
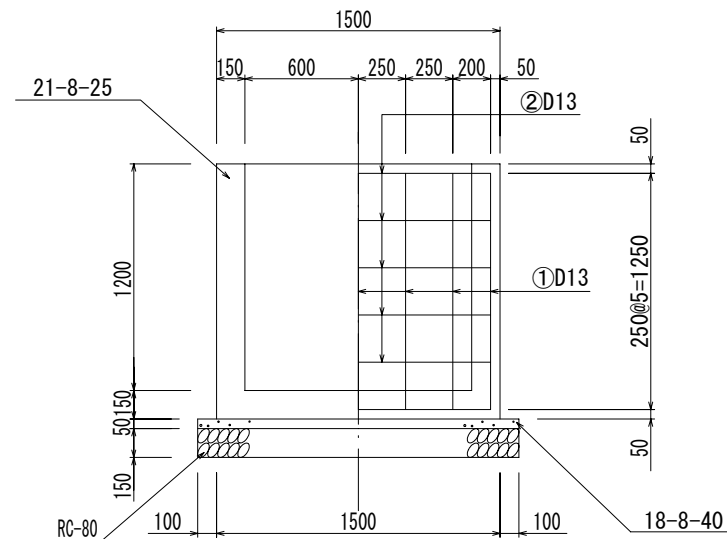
鉄筋加工図



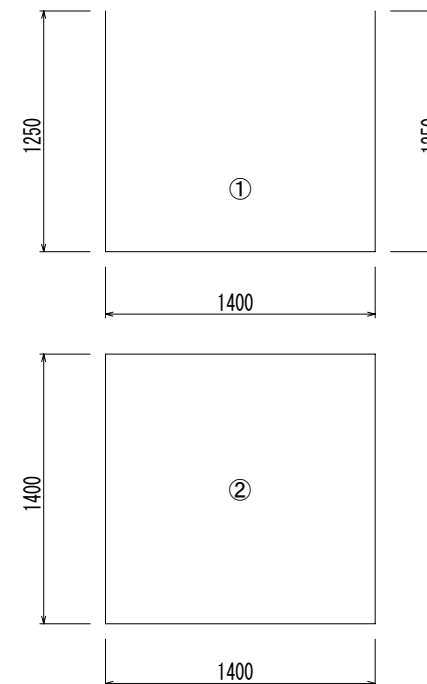
- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を✕型に補強する。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10cm程度下げて施工すること。

鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本当り重量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	3,500	12	0.995	3.483	41.80		
2	D13	5,600	5	〃	5.572	27.86		
D 1 3						6 9 . 6 6 kg		

1 2-1 2型 水槽構造図



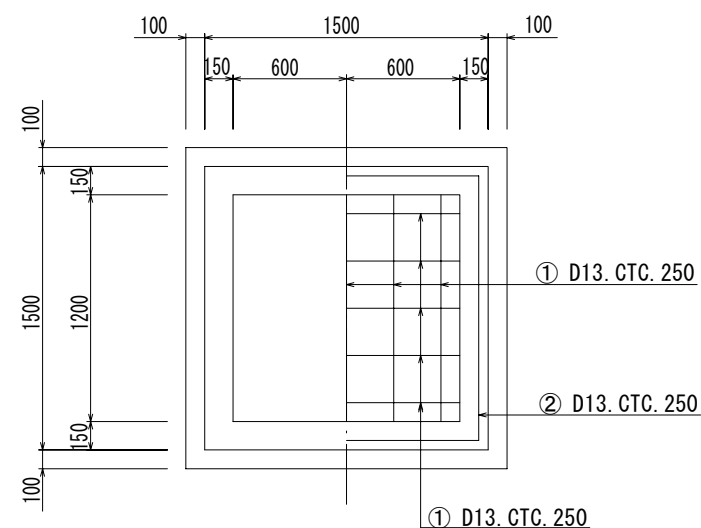
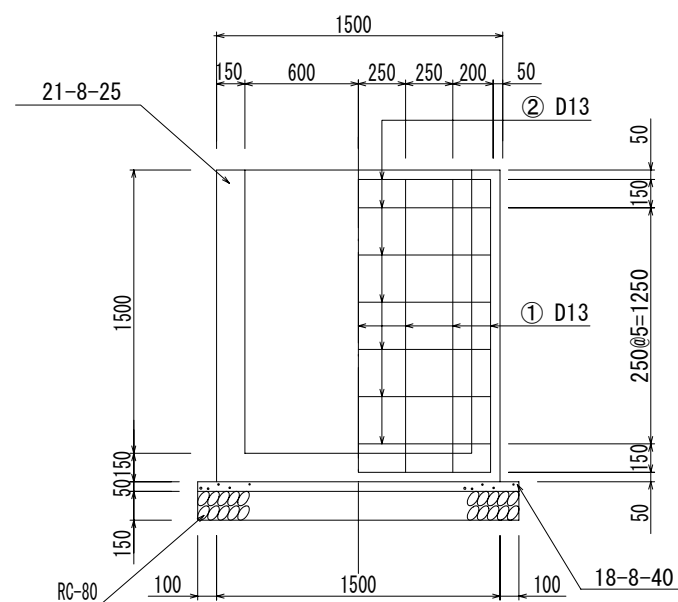
鉄筋加工図



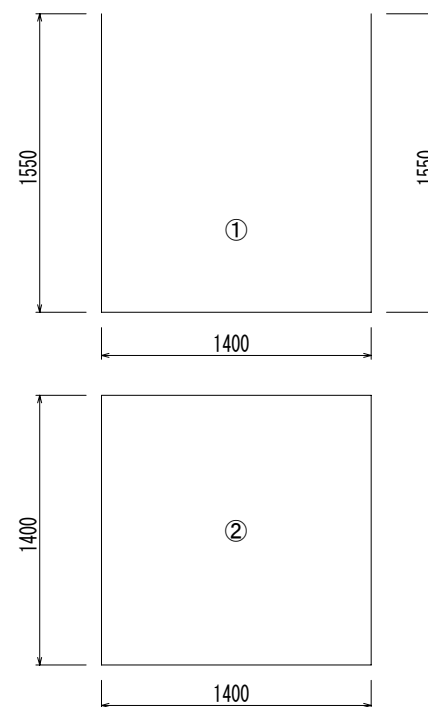
- 1 鉄筋のカブリは5 cmとする。
- 2 ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を \diamond 型に補強する。
- 3 ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 4 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10 cm程度下げて施工すること。

鉄筋表								
記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り 重 量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	3,900	12	0.995	3.881	46.57		
2	D13	5,600	5	"	5.572	27.86		
D 1 3 7 4 . 4 3 kg								

1 2 - 1 5 型 水槽構造図



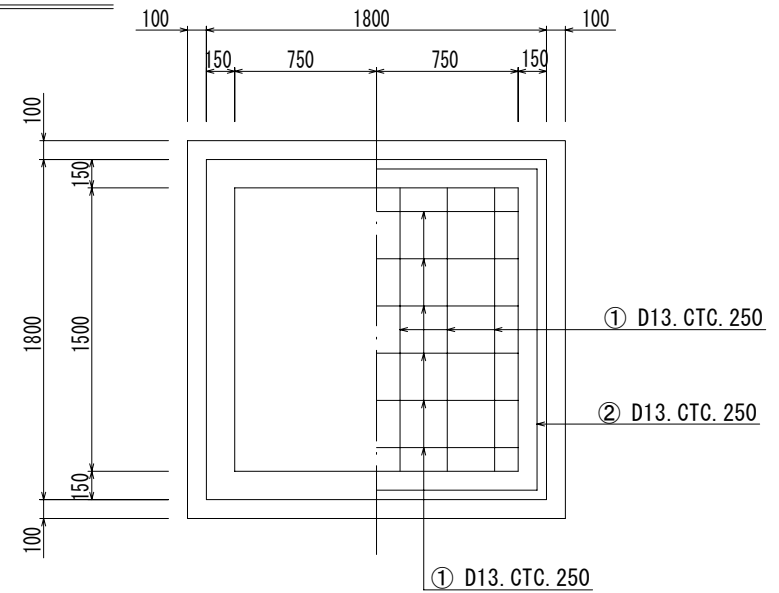
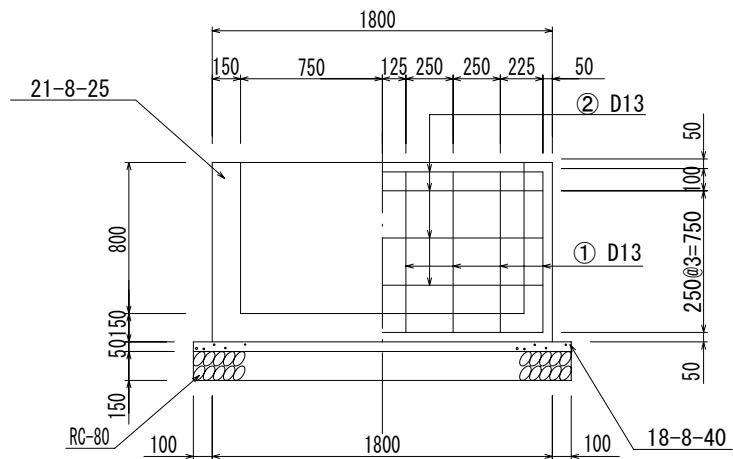
鉄筋加工図



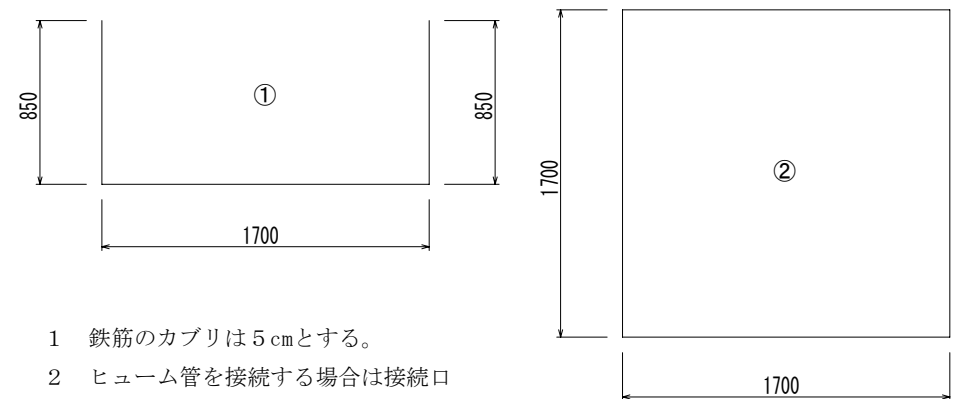
- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を☆型に補強する。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10cm程度下げて施工すること。

鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本当り重量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	4,500	12	0.995	4.478	53.74		
2	D13	5,600	7	〃	5.572	39.00		
D 1 3 9 2 . 7 4 kg								



15-8型 水槽構造図

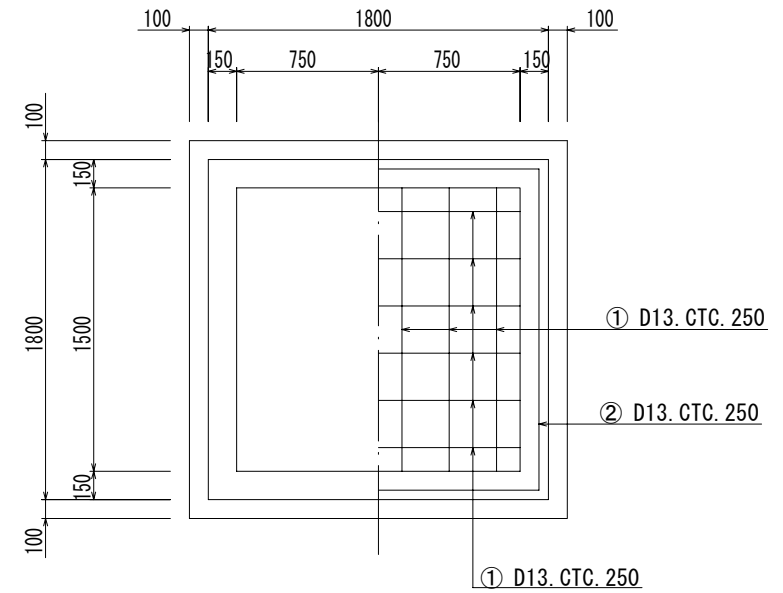
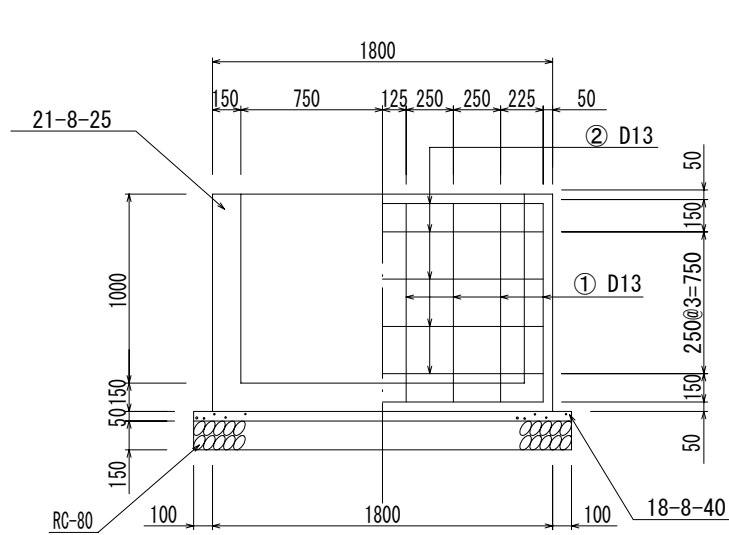


鉄筋加工図





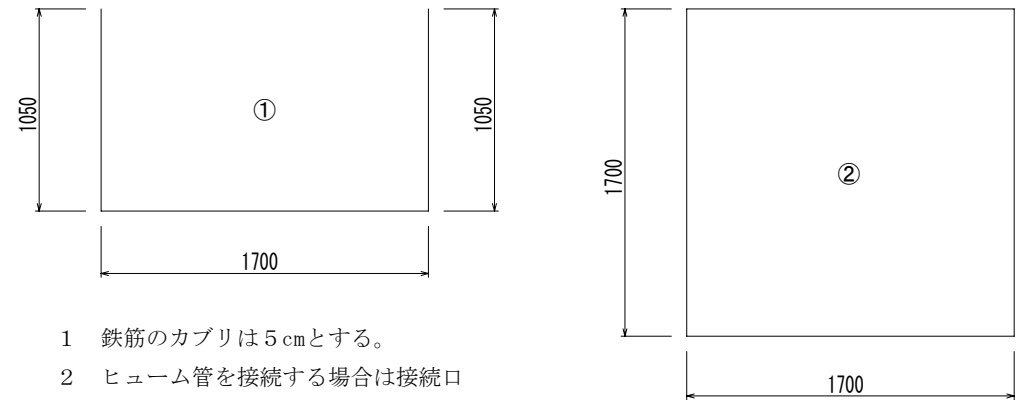
- 1 鉄筋のカブリは5cmとする。
- 2 ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を✕型に補強する。
- 3 ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 4 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10cm程度下げて施工すること。

鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1 本当り 重 量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	3,400	14	0.995	3.383	47.36		
2	D13	6,800	4	〃	6.766	27.06		
D 1 3					7 4 . 4 2 kg			



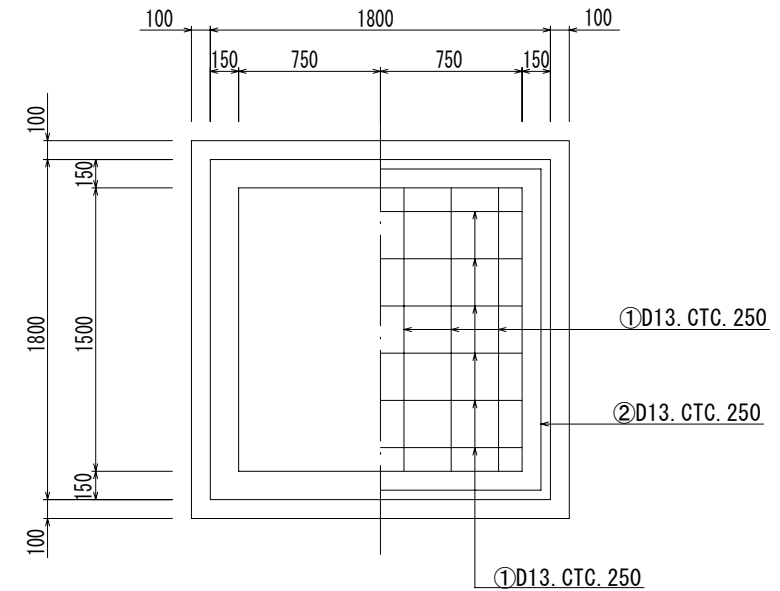
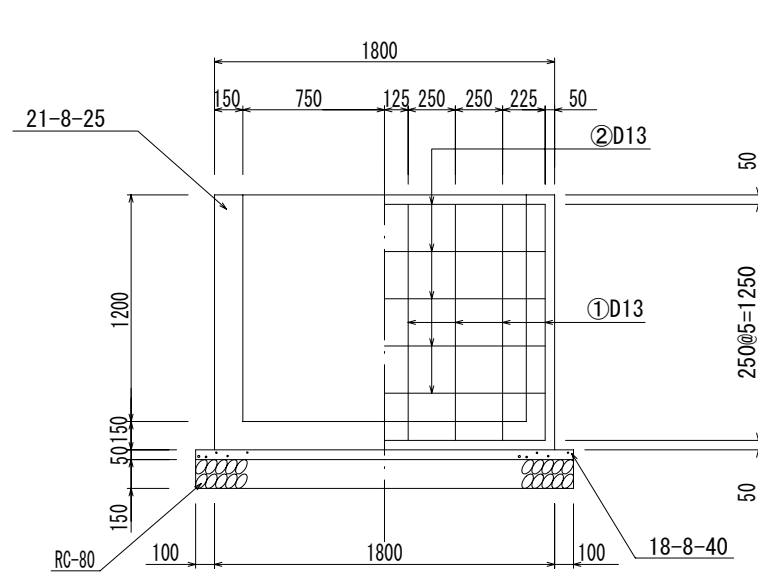
鉄筋加工図

鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本当り 重 量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	3,800	14	0.995	3.781	52.93		
2	D13	6,800	5	〃	6.766	33.83		
D 1 3					8 6 . 7 6kg			



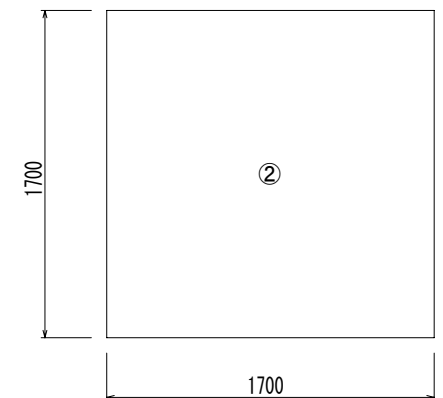
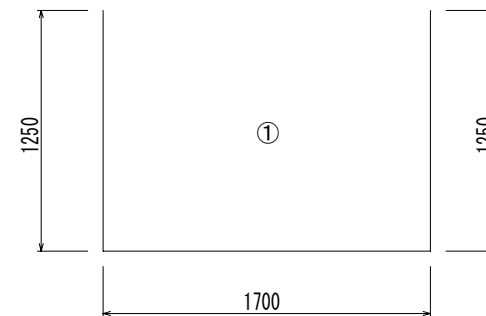
- 1 鉄筋のカブリは5 cmとする。
- 2 ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を☆型に補強する。
- 3 ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 4 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10 cm程度下げて施工すること。

15-12型 水槽構造図



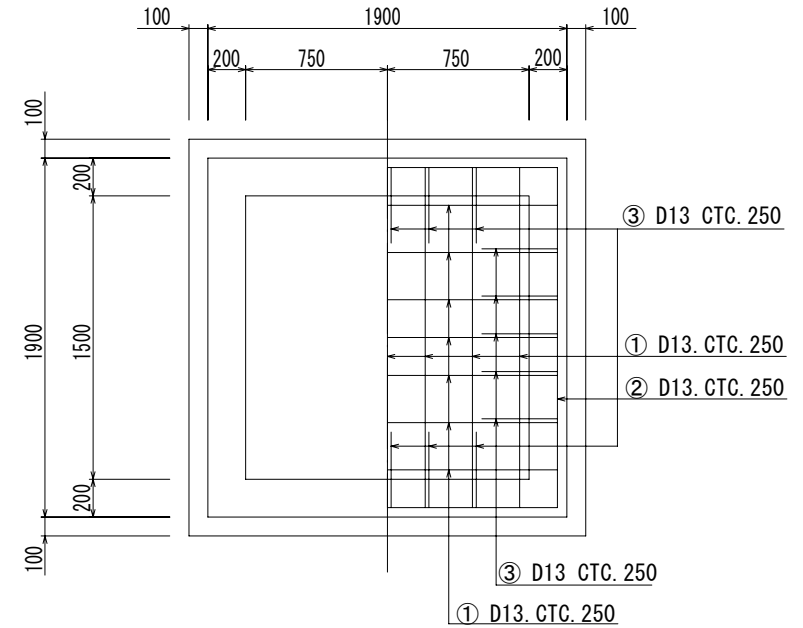
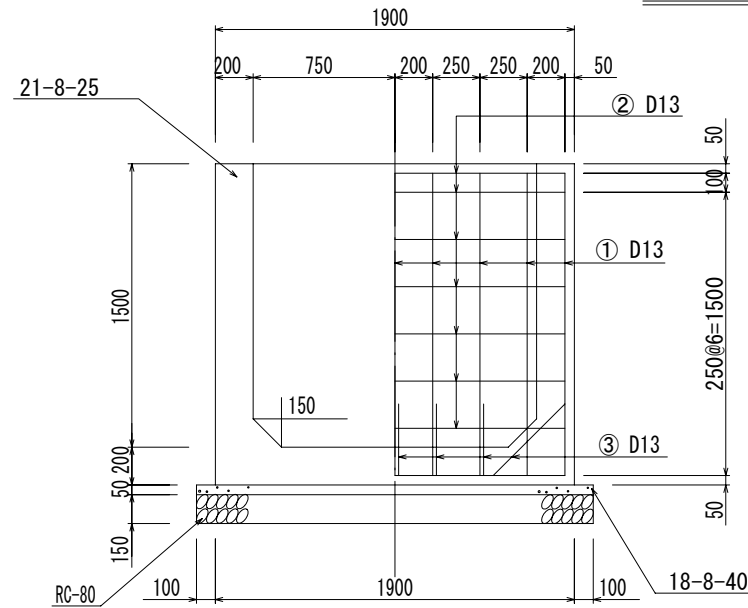
鉄筋加工図

鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本当り 重 量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	4,200	14	0.995	4.179	58.51		
2	D13	6,800	5	"	6.766	33.83		
D 1 3						9 2 . 3 4 kg		



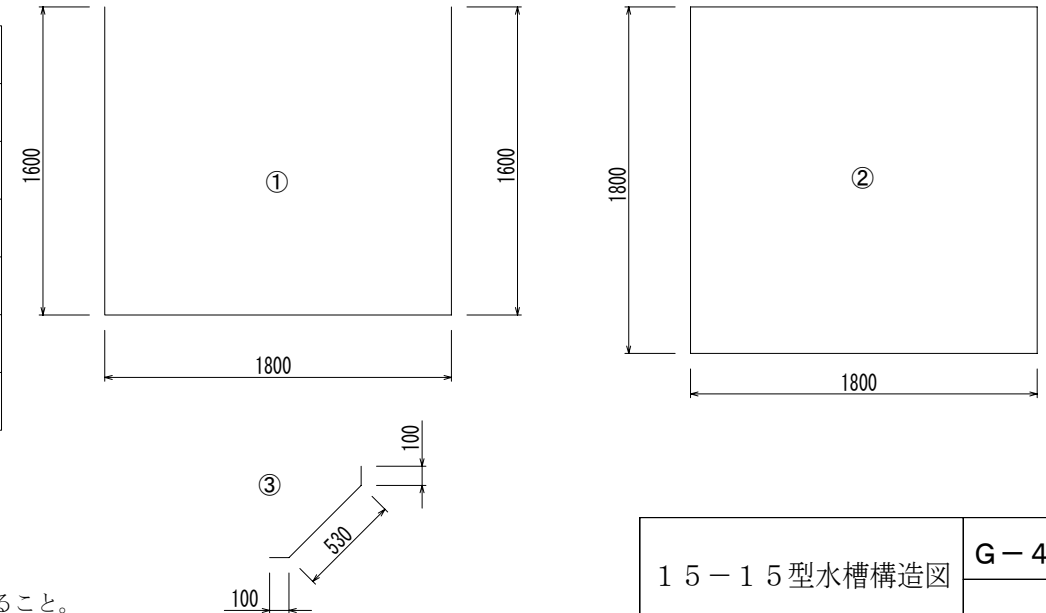
- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を☆型に補強する。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10cm程度下げて施工すること。

15-15型 水槽構造図



鉄筋加工図

鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本当り重量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	5,000	16	0.995	4.975	79.60		
2	D13	7,200	7	"	7.164	50.15		
3	D13	730	20	"	0.726	14.52		
D 1 3 1 4 4 . 2 7 kg								

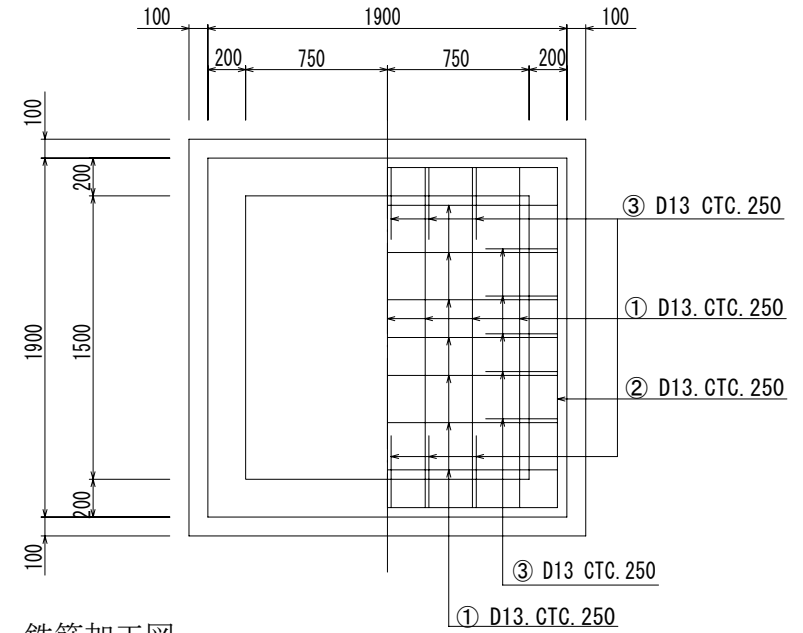
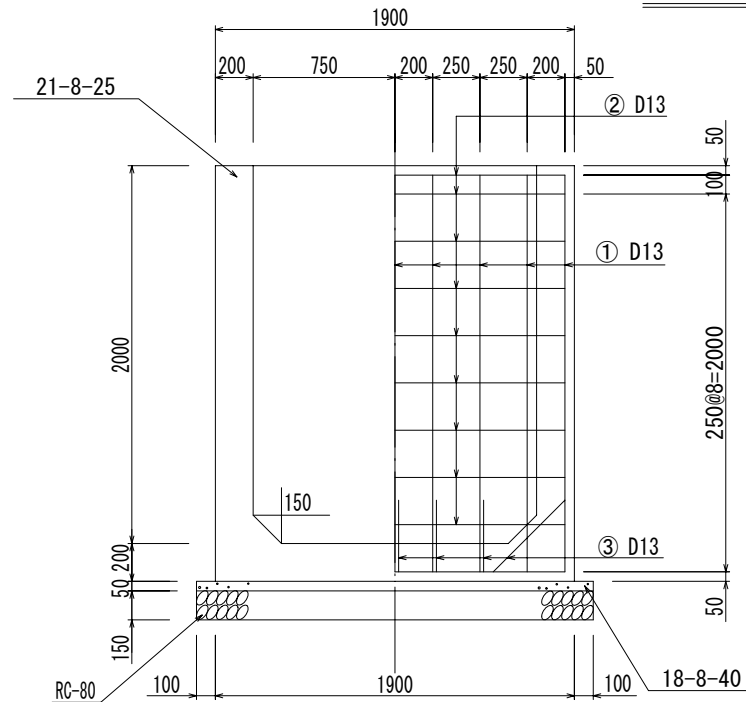


- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を◇型に補強する。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10cm程度下げて施工すること。

15-15型水槽構造図

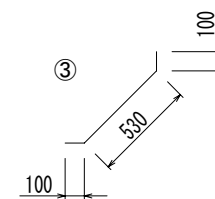
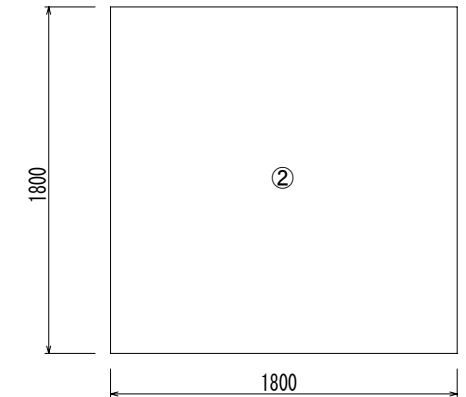
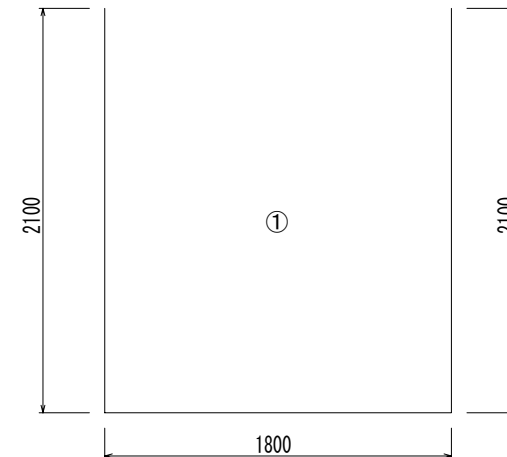
G-49

15-20型 水槽構造図



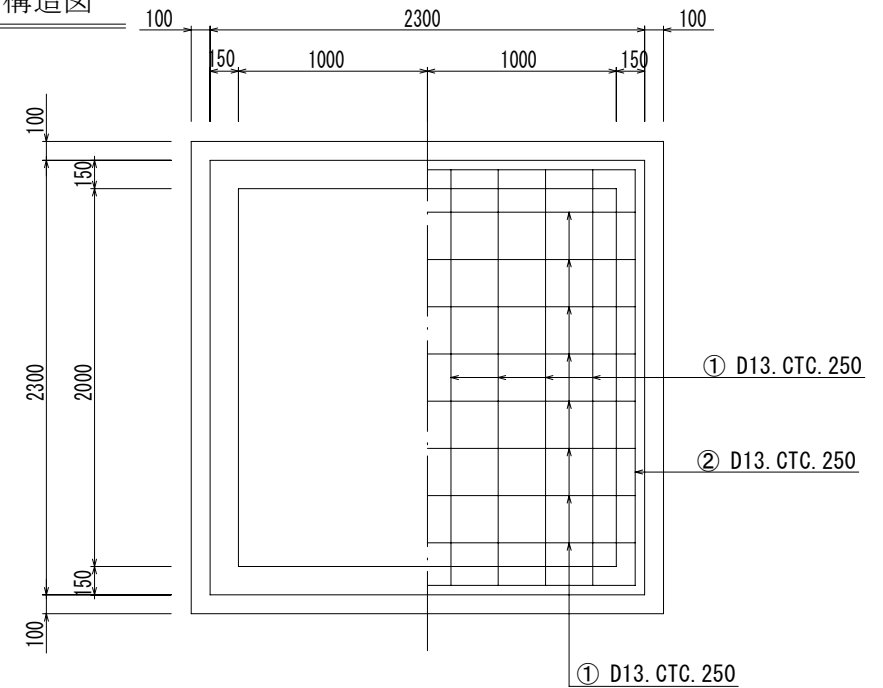
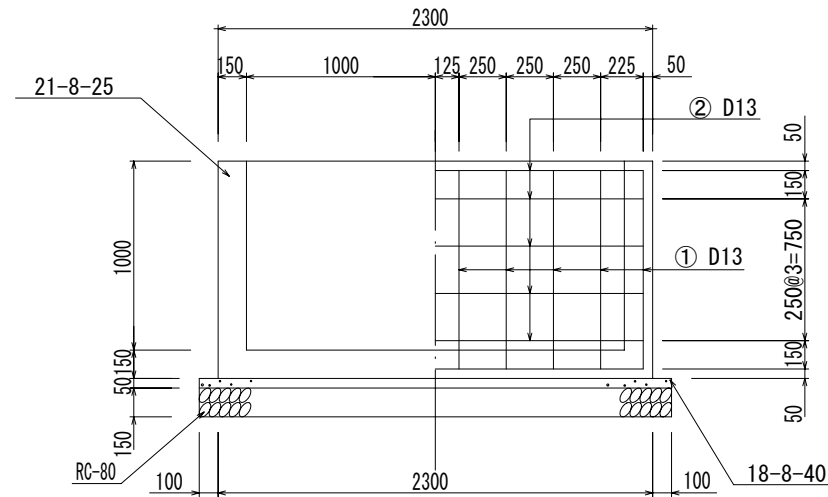
鉄筋加工図

鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1 本 当 り 重 量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	6,000	16	0.995	5.970	95.52		
2	D13	7,200	9	〃	7.164	64.48		
3	D13	730	20	〃	0.726	14.52		
D 1 3 1 7 4 . 5 2 kg								





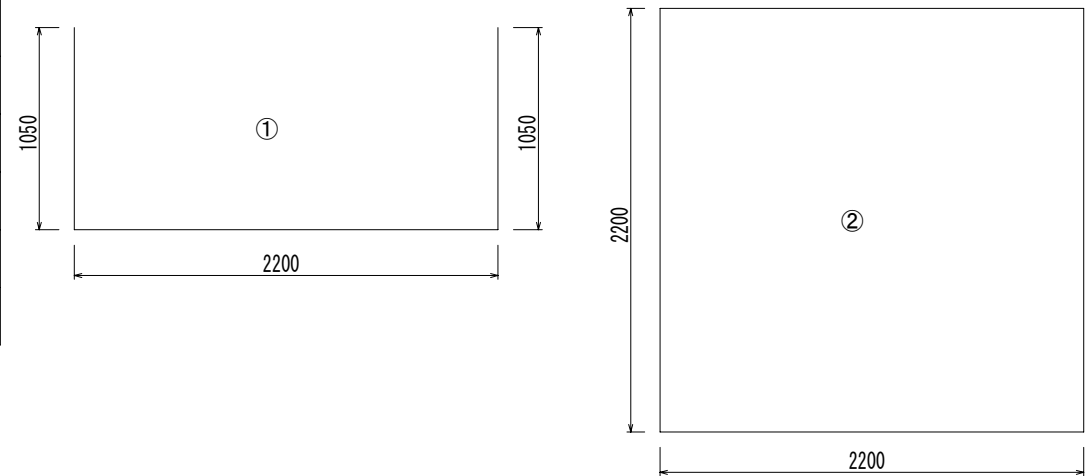
- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を☆型に補強する。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10cm程度下げて施工すること。

20-10型 水槽構造図



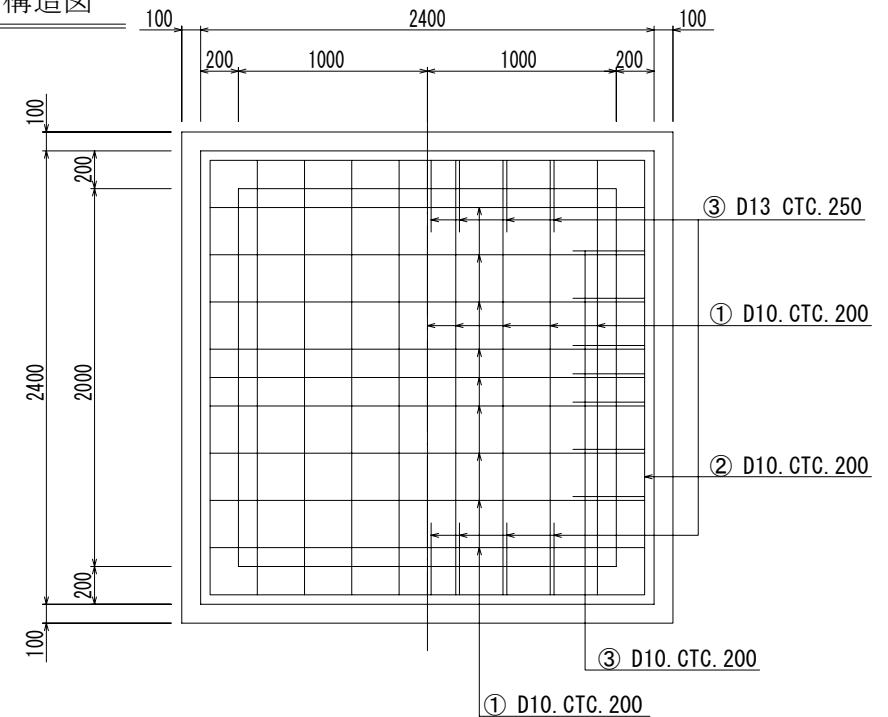
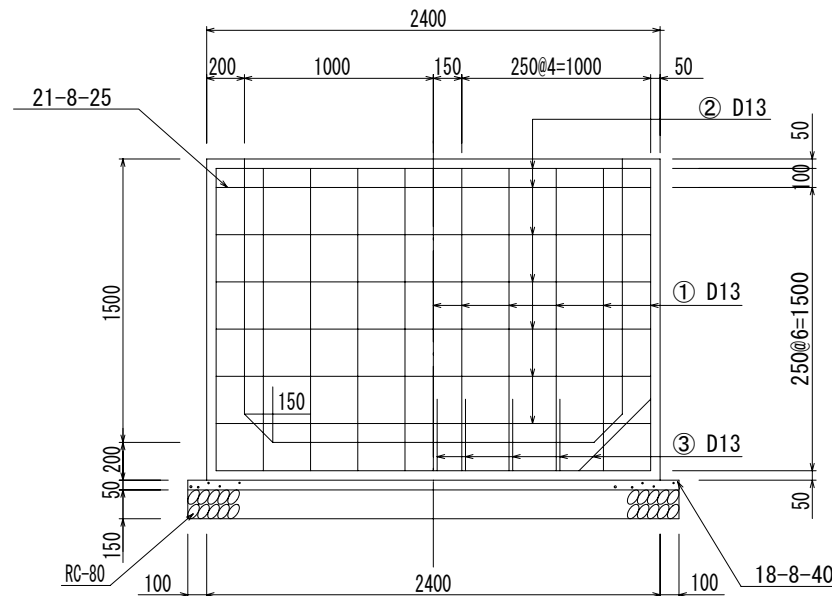
鉄筋加工図

鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1 本当り 重 量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	4,300	18	0.995	4.279	77.02		
2	D13	8,800	5	〃	8.756	43.78		
D 1 3					1 2 0 . 8 0 kg			

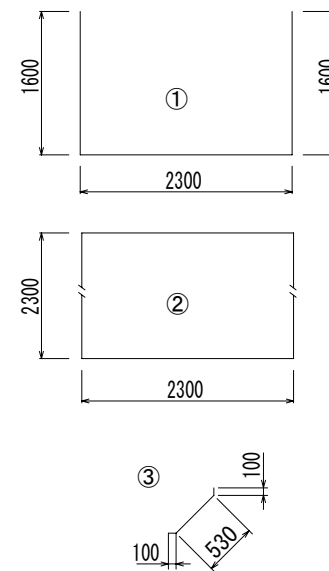


- 1 鉄筋のカブリは 5 cm とする。
- 2 ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を◇型に補強する。
- 3 ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋を U 型に補強する。
- 4 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より 5 ～ 1 0 cm 程度下げて施工すること。

20-15型 水槽構造図



鉄筋加工図

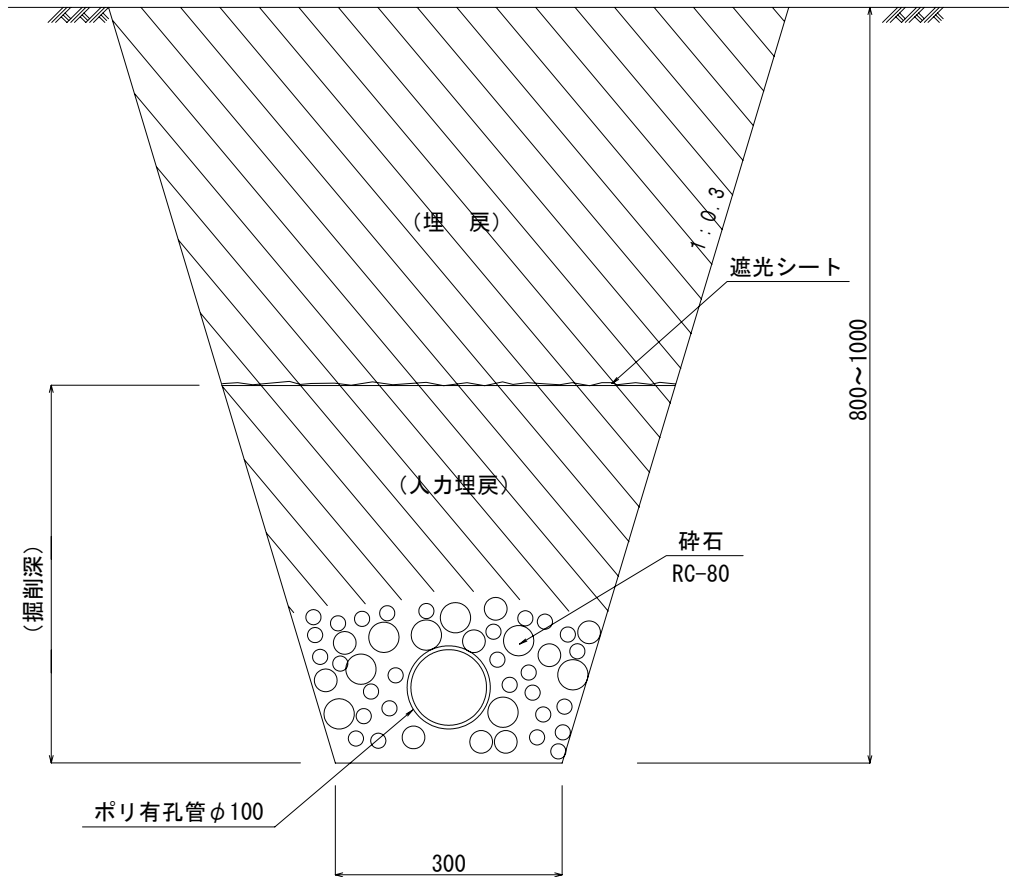


- 鉄筋のカブリは5cmとする。
- ヒューム管を接続する場合は接続口に鉄筋を◇型に補強する。
- ベンチフリューム等を接続する場合は接続口に鉄筋をU型に補強する。
- 吞吐部及び屈曲部に設置する場合は、水路底部より5～10cm程度下げて施工すること。

鉄 筋 表								
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本当り重量	重 量	形 状	摘 要
1	D13	5.500	20	0.995	5.473	109.46	□	
2	D13	9.200	7	〃	9.154	64.08	□	
3	D13	0.730	28	〃	0.726	20.33	／	
D 1 3 1 9 3 . 8 7 kg								

そ の 他

断面図

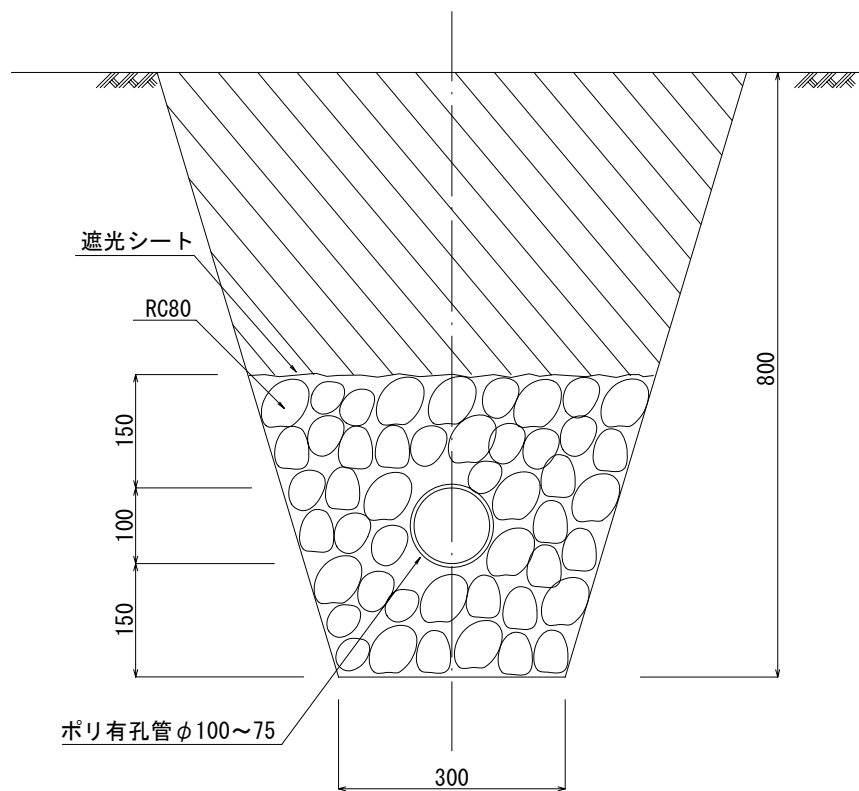


施工上の注意

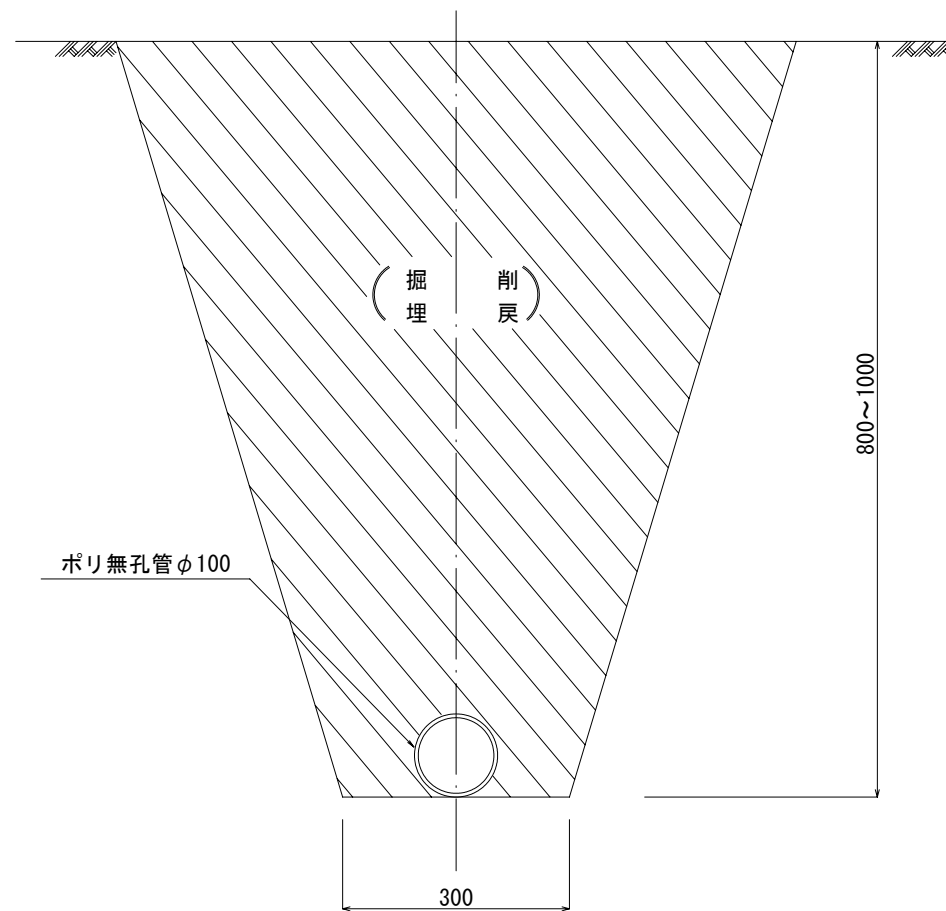
1. 勾配は標準 $I = 1/400$ 以上とし、下流方向に急勾配を取るよう施工すること。
2. 配置は監督職員と協議の上決定するものとし、原則として旧水路跡地とする。
3. 集水渠はポリ無孔管とする。
4. 流末部に水閘を設置すること。

断 面 図

吸 水 部



導 水 部

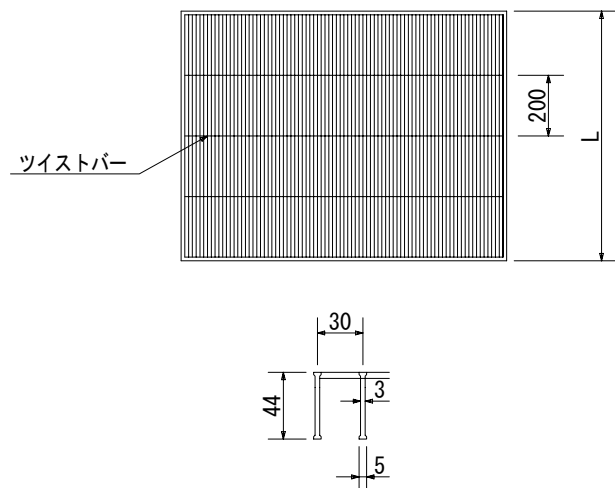


施工上の注意

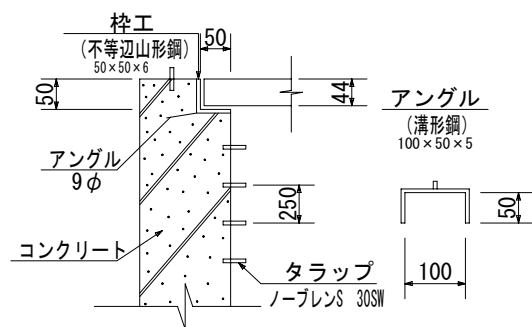
1. 吸・集水溝の勾配は標準 $I = 1/400$ 以上とし、下流方向に急勾配を取るよう施工すること。
2. 湧水量によっては、管径を変更することがある。
3. 配置は監督職員と協議の上決定する。
4. 流末部に水閘を設置すること。

軽荷重用グレーチング工

軽荷重用T-2



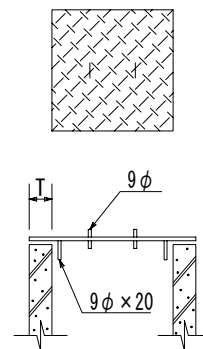
グレーチング枠



施工上の注意

1. 部材はSS41溶融亜鉛メッキとする。
2. 45kg/m²重量である。
3. 最大L=2m以内に加工するものとする。

縞鋼板工

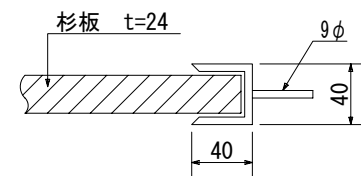
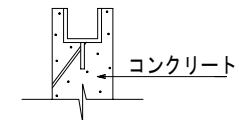
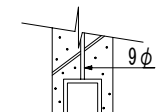


施工上の注意

1. 厚さは、3.2mm (26.8kg/m²)、4.5mm (26.8kg/m²)
2. t=100mm以上とする。
3. 塗装：素地調整、サビ止め2回後、中塗・上塗を色彩別にし、塩化ゴム系又はフタル酸樹脂塗装とする。

戸当り工

(40×40×6溝形)



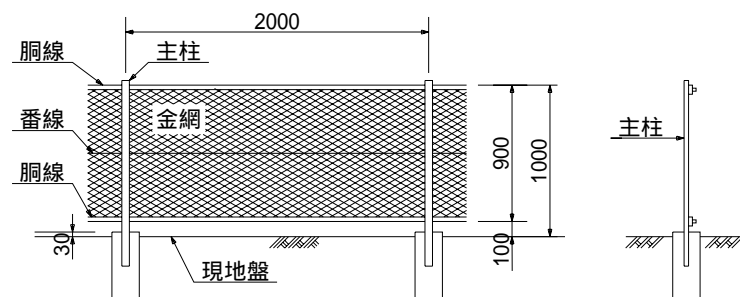
施工上の注意

1. 塗装仕様は縞鋼板を準用する。

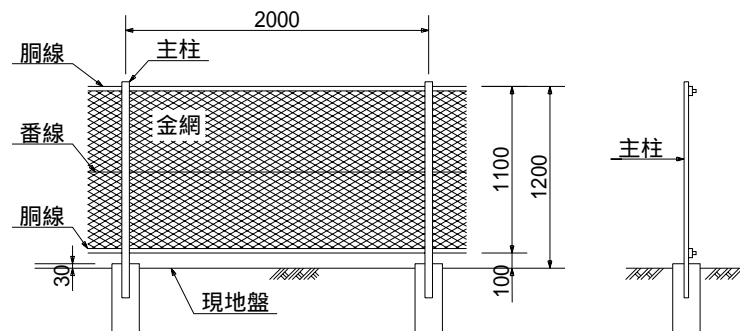
鋼小構造物設置
標準図

H-50

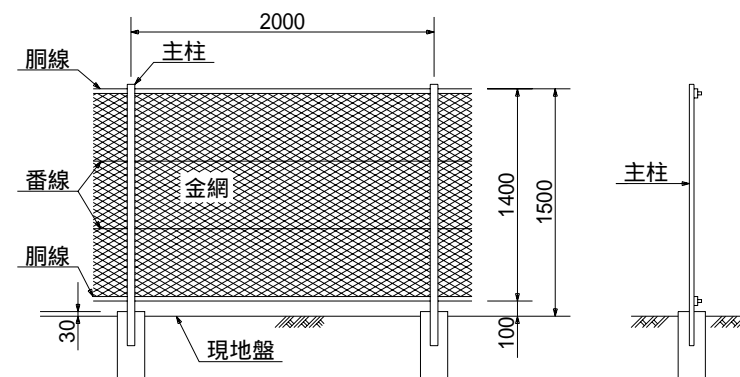
A - 型



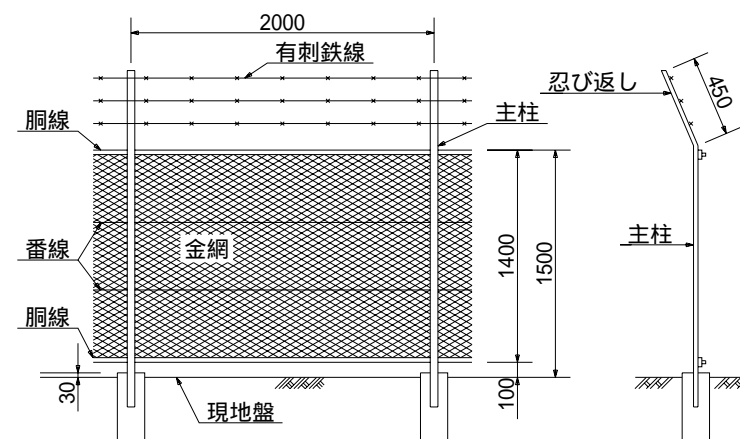
A - 型



A - 型

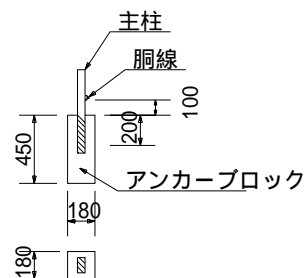


A - 型

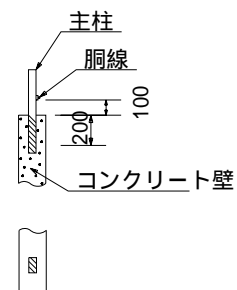


基礎構造図

アンカーブロック設置の場合



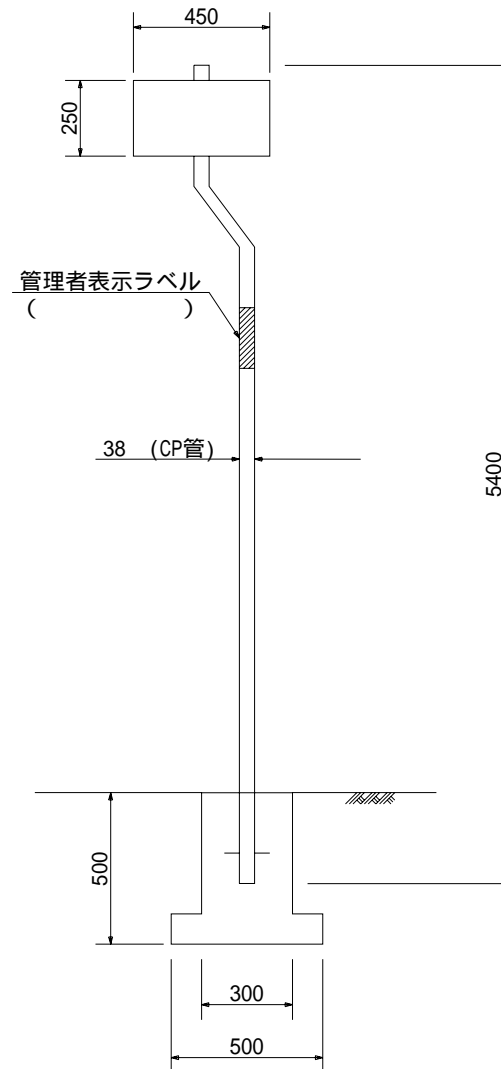
コンクリート壁天端設置の場合



注) 有刺鉄線
ビニール被膜外径14# 2本より
刺間隔10cm

除雪用構造物標示板

S=1:20



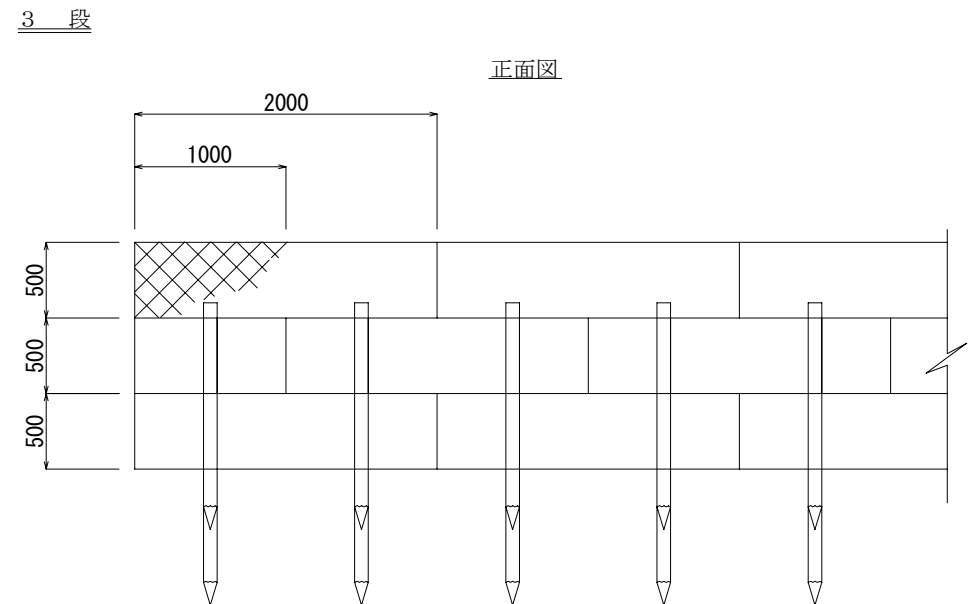
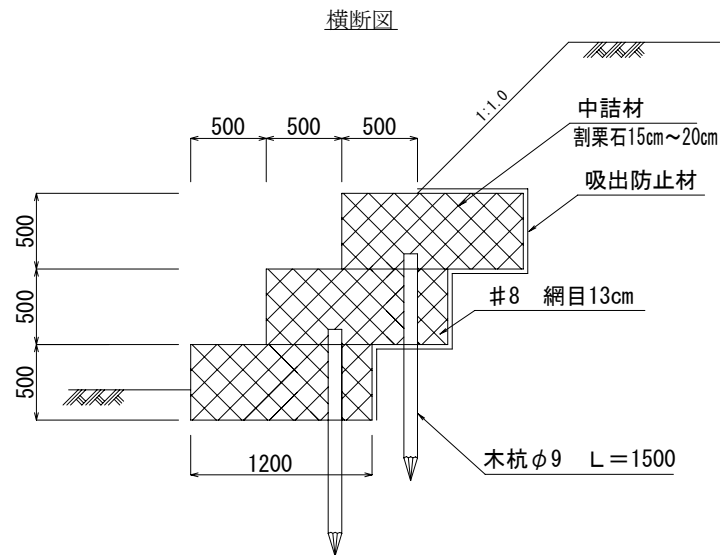
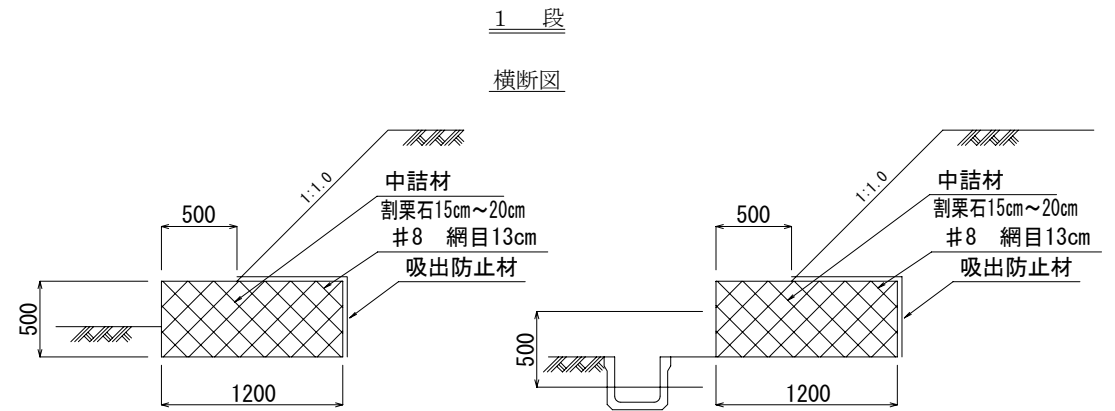
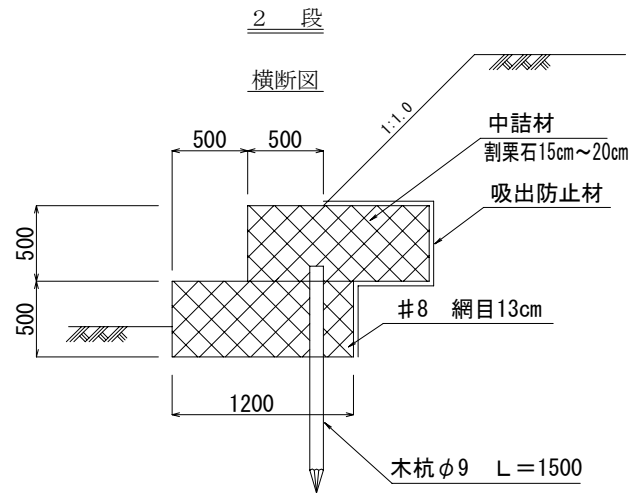
農業用水管

A	制水弁
B	空気弁

除雪用標示板

H - 5 2

フトン竈工



注) フトン竈の前面に水路がない場合は、根入れを20cm程度確保する。
また、前面に水路がある場合は、フトン竈内部への流入を防止するため、
水路天端に合わせるものとする。

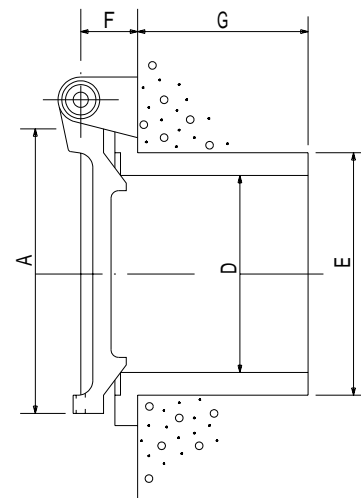
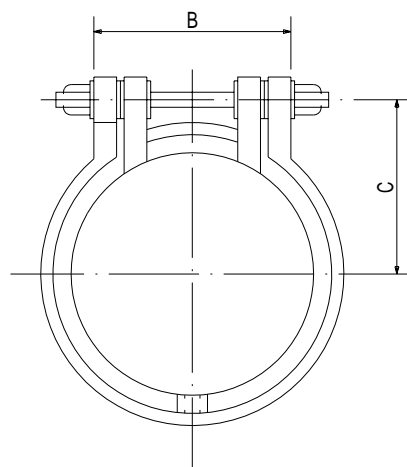
フトン竈工標準図

H-60

簡 易 ゲ ー ト

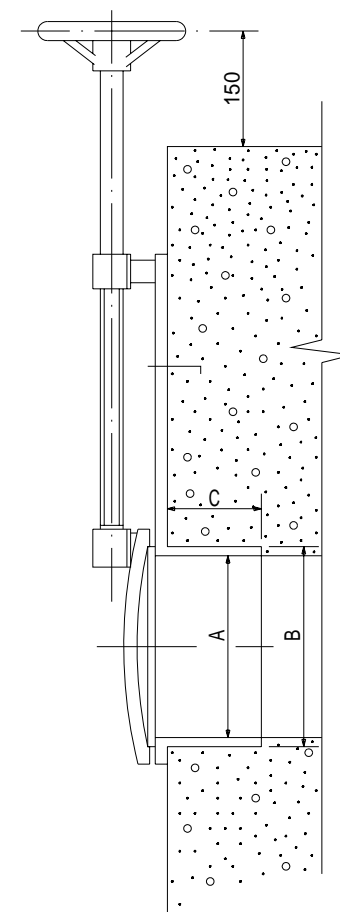
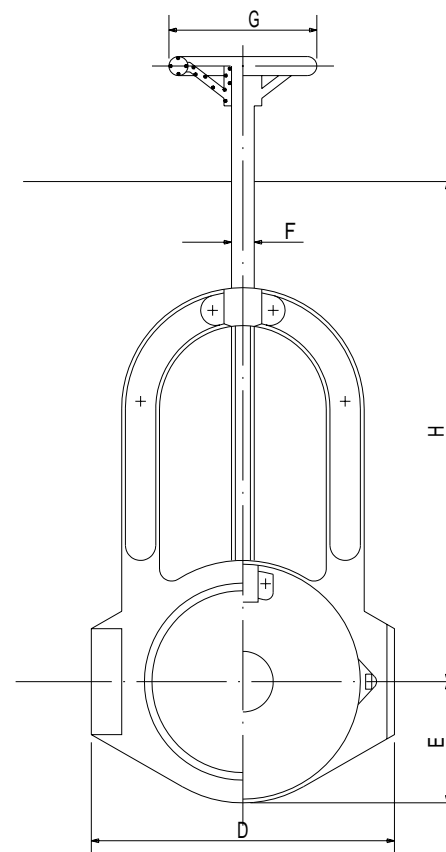
フラップゲート

K型



口 径	A	B	C	D	E	F	G	備考
75 mm	105	63	65	180	95	25	70	
100	130	70	80	100	115	25	70	
125	155	77	88	125	138	25	70	
150	165	80	98	150	160	25	70	
175	210	85	120	180	195	25	70	
200	235	90	130	200	220	25	70	
250	280	115	155	250	265	30	70	

S式分水ゲート



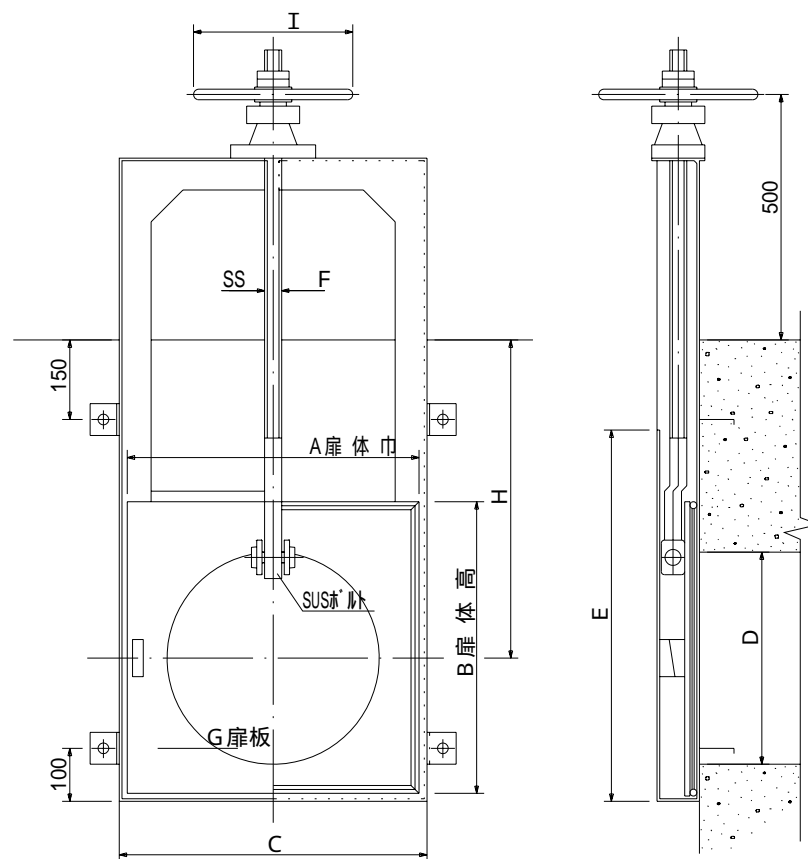
口径 mm	A	B	C	D	E	F	G	H
75	75	87	70	145	50	9	100	
100	100	112	70	170	65	13	100	
125	125	137	70	195	78	13	100	
150	150	162	70	220	90	13	100	
200	200	212	70	270	115	16	120	
250	250	265	80	320	145	19	120	

分水栓
75 ~ 250

H - 7 0

簡易鋼製スルースゲート

S - G



口径 MM	A	B	C	D	E	F	G	H	I	フレーム
100	220	220	250	100	340	25	6		250	L50×50×6
150	270	270	300	150	430	25	6		250	L50×50×6
200	320	320	350	200	470	25	6		250	L50×50×6
250	370	370	400	250	520	25	6		300	L50×50×6
300	450	450	480	300	600	30	6		300	L65×65×6
350	500	500	530	350	650	30	6		300	L65×65×6
400	550	550	580	400	700	32	6		300	L65×65×6
450	600	600	630	450	750	32	6		400	L65×65×6
500	650	650	680	500	800	35	6		400	L75×75×9
600	770	770	800	600	920	35	8		400	L75×75×9
700	870	870	900	700	980	38	8		400	L75×75×9
800	960	960	1000	800	1070	38	9		400	L75×75×9
900	1060	1060	1100	900	1170	40	9		500	L75×75×9
1000	1160	1160	1200	1000	1270	40	9		500	L75×75×9

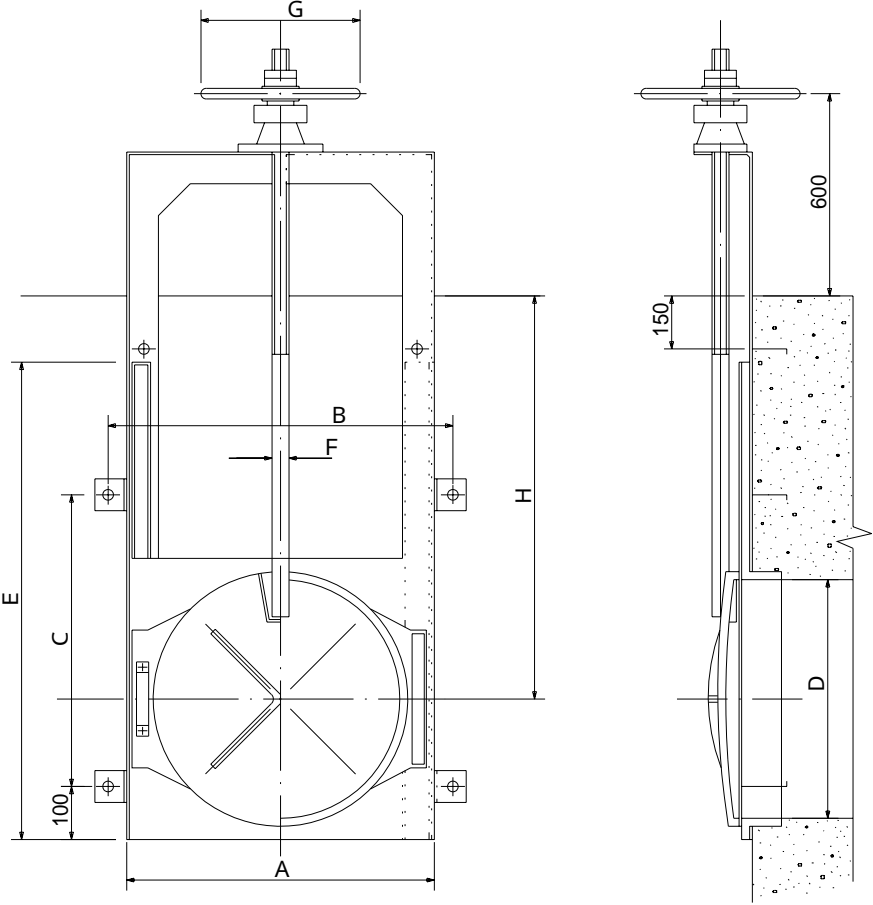
簡易鋼製スルースゲート
100 ~ 1000

H - 7 1

鑄鉄製円形スルースゲート

FC - SU

戸当水密部BC



口径	MM	A	B	C	D	E	F	G	H	フレーム(後)	フレーム(前)
100		230	285	300	100	380	25	300		L50×50×6	L40×40×5
150		285	340	500	150	410	25	300		L50×50×6	L40×40×5
200		320	375	500	200	500	25	300		L50×50×6	L40×40×5
250		380	435	500	250	650	25	300		L50×50×6	L40×40×5
300		430	500	500	300	700	30	300		L65×65×8	L40×40×5
350		480	550	500	350	800	30	300		L65×65×8	L40×40×5
400		530	600	550	400	850	30	300		L65×65×8	L40×40×5
450		580	650	550	450	900	32	300		L65×65×8	L40×40×5
500		640	710	550	500	950	32	400		L65×65×8	L50×50×6
600		780	865	650	600	1200	35	400		L65×65×8	L50×50×6
700		880	965	750	700	1300	35	400		L75×75×9	L50×50×6
800		990	1075	850	800	1400	38	500		L75×75×9	L65×65×6

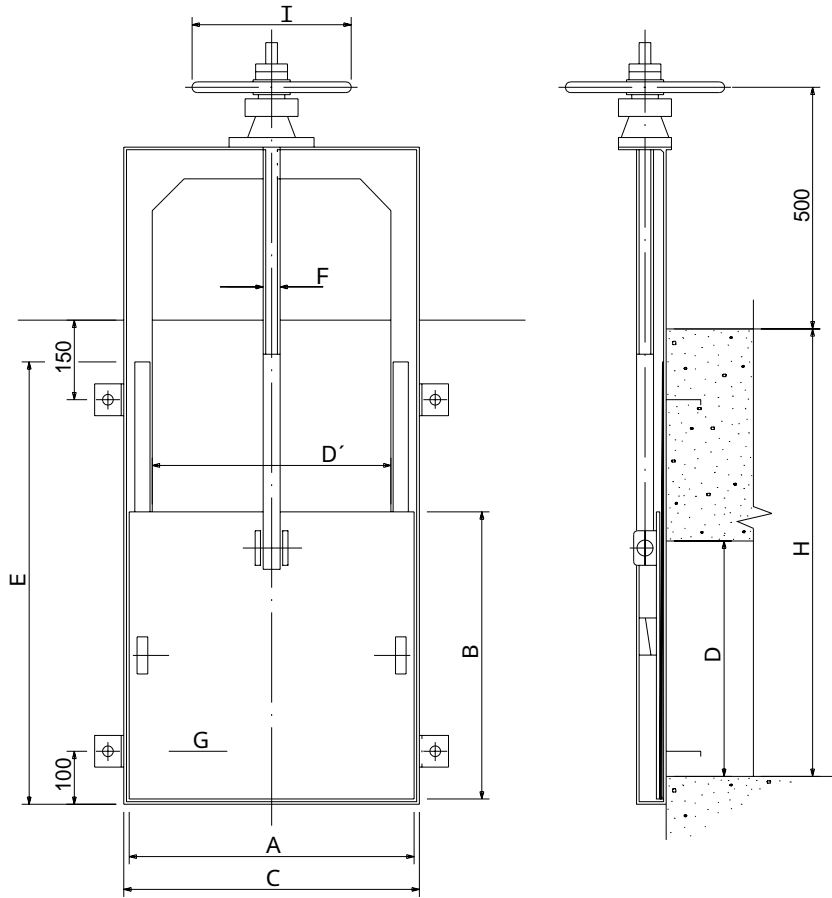
鑄鉄製円形スルースゲート
100 ～ 800

H - 7 2

鉄製スルースゲート

S U - 4

戸当スライド面S U S



口径	MM	A	B	C	D	D'	E	F	G	H	I	フレーム
200		260	260	280	200	200	500	25	6		300	L40×40×5
250		310	310	330	250	250	550	25	6		300	L40×40×5
300		360	360	380	300	300	600	25	6		300	L40×40×5
350		410	410	430	350	350	650	25	6		300	L40×40×5
400		460	460	480	400	400	700	25	6		300	L40×40×5
450		510	510	530	450	450	750	25	6		300	L40×40×5
500		580	580	600	500	500	800	30	6		300	L50×50×6
600		710	680	730	600	600	900	30	6		400	L65×65×6
700		810	780	830	700	700	1000	30	8		400	L65×65×6
800		910	880	930	800	800	1100	32	9		400	L65×65×6
900		1025	1010	1050	900	900	1500	38	12		500	L75×75×9
1000		1125	1110	1150	1000	1000	1700	38	12		500	L75×75×9

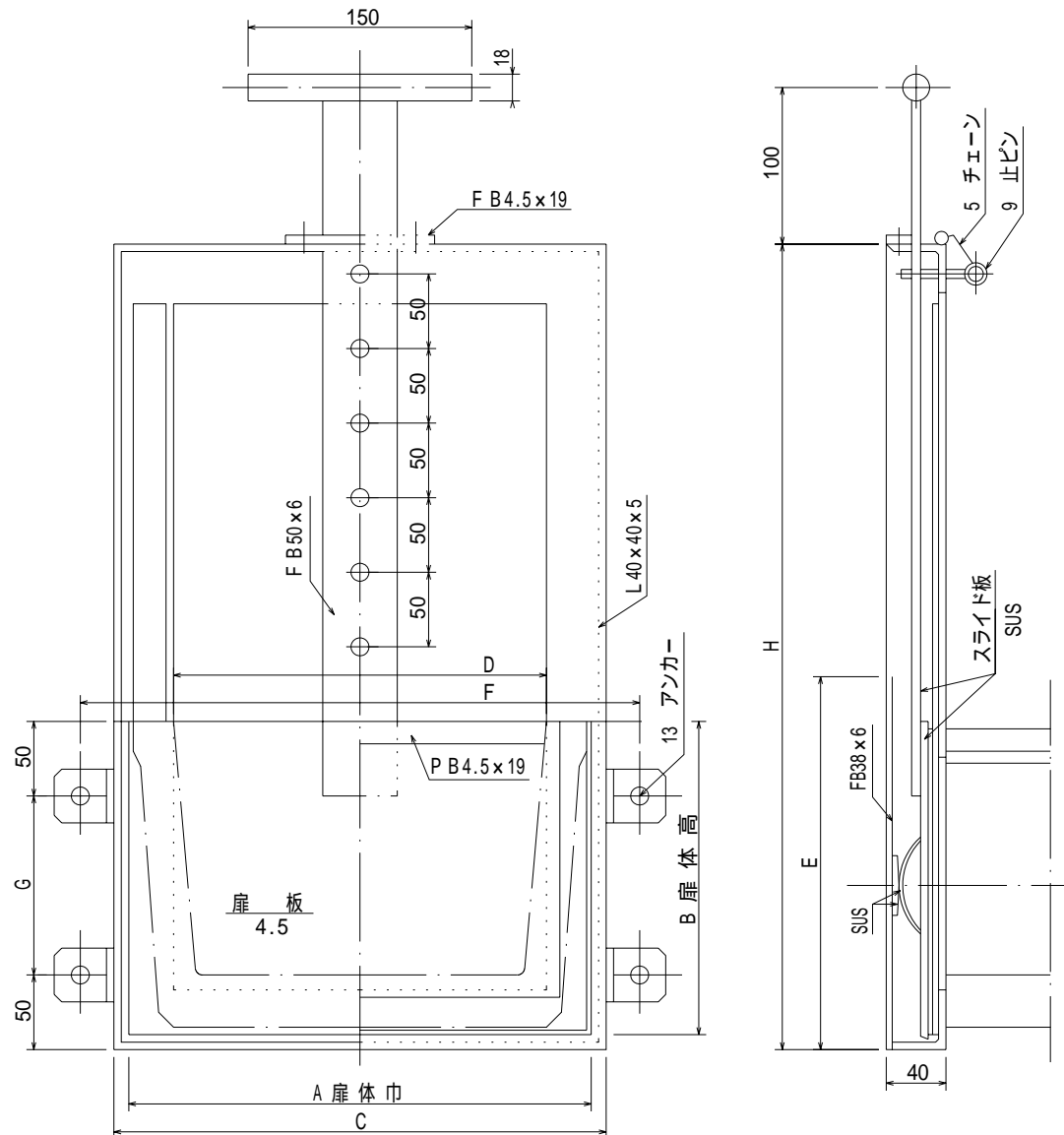
鉄製スルースゲート
200～ 1000

H - 7 3

簡易鋼製スルースゲート

ベンチフリューム用ゲートSU-5

戸当スライド面 SUS



製品寸法表

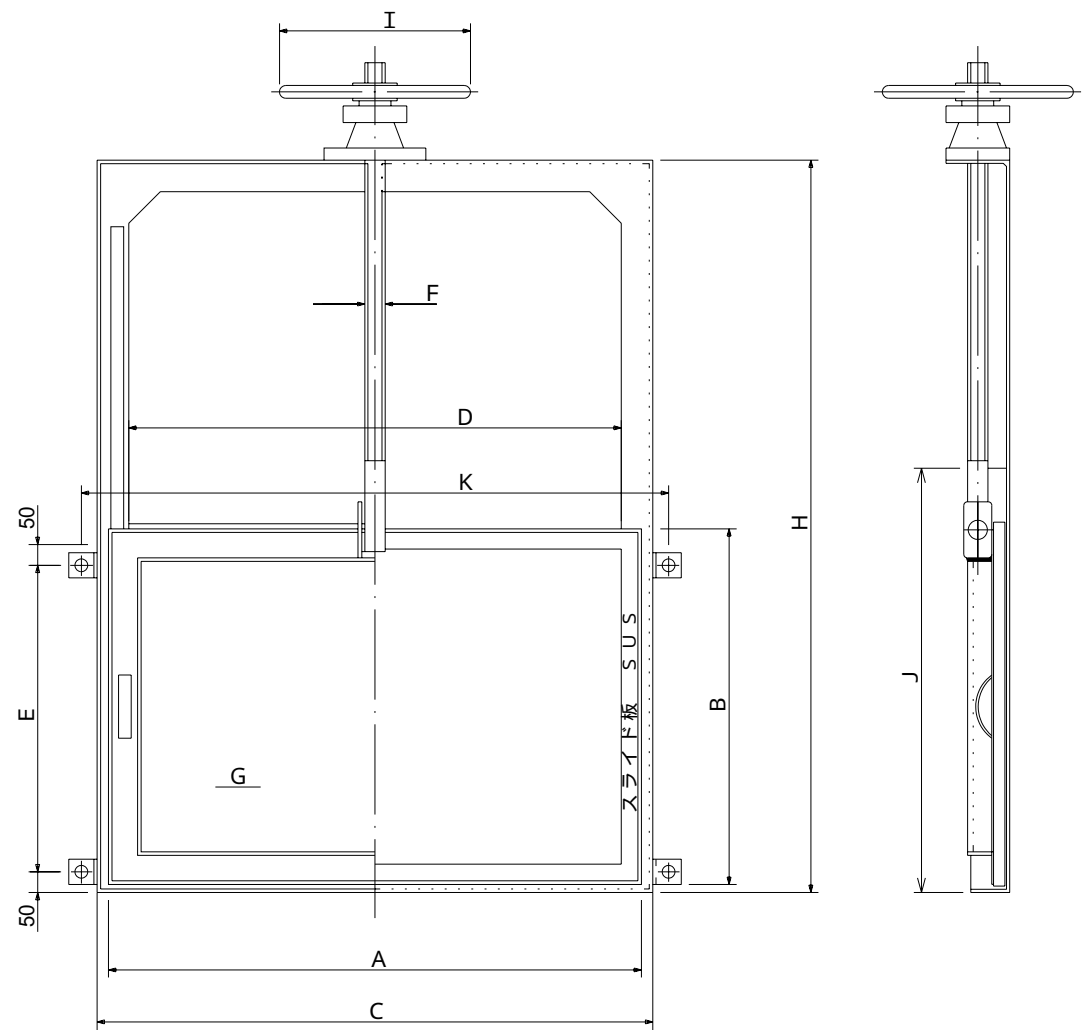
呼び名	四方水密									
	A	B	C	D	E	E	F	G	H	H
200	260	185	280	200	370	225	325	90	440	215
250	310	210	330	250	420	250	375	110	490	240
300	360	235	380	300	470	275	425	140	540	265
350	410	270	430	350	540	310	475	175	610	300
400	460	295	480	400	590	335	525	200	660	325
450	510	330	530	450	660	370	575	235	730	360
500	560	355	580	500	710	395	625	260	780	385
550	610	390	630	550	780	430	675	290	850	420
600	660	415	680	600	830	450	725	320	900	445
650	710	450	730	650	900	490	775	350	970	480

簡易鋼製スルースゲート
(ベンチフリューム用)

H - 7 4

簡易鋼製スルースゲート

ベンチフリューム用ゲートSU-5-1



呼び名	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
200	260	215	280	200	90	25	4.5	500	300	225	325
250	310	240	330	250	110	25	4.5	550	300	250	375
300	360	265	380	300	140	25	4.5	600	300	275	425
350	410	300	430	350	175	25	4.5	670	300	310	475
400	460	325	480	400	200	25	4.5	720	300	335	525
450	510	360	530	450	235	25	4.5	790	300	370	575
500	560	385	580	500	260	25	4.5	840	300	395	625
550	610	420	630	550	290	25	4.5	910	300	430	675
600	660	440	700	600	320	30	4.5	960	300	450	755
650	710	480	750	650	350	30	4.5	1030	300	490	805
700	760	505	800	700	385	32	4.5	1080	300	515	855
800	860	555	900	800	430	32	4.5	1160	300	565	955
900	960	615	1000	900	500	32	6.0	1280	300	625	1055
1000	1060	665	1100	1000	560	32	6.0	1380	300	685	1155

簡易鋼製スルースゲート
(ベンチフリューム用)

H - 7 5